

日本赤十字九州国際看護大学 シラバス 【令和3年度】

哲学

更新日：2021/01/15 15:01:55

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	LHU101		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510100
担当教員	田中 康司						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

現代の保健医療に関連する問題を具体的に取り上げ、哲学の基本的な概念と方法で人間理解にどのようなアプローチができるかを学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	現代の医療に関わる様々な問題が人間存在についての哲学的問いと密接に関連していることを理解することができる。
2	人間存在についての理解を深めることができる。
3	生と死の問題について自分で考えることができる。

授業計画

1	哲学と医療の関係 【授業方法】講義 【予習】45分：哲学という言葉の意味を調べる。 【復習】45分：医療の現場に哲学的問いが立ち現れる理由を考える。 【担当】田中
2	なぜ安楽死が問題となるのか 【授業方法】講義 【予習】60分：安楽死の種類を調べて整理する。 【復習】30分：安楽死の問題性を理解できているかを確認する。 【担当】田中
3	安楽死―患者の最善の利益 【授業方法】講義 【予習】60分：QOLとSOLについて調べる。 【復習】30分：自らの死生観を問い直す。 【担当】田中
4	安楽死―患者の自己決定権 【授業方法】講義 【予習】60分：自分の身体は自分の所有物かを考察する。 【復習】30分：自分の身体を自由にしてよいかを考察する。 【担当】田中
5	安楽死―作為・不作為説 【授業方法】講義 【予習】60分：殺すことと死なせることに道徳的違いはあるかを考察する。 【復習】30分：消極的安楽死と積極的安楽死に道徳的違いがあるか検討する。 【担当】田中
6	安楽死―二重結果説 【授業方法】講義 【予習】60分：二重結果説について調べる。 【復習】30分：二重結果説を安楽死の問題に適用するとどうなるか考える。 【担当】田中
7	安楽死の是非 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの授業をふまえて安楽死についての自分の考えを整理する。 【復習】30分：改めて安楽死に対する自分の立場及びその理由を確認する。 【担当】田中
8	フィードバック～死とは何か～ 【授業方法】講義 【予習】60分：死が怖い理由を考える。 【復習】30分：死の意味と生の価値を確認する。 【担当】田中

先行履修科目

なし

テキスト

適宜プリント等を配布する。

参考文献

Hope, T. : Medical Ethics. 2004, 児玉聡・赤林朗訳：医療倫理. 岩波書店, 2007.

評価方法

定期試験(70%)および授業への参加態度(30%)によって評価する。

教員等の実務経験

メッセージ

生命倫理

更新日：2021/03/17 14:39:42

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	LHU202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510200
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修 授業形態：演習						

授業の目的

生死にまつわる医療・看護の問題の中でも、看護における倫理的な問題を見極め、人間の尊厳と患者の権利の尊重を基盤とした判断能力を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	1. 生命倫理誕生の背景および歴史的な発展過程を認識し、生命倫理の学習する意味を説明できる。
2	2. 生命倫理として取り上げられる事例についてなにが問題であるかを説明できる。
3	3. 生命倫理の諸問題に対する議論状況を知り、自身の倫理的価値から導き出される判断・決定について述べることができる。
4	4. ニュース等報道に目を向け、新たな生命倫理問題を課題として検討することができる。

授業計画

1	生命倫理について 【予習】60分 テキスト第1章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
2	医療資源の配分について 【予習】60分 テキスト第11章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
3	医学研究の倫理について 【予習】60分 テキスト第5章・第14章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
4	生命の始期と生命倫理について（1） 【予習】60分 テキスト第2章・第3章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
5	生命の始期と生命倫理について（2） 【予習】60分 課題について 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
6	生命の終期と生命倫理について（1） 【予習】60分 テキスト第8章・第9章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
7	生命の終期と生命倫理について（2） 【予習】60分 テキスト第10章・第13章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
8	フィードバック：生命倫理の新たな課題 【予習】60分 テキスト第12章・最終章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井

先行履修科目

なし

テキスト

玉井真理子・大谷いづみ：はじめて出会う生命倫理.有斐閣，2011.

参考文献

黒崎剛・野村敏明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014.
小林亜津子：看護が直面する11のモラル・ジレンマ．ナカニシヤ出版，2010.
他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・提出物（50％）、課題レポート（50％）を合計して算出する。

教員等の実務経験

メッセージ

看護の対象では「人」です。しかし科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮とはどのようなものでなぜ大切なのでしょうか。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い人権意識で積極的に参加してください。

心理学

更新日：2021/01/17 22:23:05

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHU102		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510300
担当教員	植村 善太郎						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

授業の目的

人間の認知、行動、そして個人差を理解するための理論、概念、方法を学習し、保健医療における各種場面の心理学的な援助の基礎能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	さまざまな環境での人間の行動および心理について、心理学的に、理解し、説明できるようになること。

授業計画

1	授業概要と心理学の基礎知識 【授業方法】講義 【予習】120分：第1章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
2	心の発達 乳幼児期の心の発達について学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第3章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
3	生涯発達 人の長い期間での変化、発達について資料映像を参照しながら学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第4章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
4	感覚 私たちの感覚の仕組みについて学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第10章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
5	知覚 私たちの知覚の仕組みについて学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第11章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく。錯視図形を探して持ってくる。 【担当】植村
6	記憶 私たちの記憶の仕組みについて学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第12章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
7	学習 私たちの経験による行動変化、すなわち学習の仕組みについて学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第13章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
8	動機づけと情動 私たちの意欲や情動の仕組みについて学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第5章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
9	緊急事態の行動 緊急事態が発生した際の私たちの認知やコミュニケーションを学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：実際に発生したパニックの事例をノートにまとめ、発生原因を考える 【担当】植村
10	ストレスとメンタルヘルス 個々の健康について考えます 【授業方法】講義(AL) 【予習】120分：第8章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
11	脳と心 心の生物学的基礎について学びます 【授業方法】講義(AL) 【予習】120分：第15章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村

12	脳損傷と心の働き 症例から脳の機能を考えます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第16章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
13	社会の中の人間 他者による影響と他者の認知について学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第17章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
14	心と社会 集団内における信頼について学びます 【授業方法】講義（AL） 【予習】120分：第18章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
15	試験の結果とフィードバック 【授業方法】講義 【復習】120分：問題に関連した内容について確認をする 【担当】植村

先行履修科目

なし

テキスト

長谷川寿一 他：はじめて出会う心理学 改訂版．有斐閣，2008．

参考文献

Hock, R.R. : Forty Studies that changed Psychology: Explorations into History of Psychological Research (4th ed.) . 2002, 梶川達也, 花村珠美訳：心理学を変えた40の研究．ピアソン・エデュケーション，2007．

古城和子編著（2002）．生活にいかす心理学ver.2．ナカニシヤ出版，2002．

西口利文・植村善太郎・伊藤崇達（2020）．グループディスカッション: 心理学から考える活性化の方法 金子書房

評価方法

毎回の提出物への評価 70～75%、期末レポート 25～30%

教員等の実務経験

メッセージ

内容を理解できないと学習は成り立ちません。しっかりと内容を理解するために、まずは教科書での予習を毎回地道に続けてください。

内容がわかってくると、学問としての面白さ、有用性が伝わっていくと思います。しっかり準備をして、積極的な姿勢で授業に臨み、課題に取り組んで下さい。

人間関係論

更新日：2021/01/19 15:54:59

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHU103		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510400
担当教員	友清 由希子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

授業の目的

人間社会を形成する人と人との関係について理解し、対人関係づくりに必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	人間のコミュニケーションについて理解できる。
2	受容的、共感的関わり方のスキルについて理解できる。
3	チームの人間関係について理解できる。

授業計画

1	コミュニケーション 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの2，5章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
2	カウンセリング 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの6，7章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
3	傾聴と意欲を高める応答 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの10章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
4	喪失と悲嘆の理解 【授業方法】講義と演習 【復習】30分：授業のノートを読み直し、ポイントをまとめる 【担当】友清
5	患者を支える 【授業方法】講義と演習 【復習】30分：授業のノートを読み直し、ポイントをまとめる 【担当】友清
6	患者と患者の家族を支える 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの11，12章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
7	アサーティブ-コミュニケーション 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの8章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
8	チームの人間関係・期末課題のフィードバック方法について 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの4，9章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清

先行履修科目

なし

テキスト

石川 ひろの 他著 ：人間関係論(第3版)．医学書院，2018．

参考文献

評価方法

この授業は全8回です。毎回の授業時に行う課題や小テスト（10点×8回）（80％）と期末課題（20％）で評価します。課題やテストについては、毎回の授業で指示をします。

教員等の実務経験

メッセージ

教育学

更新日：2021/02/24 13:44:43

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	LHU201		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	510500
担当教員	川口 俊明						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

人間の生涯発達という視点から人間の成長・発達を理解し、教育の果たす役割について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	教育学の基礎的な知識／考え方を習得できる。
2	現代日本の学校・教育の在り方について、批判的に考えることができる。

授業計画

1	授業内容と受講上の諸注意 【授業方法】講義 【予習】30分：シラバスを読み、テキストを確認する 【担当】川口
2	終わらない教育格差 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（1章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
3	教育格差について知っていること 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト（1章）をもとに、「教育格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
4	幼児教育 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（2章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
5	幼児教育と格差 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト（2章）をもとに、「幼児教育と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
6	小学校 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（第3章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
7	小学校と格差 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト（3章）をもとに、「小学校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
8	中学校 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（4章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
9	中学校と格差 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト（4章）をもとに、「中学校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
10	高校 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（5章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
11	高校と格差 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト5章）をもとに、「高校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口

12	教育格差社会 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（6章）を読み，わからないところをまとめる 【担当】川口
13	教育格差社会をどう考えるか 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：テキスト（6章）をもとに，「教育格差社会」について自身の考えを書く 【担当】川口
14	私たちはどう生きるべきか 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（7章）を読み，わからないところをまとめる 【担当】川口
15	授業の総括（フィードバック） 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：全体を通して提出したレポートを，あらためて自身で総括し，日本の教育と不平等について考察を深めておく。 【担当】川口

先行履修科目

なし

テキスト

松岡亮二：教育格差，ちくま新書，2019．

参考文献

授業中に紹介する。

評価方法

課題の提出状況および質（70％） 発言や議論への参加など授業への貢献（30％）

※最終試験・レポートなどは課さない

教員等の実務経験

メッセージ

アカデミック・ライティング

更新日：2021/09/21 13:39:56

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHU104		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510600
担当教員	高瀬 文広, 中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

論理的批判的思考と他者との議論に基づいて、自己の見解や訴えを、他者に理解されるように明確に表現する文章を書く技能を高める。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	文章作成の目的とその前提条件を認識し、適切な構成と表現を企画することができる。
2	情報を収集し、その質を吟味して、論証の中に有機的に引用することができる。
3	自己または他者による批評を受容し、科学的学術的発信活動の改善に生かすことができる。
4	科学的学術的な文章に用いられる構造、語彙、表現に関する知識を活用することができる。

授業計画

1	講義：科学的学術的文章を書く目的と要件（教科書第1章）要件（教科書第1章） 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか、テキストの第1章を読み、その要件と特徴を説明できるようにする。 【復習:120分】教科書第1章を読み「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか確認する。 【担当】高瀬・中村（茂）
2	講義：科学的学術的文章の構造―問いと主張と論証（教科書第2章） 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】教科書第2章を読み、科学的学術的文章の構造―問いと主張と論証について事前に読んでおく。 【復習:120分】★課題1：教科書p.51【練習問題2】（1）次の文章は、どこが論文と違うのかまとめて提出。 ①新聞のコラム（天声人語など）②読書感想文 ③映画のパンフレットの解説 【担当】高瀬・中村（茂）
3	講義：科学的学術的文章を書く段取り―ブレインストーミングと文献リスト（教科書第3章） 【授業方法】講義・演習・ディスカッション 【予習:60分】各自関心のあるトピックとその理由を、他者に説明できるようにしてくる。 【復習:60分】各自のトピックに関する文献検索・収集を進める。 【担当】高瀬・中村（茂）
4	講義：科学的学術的文章を書く段取り(1)―文献検索と文献レビュー（教科書第4章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】各自関心のあるトピックについての関連文献のレビューを1冊書く。 【復習:60分】★課題2：p.89【練習問題4】p.90の【ダメ要約】のリライトして提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
5	講義：科学的学術的文章を書く段取り(2)―情報・知識・知見の「既知」と「未知」の区画（教科書第4章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】各自関心のあるトピックについてどのような研究が行われているかを鳥瞰したうえで、テーマ別に研究の系統分類を行い、その見取り図をもとに他者に説明できるように準備する。 【復習:60分】文献検索・収集を充実させる。 【担当】高瀬・中村（茂）
6	講義：科学的学術的文章を書く段取り(3)―着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】前回の時点でグルーピング化した研究群から1つ、自分の関心テーマと視点を絞り、自分が執筆する科学的学術的文章のオリジナリティを明確にし、ワークシートに記入する。 【復習:60分】ワークシートのリライト。 【担当】高瀬・中村（茂）
7	講義：科学的学術的文章の執筆のためのアウトライン（教科書第5章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書く。 【復習:60分】★課題3：教科書p.125の練習問題7：課題「死刑を存続させるか廃止すべきか」にアウトラインの作成と提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
8	講義：「わかりやすい文章」とは？(1)―論証方法（教科書第6章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書く。 【復習:60分】★課題3：教科書p.125の練習問題7：課題「死刑を存続させるか廃止すべきか」にアウトラインの作成と提出。 【担当】高瀬・中村（茂）

9	講義：「わかりやすい文章」とは？(2)－上位概念と下位概念（教科書第6章） 【授業方法】講義・演習・ディスカッション 【予習:60分】前回の授業時に課題として配布された文章をもとに、上位概念と下位概念を識別してくる。 【復習:60分】★課題4：教科書 p.156のイラスト【妥当でない論証】はどこが間違っているか説明文提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
10	講義：科学的学術的文章の基本単位－「パラグラフ」という概念と構造について（教科書第7章） 【授業方法】講義・演習・ディスカッション 【予習:60分】教科書第7章を読み、科学的学術的文章の基本単位「パラグラフ」という概念と構造を理解する。 【復習:60分】★課題5：教科書 p.198の【練習問題12】ダメパラ3の問題点を指摘して、よりよいパラグラフに書きかえたものを提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
11	講義：科学的学術的文章の機能－「一般」から「具体」へ（教科書第8章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】第7回授業時に作成したアウトランをもとに、本体部を執筆。 【復習:60分】相互評価に基づくリライト。 【担当】高瀬・中村（茂）
12	講義：科学的学術的文章の信頼性と妥当性－エビデンスベイス（教科書第8章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。 【復習:60分】★課題6：教科書 p.235【練習問題17】（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
13	講義：科学的学術的文章で用いるアイデアと剽窃（教科書第9章） 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習:60分】結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。 【復習:60分】★課題6：教科書 p.235【練習問題17】（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出。 【担当】高瀬・中村（茂）
14	提出された課題について評価 【授業方法】講義・演習・ディスカッション 【予習:60分】引用と剽窃に焦点化して確認を行い、最終原稿を確認する。 【復習:60分】相互評価に基づく最終校正。 【担当】高瀬・中村（茂）
15	提出された課題について評価・フィードバック 【授業方法】講義・演習 【予習:60分】発表を評価する際のポイントをリストアップしてくる。 【復習:60分】論文執筆の構想から発表までの活動を振り返るワークシートの記入。 【担当】高瀬・中村（茂）

先行履修科目

なし

テキスト

戸田山和久：論文の教室－レポートから論文まで。NHK出版、2012。

参考文献

小林康夫,大澤真幸：「知の技法」入門。河出書房新社、2014。
 岩崎美紀子：「知」の方法論－論文トレーニング。岩波書店、2013。
 Murray, R.：How to Write a Thesis. Open University Press, 2006。

評価方法

授業への参加度 30%、提出物 70%

教員等の実務経験

学会の学術雑誌の査読・編集活動、行政機関・研究機関の学術研究書等の執筆・翻訳・編集・監修・監訳活動、大学での倫理審査活動を経験している教員が講義をします。

メッセージ

15回の講義を通して、レポート、卒業論文、研究論文等の作成方法を教授します。どの様なものが良い書き方なのか、どこに注意して書くのかについて実践的に詳しく学べます。

プレゼンテーションスキルズⅠ

更新日：2021/02/25 16:37:18

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU108		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510700
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

看護者/保健医療専門家として、医療の対象者や連携すべき専門家の理解を得られるよう、明晰さと好しさを備えた説明・発表を行う基礎力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて日本語と資料を準備して発表することができる：具体的には、ある疑問に答えるための情報を収集して妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を行うことができる。
2	他者の発信に対し、有意義な反応をすることができる（批評を行うこと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。

授業計画

1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みおよび進行予定の確定 【授業方法】講義(AL) 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備 【復習:60分】コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みを説明できるようにする 【担当】中村
2	マインドマップを使用した小プレゼンテーション①とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備;①担当者は内省と分析 【復習:60分】マインドマップとは何かを説明できるようにする 【担当】中村
3	マインドマップを使用した小プレゼンテーション②とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備;②担当者は内省と分析 【復習:60分】マインドマップ作成方法を習得する 【担当】中村
4	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション③とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備;③担当者は内省と分析 【復習:60分】ブレインストーミングについて説明できるようにする【担当】中村
5	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション④とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備;④担当者は内省と分析 【復習:60分】ブレインストーミング方法を習得する 【担当】中村
6	P D C Aサイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション⑤とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備;⑤担当者は内省と分析 【復習:60分】P D C Aサイクルとほうれんそうについて説明できるようにする【担当】中村
7	P D C Aサイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション⑥とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備;⑥担当者は内省と分析 【復習:60分】P D C Aサイクル方法を習得する 【担当】中村
8	中間まとめ 良いプレゼンテーションの構成要素 【授業方法】演習（AL） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備;⑦担当者は内省と分析 【復習:60分】良いプレゼンテーションを行うにはどうすれば良いかを説明できるようにする 【担当】中村
9	PREPを使用した小プレゼンテーション⑦その批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】最終発表のための資料渉猟⑨の担当者は個人発表準備;⑧担当者は内省と分析 【復習:60分】PREPについて説明できるようにする 【担当】中村

10	PREPを使用した小プレゼンテーション⑧その批評 【授業方法】 演習（AL・発表） 【予習:60分】 最終発表のための資料渉猟⑩の担当者は個人発表準備;⑨担当者は内省と分析 【復習:60分】 PREP方法を習得する 【担当】 中村
11	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑨その批評 【授業方法】 講義、討議 【予習:60分】 最終発表のための資料渉猟⑪の担当者は個人発表準備;⑩担当者は内省と分析 【復習:60分】 文化人類学の問題を再確認する 【担当】 中村
12	B A F A B A F Aを使用した小プレゼンテーション⑩その批評 【授業方法】 演習（AL・発表） 【予習:60分】 最終発表のための資料渉猟⑫の担当者は個人発表準備;⑪担当者は内省と分析 【復習:60分】 B A F A B A F Aについて説明できるようにする 【担当】 中村
13	グループ発表とルーブリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価） 【授業方法】 演習（AL・発表） 【予習:60分】 最終発表のための資料渉猟⑬の担当者は個人発表準備;⑫担当者は内省と分析 【復習:60分】 グループ発表とルーブリックを使用した形成的評価について確認する 【担当】 中村
14	代表者発表会とルーブリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価） 【授業方法】 演習（AL・発表） 【予習:60分】 最終発表のための資料渉猟⑭の担当者は個人発表準備;⑬担当者は内省と分析 【復習:60分】 グループ発表とルーブリックを使用した形成的評価について説明できるようにする 【担当】 中村
15	フィードバック：本授業で学んだコミュニケーションに関する理論とその役割について確認し、今後に役立てるようにまとめ、フィードバックを行う。

先行履修科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントを配布する

参考文献

高瀬文広 他：日本語コミュニケーションⅠ.ぎょうせい，2003.
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック.成文堂,2018.

評価方法

授業への参加度30%、プレゼンテーション40%、グループ発表への貢献度30%

教員等の実務経験

メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。

プレゼンテーションスキルズⅡ

更新日：2021/02/25 16:09:26

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU301		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510800
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて適切な言語と十分な資料を使用して発表することができる：具体的には、ある課題に対する対処法や解決法の情報を収集して、妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用して自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を最大限に行うことができる。
2	他者の発信に対し、有意義な反応をすることができる（批評を行うことと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。

授業計画

1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのメカニズムおよび進行予定の確定 【授業方法】講義 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備 【復習:60分】コミュニケーションのメカニズムを説明できるようにする
2	P D C Aサイクルと「ほうれんそう」を使用した小プレゼンテーション①とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備;①担当者は内省と分析 【復習:60分】P D C Aサイクルとほうれん草について、説明できるようにする
3	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション②とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備;②担当者は内省と分析 【復習:60分】ブレインストーミングについて説明できるようにする
4	ディベートを使用した小プレゼンテーション③とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備;③担当者は内省と分析 【復習:60分】ディベート理論について説明できるようにする
5	ディベートを使用した小プレゼンテーション④とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備;④担当者は内省と分析 【復習:60分】ディベートの方法を習得する
6	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑤その批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備;⑤担当者は内省と分析 【復習:60分】文化人類学の問題について確認する
7	B A F A B A F Aを使用した小プレゼンテーション⑥その批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備;⑥担当者は内省と分析 【復習:60分】B A F A B A F Aについて説明できるようにする
8	フィードバック：本科目によって学修したコミュニケーションに関する理論と実践方法について、フィードバックする 【授業方法】演習（発表）とフィードバック 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備;⑦担当者は内省と分析 【復習:60分】コミュニケーションに関する理論と実践方法の確認

先行履修科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントを配布する

参考文献

高瀬文広 他：日本語コミュニケーションⅠ.ぎょうせい，2003.
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック.成文堂,2018.

評価方法

批評活動への参加度30%、プレゼンテーション40%、グループ発表への貢献度30%

教員等の実務経験

メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを学びます。

基礎力総合ゼミナールⅠ

更新日：2021/02/12 12:50:29

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	LHU105		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	510900
担当教員	柳井 圭子, 高瀬 文広, 中山 晃志, 木村 涼平, 倉岡 有美子, 原田 紀美枝, 苑田 裕樹, 西尾 美登里, 宇都宮 真由子, 橋本真貴子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考							

授業の目的

大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につける。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	生活環境を整え、継続して学修に取り組むことができる。
2	講義内容を理解し、要点をまとめることができる。
3	学習課題や疑問について、調べ、考え、自分の意見を述べるができる。
4	情報リテラシー（ICT)を活用した課題の議論に用いる文献・資料の検索・引用方法を知る。

授業計画

1	ガイダンス：大学での学びについて 【授業方法】講義：講師〇〇 【予習：30分】課題 【復習:60分】講義要約と関連する自己見解をレポートにまとめる ①レポート800字以内 ②第3回までに提出 【担当】柳井
2	キャリアデザイン（将来の目標設定について）1 【授業方法】講義・演習：マインドマップの作成 【予習:30分】自身の将来像について考える 【復習:60分】夢目標の検討・入力 【担当】高瀬
3	キャリアデザイン（将来の目標設定について）2 【授業方法】演習（ゼミ別）グループ討議：プレゼンテーションを行う。 【予習:60分】マインドマップ作成 発表準備 【復習:30分】マインドマップを文章化する 【担当】ゼミ担当
4	学修環境について（1）図書館の利用とルール 【授業方法】講義・演習：検索方法（学内・学外）、文献の活用と表記について学ぶ。 他者の文章を参考にする場合のルールについて 【予習:30分】図書館の概要と使用手続きについて 【復習:60分】レポート作成の倫理について小テスト 【担当】図書館司書（柳井）
5	レポート作成について（1） 【授業方法】演習（ゼミ別）：第1回の課題レポートのピアレビューを行う。 【予習:60分】提出した課題レポートの推敲（文献をつける） 【復習:60分】ピアレビューを終えてレポートの再考 【担当】ゼミ担当
6	学修環境について（2）：他者を知る 【授業方法】講義・演習：WIFYを用いて、他者理解を深め、そこからの学びについて検討する。 【予習:60分】課題 【復習:30分】レポート作成 レポート：1000字以内 期限：第8回講義日まで 【担当】守山（柳井）
7	学修環境について（3）：学生生活の点検評価 【授業方法】演習・グループ討議：安全な学生生活を送るため リスクと方策について検討する 【予習:30分】自己の学生生活を脅かすものを考える 【復習:60分】内容の整理をする 【担当】ゼミ担当
8	文献の探索体験と読み方について（1） 【授業方法】演習・グループ討議：テーマ（例：covid19等）に関連する文献を読んで内容を検討する 【予習:60分】文献探索を行い、検討する論文を要約する。 【復習:30分】グループ討議したことをフィードバックする。 【担当】ゼミ担当

9	文献の探索体験と読み方について（2） 【授業方法】 演習・グループ討議：実験レポートから読み解く 【予習:60分】 課題の実験レポートから得られることを検討する。 【復習:30分】 グループ討議したことをフィードバックする。 【担当】 ゼミ担当
10	体験的学修について：手の感覚から学ぶ（1） 【授業方法】 演習 【予習:30分】 課題 【復習:60分】 学びをまとめる 【担当】 守山 （柳井）
11	体験的学修について：手の感覚から学ぶ（2） 【授業方法】 グループ討議（ゼミ別） 【予習:30分】 発表準備 【復習：60分】 体験・討議をレポートにまとめる レポート 3枚以内 提出期限：12回目の授業日まで 【担当】 守山 （柳井）
12	学修方法について：点検評価 【授業方法】 グループ学習 【予習:60分】 PROG基礎力測定テスト用の対策と学修 【復習:30分】 PROG基礎力測定テストの確認 【担当】 ゼミ担当
13	ゼミ別課題提示（1） 【授業方法】 講義・グループ学習 【予習:30分】 ゼミ別課題提示 【復習:30分】 ゼミ別課題活動 【担当】 ゼミ担当
14	ゼミ別課題提示（2） 【授業方法】 講義・グループ討議 【予習:30分】 ゼミ別課題提示 【復習:30分】 ゼミ別課題活動 【担当】 ゼミ担当
15	フィードバック 【授業方法】 講義と15コマの授業のフィードバック 【予習:30分】 【復習:30分】 前期の振り返りおよび後期に向けての学修・生活にかかわる点検（ルーブリック評価） 【担当】 ゼミ担当

先行履修科目

なし

テキスト

適宜準備して指示する。

参考文献

評価方法

授業への参加度 40%、レポート課題 60%として、総合的に判断し評価する。

教員等の実務経験

メッセージ

少人数で行う演習を「ゼミナール」と呼びます。本科目では、担当教員別に分かれて行うゼミナール（以下「ゼミ別学習」）と全体での「合同学習」を組み合わせで行います。

ポータルと情報検索の基礎については、機器数の都合上、前半グループと後半グループに分かれて行います。合同学習は学年全体と複数のゼミで構成される場合があります。担当教員の指示に対応してください。

基礎力総合ゼミナールⅡ

更新日：2021/03/17 14:20:05

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU109		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	511000
担当教員	柳井 圭子, 高瀬 文広, 中山 晃志, 木村 涼平, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	必修/選択：必修科目 事業形態：演習						

授業の目的

大学生としての学修スキルを身につけるために、各種情報の検索、文献の読解、文章の作成、プレゼンテーション、ディスカッション等の各技能を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	他者の意見や文章を理解することができる。
2	情報リテラシー（ICT)を活用して、自分のテーマに関する適切な情報を収集することができる。
3	自分の考えをまとめ、明確に述べることができる。
4	建設的なディスカッションをすることができる。
5	自分の考えを他者にわかるように言語化し、レポートにすることができる。

授業計画

1	ガイダンス、前期の学修への取り組みと課題検討 【授業方法】グループ討議 前期の学修への取り組みについて自身の課題と方策についてピアレビューで課題を再確認にする。 【予習:60分】自身の内省をし課題を検討する 【復習：30分】再確認した課題と取組についてのレポート作成 400字程度 次回まで 【担当】ゼミ担当
2	話題提供①ー1 【授業方法】グループ討議：教員からの話題提供と課題（30分）について、ICTを用いて関係する資料、文献を探索しながら、課題について討議する。 【復習:30分】討議からの学びを文章化する 【担当】柳井
3	話題提供①ー2 【授業方法】グループ討議：メンバーを変えて、前回の学びを共有し、グループ内での意見集約を行なう 【復習:30分】再考した文章したものをサポート作成する 内容要約と私見を400字程度にまとめる（文献を必ずつける） 【担当】柳井
4	話題提供②ー1 【授業方法】グループ討議：教員からの話題提供と課題（30分）について、ICTを用いて関係する資料、文献を探索しながら、課題について討議する。 【復習:30分】討議からの学びを文章化する 【担当】宇都宮
5	話題提供②ー2 【授業方法】グループ討議：メンバーを変えて、前回の学びを共有し、グループ内での意見集約を行なう 【復習:30分】再考した文章したものをサポート作成する 内容要約と私見を400字程度にまとめる（文献を必ずつける） 【担当】宇都宮
6	話題提供③ー1 【授業方法】グループ討議：教員からの話題提供と課題（30分）について、ICTを用いて関係する資料、文献を探索しながら、課題について討議する。 【復習:30分】討議からの学びを文章化する 【担当】木村
7	話題提供③ー2 【授業方法】グループ討議：メンバーを変えて、前回の学びを共有し、グループ内での意見集約を行なう 【復習:30分】再考した文章したものをサポート作成する 内容要約と私見を400字程度にまとめる（文献を必ずつける） 【担当】木村
8	話題提供④ー1 【授業方法】グループ討議：教員からの話題提供と課題（30分）について、ICTを用いて関係する資料、文献を探索しながら、課題について討議する。 【復習:30分】討議からの学びを文章化する 【担当】中山

9	話題提供④ー2 【授業方法】 グループ討議：メンバーを変えて、前回の学びを共有し、グループ内での意見集約を行なう 【復習:30分】 再考した文章したものをサポート作成する 内容要約と私見を400字程度にまとめる（文献を必ずつける） 【担当】 中山
10	話題提供⑤ー1 【授業方法】 グループ討議：教員からの話題提供と課題（30分）について、ICTを用いて関係する資料、文献を探索しながら、課題について討議する。 【復習:30分】 討議からの学びを文章化する 【担当】 高瀬
11	話題提供⑤ー2 【授業方法】 グループ討議：メンバーを変えて、前回の学びを共有し、グループ内での意見集約を行なう 【復習:30分】 再考した文章したものをサポート作成する 内容要約と私見を400字程度にまとめる（文献を必ずつける） 【担当】 高瀬
12	話題提供⑥ー1：自分の話題について 【授業方法】 グループ討議：自身の話題を見つけ、プレゼンテーション 10分程度のものを作成するための準備を行う。 【復習:30分】 関係する資料探索 【担当】 ゼミ担当
13	話題提供⑥ー2：報告会（1）※2コマ続き 【授業方法】 グループ討議：報告とピアレビュー 【予習】 話題提供のプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 ゼミ担当
14	話題提供⑥ー3：報告会（2） 【授業方法】 グループ討議：報告とピアレビュー、コンペ 【復習】 話題提供のプレゼンテーションについて自己評価を行なう レポート作成 発表内容をレポート形式で文章化する。 レポート1200字程度（文献つける） 提出：日程後日明記 【担当】 ゼミ担当
15	フィードバック：ルーブリック評価、自己の課題への取り組みについての実践報告と新たな課題 【授業方法】 グループ討議：報告とピアレビュー 【予習】 ルーブリック評価をつける、第1回で記した課題の点検評価 【復習】 課題の共有化と情報交換、課題への取り組みを再確認する 【担当】 ゼミ担当

先行履修科目

なし

テキスト

適宜準備して指示する。

参考文献

評価方法

授業への参加度 50%、レポート・プレゼンテーション 50%

教員等の実務経験

メッセージ

前期に引き続き、本科目では、担当教員別に分かれて行うゼミナール（以下「ゼミ別学習」）と講義合同を組み合わせで行います。話題提供では各ゼミ担当者が、専門や体験から話題と取り組む課題を提起します。それについて資料や文献を用いて学修を進めていきます。話題提供者の話を要領よく、的を得てまとめ、自身の考えを表現する力を身に着けましょう。

人体の構造と機能 I

更新日：2021/02/02 09:33:33

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHU106		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	511100
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（消化器系）を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識：看護学を学ぶ上での本科目の意義、人体とは何か、恒常性とは何か 【授業方法】講義 【予習】60分 人体の成り立ち、人体構造の階層性と人体を構成する系、恒常性について 【復習】60分 講義で出てきたキーワード（解剖学用語）を整理する。
2	細胞の世界：細胞膜の機能（細胞内器官と膜の持つ意義：生物の生存機能の根源にかかわること） 【授業方法】講義 【予習】60分 細胞内器官と膜の持つ意義について 【復習】60分 細胞の概観、細胞膜の機能について整理する。
3	栄養素、ATPとエネルギー代謝（ミトコンドリアの構造と機能、電子伝達系） 【授業方法】講義 【予習】60分 ミトコンドリアの構造と機能、電子伝達系 【復習】60分 栄養素、ATPとエネルギー代謝について整理する。
4	各栄養素（糖、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル）の持つ機能 【授業方法】講義 【予習】60分 栄養と代謝 【復習】60分 各栄養素の持つ機能について整理する。
5	組織と膜：結合組織、神経組織、筋組織、上皮組織の特徴（身体の保護、物質の吸収・濾過・分泌、組織の障害と修復）とその機能 【授業方法】講義 【予習】60分 上皮組織の構造と機能 【復習】60分 上皮組織の持つ特徴とその機能について整理する。
6	皮膚の構造と機能：臓器としての皮膚、生体を守るための皮膚の機能 【授業方法】講義 【予習】60分 皮膚の構造と機能 【復習】60分 臓器としての皮膚の構造と機能について整理する。
7	体温：体温とは何か、測定部位、測定方法、体温調節のメカニズム 【授業方法】講義 【予習】60分 体温の意味とその測定方法 【復習】60分 体温の意味とその測定方法について整理する。

8	消化器系の構造：口腔から肛門までの管腔としての構造（体内でありながら体外としての構造、上皮と分泌） 【授業方法】講義 【予習】60分 消化器系の構造 【復習】60分 消化器系、上皮と分泌について整理する。
9	胃、小腸の機能：胃、小腸での消化酵素、消化管ホルモンの分泌 【授業方法】講義 【予習】60分 消化器の機能 【復習】60分 消化酵素や消化管ホルモンについて整理する。
10	大腸の機能：大腸での消化と吸収のメカニズム、排便のメカニズム 【授業方法】講義 【予習】60分 大腸の消化機能、排便機序 【復習】60分 大腸の消化機能、排便機序について整理する。
11	肝臓の構造と機能：血管系（門脈など）の特徴、種々の代謝にかかわる重要臓器 【授業方法】講義 【予習】60分 肝臓の構造と機能 【復習】60分 肝臓の構造と機能について整理する。
12	胆嚢の構造と機能：ビリルビン代謝、胆汁排泄と胆汁が果たす役割 【授業方法】講義 【予習】60分 胆嚢の構造と機能 【復習】60分 胆嚢の構造と機能について整理する。
13	膵臓の構造と機能（消化のための外分泌：消化酵素の分泌とそれを調節する消化管ホルモン） 【授業方法】講義 【予習】60分 膵臓の構造と機能 【復習】60分 消化酵素とそれを調節する消化管ホルモンについて整理する。
14	栄養素から見た消化と吸収（消化器系の構造と機能の理解を踏まえた栄養素の面から見た消化と吸収） 【授業方法】講義 【予習】60分 消化管の構造と機能、栄養の代謝 【復習】60分 栄養代謝と消化管の関係を整理する。
15	フィードバック：細胞、組織、外皮系、消化器系について肉眼的、組織学的にまとめる。 【授業方法】講義 【予習】60分 細胞、組織、外皮系、消化器系の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

先行履修科目

なし

テキスト

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版, 2020.

参考文献

Richard, L.D. et al：Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学（原著第3版）. エルゼビア・ジャパン, 2016.
Kim, E.B. et al：Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学（原著25版）. 丸善, 2017.
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

評価方法

定期試験80％ 小テスト20％

教員等の実務経験

医学部で人体解剖学を専攻していた教員が、その経験を踏まえ講義します。

メッセージ

人体の構造と機能 II

更新日：2021/02/02 09:32:42

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHU107		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	511200
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（循環器系・呼吸器系）を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	心臓の立体構造：心臓の4つの部屋と4つの弁 【授業方法】講義 【予習】60分 心臓の構造 【復習】60分 心臓の立体構造と内部構造について整理する。
2	血液の流れ：体循環、肺循環、冠状動脈 【授業方法】講義 【予習】60分 体循環、肺循環、冠状動脈の構造と機能 【復習】60分 体循環と肺循環、冠状動脈の構造と機能について整理する。
3	刺激伝導系、心収縮のメカニズム、心電図 【授業方法】講義 【予習】60分 刺激伝導系と心収縮のメカニズム、心電図 【復習】60分 刺激伝導系と心収縮のメカニズム、心電図について整理する。
4	ポンプ機能としての心臓：心周期と心内圧 【授業方法】講義 【予習】60分 心周期と心内圧 【復習】60分 心臓のポンプ機能と心周期、心内圧について整理する。
5	心負荷と心不全の関係及びそれを調節する神経・ホルモンについて 【授業方法】講義 【予習】60分 心負荷と心不全、これらを調節する神経・ホルモン 【復習】60分 心負荷と心不全について整理する。
6	血液循環（血液はどのように流れるか）：動静脈の名称 【授業方法】講義 【予習】60分 動静脈の名称 【復習】60分 動静脈の名称について整理する。
7	特殊な循環：頭部、門脈、胎児 【授業方法】講義 【予習】60分 ウィリス動脈輪、門脈、胎児の循環 【復習】60分 ウィリス動脈輪、門脈、胎児の循環について整理する。

8	血管の特性と血圧発生のメカニズム、その調節機構 【授業方法】講義 【予習】60分 血管の特性と血圧発生のメカニズム、その調節機構 【復習】60分 血管の特性と血圧発生のメカニズム、その調節機構について整理する。
9	毛細血管における物質交換（特に体液調節への関与） 【授業方法】講義 【予習】60分 毛細血管における物質交換機能 【復習】60分 毛細血管における物質交換機能について整理する。
10	呼吸器の構造（上気道と下気道） 【授業方法】講義 【予習】60分 呼吸器の構造 【復習】60分 呼吸器の構造について整理する。
11	肺の構造と機能 【授業方法】講義 【予習】60分 肺の構造と機能 【復習】60分 肺の構造と機能について整理する。
12	肺が膨らむメカニズム：胸郭と横隔膜---ボイル・シャルルの法則、呼吸運動（大気中の酸素を体内に取り込む機序：対流・拡散による換気） 【授業方法】講義 【予習】60分 肺が膨らむメカニズム 【復習】60分 肺が膨らむメカニズムについて整理する。
13	肺、末梢組織でのガス交換（酸素と二酸化炭素）：分圧の法則 【授業方法】講義 【予習】60分 肺、末梢組織でのガス交換、分圧の法則 【復習】60分 肺、末梢組織でのガス交換、分圧の法則について整理する。
14	換気血流比、肺気量 【授業方法】講義 【予習】60分 換気血流比、肺気量 【復習】60分 換気血流比、肺気量について整理する。
15	フィードバック：循環器・呼吸器の構造のまとめ 【授業方法】講義 【予習】60分 循環器・呼吸器の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

先行履修科目

なし

テキスト

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版, 2020.

参考文献

Richard, L.D. et al : Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学（原著第3版）. エルゼビア・ジャパン, 2016.
Kim, E.B. et al : Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学（原著25版）. 丸善, 2017.
Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

評価方法

定期試験80％ 小テスト20％

教員等の実務経験

医学部で人体解剖学を専攻していた教員が、その経験を踏まえ講義します。

メッセージ

人体の構造と機能III

更新日：2021/02/02 09:33:59

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU112		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	511300
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（神経系・運動器系・感覚器系）を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	骨格系とは（体の支持、臓器の保護という面から見た構造、カルシウム代謝や血球産生という面から見た顕微鏡的構造と骨の成長メカニズム） 【授業方法】講義 【予習】60分 肉眼的骨格系の機能と組織学的特徴 【復習】60分 肉眼的骨格系の機能と組織学的特徴について整理する。
2	骨格の名称：頭部、中軸（脊椎、骨盤）、上肢、下肢 【授業方法】講義 【予習】60分 頭部、中軸（脊椎、骨盤）、上肢、下肢の骨格の構造と機能 【復習】60分 頭部、中軸（脊椎、骨盤）、上肢、下肢の骨格の構造と機能について整理する。
3	関節の構造と関節運動 【授業方法】講義 【予習】60分 関節の構造と機能 【復習】60分 関節の構造と機能について整理する。
4	筋肉の組織（筋線維）と筋収縮のメカニズム（滑走説、収縮の調節）、筋肉の萎縮と肥大 【授業方法】講義 【予習】60分 筋肉の組織（筋線維）と筋収縮のメカニズム 【復習】60分 筋肉の組織（筋線維）と筋収縮のメカニズムについて整理する。
5	頭部、体幹、上肢、下肢の骨格筋（運動、主動筋、拮抗筋と関連付けて） 【授業方法】講義 【予習】60分 各部の骨格筋の名称とその働き 【復習】60分 各部の骨格筋の名称とその働きについて整理する。
6	神経系の構造（区分）と神経細胞、神経膠細胞 【授業方法】講義 【予習】60分 神経系の構造（区分）と神経細胞、神経膠細胞の特徴 【復習】60分 神経系の構造（区分）と神経細胞、神経膠細胞の特徴について整理する。
7	神経での情報伝達の方法：効率よい情報伝達の方法（イオンの動き、跳躍伝導、シナプス） 【授業方法】講義 【予習】60分 神経での情報伝達の方法 【復習】60分 神経での情報伝達の方法について整理する。

8	大脳の構造と局所機能、大脳と大脳基底核との関係 【授業方法】講義 【予習】60分 大脳の構造と局所機能 【復習】60分 大脳の構造と局所機能について整理する。
9	間脳、脳幹部、小脳の構造と機能、中枢神経系の保護機構 【授業方法】講義 【予習】60分 間脳、脳幹部、小脳の構造と機能 【復習】60分 間脳、脳幹部、小脳の構造と機能について整理する。
10	大脳の上位機能（感覚、運動、思考と記憶） 【授業方法】講義 【予習】60分 感覚、運動、思考と記憶を司る脳の機能 【復習】60分 感覚、運動、思考と記憶を司る脳の機能について整理する。
11	末梢神経：脳神経（12脳神経の機能） 【授業方法】講義 【予習】60分 脳神経の名称と機能 【復習】60分 脳神経の名称と機能について整理する。
12	脊髄と脊髄神経：脊髄の構成と末梢神経（情報伝達路）の名称と機能、骨格筋の運動との関連 【授業方法】講義 【予習】60分 脊髄神経とそれぞれの機能 【復習】60分 脊髄神経とそれぞれの機能について整理する。
13	自律神経による内臓機能の調節（交感神経・副交感神経：アクセルとブレーキ） 【授業方法】講義 【予習】60分 自律神経の働き 【復習】60分 自律神経の働きについて整理する。
14	体性感覚・特殊感覚（脳神経の機能とともに理解する）：触覚・嗅覚・味覚・視覚・聴覚の構造と機能 【授業方法】講義 【予習】60分 触覚・嗅覚・味覚・視覚・聴覚の構造と機能 【復習】60分 触覚・嗅覚・味覚・視覚・聴覚の構造と機能について整理する。
15	神経・運動器系、感覚器系を統合的に理解するためのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分 筋骨格系、神経系、感覚器系の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

先行履修科目

なし

テキスト

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版, 2020.

参考文献

Richard, L.D. et al：Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学（原著第3版）. エルゼビア・ジャパン, 2016.
Kim, E.B. et al：Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学（原著25版）. 丸善, 2017.
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

評価方法

定期試験80％ 小テスト20％

教員等の実務経験

医学部で人体解剖学を専攻していた教員が、その経験を踏まえ講義します。

メッセージ

人体の構造と機能Ⅳ

更新日：2021/02/02 09:34:16

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU113		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	511400
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（血液系・内分泌系・腎泌尿器系）を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	血液の成分とその機能（酸素を運ぶ赤血球、感染防止の白血球、止血を行う血小板） 【授業方法】講義 【予習】60分 血液の成分とその機能 【復習】60分 血液の成分とその機能について整理する。
2	止血機構：凝固因子と線溶系（出血は固まってその後溶ける）、血液型と血液型不適合 【授業方法】講義 【予習】60分 凝固因子と線溶系のメカニズム、血液型と適合異常 【復習】60分 凝固因子と線溶系のメカニズム、血液型と適合異常について整理する。
3	血液型（ABO式血液型、不規則抗体、クロスマッチテスト） 【授業方法】講義 【予習】60分 血球、血漿の構造と機能 【復習】60分 血球、血漿の構造と機能について整理する。
4	生体防御機能：血球（免疫とは何か、白血球機能、自己を攻撃する疾患） 【授業方法】講義 【予習】60分 免疫のメカニズム 【復習】60分 免疫のメカニズムについて整理する。
5	生体防御機構：免疫システム（免疫機構、非特異的防御機構・特異的防御機構） 【授業方法】講義 【予習】60分 免疫機構 【復習】60分 免疫機構について整理する。
6	内分泌系による内臓機能の調節（体の中のフィードバックシステムの妙） 【授業方法】講義 【予習】60分 フィードバックシステム 【復習】60分 フィードバックシステムについて整理する。
7	視床下部と脳下垂体（ホルモン分泌の調整役、神経内分泌とは？） 【授業方法】講義 【予習】60分 視床下部と脳下垂体の関係 【復習】60分 視床下部と脳下垂体の関係について整理する。

8	甲状腺の構造と機能：代謝調整役としてのホルモン 【授業方法】講義 【予習】60分 甲状腺の構造と機能 【復習】60分 甲状腺の構造と機能について整理する。
9	カルシウム代謝（カルシトニンとパラソルモン、ビタミンDによるカルシウム濃度の調節） 【授業方法】講義 【予習】60分 カルシウム代謝機構 【復習】60分 カルシウム代謝機構とその意味について整理する。
10	副腎の構造と機能：髄質と皮質それぞれから分泌されるホルモンとは？、副腎髄質からのカテコールアミン分泌（交感神経機能と関連付けて） 【授業方法】講義 【予習】60分 副腎髄質と皮質のホルモンの機能 【復習】60分 副腎髄質と皮質のホルモンの機能の違いについて整理する。
11	副腎皮質から分泌される2つのホルモン（コルチゾール（グルココルチコイド）とアルドステロン（ミネラルコルチコイド）の役割） 【授業方法】講義 【予習】60分 グルココルチコイドとミネラルコルチコイドの役割とその違い 【復習】60分 グルココルチコイドとミネラルコルチコイドの役割とその違いについて整理する。
12	血糖値のコントロール（インスリンの作用メカニズム：それぞれのホルモンの過剰症と欠乏症） 【授業方法】講義 【予習】60分 血糖値の調節 【復習】60分 血糖値の調節について整理する。
13	腎臓の肉眼的構造と組織構造 【授業方法】講義 【予習】60分 腎臓の肉眼的構造と組織構造、糸球体と傍糸球体装置 【復習】60分 腎臓の肉眼的構造と組織構造、糸球体と傍糸球体装置について整理する。
14	糸球体（尿産生する機能）と傍糸球体装置（尿量や血圧の調節：緻密斑と顆粒細胞、尿細管糸球体フィードバック、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系） 【授業方法】講義 【予習】60分 糸球体と傍糸球体装置の機能 【復習】60分 糸球体と傍糸球体装置の機能について整理する。
15	尿細管による尿量・電解質調節 【授業方法】講義 【予習】60分 尿細管の構造と尿量・電解質調節 【復習】60分 尿細管の構造と尿量・電解質調節について整理する。
16	腎機能の評価：糸球体濾過、クリアランス 【授業方法】講義 【予習】60分 糸球体濾過、クリアランスの考え方 【復習】60分 糸球体濾過、クリアランスについて整理する。
17	排尿路（尿管、膀胱、尿道、尿の性状） 【授業方法】講義 【予習】60分 排尿路の構造と機能、尿の性状 【復習】60分 排尿路の構造と機能、尿の性状について整理する。
18	体液の調節、酸塩基平衡（体液の組成と電解質異常、体内のpHは調整メカニズムと呼吸と腎臓の役割） 【授業方法】講義 【予習】60分 体液調節機構、酸塩基平衡 【復習】60分 体液調節機構、酸塩基平衡について整理する。

19	男性の外生殖器と内生殖器の構造と内分泌的な機能 【授業方法】 講義 【予習】 60分 男性生殖器の構造と機能 【復習】 60分 男性生殖器の構造と機能について整理する。
20	女性の外生殖器と内生殖器の構造と受精するための内分泌的・構造的変化 【授業方法】 講義 【予習】 60分 女性生殖器の構造と機能 【復習】 60分 女性生殖器の構造と機能について整理する。
21	受精と発生（受精のシステムと胎児の発達、妊娠による母親の変化：子どもを育てるための構造と内分泌変化） 【授業方法】 講義 【予習】 60分 受精と発生 【復習】 60分 受精と発生について整理する。
22	加齢に伴う構造と機能の変化 【授業方法】 講義 【予習】 60分 加齢に伴う器官系の変化 【復習】 60分 加齢に伴う器官系の変化について整理する。
23	フィードバック：血液系・内分泌系・腎泌尿器系 【授業方法】 講義 【予習】 60分 血液系、泌尿器系、生殖器系の構造と機能 【復習】 60分 小テストの内容整理

先行履修科目

なし

テキスト

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

参考文献

Richard, L.D. et al：Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学（原著第3版）．エルゼビア・ジャパン，2016．
Kim, E.B. et al：Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学（原著25版）．丸善，2017．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017．

評価方法

定期試験80％ 小テスト20％

教員等の実務経験

医学部で人体解剖学を専攻していた教員が、その経験を踏まえ講義します。

メッセージ

生化学

更新日：2021/03/15 18:32:32

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU111		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	511500
担当教員	田中 紀之						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

授業の目的

基本的な化学現象について理解を深め、生体成分の化学性状と物質・エネルギー代謝について理解する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自分の身体の構成成分である化学物質の構造と性状を説明できる。
2	生体内で生じている代謝について記述できる。
3	栄養の生化学、病気の生化学的観点を持てる。

授業計画

1	イントロダクション（講義のスタンス、授業目的の明示と授業内容の概説） 【授業方法】講義 【予習】90分：高校の化学，生物の教科書で，炭水化物，脂質(油脂)，タンパク質，代謝について復習しておく 【復習】90分：講義内容を踏まえ，再度（予習）の内容の学習を行う 【担当】田中
2	糖質の化学 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-1に目を通しておく 【復習】40分：教科書本文および講義内容を理解し，定着させる 【担当】田中
3	脂質の化学 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-2に目を通しておく 【復習】40分：同上 【担当】田中
4	アミノ酸・タンパク質の化学 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-3に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
5	ビタミン 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-5に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
6	糖質の代謝 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第5章-1,2に目を通しておく 【復習】90分：同上 【担当】田中
7	脂質の代謝 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第5章-3に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
8	これまでのまとめとフィードバック：アミノ酸・タンパク質の代謝 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第5章-4に目を通しておく 【復習】同上 【課題】180分：レポート提出のため，講義内容の重要ポイントを「理解」しておく 【担当】田中

先行履修科目

なし

テキスト

関周司 編著：生化学 第4版．三共出版，2020．

参考文献

- ①Voet D.他：Biochemistry. （第4版）
- ②田宮信雄他訳：ヴォート：生化学．東京化学同人，上(2012) ，下(2013)

評価方法

出席で受験資格を得た学生について試験で評価（100%）します。
通常授業に関連する評価は、可否の最終判断の際に参考とします。
再試験は行いません。

教員等の実務経験

メッセージ

○パワーポイントを使用して講義しますが，教科書の該当箇所にそって進行しますので，教科書の予習復習が重要です。

☆自然科学の学習では，内容を「理解」することが最も重要です。勉強というのはおぼえることだ，と思っている人はその考えを「一掃」し，授業中は，講義内容を「理解」することに集中して下さい。おぼえる必要はありません。

遺伝学

更新日：2021/02/10 15:46:57

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHU110		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	511600
担当教員	西野 秀昭						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

遺伝性疾患を理解するために必要な遺伝学の基礎知識を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	遺伝子とDNAの関係を理解できる。
2	染色体の分類と主な染色体異常症の症状を理解できる。
3	遺伝病の発症メカニズム（遺伝形式など）と代表的疾患を理解できる。
4	生活習慣病などを含む疾患の遺伝学的意義について理解できる。
5	遺伝カウンセリングでの留意点を理解できる。
6	正確に家系図を書くことができる。

授業計画

1	人体の成り立ちと遺伝情報 私たちのからだとゲノム 【詳細】 ・私たちのからだ：細胞とタンパク質 ・生命の設計図：ゲノム ・遺伝子発現と私たちのからだー受精から器官形成の過程 ・ゲノムのもう一つの媒体（伝達手段）ーミトコンドリアDNA 【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter1を熟読 【復習】45分：細胞の構造を説明できる、ゲノムの構造と染色体と遺伝子の関係性を説明できる、受精から器官形成の過程について説明できることを確認 【担当】西野
2	人体の成り立ちと遺伝情報 多様性・継承性とゲノム 【詳細】 ・ゲノムの多様性 ・細胞から細胞への継承：細胞分裂ー体細胞分裂と減数分裂 ・遺伝子継承の規則：メンデルの法則 【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter2を熟読 【復習】45分：ゲノムの多様性にもとづく個人の多様性について概説でき、細胞周期と細胞分裂を説明でき、遺伝の基本的機序を説明できることを確認 【担当】西野
3	疾病の成り立ちと遺伝情報 疾病の成り立ちとゲノムー遺伝性疾患 【詳細】 ・遺伝性疾患 ・病的変異ー生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い ・がん遺伝子変異 ・遺伝学的検査（生殖細胞系列遺伝子検査）と体細胞遺伝子検査ー検体の選択 ・ゲノム解析の手法ー解析する大きさ 【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter3を熟読 【復習】45分：主な遺伝性疾患を分類でき、生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、がんの原因や遺伝子変化を説明でき、遺伝学的検査や体細胞遺伝子検査の目的と適用を説明できることを確認 【担当】西野

4	疾病の成り立ちと遺伝情報 家族歴と家系図 【授業方法】 講義 【詳細】 ・ 遺伝性疾患の特徴－表現型と家族集積性 ・ 近親度：家系内での遺伝情報共有割合 ・ 家族歴 ・ 家系図 ・ 家族歴からの家系図の作成と評価 【予習】 45分：テキストChapter4を熟読 【復習】 45分：家族歴を聴取し、家系図を作成、評価でき、遺伝性疾患における未発症者、保因者の位置づけを説明できることを確認 【担当】 西野
5	疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患①1遺伝子レベルの変化が関わる疾病－単一遺伝子疾患 【詳細】 ・ 単一遺伝子（メンデル遺伝）疾患， ・ メンデルの法則に則る継承のタイプ－遺伝形式， ・ 家系内での評価－再発率・再発リスク， ・ 未発症者と保因者 【授業方法】 講義 【予習】 45分：テキストChapter5を熟読 【復習】 45分：主な遺伝性疾患（単一遺伝子疾患）を説明でき、代表的な疾患を列挙できることを確認 【担当】 西野
6	疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患② 遺伝要因と環境要因が関わる疾病 【詳細】 ・ 疾病の原因－遺伝要因と環境要因 ・ 多因子遺伝疾患－疾患易罹患性（病気のなり易さ） ・ 胎児の発育に影響する疾患 ・ 先天性疾患 ・ ミトコンドリア病 【授業方法】 講義 【予習】 45分：テキストChapter6を熟読 【復習】 45分：疾病や障害の遺伝要因と環境要因について説明でき、主な多因子遺伝疾患を列挙でき、遺伝的多様性をふまえたうえで、環境と健康・生活との関連について説明できることを確認 【担当】 西野
7	疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患③ 染色体レベルの変化が関わる疾病－染色体異常症 【詳細】 ・ 染色体異常 ・ がんにおける染色体異常 ・ 染色体検査 【授業方法】 講義 【予習】 45分：テキストChapter7を熟読 【復習】 45分：主な遺伝性疾患（染色体異常）を説明でき、代表的な疾患を列挙でき、染色体検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できることを確認 【担当】 西野
8	疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝医療・ゲノム医療 これまでのまとめとフィードバック 【詳細】 ・ 遺伝性疾患に対する医療の特徴－遺伝医療 ・ 遺伝医療に関わる社会資源 ・ 遺伝カウンセリング ・ 遺伝医療からゲノム医療へ ・ ゲノム医療における看護職の役割 【授業方法】 講義 【予習】 45分：テキストChapter8を熟読 【復習】 45分：遺伝医療・ゲノム医療の特性を説明でき、遺伝・ゲノム医療において関係機関・職種と連携する重要性を説明でき、遺伝性疾患に関わる社会資源を概説でき、薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説でき、遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できることを確認 【担当】 西野

先行履修科目

なし

テキスト

中込さと子，西垣昌和，渡邊淳：基礎から学ぶ遺伝看護学「継承性」と「多様性」の看護学．羊土社，2019．

参考文献

必要に応じて紹介

評価方法

期末の筆記試験により評価（100％）します。

教員等の実務経験

科目担当者は、遺伝学の授業を長年担当してきた。医学部の基礎講座等において遺伝子工学的手法を駆使した研究に従事し、臨床医との共同研究の実績も有する。

メッセージ

生物

更新日：2021/03/10 15:52:27

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN101		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520100
担当教員	野黒美 俊介						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

高校までの生物をもとに、人の生命を維持する機能の基礎知識を理解する。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	細胞の構造・細胞膜の構造について理解できる。
2	ATPとその生合成の過程・代謝について理解できる。
3	遺伝子とその発現について理解できる。
4	動物の反応と行動（神経・筋肉）について理解できる。

授業計画

1	細胞の構造と機能（1）細胞の構造とはたらき 【授業方法】講義 【予習】30分：第1章A, B, Eの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
2	細胞の構造と機能（2）生体膜の構造と機能 【授業方法】講義 【予習】30分：第1章C, Dの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
3	代謝（1）代謝とエネルギー 【授業方法】講義 【予習】30分：第2章Aの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
4	代謝（2）呼吸と発酵 【授業方法】講義 【予習】30分：第2章Bの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
5	遺伝情報の発現（1）転写と翻訳 【授業方法】講義 【予習】30分：第4章B, D, Eの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
6	遺伝情報の発現（2）バイオテクノロジー 【授業方法】講義 【予習】30分：第4章F, G, Iの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
7	動物の行動と反応（1）ニューロンとその興奮 【授業方法】講義 【予習】30分：第7章A, Cの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
8	動物の行動と反応（2）筋肉の構造と収縮、これまでのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：第7章D, Eの部分を読む 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美

先行履修科目

なし

テキスト

高畑 雅一 他：生物学 第10版.医学書院,1019.

参考文献

評価方法

テスト50%、参加度50%

教員等の実務経験

大手予備校から医進系の中小予備校まで，大学受験生物の指導を専門とした授業をしています。高校生物の範囲に絞った授業を行っていきますので，大学での専門的な生物の学習に入る前の準備として，この授業で生物の基本を身に付けてください。

メッセージ

化学

更新日：2020/11/30 10:53:44

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN102		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520200
担当教員	富永 剛史						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

原子の性質や化学結合、分子構造といった化学の基本的概念を理解する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	物質の性質や変化をもとに、原子の構造や化学結合、化学変化等の基礎知識を理解できる。
2	中和反応や酸化還元反応などの基本的な化学反応について理解できる。

授業計画

1	原子の構造(1) 【授業方法】講義 【授業内容】・原子の構造・同位体・電子配置 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
2	原子の構造(2) 【授業方法】講義 【授業内容】・イオン・電気陰性度 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
3	化学結合 【授業方法】講義 【授業内容】・原子間の結合・化学結合とその結晶 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
4	物質量と化学反応式 【授業方法】講義 【授業内容】・物質量・化学反応式・溶液の濃度 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
5	酸や塩基，中和反応(1) 【授業方法】講義 【授業内容】・酸や塩基の定義・中和反応 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
6	酸と塩基，中和反応(2) 【授業方法】講義 【授業内容】塩の性質と反応 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
7	酸化還元反応(1) 【授業方法】講義 【授業内容】・酸化や還元の定義・酸化剤や還元剤 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
8	酸化還元反応(2) これまでのまとめとフィードバック 【授業方法】講義 【授業内容】酸化還元反応 【復習】90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永

先行履修科目

なし

テキスト

授業内容に関するプリントを配布します。

参考文献

参考文献は適宜紹介します。また，高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にして欲しいと思います。

評価方法

筆記試験(100%)

教員等の実務経験

メッセージ

物理

更新日：2021/02/25 16:16:00

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN103		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520300
担当教員	広瀬 皇子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義						

授業の目的

保健医療専門職に就くものの教養として、身近な物理現象の基礎知識を理解する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	力、力のモーメント、圧力等单位の表現の違いを理解し、医療機器に対応できる知識を身につける。
2	放射線による人体への影響などが理解できる。

授業計画

1	重いものを持つにはどうしたらよいか（力のモーメント、てこの原理の人体への応用、筋肉の張力と関節に働く力の大きさ） 【授業方法】講義 【復習】120分：単位を理解することにより、内容の意味を掴むことができる。 【担当】広瀬
2	看護ボディメカニクスの物理 【授業方法】講義 【復習】120分：身近なところで『力のモーメント』が応用されている。その例と計算問題演習により理解度を深める。 【担当】広瀬
3	身近な圧力（圧力、気圧、入浴とベッドの水圧効果） 【授業方法】講義 【復習】120分：トリチェリーの実験から、圧力の単位の表現の理解を図る。 【担当】広瀬
4	呼吸器と吸引の物理（吸引） 【授業方法】講義 【復習】120分：ボイル・シャルルの法則に関する演習問題により、より一層視野を広める。 【担当】広瀬
5	点滴のメカニズムカニズム 【授業方法】講義 【復習】60分：圧力に関する問題演習、点滴による諸注意事項などの理解を深める。 【担当】広瀬
6	循環器の物理（ポンプとしての心臓、血液循環と血圧） 【授業方法】講義 【復習】120分：血圧の測定とマンシェットの関係を理解する。 【担当】広瀬
7	血流とオームの法則、レンズによる像 【授業方法】講義 【復習】120分：オームの法則の理解とレンズによる作図、実像と虚像の意味を理解する。 【担当】広瀬
8	放射線の特性、これまでのまとめとフィードバック 【授業方法】講義 【復習】120分：目に見えないものの怖さ、放射線とはどのようなものなのか、放射性物質の取り扱いなどの理解を図る。 【担当】広瀬

先行履修科目

なし

テキスト

佐藤和良：看護学生のための物理学 第4版．医学書院，2008．

参考文献

数研出版編集部：もういちど読む数研の高校物理．数研出版，2012．
文英堂編集部：高校 これでわかる 物理基礎．文英堂，2013

評価方法

筆記試験(100%)

教員等の実務経験

メッセージ

生物／化学（ヒトの生命現象）

更新日：2021/03/17 08:40:24

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LEN106		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520400
担当教員	野黒美 俊介, 富永 剛史						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

授業の目的

人の生命現象を科学的に理解するうえで必要となる生物学、化学の標準的な知識を習得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	【生物】 1) タンパク質のはたらきについて理解できる。
2	【生物】 2) 代謝（同化と異化）について理解できる。
3	【生物】 3) 遺伝子の発現と分配について理解できる。
4	【生物】 4) 動物の反応と行動（神経・受容器・効果器）について理解できる。
5	【化学】 気体や溶液の性質に関する基礎知識を理解できる。
6	【化学】 酸や塩基に関する基礎知識を理解できる。
7	【化学】 有機化合物に関する基礎知識を理解できる。

授業計画

1	【生物】 1回 細胞の構造と機能 （1）細胞・生体膜・免疫 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書 第1章A, B, Eの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
2	【生物】 2回 細胞の構造と機能（2）タンパク質・酵素 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書第1章C, Dの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
3	【生物】 3回 代謝（1）ATP・解糖系・呼吸 【授業方法】 講義 【予習】 30分：第2章Aの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
4	【生物】 4回 代謝（2）炭酸同化・窒素同化 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書 第2章Bの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
5	【生物】 5回 遺伝情報の発現 複製・転写・翻訳 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書 第4章B, D, Eの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
6	【生物】 6回 遺伝情報の分配 生殖・遺伝のしくみ 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書第4章F, G, Iの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
7	【生物】 7回 動物の反応と行動（1）神経・筋肉 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書 第7章A, Cの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美
8	【生物】 8回 動物の行動と反応（2）筋肉の構造と収縮、これまでのフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書 8第7章D, Eの部分を読む 【復習】 60分：授業の復習と復習問題に取り組む 【担当】 野黒美

9	【化学】1回 物質の三態と気体の法則・物質の三態変化・気体の法則 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
10	【化学】2回 溶液の性質・希薄溶液の性質・浸透圧・溶液とコロイド 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
11	【化学】3回 酸と塩基，中和反応・酸や塩基の定義・中和反応・水素イオン濃度 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
12	【化学】4回 有機化合物(1)・有機化合物の基礎・脂肪族炭化水素・脂肪族化合物(アルコール，アルデヒド，ケトン) 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
13	【化学】5回 有機化合物(2)・脂肪族化合物(カルボン酸，エステル)・芳香族炭化水素 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
14	【化学】6回 有機化合物(3)・芳香族化合物 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
15	【化学】7回 生命の化学(1)・糖質・脂質・核酸 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
16	【化学】8回 生命の化学(2)・タンパク質(フィードバック) 【授業方法】 講義 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永

先行履修科目

なし

テキスト

高畑 雅一 他：生物学 第10版.医学書院,1019.

参考文献

【生物】 なし

【化学】参考文献は適宜紹介します。また，高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にして欲しいと思います。

評価方法

筆記試験(100%)

教員等の実務経験

メッセージ

社会学

更新日：2021/03/01 12:55:06

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	LEN107		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520500
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

授業の目的

社会学の基本的な考え方、概念、方法について学び、人間の行動や、人と人の関係性を社会的に理解できる。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	人間が社会的存在であるとは何かとしての個人とは何かを考えることができる。
2	個人と社会との相互作用の諸相を理解することができる。
3	個人（自分）を取り巻く今日的課題の多様性を把握することができる。

授業計画

1	科学としての社会学 【授業方法】講義 【復習】100分：第1回目の講義をもとにして社会学の学問的位置づけを理解する。
2	個人を取り巻く現代的課題(1) 【授業方法】講義 【予習】60分：現代社会における特徴を調べる。 【復習】60分：社会に暮らす人々に関する事象を再確認する。
3	個人を取り巻く現代的課題(2) 【授業方法】講義 【予習】60分：現代社会における特徴を調べる。 【復習】60分：社会に暮らす人々に関する事象を再確認する。
4	グローバル化とローカル化の意味(1) 【授業方法】講義 【予習】60分：グローバル化・ローカル化にかかわる概念を調べる。 【復習】60分：グローバル化・ローカル化の事象を整理する。
5	グローバル化とローカル化の意味(2) 授業方法】講義 【予習】60分：グローバル化・ローカル化に関する他の事象を調べる。 【復習】60分：グローバル化・ローカル化のこれまでの事象を整理する。
6	コミュニティの変化(1) 【授業方法】講義 【予習】60分：コミュニティの変化について調べる。 【復習】60分：コミュニティの変化の背景を整理する。
7	コミュニティの変化(2) 【授業方法】講義 【予習】60分：コミュニティの変化に関する他の事象を調べる。 【復習】90分：コミュニティの変化に関するこれまでの事象を整理する。
8	フィードバック（社会学の基礎概念の整理と個人を取り巻く現代的課題再考）　まとめでして 【授業方法】講義 【予習】60分：自分から見た現代的課題とは何かをまとめてみる。 【復習】60分：講義で得た知識をもとにして、個人と社会のかかわり方を考える。

先行履修科目

なし

テキスト

必要に応じて資料を適宜示す。

参考文献

適宜指示する。

評価方法

授業参加 40% 期末テスト (60%)

教員等の実務経験

メッセージ

様々なジャンルの本を読むことをお勧めします。素晴らしい人々と出会うようなものです。視野を広げませんか？

日本国憲法

更新日：2021/02/04 17:06:22

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN104		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	520600
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

憲法改正が議論される現代、日本国憲法の基本構造、全体像から憲法の姿と本質を理解するとともに、法の世界での物事の考え方について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	憲法とは何か、どのような理念に基づき制定されているかを理解し、日本国憲法の構造について説明することができる。
2	憲法が国民に対してどのような権利を保障しているかを理解し、社会で生じている人権問題を憲法の保障の観点から検討することができる。
3	憲法の保障する人権を具体的に保障するための国の統治形態について理解し、保健医療福祉行政の在り方について述べることができる。

授業計画

1	講義ガイダンス、法とは何か、国家と法との関係 【授業方法】：講義（テキスト第0章） 【予習】30分：ニュースや新聞等で憲法的话题を1つ取り上げ要点を整理する。 【復習】20分：講義内容を振り返る。 【担当】柳井
2	日本国憲法の誕生 日本国憲法の基本原理 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第1章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
3	象徴天皇制と国民主権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第2章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
4	基本的人権の尊重 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第4章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
5	法の下の平等 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第5章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
6	精神的自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第6章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
7	経済的自由・人身の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第7章第8章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
8	社会権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第9章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
9	参政権・国務請求権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第10章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

10	国会 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第11章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
11	内閣 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第12章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
12	裁判所 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第13章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
13	平和主義 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第3章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
14	憲法改正 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第15章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
15	地方自治 【授業方法】：講義、フィードバック 【予習】30分：テキスト第14章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

先行履修科目

なし

テキスト

毛利徹：グラフィック憲法入門 補訂版.新世社，2016.

参考文献

池上彰：超訳日本国憲法.新潮新書,2015.

長谷部恭男：憲法とは何か．岩波新書，2006．

西村祐三編：判例で学ぶ日本国憲法（第二版）.有信堂，2016.

他、講義で紹介します。

評価方法

各講義の小テスト（60％）、課題レポート（40％）

教員等の実務経験

メッセージ

法の学習は、条文を覚えることと思っていませんか。一人で生きていくことができれば法は必要ないかもしれません。しかし、多くの人とともに生きるには、決まりごとを決めておくことが必要になります。無用な争いを避けるため、また争いが生じたときに解決するため、法はそのための道具です。その道具の中で、社会の根幹を決めているのが憲法です。社会の中で身近に起こる様々な問題を例に法を学んでみませんか。多くの法律の根拠となる日本国憲法は、何であるか、そして何が書かれているのか、一緒に考えてみませんか。日本国憲法の改正の是非が議論されています。答えとこれからの未来は、皆さんの憲法に対する理解と自らの権利を守るといふ意思にかかっています。

法と看護

更新日：2021/03/17 14:44:30

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	LEN401		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520700
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

日本国憲法の学習を踏まえ国民の健康にかかわる法律と看護職者としての法的諸問題を理解し、看護における法的視点を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	保健師助産師看護師法、医師法、医療法をはじめとし医療行為にかかわる法規について学び、看護職の役割と限界について実践と結び付けて説明できる。
2	事故の発生についてその基本的原因を法的側面から検討し、看護職としての行動と責任について述べることができる。
3	生命・健康の保持となる安全な社会構築に向けた看護職の役割について再考できる。

授業計画

1	日本国憲法と保健師助産師看護師法 看護職者の法的位置づけと役割について 【予習】60分 看護者の倫理綱領が保障する権利を確認する。 【復習】30分 保健師助産師看護師法に関する小テストを解く。 【担当】柳井
2	保健師助産師看護師法（２） 看護職者の義務と法的責任について 【予習】60分 保健師助産師看護師法が定める内容を確認する（事前課題配布）。 【復習】30分 保健師助産師看護師法に関する小テストを解く。 【担当】柳井
3	看護事故（１） 看護職者が関わる看護事故の裁判例から看護職者の役割と法的義務について 【予習】60分 誤注射事故裁判の判例を確認する（課題配布）。 【復習】30分 看護職者の実施の際に満たすべき要件を整理する（小テスト）。 【担当】柳井
4	看護事故（２） 看護職者が関わる看護事故の裁判例から看護職者の役割と法的義務について 【予習】60分 褥瘡裁判の判例を確認する（課題配布）。 【復習】30分 看護職者の倫理を整理する（小テスト）。 【担当】柳井
5	法的諸問題（犯罪＜暴力・虐待を含む＞）と看護（虐待と看護） 法的諸問題により健康障害が生じる患者の看護について 【予習】60分 子どもの虐待による健康被害について確認する（課題配布）。 【復習】30分 看護職者と虐待防止についての課題を整理する。 【担当】柳井
6	法的諸問題（犯罪＜暴力・虐待を含む＞）と看護（性暴力と看護） 法的諸問題により健康障害が生じる患者の看護について 【予習】60分 性暴力による健康被害について確認する（課題配布）。 【復習】30分 看護職者と虐待防止についての課題を整理する。 【担当】柳井
7	法的諸問題（犯罪＜暴力・虐待を含む＞）と看護（刑事施設内の看護） 法的諸問題により健康障害が生じる患者の看護について 【予習】60分 加害行為を行なう者の健康問題について確認する（課題配布）。 【復習】30分 刑事施設内の看護について考える。 【担当】柳井
8	法と看護 フィードバック 看護職者として保障される権利について 【予習】60分 就労する看護職者の問題を検討する（課題配布）。ポータルを活用してフィードバックを行う 【担当】柳井

先行履修科目

なし

テキスト

指定しない

参考文献

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学[第5版].ミネルヴァ書房,2020.
田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版.日本看護協会出版会,2015.
看護行政研究会 編：看護六法2019年版：,新日本法規出版，2019.
加納尚美・李節子・家吉望み：フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで，医歯薬出版株式会社,2016.

評価方法

提出物（50％）、課題レポート（50％）で評価する。

教員等の実務経験

A協議会高齢者人権擁護研修会講師
フォレンジック看護学会理事
A医療施設内倫理審査委員会委員

メッセージ

看護職は、法の下、通常の人ができない医療行為を行うことができます。専門職としてその根拠となる法について、当然の知識を得ておかねばなりません。我々は何ができ、何ができないのか、法を検証することで新たな役割が見えてくるかもしれません。看護師国家試験でも問われる問題です。対象者だけでなく自分自身を守るためにも受講を進めます。
また人の健康を蝕むのは疾患だけではなくありません。社会生活では人による健康の被害（虐待、暴力、不慮の事故等）が非常に多く発生しています。本授業では、そのための基盤となる法的視点を学びます。

社会福祉学

更新日：2021/02/26 10:29:12

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LEN202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520800
担当教員	松倉 真理子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

社会福祉の基本的枠組み及び基本的考え方について理解する。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】 赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	現代社会において生じている生活問題や支援を必要とする人々（クライアント＝利用者や患者）について社会的文脈から把握することができる
2	クライアントの生活問題を解決・支援するための社会福祉のしくみや専門職、ソーシャルワーク実践の基礎的な知識を習得することができる
3	社会福祉および看護の両職種が連携することの意義を理解することができる

授業計画

1	社会福祉、ソーシャルワークの視点と概念 【授業方法】 講義 【授業内容】 現代社会における生活問題を民主主義や人権の文脈でとらえ、歴史性、法的根拠をもって社会福祉の存在意義を理解する。 【復習】 90分：社会福祉・社会保障、ソーシャルワークの視点とは何か考察するアサインメントに取り組む。(→以降、提出したアサインメントの内容について、次の授業時に共有・フィードバックする) 【担当】 松倉
2	社会福祉を必要とする人々と法律 【授業方法】 講義 【授業内容】 社会福祉の制度やサービスを必要とする人々（クライアント＝利用者や患者）やその対象を定める法律について学びつつ、社会福祉の普遍性や共生社会のあり方について考える。 【予習】 30分：日常生活の中で他者の助けが必要になるきっかけや理由を考える。 【復習】 60分：社会福祉の普遍性の意味を考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉
3	社会福祉を実践する人々（ソーシャルワーカー）とその職場 【授業方法】 講義 【授業内容】 看護職と連携・協力することの多いソーシャルワークの専門職制度、実践現場について理解する。 【予習】 30分：看護職における資格制度について考える。 【復習】 60分：看護職と社会福祉職の専門性の違いや接点を考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉
4	ソーシャルワーク実践の原理・原則 【授業方法】 講義 【授業内容】 「ソーシャルワーカーの倫理綱領」「ソーシャルワークのグローバル定義」「バイステティックの原則」等を参考にしつつ、ソーシャルワークにおける共通基盤やワーカー・クライアント関係について事例を用いて考える。 【予習】 30分：看護職の原理・原則とは何か考える。 【復習】 60分：看護におけるバイステティックの原則の活用について考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉
5	ソーシャルワーク実践の専門職性とは何か（１） 【授業方法】 講義 【授業内容】 ソーシャルワークにおいて「自己決定」を支援することの意味について、具体的事例を用いて考察する。 【予習】 30分：事例文を読み込み、自分なりの対応を考える。 【復習】 60分：専門職として「自己決定」を支援することの意味について考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉
6	ソーシャルワーク実践の専門職性とは何か（２） 【授業方法】 講義 【授業内容】 ソーシャルワークにおいて「秘密保持」が課されることの意味について、具体的事例を用いて考察する。 【予習】 30分：事例文を読み込み、自分なりの対応を考える。 【復習】 60分：専門職として「秘密保持」が課されることの意味について考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉
7	ソーシャルワーク実践の専門職性とは何か（３） 【授業方法】 講義 【授業内容】 ソーシャルワークにおける人間観やワーカー・クライアント間の信頼関係構築の必要性について理解する。 【予習】 30分：事例文を読み込み、自分なりの対応を考える。 【復習】 60分：クライアントとの信頼関係を築くためには何が必要かをソーシャルワークの立場から考察するアサインメントに取り組む。 【担当】 松倉

8	まとめ(フィードバック) 【授業方法】 講義 【授業内容】 これまでの授業の振り返るとともに、看護職と社会福祉職のチーム連携の意義について理解する。 【予習】 30分：これまでの資料を見直し、疑問点を整理する。 【復習】 60分以上：クライアント本位のソーシャルワーク実践とは何かについて考察する課題に取り組む。 【担当】 松倉

先行履修科目

テキスト

特に指定しない

参考文献

岡本民夫・平塚良子・小山隆・加藤博史編：ソーシャルワークの理論と実践―その循環的發展を目指して―. 中央法規出版，2016.

評価方法

授業への取り組みや授業毎のアサインメント（30％）、期末試験（70％）等を総合し評価する。

教員等の実務経験

社会福祉現場でのフィールドワークの経験を活かして、具体例を用いながらソーシャルワークの理論と実際について講義します。

メッセージ

保健医療福祉行政論

更新日：2021/01/25 13:47:28

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN301		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	520900
担当教員	守山 正樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

保健医療福祉に関する法制度や関係法規の基礎知識を学ぶとともに、保健医療福祉に関する行政施策の基本となる考え方を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	わが国の保健医療福祉行政の理念と仕組みについて説明できる。
2	保健医療福祉行政における地方公共団体の役割が理解できる。
3	保健医療福祉機関の役割と機能が理解できる。
4	保健医療福祉行政における政策化のプロセスを説明できる。

授業計画

1	保健医療福祉行政・公衆衛生の出発点：プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの考え方 【授業方法】講義 【予習】30分：ML-公衆衛生・保健医療福祉行政の考え方,を視聴 https://ph-nursing.blogspot.com/2016/04/phn-basics.html 【復習】30分：テキスト序章を読む 【担当】守山
2	人々を動かす考え方；自己実現・衛生と公衆衛生、行動主義、行動科学 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：ML-行動科学,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000640/ 【復習】30分：行動変容について考える 【担当】守山
3	日本の公衆衛生の発展過程と保健師の役割 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：ML-公衆衛生の歴史と現在の4大施策,を視聴 https://ph-nursing.blogspot.com/2016/04/history.html 【復習】30分：テキスト1章を読む 【担当】守山
4	現代の行政における保健師の役割と活動の範囲 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：ML-行政の仕組みと保健行政の概要,を視聴 https://ph-nursing.blogspot.com/2016/05/structure.html 【復習】30分：テキスト2章A、Bを読む 【担当】守山
5	地方公共団体の組織と業務、地域保健の専門的・広域的拠点 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：ML-地方公共団体の行政の単位と仕組み,を視聴 https://ph-nursing.blogspot.com/2016/05/local-government.html 【復習】30分：テキスト4章を読む 【担当】守山
6	福祉と社会保障の考え方 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：ML-福祉と社会保障の概要,を視聴 https://ph-nursing.blogspot.com/2016/05/welfare.html 【復習】30分：テキスト3章A、Dを読む 【担当】守山
7	医療提供体制の考え方 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：テキスト3章B、Cを読む 【復習】30分：テキスト3章B、Cを確認する 【担当】守山
8	保健計画と地域づくりの考え方、これまでのまとめとフィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト5章を読む 【復習】30分：テキスト5章を確認する 【担当】守山

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

藤内修二 他 著：標準保健師講座・別巻1. 保健医療福祉行政論 第4版. 医学書院，2019.

参考文献

保健医療福祉行政論ML(マイクロレクチャー) <https://ph-nursing.blogspot.com/>

厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊,国民衛生の動向2020/2021. 厚生労働統計協会，2020.

評価方法

各回提出物40%、授業参加度20%、レポート40%

教員等の実務経験

福岡市や那珂川町（市）など行政の公衆衛生活動に助言する機会の多かった教員が、その経験を活かして講義・演習を担当します。

メッセージ

保健・医療・福祉・行政は相互に関連して社会を構成しています。それぞれの考え方を深く学び、さらに現実の社会において看護職が活躍できる場を考える機会を提供します。

看護・医療情報

更新日：2021/03/17 16:29:09

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	LEN201		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	521000
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

ヘルスケアサービスの実践に必要な情報とは何か、またITを活用した情報管理の実際と課題、情報倫理の考え方と法的根拠について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	ヘルスケアサービスの実践に必要な情報について説明できる。
2	ITを活用した情報管理の実際を知り、その課題について述べることができる。
3	情報倫理の考え方と法的根拠について説明できる。
4	医療現場での情報の意義を理解したうえで、情報の適正な取り扱いに向けた行動について述べることができる。

授業計画

1	看護・医療と情報 【内容】看護・医療での情報の取り扱いの概要・現状、定義について 【予習】60分 報道で話題になっている医療情報について話題を見つける。 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
2	医療における自己決定権について 【内容】インフォームドコンセントについて 【予習】60分 インフォームドコンセントに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
3	患者の知る権利について 【内容】ヘルスリテラシーについて 【予習】60分 ヘルスリテラシーに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
4	看護記録について 【内容】看護記録の位置づけ、内容について（医師法との違い） 【予習】60分 看護記録の内容を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
5	看護師の守秘義務と情報開示との調整について 【内容】看護師の守秘義務、その性質、知る権利との調整について 【予習】60分 看護記録の内容を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
6	個人情報保護法について 【内容】個人情報保護法の概要と情報主体の権利について 【予習】60分 個人情報保護法を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
7	医療情報の活用について 【内容】ビッグデータに関する法について 【予習】60分 医療のビッグデータに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
8	フィードバック・医療情報の活用と倫理について 【内容】医療情報に関する事例検討について 【予習】60分 事例の検討 ポータルサイトを利用して、フィードバックを行う 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

中山和弘：系統看護学講座 別巻 看護情報学．医学書院，2012．
金谷孝之・服部建大：基礎から学ぶ医療情報．共立出版，2014．
中村健壽・森由紀：医療従事者のための情報リテラシー．日経社，2015．
宮川祥子・藤井千枝子：情報科学．ヌーヴェルヒロカワ，2008．

評価方法

授業への参加度（50％）、最終レポート（50％）を総合して評価する。

教員等の実務経験

A県情報公開委員会委員

メッセージ

高度情報化社会は、医療のかたちも変えようとしています。将来、ビックデータの活用によって効果的・効率的な医療を提供できるでしょう。また医療者とのアクセスはICTを介して行うことになり、医療施設ではなく住み慣れた場で最期を迎えるまで療養を迎えることも可能になるでしょう。看護の対象である人は膨大で様々な情報から成り立っています。その情報を適切に取り扱い、医療の専門的知識と技術で対応するためにも、情報とは何か、どのように利活用していけるのか、本授業で考えてみましょう。そのためには安全で信頼ある情報の取り扱いが基本となります。情報の利活用そして適切な保護、この両者を兼ね備えた適正な取り扱いについて学びます。

情報機器の操作

更新日：2021/01/18 16:10:50

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LEN105		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	521100
担当教員	古川 健一						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

授業における各課題解決を通じて情報機器やインターネット等の操作や仕組み等を理解し、大学における学修や情報社会で求められている情報活用能力を身につける。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	情報機器を活用して、図表、レポート、プレゼンテーションを作成できる
2	インターネットの基本的な仕組みと情報セキュリティ、情報モラル等について理解し、説明できる。
3	場面に応じて情報機器やソフトウェアを判断し適切に活用できる。

授業計画

1	Windows10の基本操作、アプリケーションソフトの基本操作、情報システムの基本操作 【授業方法】講義（ICT） 【復習】60分：電子メールによるレポート提出方法 【担当】古川
2	インターネットの活用、情報倫理（ネチケット、著作権） 【授業方法】演習（ICT） 【復習】60分：指定された情報セキュリティビデオ①を視聴し課題提出 【担当】古川
3	日本語ワープロ（Word）の活用（1）、基本的な文章の構成、PDFファイルの作成 【授業方法】演習（ICT） 【復習】60分：指定された情報セキュリティビデオ②を視聴し課題提出 【担当】古川
4	日本語ワープロ（Word）の活用（2）、表を活用した文章の作成 【授業方法】演習（ICT） 【予習】書式設定・原稿用紙設定 【復習】60分：Wordによる各種文書作成（お知らせの作成） 【担当】古川
5	日本語ワープロ（Word）の活用（3）、画像を活用した文章の作成 【授業方法】演習（ICT） 【予習】図・表の挿入、段組み設定 【復習】60分：Wordによる各種文書作成（保健だより、表彰状） 【担当】古川
6	表計算ソフト（Excel）の活用（1）、表計算の基本操作、簡単な演算 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：表計算ソフトの基本操作 【復習】30分：簡単な表の作成 【担当】古川
7	表計算ソフト（Excel）の活用（2）、数字と文字の処理、関数の利用、罫線 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：数字と文字列、罫線の使い方 【復習】30分：Excelによる各種処理「保健室来室記録簿①の作成」 【担当】古川
8	表計算ソフト（Excel）の活用（3）、グラフの作成、条件判定 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：関数SUM,AVERAGE,MAX,MIN 【復習】30分：Excelによる各種処理「飲料水出荷比較表の作成」、各種関数 【担当】古川
9	表計算ソフト（Excel）の活用（4）、関数を利用した検索、Excelの便利な機能 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：フィルタ機能、関数COUNTIF, COUNTIFS 【復習】30分：Excelによる各種処理「保健室来室記録簿②の作成と集計」 【担当】古川

10	プレゼンテーションソフトの活用（１）、プレゼンテーションソフトの基本操作、プレゼンテーションの作成 【授業方法】 演習（ICT） 【予習】 30分：パワーポイントの基本操作 【復習】 30分：スライド作成「自己紹介スライド」 【担当】 古川
11	プレゼンテーションソフトの活用（２）、アニメーション効果、図形と図の活用 【授業方法】 演習（ICT） 【予習】 30分：基本図形の描画、図の挿入 【復習】 30分：アニメーション効果の追加、スライド切替え効果 【担当】 古川
12	プレゼンテーションソフトの活用（３）、フォトアルバムの作成、動画保存 【授業方法】 演習（ICT） 【予習】 30分：デジタル写真の準備（20枚） 【復習】 30分：フォトアルバム作成・スライドショー操作・動画保存の流れ 【担当】 古川
13	プレゼンテーションソフトの応用（１）動作設定ボタンによるスライド操作 【授業方法】 演習（ICT） 【予習】 30分：最終課題のための構想 【復習】 30分：動作設定ボタンの効果的な使い方 【担当】 古川
14	プレゼンテーションソフトの応用（２）プレゼンテーション操作方法最終課題に対する質疑応答 【授業方法】 演習（ICT） 【予習】 30分：プレゼンテーション操作方法 【復習】 30分：プレゼンテーションの作成・操作練習 【担当】 古川
15	情報機器の操作のまとめ ～これまでの小課題に関するフィードバック～ 情報活用能力を高めるための方法 【授業方法】 演習（ICT） 【復習】 60分：情報活用能力を高めるための方法と実践 【担当】 古川

先行履修科目

なし

テキスト

実教出版編修部：30時間でマスター Office2019（Windows10対応）．実教出版，2019．

参考文献

評価方法

授業への積極的参加態度（30％）、小課題提出（30％）、最終課題（プレゼンテーション）（40％）を総合して評価します。

教員等の実務経験

大学の基幹情報システム、基幹ネットワークシステムの管理・運用経験のある教員が、その経験を活かして、大学や情報社会で必要な情報活用能力に関する授業を行います。

メッセージ

日々変わりつつある情報技術を習得するためには、毎日使い慣れることが一番です。本授業で習得した内容をしっかりと身に付けるためにも、復習（小課題の提出）を欠かさず、他の授業等で活用することも重要です。

授業課題等の提出や保存用のUSBメモリ又はポータブルハードディスク等（8GB以上）を必ず準備してください。

医療概論

更新日：2021/01/08 14:20:02

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	LHE101		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530100
担当教員	榎本直樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

現代医療についての単なる概説や入門ではなく、人の生死や病いにかかわる医療の背景にある考え方や医療の抱える問題・課題を理解した上で、「医療とは何か」「医療と看護はどうかわるのか」等について批判的に考える。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	現代医療の現状および課題を多角的な視点から捉え、考えることができる。
2	これからの医療・看護のあり方について自分自身の考えを明確にし、言語化できる。

授業計画

1	導入：医療とは何か、概論とは何か 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：健康とはどういう状態のことかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
2	現代医療の歴史と背景：人間観、社会観の移り変わり 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：高齢社会の実態について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
3	科学的医療観と人間観 授業方法】講義 【予習】【復習】60分：EBM(Evidence-Based Medicine)について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
4	医療者中心から患者中心の医療／看護へ① 授業方法】講義 【予習】【復習】60分：「自己決定（権）」をめぐる議論について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
5	医療者中心から患者中心の医療／看護へ② 授業方法】講義 【予習】【復習】60分：「インフォームド・コンセント」とはどのようなものかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
6	患者の自己決定を支えることと全人的医療 授業方法】講義 【予習】【復習】60分：ホスピスの現状、ならびに「全人的苦痛」とは何かについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
7	医療におけるケアの視点 授業方法】講義 【予習】【復習】60分：NBM(Narrative-Based Medicine)について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
8	これまでのまとめとフィードバック：現代医療における看護の役割 授業方法】講義 【予習】【復習】120分：現代医療において看護に何が求められているのかについて、自己の考えをまとめておく（予習）／これまでの講義全体をふり返り、試験の準備をする(復習) 【担当】榎本

先行履修科目

なし

テキスト

適宜資料等を配布する。

参考文献

ナーシングサブリ編集委員会編：事例でまなぶケアの倫理.メディカ出版，2015.
霜田 求 編：テキストブック 生命倫理. 法律文化社, 2018.

評価方法

各講義ごとの課題提出（30％）と定期試験（70％）により評価する。

教員等の実務経験

倫理学を専門とし、様々な医療・看護系大学および専門学校で教育の経験のある非常勤講師が近年の動向なども紹介しつつ、講義します。

メッセージ

講義を受ける際は、ただ話を聞くだけではなく、自分であればどう考えるか、その根拠は何か、など考えながら受講してください。

健康行動論

更新日：2021/09/22 13:56:44

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE201		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530200
担当教員	山本 孝治, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人間の健康に関する行動の変容と維持に関連する理論と考え方を理解し、自分たちの具体的な健康問題を基に行動変容プログラムを実践し、行動変容について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	様々な健康の概念を基に、人間の健康と健康行動について考察し考えを述べるができる。
2	人間がよりよい健康に向かうための行動変容と維持に関連する概念・理論について説明ができる。
3	健康行動に関連する理論を活用し、身近な健康課題を明確にし、生活習慣や価値・信念を考慮した行動変容計画を立案できる。
4	健康行動に関連する理論を活用し、事例に対する健康課題を明確にし行動変容計画を作成できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション、「人間の健康とは」「健康行動」「動機づけ」、「アドヒアランス」と「コンプライアンス」 【授業方法】講義 【予習】40分：WHOの健康の定義について調べる、テキストのはじめに（piii～iv） 【復習】45分：授業で学んだWHOの健康の定義や様々な概念をもとに、自分が考える「健康」について言語化する。コンプライアンス、アドヒアランスについて例をあげて理解を深める。 【担当】山本
2	健康行動に関する諸理論(1)：ヘルス・ベリーフ・モデル、計画的行動理論 【授業方法】講義・演習（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】45分：テキスト第1章、第4章 【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】山本
3	健康行動に関する諸理論(2)：自己効力感 【授業方法】講義・演習（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】45分：テキスト第2章 【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】鈴鹿
4	健康行動に関する諸理論(3)：変化のステージモデル、コントロール所在 【授業方法】講義・演習（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】50分：テキスト第3章・第7章 【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】山本
5	健康行動に関する諸理論(4)：ストレスとコーピング、ソーシャルサポート（社会支援） 【授業方法】講義（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】45分：テキスト第5章・第6章 【復習】40分：オンデマンドで配信された資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】鈴鹿
6	行動変容計画作成：既習の理論を計画の根拠として活用する 【授業方法】講義・演習（グループワーク、ディスカッション・ディベート） 【予習】50分：自身または身近な人の健康、生活習慣の課題を記述する 【復習】40分：行動変容計画の作成 【担当】鈴鹿、山本
7	行動変容計画のピア・レビュー、フィードバック 【授業方法】演習（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】50分：行動変容計画の作成 【復習】40分：ピア・レビューでメンバーが発表した理論を読み返し復習する 【担当】鈴鹿、山本
8	全体のまとめ・各回で提示した課題についてフィードバック 【授業方法】講義 【予習】50分：学習してきた理論について再復習、行動変容計画の修正 【復習】40分：諸理論の振り返り 【担当】山本、鈴鹿

先行履修科目

なし

テキスト

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎－生活習慣病を中心に．医歯薬出版，2002．

参考文献

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編－生活習慣病の予防と治療のために．医歯薬出版，2002．

宗像恒次：最新 行動科学からみた健康と病気．メヂカルフレンド社.1996.

日本健康教育士養成機構：新しい健康教育 理論と事例から学ぶ健康増進への道．保健同人社,2011.

Karen Glanz,et al.:Health Behavior and Health Education ; Theory, Research and Practice, 3rd edition. 2002, 曾根智史他訳：健康行動と健康教育 理論，研究，実践．医学書院,2006.

Bandura, A.：Self-efficacy in changing societies．1995，本明寛，野口京子監訳：激動社会の中の自己効力．金子書房，1997．

評価方法

定期試験実施の場合：試験（60％）、課題提出＜ルーブリック評価＞（30％）、講義や演習への参加（10％）

定期試験未実施の場合：レポート（60％）、課題提出＜ルーブリック評価＞（30％）、講義や演習への参加（10％）

教員等の実務経験

産業保健師および、糖尿病内科病棟にて看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、健康や行動変容に対する支援についての講義をします。

メッセージ

皆さんは普段、「健康」について意識することはありますか？看護職を目指す人にとって、「健康」の概念の理解は欠かすことができません。この科目では、「健康」について深く考え、またよりよい健康を目指すための支援について学びます。健康管理には行動をどう変容させるのが重要で、そのためにも人の行動の特徴を捉えることが必要です。

第6～7回では、前半で学んだ諸理論を活用し、自身、もしくは身近な人の健康の課題を明確化した後、その対象がより健康になるための行動変容計画を作成していきますので、主体的な学習を期待します。

COVID-19の感染状況によって、授業内容・授業形態の変更が生じる可能性があります。

運動機能論

更新日：2021/03/02 10:23:22

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	LHE103		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	530300
担当教員	樋口 善之						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

スポーツ科学の基本的な概念と方法を学び、それらに基づいた住民や患者を対象とした運動教授法を身につける。

本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

到達目標

1	演習を通してスポーツや身体運動時のメカニズムや機能に関する理論、その実施方法を身につけ、運動と健康の関連についての確に意味づけることができる。
2	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることができる。

授業計画

1	オリエンテーション運動．スポーツの捉え方 【授業方法】演習 【予習】60分：シラバスを参照し、授業計画全体をとらえる。 【担当】樋口
2	運動機能演習①（バドミントン） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：バドミントンのルールについて予習する。 【担当】樋口
3	運動機能演習②（バドミントン） 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：バドミントンのルールについて復習する。 【担当】樋口
4	運動機能演習③（ドッチボール） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：ドッチボールの基本的ルールについて予習する 【担当】樋口
5	運動機能演習④（ドッチボール） 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：ドッチボールを楽しむための様々な工夫について復習する 【担当】樋口
6	運動機能演習⑤（バレーボール） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：バレーボールの基本的ルールについて予習する 【担当】樋口
7	運動機能演習⑥（バレーボール） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：バレーボールの基本的ルールについて復習する 【担当】樋口
8	運動機能演習⑦（エクササイズ運動） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：エクササイズ運動の方法について予習する 【担当】樋口
9	運動機能演習⑧（エクササイズ運動） 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：エクササイズ運動の効果について復習する 【担当】樋口
10	運動と計画 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：これまでの活動内容を整理しておく 【担当】樋口

11	運動の計画と支援① 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：運動のための計画と支援方法について予習する 【担当】 樋口
12	運動の計画と支援② 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：運動の計画と支援方法について復習する 【担当】 樋口
13	運動の計画と支援③ 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：運動の計画と支援方法について復習する 【担当】 樋口
14	運動と健康 【授業方法】 演習 【復習】 60分：運動と健康の関連について復習する 【担当】 樋口
15	運動機能論総括 運動支援に関する演習および課題のフィードバック 【授業方法】 演習 【復習】 60分：授業全般を振り返る 【担当】 樋口

先行履修科目

なし

テキスト

特になし・適宜資料を配付する

参考文献

九州大学健康科学センター編：実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学．大修館書店，2008．
東京大学身体運動科学研究室編：教養としての身体運動・健康科学．東京大学出版会，2009．

評価方法

授業への参加度（40%）
レポート（運動計画と振り返り30%，運動と健康についての理解30%）

教員等の実務経験

教員養成系大学にて，保健体育に関する実技科目および講義を担当している．

メッセージ

実技・演習を通じて運動機能やスポーツ実践について理解を深めてもらいたい．活動時は楽しく安全に行うため，運動に適した服装等の準備，注意事項の遵守をお願いしたい．

なお、
今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、授業方法が変更になる可能性があります。その場合は、遠隔による講義・演習を別途実施します。

病態生理学

更新日：2021/03/17 13:50:43

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHE104		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530400
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

人体の構造と機能で学習した、ひとに備わる正常な生命の維持に関する知識をもとに、その正常性の破綻により生じる疾病の成因や発症・進行に伴う生体の形態や機能の変化、症状や徴候の発生機序について理解する。本授業は、今後学ぶ各疾病の理解の基礎となると共に、看護実践の根拠となるものである。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疾病に伴う生体の構造と機能の変化について説明できる。
2	症状や徴候の発生メカニズムを説明できる。
3	ヒトが生命を維持するための反応について科学的視点から考察することができる。

授業計画

1	徴候と疾患の関係、身体の不調はどう現れるか（1）：徴候と疾患、身体の不調とは、炎症と修復、血行障害、細胞の適応 【授業方法】講義 【予習】60分 細胞・組織の構造と機能、体液、循環器系の構造と機能 【復習】40分 講義内で提示したキーワードが病態生理学の共通言語となるので理解に繋がるよう整理する。
2	徴候と疾患の関係、身体の不調はどう現れるか（2）：免疫及び免疫疾患、先天異常、代謝異常 【授業方法】講義 【予習】60分 免疫系、遺伝、内分泌器の機能、ホルモン分泌の調節機構 【復習】40分 講義内で提示したキーワードが病態生理学の共通言語となるので理解に繋がるよう整理する。
3	症候（1）咳嗽・喀痰・咯血、呼吸困難、胸痛、不整脈、嘔声 【授業方法】講義 【予習】60分 呼吸器の構造と機能、循環器の構造と機能（刺激伝導系） 【復習】40分 咳嗽・喀痰・咯血、呼吸困難、胸痛、不整脈、嘔声が引き起こされるメカニズムについて整理する。
4	症候（2）チアノーゼ、貧血、出血傾向、吐血・下血、ショック 【授業方法】講義 【予習】60分 血圧調節と末梢循環、血管・血液の機能、消化器系の機能、エネルギー代謝 【復習】40分 チアノーゼ、貧血、出血傾向、吐血・下血、ショックが引き起こされるメカニズムについて整理する。
5	症候（3）食欲不振、嚥下障害、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘、下痢 【授業方法】講義 【予習】60分 消化器系（特に消化管）の構造と機能 【復習】40分 食欲不振、嚥下障害、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘、下痢が引き起こされるメカニズムについて整理する。
6	症候（4）運動機能障害（運動麻痺、運動失調、歩行障害）、眩暈 【授業方法】講義 【予習】60分 中枢神経・末梢神経の構造と機能 【復習】40分 運動機能障害、眩暈が引き起こされるメカニズムについて整理する。
7	症候（5）排尿異常、尿量異常、尿所見異常 【授業方法】講義 【予習】60分 体液調節のしくみ、腎臓・排尿路の構造と機能 【復習】40分 排尿異常、尿量異常、尿所見異常について整理する。

8	症候（6）浮腫、脱水／要点整理と振り返り（フィードバック） 【授業方法】講義 【予習】60分 浮腫、脱水が引き起こされるメカニズム、本講第1回～第7回までの講義資料の理解と内容整理 【復習】40分 講義で示した病態と発症メカニズムの要点整理

先行履修科目

なし

テキスト

山内豊明：ナースング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学．メディカ出版，2018．

参考文献

田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）．医学書院，2018．

大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第5版）．医学書院，2015．

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th)．2019，佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

評価方法

定期試験100%

教員等の実務経験

医学部で人体解剖学を専攻していた教員が、その経験を踏まえ講義します。

メッセージ

感染と防御

更新日：2021/03/17 15:04:01

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHE105		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530500
担当教員	中山 浩次						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

国内外の感染症の現状、感染症の原因となる病原微生物、生体の感染防御機構、感染性疾患の病態、治療、予防、対策（消毒・滅菌、ユニバーサルプレコーション、感染経路別対策、法律）についての基礎知識を修得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	個々の病原微生物の有する性状・特徴・病原性が理解できる。
2	滅菌・消毒法を理解できる。
3	感染予防における標準予防策・感染経路別対策を理解できる。
4	生体の感染防御免疫を理解できる。

授業計画

1	微生物学総論－微生物とはどのような生物か（細菌、ウイルス、原虫、真菌、プリオン） 【授業方法】講義 【復習】90分：各微生物の特徴 【担当】中山
2	感染症の現状－院内感染、人獣共通感染症、国際感染症、バイオテロ 【授業方法】講義 【復習】90分：おもな感染症 【担当】中山
3	感染－微生物と生体とのかかわり（感染とはなにか、伝播様式、各種検査・診断法）実習Ⅰ－手指消毒、鼻腔の細菌検査 【授業方法】演習 【復習】90分：手洗い、消毒前後の手掌の菌の培養鼻前庭の細菌の培養 【担当】中山
4	実習Ⅱ－手指消毒、鼻腔の細菌検査の培養結果判定 【授業方法】演習 【復習】90分：培養結果の判定、レポート作成 【担当】中山
5	感染症の予防とコントロールⅠ（法律関連、化学療法と免疫療法） 【授業方法】講義 【復習】90分：感染症法による類別および治療薬、耐性菌 【担当】中山
6	感染症の予防とコントロールⅡ（消毒・滅菌、標準予防策・感染経路別対策） 【授業方法】講義 【復習】90分：消毒薬の選択根拠、微生物毎の感染対策法 【担当】中山
7	生体の感染防御機構Ⅰ（総論） 【授業方法】講義 【復習】90分：免疫の仕組み 【担当】中山
8	生体の感染防御機構Ⅱ（アレルギー、自己免疫疾患、免疫学的検査法、ワクチン） 【授業方法】講義 【復習】90分：免疫機構の暴走による疾患、ワクチン効果としての免疫 【担当】中山
9	細菌総論・各論Ⅰ（グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性通性桿菌） 【授業方法】講義 【復習】90分：ブドウ球菌、溶連菌、肺炎球菌、淋菌、髄膜炎菌、腸管感染症 【担当】中山
10	細菌・各論Ⅱ（カンピロバクター属、ヘリコバクター属、グラム陰性桿菌、抗酸菌、放線菌、嫌気性菌） 【授業方法】講義 【復習】90分：抗酸菌感染症、嫌気性菌感染症、細菌性食中毒、性感染症 【担当】中山

11	細菌・各論III（スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア） 【授業方法】講義 【復習】90分：一般細菌・リケッチア・クラミジア・マイコプラズマの違い、リケッチア・クラミジア・マイコプラズマによる感染症 【担当】中山
12	ウイルス感染症総論・各論Ⅰ 【授業方法】講義 【復習】90分：DNAウイルス、RNAウイルスの一部 【担当】中山
13	ウイルス感染症各論Ⅱ（プリオン病を含む） 【授業方法】講義 【復習】90分：RNAウイルスの一部、肝炎ウイルス、プリオンの特徴、対策等 【担当】中山
14	真菌感染症、原虫・寄生虫感染症 【授業方法】講義 【復習】90分：病原真菌、原虫、寄生虫およびそれらによる感染症 【担当】中山
15	定期試験、試験および課題図書レポートに対するフィードバック 【授業方法】講義 【復習】90分：国家試験過去問題を参考に全体を整理する 【担当】中山

先行履修科目

なし

テキスト

増澤俊幸：感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学．羊土社，2020．

参考文献

富家恵海子：院内感染．河出文庫，1997．

評価方法

筆記試験(80%)、実習レポート（10%）、課題図書レポート（10%）の総合評価

教員等の実務経験

嫌気性菌を中心とした微生物研究に長年従事した経験のある教員が、その経験を活かして国内外の感染症の現状、感染症の原因となる病原微生物、生体の感染防御機構、および感染性疾患の病態、治療、予防および対策について講義します。

メッセージ

人体と薬物

更新日：2021/01/08 13:13:13

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530600
担当教員	柳原 延章, 高橋 浩二郎						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

薬物の体内動態と薬理作用について学習し、看護に必要な臨床薬理学の基礎知識を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	個々の薬物、あるいは一群の薬物について生体のどの部位に作用するのか説明出来る。
2	薬物の薬理作用およびその作用機序を説明出来る。
3	薬物の臨床応用について説明出来る。
4	薬物の使用にともなう副作用の症状とその対策について説明出来る。

授業計画

1	末梢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：自律神経系と薬の作用・交感神経作用薬(Ⅰ) 【授業方法】講義 【予習】60分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：交感神経作用薬について復習 【担当】柳原
2	末梢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：副交感神経作用薬・筋弛緩薬局所麻酔薬(Ⅱ) 【授業方法】講義 【予習】60分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：副交感神経作用薬の復習 【担当】柳原
3	中枢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・麻薬性鎮痛薬(Ⅲ) 【授業方法】講義 【予習】60分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：麻酔薬、抗不安薬、麻薬性鎮痛薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】高橋(浩)
4	中枢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：抗精神病薬・抗うつ薬・パーキンソン症候群治療薬・抗てんかん薬(Ⅳ) 【授業方法】講義 【予習】60分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：抗精神病薬・抗うつ薬・抗てんかん薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】高橋(浩)
5	抗アレルギー薬・抗炎症薬(Ⅴ) 【授業方法】講義 【予習】60分：抗アレルギー薬・抗炎症薬の予習 【復習】30分：オータコイドによるアレルギーや炎症反応に対する治療薬の復習 【担当】柳原
6	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物(Ⅵ) 【授業方法】講義 【予習】60分：呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物の予習 【復習】30分：臓器別治療薬の復習 【担当】柳原
7	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅰ)：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬(Ⅶ) 【授業方法】講義 【予習】60分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】高橋(浩)
8	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅱ)：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬・血液に作用する薬物(Ⅷ) 【授業方法】講義 【予習】60分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】高橋(浩)

9	物質代謝に作用する薬物（9） 【授業方法】講義 【予習】60分：物質代謝に作用する薬物の予習 【復習】30分：ホルモン等の物質代謝に影響する薬物の復習 【担当】柳原
10	抗感染症（10） 【授業方法】講義 【予習】60分：抗感染症の予習 【復習】30分：抗生物質等の感染症治療薬の復習 【担当】柳原
11	薬理学総論（Ⅰ）（11） 【授業方法】講義 【予習】60分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅰ)の復習 【担当】高橋（浩）
12	薬理学総論（Ⅱ）（12） 【授業方法】講義 【予習】60分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅱ)の復習 【担当】高橋（浩）
13	抗がん剤・免疫治療薬（13） 【授業方法】講義 【予習】60分：抗がん剤・免疫治療薬の予習 【復習】30分：癌や免疫治療薬の復習 【担当】柳原
14	薬害問題（14） 【授業方法】学生による自主学習の発表 【予習】60分：過去の薬害事件についての自主学習 【復習】30分：過去の薬害の復習 【担当】柳原
15	まとめとフィードバック（15） 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの全般的な講義の予習 【復習】30分：薬物治療学全般の復習 【担当】柳原

先行履修科目

なし

テキスト

吉岡充弘 他：系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 ③，医学書院，2019．（14版2019年）

参考文献

加藤隆一 他：NEW薬理学．南江堂，2017．

評価方法

定期試験(90 %)、授業態度や授業参加度（10 %）。
試験後に、ポータルサイトを使ってフィードバックします。

教員等の実務経験

医学部薬理学の科目担当教授(柳原) や大学病院薬剤部長（高橋）の実務経験を生かして、病態生理学に基づいた薬物治療の基礎をわかりやすく講義します。

メッセージ

臨床の現場で働く看護師にとって薬物の薬理作用や副作用の知識は、とても大切です。その薬物の基礎知識をわかりやすく解説し、さらに過去の国家試験問題を講義の中に取り入れた授業を行います。

疾病と治療Ⅰ

更新日：2021/10/06 15:25:46

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	LHE106		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530700
担当教員	木村 涼平, 向井 靖, 増田 征剛, 大坪 俊夫, 河口 知允, 平川 克哉, 工藤 哲司, 早田 哲郎, 河合 俊輔, 松川 龍一						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

生命の維持にかかわる疾病とその治療について学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	循環器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	呼吸器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	消化器系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	循環器疾患について理解する：心臓・血管の基礎知識と心疾患 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（向井先生）
2	循環器疾患について理解する：心拍動の仕組み～不整脈とその治療・ペースメーカー 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（河合先生）
3	循環器疾患について理解する：虚血性心臓病～動脈硬化とはなにかを学ぼう 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（増田先生）
4	循環器疾患について理解する：心不全～血行動態とはなにかを学ぼう 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（松川先生）
5	循環器疾患について理解する：高血圧症と関連臓器障害を学ぼう 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（大坪先生）
6	呼吸のしくみと防御機能について理解する：呼吸不全、呼吸器系の症状と検査と治療 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（河口先生）
7	呼吸器系疾患について理解する：呼吸器感染症（かぜ、インフルエンザ、気管支炎、肺炎、結核などの抗酸菌症、真菌・寄生虫疾患を含む日和見感染）について 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（河口先生）
8	呼吸器系疾患について理解する：間質性疾患、気道疾患（喘息・気管支拡張症）、COPD、肺気腫について 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（河口先生）
9	呼吸器系疾患について理解する：呼吸不全、肺腫瘍、環境・職業と関連する疾患、縦隔・胸膜疾患などについて 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（河口先生）
10	消化器系疾患について理解する：消化器系疾患の総論、症状のおこるメカニズム 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（平川先生）

11	消化器系疾患について理解する：食道、胃など上部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（平川先生）
12	消化器系疾患について理解する：十二指腸、小腸、大腸、直腸など下部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（工藤先生）
13	消化器系疾患について理解する：肝臓疾患 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（早田先生）
14	消化器系疾患について理解する：胆嚢、膵臓疾患 【授業方法】講義 【予習】【復習】60 分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】福岡赤十字病院医師（早田先生）
15	まとめ（フィードバック） 【授業内容】循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について整理する。 【担当】木村

先行履修科目

テキスト

浅野浩一郎 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学〔2〕呼吸器．医学書院，2019．
上塚芳郎 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学〔3〕循環器．医学書院，2019．
金田智 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学〔5〕消化器．医学書院，2019．

参考文献

Anthony, S.F. et al. : Harrison's principles of internal medicine (18th). 2012, 福井次矢 監訳：ハリソン内科学（1, 2）, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013.

評価方法

定期試験（100％）
※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

教員等の実務経験

臨床経験のある医師が、その経験を活かして、循環器系疾患・呼吸器系疾患・消化器系疾患について講義を行います。

メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。

疾病と治療Ⅱ

更新日：2021/03/17 17:12:07

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	LHE203		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530800
担当教員	木村 涼平, 佐々木 伸浩, 中井 健太郎, 清島 圭二郎, 井上 靖, 谷本 一樹, 徳本 正憲, 井元 博文						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

慢性的な経過をたどる疾病とその治療について学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	内分泌系の疾病とその治療法について説明できる。
2	腎・泌尿器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	自己免疫系の疾病とその治療法について説明できる。
4	血液・リンパ系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	内分泌疾患について理解する：内分泌機能の概論と典型的な異常 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕第2章 内分泌・代謝疾患の構造と機能、第3章 病状とその病態生理 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】佐々木
2	糖尿病の発症機序と治療方針 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕糖尿病 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】佐々木
3	内分泌疾患の機能亢進と機能低下症を中心に各内分泌器官別に理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕第4章 検査、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井元
4	甲状腺、副腎について 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕甲状腺、副腎 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井元
5	腎疾患について理解する：腎臓の機能 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第2章 腎の構造と機能 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】福岡赤十字病院医師
6	腎疾患について理解する：急性腎炎 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】福岡赤十字病院医師
7	腎疾患について理解する：慢性腎炎 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】中井
8	腎疾患について理解する：急性・慢性腎不全、透析、移植 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 第6章C透析治療を受ける患者の看護 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】中井

9	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：①尿路・生殖系の機能 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第2章 泌尿器の構造と機能 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】清島
10	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：②尿路の閉塞性疾患③尿路の炎症、男性の生殖器疾患 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療・処置 第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】清島
11	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：全身性エリテマトーデス、関節リウマチ 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔11〕膠原病 第2章 自己免疫疾患とその機序 第3章 症状とその病態生理 大5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井上
12	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：シェーグレン症候群、ベーチェット病 他 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔11〕膠原病 第3章 症状とその病態生理 大5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井上
13	血液リンパ系疾患について以下の事項を理解する：①造血器疾患概論と検査②貧血の分類と特徴 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔4〕第2章 血液の生理と造血の仕組み 第3章 検査・診断と症候・病態生理 第4章疾患と治療の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】谷本
14	③白血球系の異常（白血病）とその他の骨髄増殖疾患。悪性リンパ腫と脾・網内系疾患④出血性および血栓性疾患、輸血・骨髄移植 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔4〕第2章 血液の生理と造血の仕組み 第3章 検査・診断と症候・病態生理 第4章疾患と治療の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】谷本
15	まとめ（フィードバック） 【授業内容】内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患について整理する。 【担当】木村

先行履修科目

なし

テキスト

黒江ゆり子 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝．医学書2019．

大東貴志 他：系統看護学講座分野2 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器．医学書院，2019．

岩田健太郎 他：系統看護学講座分野2成人看護学〔11〕 アレルギー・膠原病・感染症．

医学書院，2016

飯野京子 他：系統看護学講座分野2成人看護学〔4〕 血液・造血器．医学書院，2019．

参考文献

Anthony, S.F. et al. : Harrison's principles of internal medicine (18th). 2012, 福井次矢 監訳：ハリソン内科学（1，2），メディカル・サイエンス・インターナショナル，2013．

評価方法

定期試験（100％）

※配点の内訳は授業の回数によって配分します。

教員等の実務経験

医師として臨床経験のある教員がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。

疾病と治療Ⅲ

更新日：2021/03/17 17:11:13

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE204		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	530900
担当教員	木村 涼平, 泊 真二, 継 仁, 北山 次郎, 竹下 弘道, 遠城 幸子, 高岩 一貴, 吉山 慶三						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

加齢に伴う変化に関わる疾病とその治療について学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	運動器系の疾患とその治療法について説明できる。
2	脳神経系の疾患とその治療法について説明できる。
3	皮膚科系の疾患とその治療法について説明できる。
4	女性生殖器系の疾患とその治療法について説明できる。
5	眼科系の疾患とその治療法について説明できる。
6	耳鼻咽喉科系の疾患とその治療法について説明できる。

授業計画

1	運動器系疾患について理解する：①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】泊
2	運動器系疾患について理解する：②骨折・脱臼，変形性関節症 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】泊
3	運動器系疾患について理解する：③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】泊
4	脳神経系疾患について理解する：①脳・神経疾患概論，中枢神経・末梢神経 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】継
5	脳神経系疾患について理解する：②脳神経疾患の主要症候，観察，検査，脳・神経疾患の治療（侵襲的治療）③脳卒中，脳腫瘍，頭部外傷 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】継
6	脳神経疾患について理解する④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能性疾患（癲癇） 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】北山
7	脳神経系疾患について理解する⑤認知症，感染性疾患，筋疾患，末梢神経障害 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】北山
8	皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】竹下

9	女性生殖系疾病について理解する：女性生殖系の診察・検査，侵襲的治療，女性ライフサイクル（AYA世代，更年期）に伴う疾病，不妊症 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城
10	妊娠合併症について理解する：妊娠前疾患（心疾患，糖尿病，甲状腺疾患，精神疾患，腎・泌尿器疾患），妊娠中に発症する疾患（妊娠糖尿病，妊娠悪阻，妊娠高血圧症候群） 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城
11	眼科系疾病について理解する：①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】福岡赤十字病院医師
12	眼科系疾病について理解する②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】福岡赤十字病院医師
13	耳鼻咽喉系疾病について理解する：①耳鼻咽喉の主要症候（耳/難聴・聴覚障害・めまい，鼻/鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭/構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩
14	耳鼻咽喉系疾病について理解する②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩
15	まとめ（フィードバック） 【授業内容】運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について整理する。 【担当】木村

先行履修科目

なし

テキスト

織田弘美 他：系統看護学講座 専門分野2 成人看護学〔10〕運動器．医学書院，2019．
 井手隆文 他：系統看護学講座 専門分野2成人看護学〔7〕脳・神経．医学書院，2019．
 大鹿哲郎 他：系統看護学講座 専門分野2成人看護学〔13〕眼．医学書院，2017．
 小松浩子 他：系統看護学講座 専門分野2成人看護学〔14〕耳鼻咽喉．医学書院，2017．
 佐藤博子 他：系統看護学講座 専門分野2成人看護学〔12〕皮膚．医学書院，2016．
 池田正 他：系統看護学講座 専門分野2成人看護学〔9〕女性生殖器．医学書院，2019．

参考文献

Anthony, S.F. et al. : Harrison's principles of internal medicine (18th). 2012,
 福井次矢 監訳：ハリソン内科学（1，2），メディカル・サイエンス・インターナショナル，2013．

評価方法

定期試験（100％）
 ※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

教員等の実務経験

各領域で専門的に活躍している臨床の医師が、その現場の経験を活かし看護活動に必要な知識について講義します。

メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。

疾病と治療Ⅳ

更新日：2021/03/17 17:17:32

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE205		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531000
担当教員	木村 涼平, 波多江 健, 久保 鋭治, 小野山 さがの, 松倉 幹, 佐藤 武, 宮田 正和						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

小児特有の疾病とその治療について学習する。精神疾患とその治療について学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	小児科系の疾病とその治療法について説明できる。
2	精神科系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	1. 小児疾患について以下の事項を理解する① 新生児疾患：新生児の分類と疾患の特徴、ハイリスク児の病態と管理② 新生児疾患：新生児仮死、呼吸器疾患、循環器疾患、TORCH症候群③ 先天性代謝異常 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第2章、第3章） 【担当】久保
2	④ 小児特有の心疾患：先天性心疾患（心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー四徴症）、後天性心疾患 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第8章） 【担当】久保
3	⑤ 小児特有の感染症疾患、⑥ 小児特有の呼吸器疾患：ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、突発性発疹、RSウイルス感染症）、細菌感染症（マイコプラズマ感染症） 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第6章、第7章） 【担当】小野山
4	⑦ 小児特有のアレルギー疾患：気管支喘息、アトピー性皮膚炎 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第5章、第19章） 【担当】小野山
5	⑧ 小児特有の消化器疾患：食道、胃十二指腸疾患（食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症）、小腸・結腸・肛門疾患（腸重積、直腸肛門奇形、ヒルシュスブルグ病）、横隔膜・腹壁疾患（横隔膜ヘルニア、鼠経ヘルニア）、胆道系疾患（胆道閉鎖症） 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第9章） 【担当】波多江
6	⑨ 小児特有の腎疾患・泌尿器疾患：糸球体疾患（ネフローゼ症候群、IgA腎症）、全身性疾患に伴う腎疾患（紫斑病性腎炎）、先天性腎尿路奇形（膀胱尿管逆流症、尿道下裂） 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第12章） 【担当】波多江
7	⑩ 小児特有の神経疾患、遺伝性疾患、染色体異常：脳性麻痺、多嚢胞性脳軟化症、低酸素脳症、てんかん、13トリソミー、18トリソミー、21トリソミー 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第1章、第13章 ※熱性けいれんは第8回で取り扱う） 【担当】松倉
8	⑪ 小児特有の救急疾患：熱性けいれん、溺水、熱傷、誤嚥、中毒、熱中症、⑫小児特有の代謝性疾患 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（主に第19章、第13章の一部） 【担当】松倉
9	2. 精神科的疾患について以下の事項を理解する。① 統合失調症と妄想性障害 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第12章） 【担当】佐藤
10	② 気分(感情)障害 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要(標準精神医学 第13章) 【担当】佐藤

11	③ 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第9章） 【担当】宮田
12	④ 発達障害 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第14章） 【担当】宮田
13	⑤ 人格障害、摂食障害、物質関連障害、てんかん 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第10章） 【担当】佐藤
14	⑥ 脳の機能と薬物療法 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第9章） 【担当】佐藤
15	まとめ（フィードバック） 【授業内容】小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について整理する。 【担当】木村

先行履修科目

無

テキスト

奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野2 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論．医学書院，2020．
森恵美 他：系統看護学講座 専門分野2 母性看護学〔2〕母性看護学各論．医学書院，2019．
野村 総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版．医学書院，2018．

参考文献

Kliegman, R. et al：Nelson Textbook of pediatrics (19th)．Elsevier/Saunders，2011．

評価方法

定期試験（100％）

※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

教員等の実務経験

小児科、精神科領域の医師免許を有する医師が、その経験を活かして、看護活動に必要な知識について講義します。

メッセージ

- 1． 講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。
- 2． 人体の構造と機能の復習が必須である。
- 3． 授業終了後は必ず学修課題に記載された学修方法で復習を深めること

疾病と治療Ⅴ

更新日：2021/02/04 20:08:03

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE401		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531100
担当教員	千原 明美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

学習した知識と臨床で学んだ実際を関連させながら、様々な疾病とその治療を理解する能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	人体の構造と機能で学修した、解剖・生理学の知識を理解した上で疾病の病態・症状の関連を述べることができる。
2	疾病の検査・診断・治療を理解し、科学的根拠に基づいた看護展開に必要なアセスメントを述べることができる。

授業計画

1	【ガイダンス】人体の構造と機能と疾病の成り立ちの知識を、治療・検査・看護に結び付ける学修方法についてA.運動器系・感覚器系の構造・機能及び疾病（骨・関節疾患、筋・神経接合部疾患、視覚・聴覚障害について） 【授業方法】講義 【予習】120分：運動器系、感覚器の構造・機能について教科書を読んで、骨折（各世代に多い骨折）、緑内障・白内障の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
2	B. 脳神経系の構造・機能及び疾病（中枢神経系疾患、末梢神経性疾患について） 【授業方法】講義 【予習】120分：脳・神経の構造・機能について教科書を読んで、脳出血・脳梗塞、パーキンソン病の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
3	C.循環器系の構造・機能及び疾病（心疾患、血管系疾患について） 【授業方法】講義 【予習】120分：循環器の構造・機能について教科書を読んで、心不全・虚血性心疾患の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
4	D. 呼吸器系の構造・機能及び疾病（炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍について） 【授業方法】講義 【予習】120分：呼吸器の構造・機能について教科書を読んで、肺炎・COPD・肺がんの病態・検査・治療方法を調べて説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
5	E. 内分泌系の構造・機能及び疾病（内分泌系疾患、代謝異常の疾患について） 【授業方法】講義 【予習】120分：内分泌系の構造・機能について教科書で読んで、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症についての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
6	F. 消化器系の構造・機能及び疾病（消化器疾患について） 【授業方法】講義 【予習】120分：消化器系の構造・機能について教科書を読んで、上部・下部消化管悪性腫瘍、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍の病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
7	G. 腎・泌尿器系・生殖器系の構造・機能および疾病（腎・尿路系疾患，女性生殖器疾患、乳腺疾患、生殖機能障害、） 【授業方法】講義 【予習】120分：腎・泌尿器、生殖器系の構造・機能について教科書を読んで、慢性腎臓病、尿路系悪性腫瘍、子宮がん、乳がん、前立腺肥大がんについての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原

8	F. 血液系・免疫系の構造・機能及び疾病（血液・造血管疾患、自己免疫疾患、アレルギー疾患について、1～8回講義についてのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】120分：血液系・免疫系の構造・機能について教科書を読んで、貧血、白血病、SLE、アレルギー性疾患について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原

先行履修科目

テキスト

人体の構造と機能、疾病と治療、治療検査と看護などの既習科目のテキスト・資料

参考文献

林正健二 編：ナーシンググラフィカ① 人体の構造と機能 解剖生理学，メディカ出版，2017.
 坂井建雄/岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学，第10版，2018.
 医療情報科学研究所 編：「病気がみえる」シリーズ，Vol.消化器，Vol.2.循環器，Vol.3.糖尿病・代謝・内分泌，Vol.4.呼吸器，Vol.5.血液，Vol.6.免疫・膠原病・感染症，Vol.7.脳神経，Vol.8.腎・泌尿器，Vol.婦人科・乳腺外科，Vol.11.運動器・整形外科，Vol.12眼科、Vol.13眼科各第1版から5版，メディックメディア，2013～2020年。

評価方法

毎講義終了時確認テスト40%，定期試験60％

教員等の実務経験

各疾病の急性期・慢性期の検査・治療を行っている患者の看護を臨床で実践してきた、看護教員が担当します。

メッセージ

看護の専門職として、必要な知識は科学的根拠に基づくものになります。
 最終学年でもう一度、人体の構造と機能の知識を再復習した上で、臨床でもよくみられる疾患の病態・検査・治療についての知識の再確認を行い、臨床での看護展開に活かすことができるように、主体的・積極的に学びましょう。

統計学

更新日：2021/02/22 15:07:31

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE206		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531200
担当教員	中山 晃志						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するための基本的な概念と方法を学習し、マクロ的に把握する視点を身につける。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる。
2	データ間の関連について、図表や数値を用いて口述することができる。
3	統計検定の流れを把握し、正しく検定結果の解釈ができる。
4	目的に沿った検定手法を用いることができる。

授業計画

1	母集団と標本（記述統計と推測統計），データの種類 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：統計学の概要とデータの種類について理解する。 【担当】中山（晃）
2	1 変数データの記述 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：集計データの記述方法（図表）について理解する。 【担当】中山（晃）
3	1 変数データの記述－代表値 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：データの特性を表す「代表値」について理解する。 【担当】中山（晃）
4	1 変数データの記述－散布度 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：データの特性を表す「散布度」について理解する。 【担当】中山（晃）
5	2 変数データの記述－量×量－ 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：2つの量的データを同時に記述したり、関連性を調べる方法を理解する。 【担当】中山（晃）
6	2 変数データの記述－質×質 他－ 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：2つの質的データを同時に記述したり、関連性を調べる方法を理解する。 【担当】中山（晃）
7	記述統計のまとめ 【授業方法】講義（AL）・中間試験 【予習】60分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する。 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。 【担当】中山（晃）
8	確率・確率分布 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：推測統計を考えるうえで必要となる確率・確率分布について理解する。 【担当】中山（晃）
9	推定論 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：推定論の概要を理解する。 【担当】中山（晃）
10	検定の流れ 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：検定論の基本となる「検定の流れ」について理解し、正しい結果の解釈ができるようになる。 【担当】中山（晃）

11	検定手法各論(1) 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。【担当】中山（晃）
12	検定手法各論(2) 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。 【担当】中山（晃）
13	検定手法各論(3) 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。 【担当】中山（晃）
14	推測統計のまとめ 【授業方法】講義（AL） 【予習】60分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する。 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。 【担当】中山（晃）
15	試験に対するフィードバック 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：試験の結果から弱点を確認し、振り返りをおこなう。 【担当】中山（晃）

先行履修科目

なし

テキスト

白戸亮吉，鈴木研太：ていねいな保健統計学．羊土社，2018．

参考文献

稲葉由之：プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学．弘文堂，2012．

評価方法

中間試験50％、定期試験50％

教員等の実務経験

メッセージ

毎回の講義内容が連続しています。講義で出てきた用語や流れなどはしっかり復習し，理解するようにしてください。

疫学 I

更新日：2021/09/21 13:37:53

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	LHE207		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531300
担当教員	守山 正樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎についても理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疫学指標の意義を理解し、使いこなすことができる。
2	相関関係と因果関係を区別し、因果関係の立証過程を洞察できる。
3	横断研究・症例対照研究・コホート研究などの方法を課題にあわせて提案できる。
4	介入研究の方法を課題にあわせて提案できる。
5	スクリーニングの考え方を理解できる。
6	疫学的視点で、看護領域での課題を場面にあわせて指摘できる。

授業計画

1	疫学の出発点.流行、観察、論理； 疫学三要素（時間・場所・人）；ミアズマ説 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML疫学の出発点,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000598/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
2	疫学の三要素と原因究明の考え方；ジョンスノーの場合、高木兼寛の場合、ナイチンゲールの場合 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML疫学の三要素と原因究明,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000599/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
3	疾病の量的把握；現状を把握する有病率；疾病発生と罹患率；観察年；有病率と関連指標 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML疾病の量的把握,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000600/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
4	因果関係の考え方：原因と結果；歴史的背景；病原体発見の考え方、コッホの原則；Hillの条件 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML因果関係,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000601/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
5	相関関係・因果関係：相関と因果の違い；相関と交絡；多要因原因説、多要因モデル 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML相関・因果・交絡・多要因,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000602/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
6	疫学研究法とは：出発点としての記述研究；水俣病・スモン病・HIVエイズの発見から原因解明 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML記述研究,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000603/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
7	横断研究：調査とクロス集計・仮説の確認・四分表の作成 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML横断研究(http://id.nii.ac.jp/1127/00000605/)を視聴 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
8	生態学的研究：地図とグラフ；生態学的錯誤 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML生態学的研究(http://id.nii.ac.jp/1127/00000604/), 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山

9	症例対照研究：研究手順；症例群と対照群のマッチング；過去の曝露情報収集；四分表；オッズ；オッズ比 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML症例対照研究,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000606/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
10	コホート研究：ベースライン調査；曝露群と非曝露群の設定；追跡人数と追跡期間；累積罹患率、罹患率；相対危険度、寄与危険度 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：MLコホート研究,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000607/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
11	介入研究：仮説設定と介入対象；介入群と対照群；一重盲検法；二重盲検法；インフォームド・コンセント／アセント 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML介入研究,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000608/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
12	スクリーニング検査：人の一生とスクリーニング；カットオフポイント；検査陽性／陰性；感度、特異度；ROC曲線の考え方 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：MLスクリーニング検査,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000609/ 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】守山
13	地域診断・公衆衛生と疫学 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学と公衆衛生看護）に目を通す 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習 【担当】守山
14	地域診断と疫学の課題 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML地域保健を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000622/ 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習 【担当】守山
15	疫学的な考え方のまとめ、フィードバック 【授業方法】講義・演習（PBL） 【復習】60分：フィードバックを受けた内容を復習 【担当】守山

先行履修科目

なし

テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学．医学書院，2020．

参考文献

- ・疫学マイクロレクチャー（ML） <http://epidemiology-a.blogspot.com/>
- ・厚生労働統計協会編：厚生指針 増刊,国民衛生の動向2021/2022．厚生労働統計協会，2021．

評価方法

各回提出物（紙上プレゼンテーション）40％、授業参加度20％、レポート40％

教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

メッセージ

疫学では疾病の発生や疾病の危険度をあらわす際に、分数など中学校レベルの数値計算を用います。しかし計算力だけが大切なわけではありません。適切な計算方法を選び、正確な数値を得るためには国語力、＜事実関係を論理的に考え、表現すること＞が大切です。本を読み、論理的に考え、国語力、そして英語力を鍛えてください。

病態生理学特論

更新日：2021/01/26 10:55:59

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88160		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881600
担当教員	荒川満枝						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

対象の病態生理学的変化や生理機能の異常、様々な疾患や病態の評価方法ならびに治療介入による変化等、臨床判断するための知識と技術を修得する。

到達目標

1	組織・細胞レベルで疾病を理解し、説明することができる。
2	病態を、疾患の回復過程との関係性を踏まえて説明することができる。
3	疾病の原因とその生体の反応を踏まえた看護を計画できる。

DPとの関連

DP2 ◎
DP5 ○
DP6（CNS）○

授業計画

1	身体の構造と機能の概要 【学修内容】 高度実践看護師は、その実践において人間の身体に生じる様々な病理学的変化に遭遇する。その病態の成り立ちを器官、組織、細胞のレベルで理解し、さらに、病態の発生メカニズムの分子レベルでの理解をすることで、病理診断、医学的判断過程を看護実践に活かすことを目指す。授業では、以下の内容を組織観察と討議を取り入れて行い、理解を深める。 【授業内容】 ・履修者の実践と本科目の履修内容との関連性に関する討論 ・細胞、組織、器官の関係と恒常性の維持に関する知識・理解の確認と討論 【授業方法】講義
2	総論：病理診断方法概要，細胞の障害と修復 【授業内容】 ・正常細胞の形態や機能，細胞周期に関する理解（細胞・組織観察含む） ・組織観察の基本とその原理，意義 ・変性，細胞死，酸化ストレス，萎縮・老化，肥大・過形成，化生（細胞・組織観察含む） 【授業方法】講義
3	総論：炎症と免疫，アレルギー，移植と再生医療 【授業内容】 ・炎症の兆候と炎症反応と免疫担当細胞の働き（細胞・組織観察含む） ・各アレルギー反応における免疫担当細胞の働き ・ES細胞，iPS細胞 ・創傷治癒 【授業方法】講義
4	総論：感染症 【授業内容】 ・主要な病原体と感染症 ・新型コロナウイルス感染症など新興・再興感染症 ・感染症の治療と予防；抗菌薬と薬剤耐性，抗ウイルス薬 ・感染症における対症療法と看護の重要性 【授業方法】講義
5	総論：循環障害 【授業内容】 ・静水圧と浸透圧に関する理解と浮腫，充血・うっ血（細胞・組織観察含む） ・凝固系・線溶系の理解と出血，出血傾向，血栓，塞栓・梗塞（細胞・組織観察含む） ・ショック 【授業方法】講義
6	総論：代謝障害 【授業内容】 ・脂質代謝異常（細胞・組織観察含む） ・タンパク質代謝異常（細胞・組織観察含む） ・糖質代謝異常 【授業方法】講義

7	総論：腫瘍 【授業内容】 ・腫瘍の定義・分類（細胞・組織観察含む） ・悪性腫瘍の転移、進行度 ・腫瘍の宿主への影響 ・腫瘍の発生機序，がん遺伝子，がん抑制遺伝子 ・腫瘍の診断方法，腫瘍マーカー 【授業方法】 講義
8	総論：先天異常と遺伝子異常，老化 【授業内容】 ・染色体と遺伝子の構成についての理解と染色体異常，遺伝性疾患 ・胎児の障害 ・遺伝子の異常による疾患と遺伝子多型 【授業方法】 講義
9	各論：循環器，呼吸器の疾患の事例紹介と分析（プレゼンテーションと討議） 【授業内容】 動脈硬化症，心肥大，狭心症，心筋梗塞，肺炎，慢性閉塞性肺疾患，肺がん等 【授業方法】 講義
10	各論：消化器・内分泌疾患の事例紹介と分析（プレゼンテーションと討議） 【授業内容】 消化器がん，クローン病，潰瘍性大腸炎，肝硬変，膵炎，糖尿病等 【授業方法】 講義
11	各論：脳・神経疾患、腎・泌尿器・生殖器・乳腺の事例紹介と分析（プレゼンテーションと討議） 【授業内容】 脳梗塞，髄膜炎，アルツハイマー病，腎不全，ネフローゼ症候群，腎がん，前立腺がん，子宮筋腫，子宮頸がん等 【授業方法】 講義
12	クリティカルケア分野における実践事例 【授業内容】 クリティカルケア分野における実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】 講義・プレゼンテーション
13	クリティカルケア分野における実践事例 【授業内容】 クリティカルケア分野における実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】 講義・プレゼンテーション
14	在宅看護分野における実践事例 【授業内容】 在宅看護分野における実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】 講義・プレゼンテーション
15	在宅看護分野における実践事例 【授業内容】 在宅看護分野における実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】 講義・プレゼンテーション

学習方法

総論では、講義を通して患者の病態を細胞・組織レベルで理解する。各論では、各受講者の追究したい疾患を中心に、総論で得た知識を統合してプレゼンテーションし、ディスカッションを通して深く学ぶ。

オフィスアワー

アポイントを取ってください。
marakawa@tcn.ac.jp（荒川）

テキスト

大橋健一：系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 1．医学書院，2015．

参考文献

田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 疾病のなりたちと回復の促進 2．東京，医学書院，2011．
 下 正宗：正常画像と比べてわかる 病理アトラス 改訂版～全身がみえてくる！ 118 疾患 1000 画像．東京，羊土社，2015．
 エマニュエル・ルービン著，鈴木利光 他訳：カラールービン病理学―臨床医学への基盤．東京，西村書店，2007．
 エマニュエル・ルービン，ハワード M. ライスナー著，河原栄，中谷行雄 監訳：ルービン カラー基本病理学．東京，西村書店，2015．

評価方法

レポート 50%、プレゼンテーション 30%、ディスカッション内容 20%

臨床薬理

更新日：2021/02/08 16:32:35

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88170		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881700
担当教員	柳原 延章						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

薬品が生体に及ぼす影響およびその作用機序について学び、多様な健康問題をもつ対象の特性や病態に応じて使用される薬物の判断根拠、投与後のモニタリング、服薬管理能力の向上のための臨床応用の知識を獲得する。

到達目標

1	薬物療法に関して、基本的知識を身につけることができる。
2	薬物動態学を理解し説明することができる。
3	最新の医薬品情報を適宜収集・確認する習慣を身につける。
4	エビデンスに基づいた薬物治療を理解することができる。
5	看護の分野における薬物管理の実際を理解することができる。

DPとの関連

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	臨床薬理学の定義と概念を学習する。 【授業内容】臨床薬理学の基礎 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
2	臨床薬物治療学(1): 治療学における臨床薬物動態を学習する。 【授業内容】治療学における臨床薬物動態学 【授業方法】講義 【担当】柳原、九州栄養福祉大学食物栄養学部教授
3	臨床薬物治療学(2): 臨床薬物動態学の理論を学習する。 【授業内容】薬物投与計画、薬物送達システム、薬物代謝酵素及びトランスポーター 【授業方法】講義 【担当】柳原、九州栄養福祉大学食物栄養学部教授
4	薬物治療学各論(1): 循環器疾患治療薬を学習する。 【授業内容】循環器疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学教授
5	薬物治療学各論(2): 消化器及び呼吸器疾患治療薬を学習する。 【授業内容】消化器及び呼吸器疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学教授
6	薬物治療学各論(3): 代謝及び内分泌疾患治療薬を学習する。 【授業内容】代謝及び内分泌疾患の治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学教授
7	薬物作用と薬物動態の基本(1): 生理活性物質、病態や薬物の作用機序を学習する。 【授業内容】生理活性物質、病態や薬物作用メカニズム 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
8	薬物作用と薬物動態の基本(2)と処方箋学を学習する。 【授業内容】薬物作用の基礎と処方箋学 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
9	薬物治療学各論(4): 精神疾患や腎泌尿器科疾患治療薬を学習する。 【授業内容】精神疾患や腎泌尿器科疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学教授
10	薬物治療学各論(5): 抗炎症薬、抗リュウマチ薬、鎮痛薬等を学習する。 【授業内容】抗炎症薬、抗リュウマチ薬、鎮痛薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学教授

11	臨床薬物治療学(3): 薬物相互作用、薬理遺伝学、時間薬理学を学習する。 【授業内容】薬物相互作用、薬理遺伝学、時間薬理学 【授業方法】講義 【担当】柳原、九州栄養福祉大学食物栄養学部教授
12	臨床薬物治療学(4): 病態時における薬物療法を学習する。 【授業内容】各種病態時における薬物療法 【授業方法】講義 【担当】柳原、九州栄養福祉大学食物栄養学部教授
13	臨床薬物治療学(5): 病態時における臨床薬物療法の実際を自主学習し課題発表をする。 【授業内容】薬物療法の実際 【授業方法】自主学習の結果をプレゼンテーションする。 【担当】柳原、九州栄養福祉大学食物栄養学部教授
14	在宅看護分野における療養者の薬物投与と生活調整、服薬管理 【授業内容】在宅療養者の薬物投与と投与後のモニタリングと生活調整、服薬管理の実際を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】
15	クリティカルケア看護分野における患者の薬物投与と生活調整、服薬管理 【授業内容】クリティカルケア看護分野における患者の薬物投与と投与後のモニタリングと生活調整、服薬管理の実際を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】

学習方法

授業について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解する。特に、実際の薬物療法をテーマにした課題発表とレポート提出をし、講義と合わせて理解し学習する。

オフィスアワー

yanagin@med.uoeh-u.ac.jp（柳原）
ftakahashi@med.uoeh-u.ac.jp（高橋富美）
t-kojiro@kitakyu-hp.or.jp（高橋浩二郎）までアポイントをとってください。

テキスト

日本臨床薬理学会：臨床薬理学 第4版．東京，医学書院，2017．

参考文献

随時提示する。

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（20％）、筆記試験（80％）

コンサルテーション I

更新日：2021/03/05 12:19:41

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88180		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	881800
担当教員	高橋 清美						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

看護職を含むケア提供者が抱えている問題を解決するのを助けるためのコンサルテーションに必要な基本的知識を修得する。

到達目標

1	コンサルテーション論の理論的背景や定義、コンサルタントの役割について理解する。
2	コンサルテーション論に基づき、コンサルテーションのタイプやモデル、プロセスについて学ぶ。
3	事例を用いて、コンサルテーションの実際を実践的に理解する。

DPとの関連

DP1 ○

DP5 ◎

授業計画

1	コンサルテーション概論① 【授業内容】コンサルテーション論の背景を学び、コンサルテーションの定義やコンサルタントの役割について理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
2	コンサルテーション概論② 【授業内容】コンサルテーションの定義、タイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
3	コンサルテーション概論③ 【授業内容】コンサルテーションとスーパービジョンの違いについて理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
4	コンサルテーション概論④ 【授業内容】コンサルテーションのプロセスについて理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
5	コンサルテーションの実際① 【授業内容】「コンサルティ中心」・「クライアント中心」のケースコンサルテーション事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 【授業方法】演習 【担当】高橋
6	コンサルテーションの実際② 【授業内容】「プログラム中心」・「クライアント中心の管理コンサルテーション」の事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 【授業方法】演習 【担当】高橋
7	コンサルテーションの実際③ 【授業内容】「課題適応型コンサルテーション」、「プロセス適応型コンサルテーション」の違いについて理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
8	まとめ 【授業内容】ディスカッションを通しての学びを発表する 【授業方法】演習：学生によるプレゼンテーション 【担当】高橋

学習方法

講義を通して、コンサルテーションの基本的知識を理解する。事例を通して、コンサルテーションタイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

テキスト

川野雅資：コンサルテーションを学ぶ。東京，クオリティケア，2013.

参考文献

適宜紹介します

評価方法

ディスカッションへの参加度（60％） プレゼンテーション（40％）

コンサルテーションII

更新日：2021/03/05 12:24:05

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88190		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	881900
担当教員	高橋 清美						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

コンサルテーションに関する基本的知識、コンサルテーションモデルを基に、コンサルテーション事例や演習を通して、専門看護師が実践するコンサルテーションに必要な臨床判断、目標設定、問題解決の方略や技術を修得する。

到達目標

1	コンサルテーションモデルを理解する。
2	専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、知識、問題解決のための方略を理解する。
3	専門領域における模擬コンサルテーションを通して、コンサルタントの役割、コンサルテーションプロセス、評価方法を理解する。

DPとの関連

DP6（保健）◎

DP6（CNS）○

授業計画

1	コンサルテーション論 【授業内容】コンサルテーション論の歴史的背景やコンサルテーションのタイプ、モデルについて理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
2	文献抄読 【授業内容】Advanced Practice Nursing An integrative approach 5th edition の Chapter7 Consultationを読み、専門看護師によるコンサルテーションモデルを理解する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
3	専門看護師によるコンサルテーション① 【授業内容】専門看護師が行うコンサルテーションのタイプの違いによるコンサルタントの役割や目標設定、介入計画、評価方法について習得する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
4	専門看護師によるコンサルテーション② 【授業内容】専門看護師が行うコンサルテーションのタイプの違いによるコンサルタントの役割や目標設定、介入計画、評価方法について習得する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
5	事例検討（1） 【授業内容】コンサルテーションのタイプ別事例を通して、専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、目標設定、解決のための方略を検討する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
6	事例検討（2） 【授業内容】コンサルテーションのタイプ別事例を通して、専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、目標設定、解決のための方略を検討する。 【授業方法】講義 【担当】高橋
7	模擬コンサルテーション課題演習（1） 【授業内容】専門領域における模擬コンサルテーション事例を作成し、専門看護師としての判断、目標設定、解決のための方略を立案する。 【授業方法】プレゼンテーション 【担当】高橋
8	模擬コンサルテーション課題演習（2） 【授業内容】専門領域における模擬コンサルテーション事例を作成し、専門看護師としての判断、目標設定、解決のための方略を立案する。 【授業方法】プレゼンテーション 【担当】高橋

学習方法

講義、グループディスカッションを通して、専門看護師が行うコンサルテーションの実際、コンサルタントの役割について理解を深める。模擬コンサルテーション事例を通して、専門領域におけるコンサルテーションを実践的に理解する。

オフィスアワー

メールでの相談等を受け付けます。k-takahashi@jrckicn.ac.jp(高橋)

テキスト

川野雅資：コンサルテーションを学ぶ．東京，クオリティケア，2013．

Hamric, A.B.: Advanced Practice Nursing An integrative approach 5th edition．Saunders，2014．

参考文献

適宜紹介します

評価方法

授業への参加度（60％） 課題プレゼンテーション（40％）

専門実習Ⅰ

更新日：2021/03/18 17:48:16

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	8820B		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882000
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習 領域：助産教育コース以外の専門領域						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。
尚、助産教育コースを受けるものは、妊娠期から産後までの継続事例やその家族に対して外来や家庭での保健指導を行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	これまでの経験や文献等をもとに、各自の専門領域で、探究すべきテーマを明確にできる
2	1に基づき本実習を、自立して計画・実施・評価できる
3	文献や理論を活用して、実習成果をレポートとして記述できる

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP3○
DP4○
DP5◎

授業計画

	授業計画 【授業内容】 【授業方法】 実習 【方法】 1．各自の専門領域の中で関心がある領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自の目的に沿った実習を計画し、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを 含む）。 2．実習で探究したテーマを、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後1ヶ月以内に提出する。
1	【実習場所】 ・各自が目的にあったフィールドを選定する （選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する） 【実習期間】 ・学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 ・実習時間は2単位90時間とする。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。 【担当】

学習方法

各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる

オフィスアワー

各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

「実習と文献検討をもとに、探究すべき課題」についてのレポート（60％）、目標達成度（40％）

専門実習Ⅰ

更新日：2021/02/25 19:56:56

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	8820A		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882000
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：選択（助産教育コース必修） 授業形態：実習 領域：助産教育コース						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。
尚、助産教育コースを受けるものは、妊娠期から産後までの継続事例やその家族に対して外来や家庭での保健指導を行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	妊婦健診を行い、妊婦のアセスメントができる
2	正常に経過するための妊婦への保健指導が実施できる
3	産後の母子の健康診査が実施できる
4	継続ケアの意義について説明できる

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

	授業計画 【授業内容】Ⅰ．目標：妊娠期および産褥期、育児期の母児に対して、助産診断を行い、継続的な助産ケアを展開する。 【授業方法】Ⅱ．方法 1．実習時期：2月初旬から3月 2．対象者：妊娠後期以降の合併症のない妊婦1名（2月下旬～3月初旬に分娩予定） 3．実習施設：福岡赤十字病院、熊本赤十字病院、宗像セントラルクリニックなど 4．実習の進め方 1）妊娠後期から妊娠健康診査を行い、助産診断・助産計画を立案する。 2）助産計画に従って、実施、評価する。 3）妊婦健康診査において個別指導を展開する。 4）個別指導を行う前に、必ず指導案を立案し、教員および臨床指導者の指導を受け、実施の許可を得る。 5）産後の母児の健康診査を行い、必要な指導・ケアを行う。産後の家族計画指導も行う。 Ⅲ．実習上の留意点 助産ケアの展開においては、エビデンスに基づく実践を心がける。 助産診断をもとに予防的ケアを行い、助産ケアの一貫性、継続性を図る意義などについて考察する。

学習方法

本実習では妊娠後期の妊婦を受け持ち、妊娠期から出産後までの長期にわたり母子の健康状態を把握する。母子が健やかに経過するために必要な知識、技術を実践する能力を養う。妊娠後期の妊婦健診は週1回となる。身体だけではなく、心理社会的背景もアセスメントし、必要な保健指導ができるように研鑽する。課題研究と並行して行う実習となるため、計画性を持って実施することが望まれる。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）（園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産学関連の図書、文献など

評価方法

実習評価表（100％）

専門実習Ⅱ

更新日：2021/03/18 17:48:40

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	8821B		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882100
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：実習 分野：助産教育コース以外の専門領域						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。尚、助産教育コースを受けるものは、分娩・産褥早期の継続事例（新生児を含む）やその家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	各自の専門領域で必要とされる実践力について文献等を通して明確にできる
2	1に基づき自己の実践力を評価し、本実習で取り組む実習テーマを設定できる
3	設定したテーマに基づき、実習計画の立案・実施・評価ができる
4	文献や理論を活用して、実習の成果をレポートとして記述できる

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP3○
DP4○
DP5◎

授業計画

1	授業計画 【授業内容】 【授業方法】 実習 【方法】 1．各自の専門領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自が設定したテーマに沿った実習を計画、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを含む）。 2．実践力向上に向けて実施した実習の成果を、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後1ヶ月以内に提出する。
	【実習場所】 ・各自が目的にあったフィールドを選定する （選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する） 【実習期間】 ・学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 ・実習時間は2単位90時間とする。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。 【担当】

学習方法

各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる

オフィスアワー

各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

「課題に基づく実習成果」についてのレポート（60％）、目標達成度（40％）

専門実習Ⅱ

更新日：2021/02/25 19:58:33

開講年度	2021	学期	通年	シバースト	8821A		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882100
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：選択（助産教育コース必修） 授業形態：実習 領域：助産教育コース						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。尚、助産教育コースを受けるものは、分娩・産褥早期の継続事例（新生児を含む）やその家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	継続受け持ち事例の分娩、産褥、新生児の助産診断が実施できる
2	受け持ち事例の分娩介助が実施できる
3	入院時の産後ケアが実施できる
4	産後の保健指導案の立案と個別の保健指導が実施できる

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	授業計画 【授業内容】Ⅰ．目標： 妊娠中に受け持った継続事例の分娩および産褥早期（新生児を含む）の助産診断を行い、必要な助産ケアを展開する。 【授業方法】Ⅱ．方法 1．実習時期 対象の分娩の進行、入院期間に合わせて実習日を設定する。（分娩予定日2月下旬～3月初旬） 2．実習施設 福岡赤十字病院 熊本赤十字病院 宗像セントラルクリニックなど 3．実習の進め方 1）分娩予定日前に、分娩の初期計画を立案し、産婦の状況に応じて助産診断を修正しながら助産ケアを行う。 2）分娩終了後、早期に産褥期の助産計画（新生児も含む）を立案し、日々の助産計画を修正しながら助産ケアを行う。 3）個別指導（授乳、沐浴、退院指導など）を行う前に、必ず指導案を立案し、教員および臨地指導者の指導を受け、実施の許可を得る。 Ⅲ．実習上の留意点 助産ケアの展開においては、エビデンスに基づく実践を心がける。 助産診断をもとに予防的ケアを行い、助産ケアの一貫性、継続性を図る意義などについて考察する。 注）本実習には、受胎調節実地指導員資格を取得するための実習を含む。

学習方法

妊娠後期から受け持った継続事例と信頼関係を築き、正常に経過するための助産ケアを実施する。新しい家族関係が構築できるための助産師の援助について考察する。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）（園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産学関連の図書、文献など

評価方法

実習評価表（100％）

文献クリティーク演習

更新日：2021/02/28 16:22:25

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	88220		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882200
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修）（助産教育コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる

DPとの関連

DP2 ◎

DP3 ○

DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】講義 【担当】永松、石山、園田
2	英文文献の検索方法 【授業内容】英文文献の検索方法の説明 【授業方法】講義 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
7	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（1） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した文献クリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】永松、石山、園田
8	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（2） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した文献クリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】永松、石山、園田
9	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（3） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した文献クリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】永松、石山、園田
10	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（4） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した文献クリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】永松、石山、園田

11	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（5） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した文献クリティーク 【授業方法】討議・発表 【担当】永松、石山、園田
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業内容】各自の文献レビューおよび研究の仮テーマ 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田
13	研究の仮テーマにそった文献レビュー（1） 【授業内容】各自の研究の仮テーマにそった文献レビュー 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田
14	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（2） 【授業内容】各自の研究の仮テーマにそった文献レビュー 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田
15	文献レビューに基づき研究計画書の作成（1） 【授業内容】各自の文献レビューに基づいた研究計画書 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田
16	文献レビューに基づき研究計画書の作成（2） 【授業内容】各自の文献レビューに基づいた研究計画書 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田

学習方法

合同講義の後、各コースに分かれゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述した研究計画書の作成を進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp 園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20％）、発表・資料（30％）、研究計画書（50％）

課題研究

更新日：2021/03/04 19:18:03

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	88230		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	882300
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修）（助産教育コース必修） 授業形態：演習						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	研究計画発表会の準備（4月） 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、修士論文作成過程を展開する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
2	研究計画審査会への申請（5月） 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
3	本学研究倫理審査委員会への申請（6月） 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
4	研究計画に基づいたデータ収集（7月） 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼を行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
5	データ収集（8月） 研究計画と作業スケジュールに基づき、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。
6	データ分析（9月） 【授業内容】選択したデータ分析方法に基づき、データを分析する。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
7	データ分析の結果（11月） 【授業内容】データ分析結果の整理 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
8	論文作成（12月） 【授業内容】修士論文は、論文の審査基準（修士論文：課題研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
9	論文審査・修士論文発表会の準備（1月） 【授業内容】論文審査・修士論文発表会における準備 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田
10	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案（2月） 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、緒方、園田

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp 園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

疫学Ⅱ

更新日：2021/09/21 13:39:40

開講年度	2021	学期	後期	シバースト	LHE402		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531400
担当教員	守山 正樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康問題の原因追究のアプローチを理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疫学概念と方法を多様な課題に適用して理解できる。
2	疫学研究の成果を批判的に吟味でき、成果を地域や集団に応用して考えられる。

授業計画

1	人口と疫学調査のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【復習】60分：該当箇所を復習する。 【担当】守山
2	疫学研究方法のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】40分： http://epidemiology-a.blogspot.com/ で症例対照研究、コホート研究、介入研究を確認する。 【復習】20分：自分で方法を使う場合の条件や予想される結果を考える。 【担当】守山
3	相関関係と因果関係のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML相関と因果,を確認 http://id.nii.ac.jp/1127/00000602/ 【復習】30分：相関関係と因果関係の実例を考える。 【担当】守山
4	疫学指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML疾病の量的把握,を確認 http://id.nii.ac.jp/1127/00000600/ 【復習】30分：講義を受けた箇所を再度確認する。 【担当】守山
5	スクリーニングの考え方と数値指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：MLスクリーニング検査,を確認 http://id.nii.ac.jp/1127/00000609/ 【復習】30分：感度、特異度、偽陽性率、偽陰性率などの具体例を考える。 【担当】守山
6	標準化の考え方と保健活動 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：年齢調整死亡率、標準化死亡比の考え方をチェックする。 【復習】30分：関心のある市町につき、自分で計算してみる。 【担当】守山
7	地域診断、臨床疫学 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML臨床疫学の考え方,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000664/ 【復習】30分：レポートに学習内容が反映されているかを点検・修正する。 【担当】守山
8	看護実践と疫学、フィードバック 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：ML根拠に基づく看護実践,を視聴 http://id.nii.ac.jp/1127/00000667/ 【復習】30分：直近の実習で経験した事例を疫学的エビデンスの視点で振り返る。 【担当】守山

先行履修科目

なし

テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学。医学書院，2020。

参考文献

- ・疫学マイクロレクチャー <http://epidemiology-a.blogspot.com/>
- ・疫学応用マイクロレクチャー <http://epidemiology-b.blogspot.com/>
- ・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊,国民衛生の動向2021/2022．厚生労働統計協会，2021．

評価方法

各回提出物40％、授業参加度20％、レポート40％

教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

メッセージ

疫学は看護職者が地域で保健活動するときの方法論です。保健師国家試験に合格し、保健師として働くためにも、この方法論をしっかりと身につけてください。

保健統計学

更新日：2021/01/22 14:14:46

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LHE208		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531500
担当教員	中山 晃志						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

公衆衛生の課題解決に向かう保健統計の考え方を理解し、それらの概念と方法を様々な集団に応用し、看護職者に必要なエビデンスに基づいた集団へのアプローチを習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人口に関する統計および指標について説明することができる。
2	出生や死亡の傾向および特徴について説明することができる。
3	様々な保健統計調査について特徴を説明することができる。
4	様々な保健指標について説明することができる。

授業計画

1	保健統計の概要と用語 【授業方法】講義（AL） 【復習】30分：用語の意味や使い方について理解する。 【担当】中山（晃）
2	統計資料（データ、図表）の見方 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：前期「統計学」で出てきた図表に関して見直しておく。 【復習】60分：図表から傾向や特徴を読み取る。 【担当】中山（晃）
3	人口静態統計 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：人口調査の種類や人口構成について用語、値、傾向などを理解する。 【担当】中山（晃）
4	人口動態統計 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：人口動態（死亡、出生、死産、婚姻、離婚）について用語、値、傾向などを理解する。 【担当】中山（晃）
5	死亡指標の標準化、生命表 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：年齢調整死亡率および標準化死亡比の特徴や生命表の用語、値、傾向などについて理解する。 【担当】中山（晃）
6	主な疾患の死亡統計 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：年齢階級別の死因順位や疾患による死亡の特徴や傾向などについて理解する。 【担当】中山（晃）
7	人口静態統計と人口動態統計のまとめ 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。 【担当】中山（晃）
8	基幹統計 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査などの医療福祉に関連する基幹統計について特徴などを理解する。 【担当】中山（晃）
9	基礎的な統計調査 他 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：感染症発生動向調査や国民健康・栄養調査など医療福祉に関連する統計調査について特徴などを理解する。 【担当】中山（晃）
10	基幹統計や他の保健統計調査のまとめ 【授業方法】講義と演習（AL） 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。 【担当】中山（晃）

11	医療現場における情報システム 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：病院情報システムおよび遠隔医療システムの概要や情報の流れを理解する。 【担当】中山（晃）
12	保健医療情報の収集(1) 【授業方法】講義（AL） 【復習】30分：様々な保健医療情報（データ）の所在についてweb上で確認する。 【担当】中山（晃）
13	保健医療情報の収集(2) 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テーマに沿って最新のデータを収集する。 【復習】30分：探しきれなかった最新データの所在をweb上で確認する。 【担当】中山（晃）
14	情報の保護と管理 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テーマに沿って調べる。 【復習】60分：講義を受けて、自分が調べた内容の不足部分を振り返る。 【担当】中山（晃）
15	試験に対するフィードバック 【授業方法】講義（AL） 【復習】60分：試験の結果から弱点を確認し、振り返りをおこなう。 【担当】中山（晃）

先行履修科目

なし

テキスト

白戸亮吉，鈴木研太：ていねいな保健統計学．羊土社，2018．
厚生労働統計協会編：国民衛生の動向 2020/2021．厚生労働統計協会，2020．

参考文献

福富和夫，橋本修二：保健統計・疫学（改訂6版）．南山堂，2018．
牧本清子 他：標準保健師講座 疫学・保健統計学 別巻2（第3版）．医学書院，2015．

評価方法

試験70％，課題提出30％

教員等の実務経験

メッセージ

講義内で出てきた様々な調査の特徴や保健指標を自分で表にまとめるなどして，調査や指標について整理するよう復習をしてください。

人間工学

更新日：2021/03/17 15:08:33

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	LHE107		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531600
担当教員	大貝 知子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

人間の能力・特性に適合した機械装置や設備環境について学習し、保健医療分野への応用を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	患者の健康をサポートする環境作り、また看護ケアの質を向上させる環境作りについて、学生が人間工学の基礎的知識を活用し、多面的に考察することの重要性を理解できる。

授業計画

1	人間工学とは 【授業方法】講義 【復習】30分：教科書内容の学習・人間工学を応用した身近な製品を探す 【担当】大貝
2	看護・介護と人間工学 【授業方法】講義 【復習】30分：本日授業で学習した内容 【担当】大貝
3	身体の動き 【授業方法】講義 【復習】30分：教科書内容の学習・講義内容に関連する動画サイトの閲覧 【担当】大貝
4	安全性と人間工学 【授業方法】講義 【復習】30分：本日授業で学習した内容 【担当】大貝
5	医療施設空間・介護施設空間と人間工学 【授業方法】講義 【復習】30分：本日授業で学習した内容 【担当】大貝
6	健康をサポートする環境 【授業方法】講義 【復習】90分：ナイチンゲールの覚え書き（部分）読書・レポート作成 【担当】大貝
7	住宅等の福祉環境（1）日常生活の危険性について 【授業方法】講義 【復習】30分：身近な住空間を授業内容と比較し、内容を理解 【担当】大貝
8	住宅等の福祉環境（2）バリアフリー改修などについて 【授業方法】講義 【復習】30分：身近な住空間を授業内容と比較し、内容を理解 【担当】大貝
9	バリアフリー体験（1）場所：校内 方法：高齢者体験キット、妊婦キット着用、車椅子を利用し、校内のバリアフリーの状況点検 【授業方法】演習 【復習】通常の状態と、高齢者体験、妊婦体験、車椅子体験等の動作の違いを確認する。 【担当】大貝
10	バリアフリー体験（1）続き・体験から、日常で気付けない事を学ぶ。グループによる体験まとめの発表 【授業方法】講義 【復習】60分：実習レポート作成 体験から、日常で気付けない事を学ぶ。 【担当】大貝
11	都市環境におけるユニバーサルデザインの導入 【授業方法】講義 【復習】30分：交通機関施設等日常利用空間の取り組みを理解する。 【担当】大貝

12	バリアフリー体験（2）場所：大学周辺 方法：9にならう 【授業方法】 演習 【復習】 60分：レポート作成のための復習 【担当】 大貝
13	バリアフリー体験（3）場所：調理室 方法：耳栓・手袋着用により、細かな作業を行い、日常における高齢者などの不便さを体験。 【授業方法】 演習 【予習】 30分：授業内容を理解し、グループで役割などの準備を行う。 【担当】 大貝
14	バリアフリー体験（3）続き 場所：調理室・各自の体験の感想や、バリアフリーなどに関する意見交換。 【授業方法】 講義 【復習】 60分：身近な高齢者の動作などを考察 【担当】 大貝
15	レポートの発表・各自の住まいや施設のバリアなどをレポートし、より深く日常の危険性や事故の可能性を考察(フィードバック) 【授業方法】 講義 【復習】 120分：全体を通し、人間工学と看護の関わりを自分なりに考察する 【担当】 大貝

先行履修科目

なし

テキスト

小川鎮一 他：看護・介護のための人間工学入門．東京電機大学出版局，2006．．

参考文献

平田雅子：新体系看護学全書 基礎科目 物理学．メテカルフレンド社，2008．
 柳澤忠 監修：健康デザイン 健康をサポートする環境づくり．医歯薬出版，2000．
 大河原千鶴子 他 編集：ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学．医歯薬出版，2002．

評価方法

定期的な課題レポート(90 %)、授業参加度(10 %)で総合的に評価する。

教員等の実務経験

メッセージ

栄養学

更新日：2021/02/26 20:38:11

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LHE102		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531700
担当教員	沖田 千代						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

授業の目的

五大栄養素（糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル）の種類、機能およびその代謝について理解し、健康を保持・増進するための食生活および疾病別食事療法について学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	摂取した食物の消化・吸収およびその後の栄養素の体内での代謝と生理的役割を理解し、食物摂取の意義を自ら考えることができる。
2	妊娠期から高齢期までの各ライフステージの栄養と健康の関わりを理解し、健康を保持・増進するための食生活を自ら考え、実践することができる。
3	疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方を理解することができる。
4	チーム医療における栄養管理の重要性を理解することができる。

授業計画

1	食は生命を律する～医療スタッフの1人として、栄養状態改善を必要とする患者様の存在とそのサポートを目的とした栄養学的視点の必要性 【授業方法】講義 【予習】20分：テキストの通読 テキスト第4章エネルギー代謝について読む
2	オリエンテーション エネルギー代謝 摂取エネルギーと消費エネルギーの計算、メッツの計算 【授業方法】講義・演習 【復習】40分：課題—食事・生活記録から摂取・消費エネルギーの理解と計算の復習
3	食事と食品 栄養の概念 医療と栄養 栄養状態の評価 五大栄養素の種類と働き 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：テキスト第5章「食事と食品」、第1章「人間栄養学と看護」を読む【復習】30分：五大栄養素について復習する。食事・生活記録を1日間記録する（課題提出）
4	食物の消化と吸収1 （糖質の種類とはたらき） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章の糖質について読む 【復習】30分：糖質の種類・消化・吸収の復習
5	食物の消化と吸収2 （たんぱく質の種類とはたらき） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章のたんぱく質について読む 【復習】30分：たんぱく質の種類・消化・吸収の復習
6	食物の消化と吸収3 （脂質の種類とはたらき） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章の脂質について読む 【復習】30分：脂質の種類・消化・吸収の復習
7	ビタミンの種類とはたらき 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章のビタミンについて読む【復習】30分：各ビタミンの生理機能、欠乏症、含有食品について表にまとめる
8	ミネラルの種類とはたらき 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章のミネラルについて読む 【復習】30分：各ミネラルの生理機能、欠乏症、含有食品について表にまとめる
9	栄養素の代謝・水の代謝・食物繊維のはたらき・摂食行動 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章食物繊維、水・第3章栄養素の代謝について読む 【復習】30分：栄養素の消化・吸収・代謝の流れを理解する
10	今までのまとめと紙面による評価 【授業方法】講義・演習 【予習】20分：ライフステージ別栄養の箇所を読む 【復習】30分：評価のため、要点を復習する
11	ライフステージ別栄養1 妊娠期（胎児期）・授乳期・乳幼児期・学童期・思春期における食生活と健康 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第8章ライフステージ別栄養について読む 【復習】30分：講義中のスライドの復習、胎児期～思春期までの栄養法と問題点を考察する

12	ライフステージ別栄養2 成人期・更年期・高齢期における食生活と健康 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第8章ライフステージ別栄養について読む 【復習】30分：講義中のスライドの復習、成人期～高齢期までの栄養法と問題点を考察する
13	臨床栄養 糖尿病食品交換表の使い方 献立の作成法と調理の基本 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：第9章臨床栄養について読む 【復習】献立の立て方・成分表の使い方、食品成分表・食品交換表を用いての献立作成の理解と応用（課題提出）
14	自己の健康保持・増進のための食事計画 献立作成、食品の衛生と安全（食中毒・食品添加物） 【授業方法】講義・演習 【復習】20分：自己評価、調理の際の衛生管理
15	まとめ(フィードバック) ・疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方と重要性の理解 ・試験後のまとめ授業 【授業方法】講義 【予習】20分：14回までの授業内容の確認・振り返り【復習】30分：総合的な個々人の栄養管理の重要性の理解

先行履修科目

なし

テキスト

中村丁次ら：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能③栄養学 第12版．医学書院，(年版は最新の年版を使用する)．

参考文献

食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版 大修館書店 2017.
日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版．文光堂，2013.
厚生労働省策定：日本人の食事摂取基準[2020年版].第一出版,2019.

評価方法

定期試験35％、課題提出35％、授業参加度30％

教員等の実務経験

メッセージ

課題の提出は「栄養学」科目の取得単位に関係します。課題を提出したかどうかは自分で管理してください。

食生活論

更新日：2021/02/25 16:42:34

開講年度	2021	学期	後期	シバースト	LHE209		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	531800
担当教員	白石 美恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

基礎栄養学の知識を基に、健康を保持・増進するための食生活の実践について学ぶ。
さらに、疾患別栄養食事療法を理解し、医療における栄養ケアについて学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

到達目標

1	健康を保持・増進し、疾病の予防に繋がる食生活とはどのような事かを事例と共に理解することができる。
2	調理実習を経験することにより食品の衛生・安全の管理法を理解することができる。
3	疾患別栄養食事療法の実際について理解することができる。

授業計画

1	健康の保持・増進のための食生活 ライフステージ別栄養と常食 【授業方法】講義 【予習】120分：テキスト①栄養学の復習 参考①栄養食事療法 第1,14～17章を読む（予習） テキスト①栄養食事療法 第2,3章を読む（予習） 栄養指導の集団・個人指導の実際について解説する。 【担当】白石
2	病人食の分類と形態 食生活指導 （1）集団指導 （2）個人指導 学生同士の栄養指導の実際 【授業方法】講義・演習（GW） 【予習】60分：テキスト②食品成分表参照 調理実習に向け、食品の衛生・安全を理解する。 【復習】60分：学生同士の栄養指導のまとめ 【担当】白石
3	調理実習1 健康の保持・増進のための食事（1） 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：実習献立から栄養価や栄養バランスを考え、実際に常食の献立作成が出来る様に理解する。 【担当】白石
4	調理実習1 健康の保持・増進のための食事（2） 【授業方法】演習（実技） 【予習】90分：実習レポート（提出1） 【復習】90分：調理実習後の考察・まとめ報告献立作成・栄養価計算 【担当】白石
5	調理実習2 栄養食事療法の実際（1） 疾患別栄養食事療法 症例報告と対策 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：参考①栄養食事療法 第3～9章について読む 【復習】30分：常食との相違点を考え、理解する 【担当】白石
6	調理実習2 栄養食事療法の実際（2） 疾患別栄養食事療法 症例報告と対策 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：実習レポート（提出2） 参考①栄養食事療法 第12,13章について読む 【復習】60分：症例報告に対する自分の考えをまとめる 【担当】白石
7	調理実習3 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法（1） 【授業方法】演習（実技） 【予習・復習】60分：治療食献立の調理実習と試食を通して調理法や献立を学習し、他の疾患の食事療法について応用出来るように理解する。 【担当】白石
8	調理実習3 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法（2） 調理実習後フィードバック 【授業方法】演習（実技） 【復習】180分：実習レポート（提出3） 治療食献立作成・栄養価計算 調理実習後の考察・まとめ報告（復習） 【担当】白石

先行履修科目

なし

テキスト

- ①中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能③栄養学 第12版．医学書院，2015．
- ②食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版．大修館書店，2016．
- ③日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版．文光堂，2013．

参考文献

- ①中村丁次 他：系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 第3版．医学書院，2015．
- ②本田佳子編：新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント第3版．医歯薬出版,2016．

評価方法

課題提出50％、授業参加度50％

教員等の実務経験

メッセージ

英語 I

更新日：2021/09/21 13:42:00

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL101		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540100
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

国際的なコミュニケーションの主たる手段である英語を「読み」「書き」「聞き」「話し」「考える」ための基礎力を身につける。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	知識の習得から実践力（4技能）を強化できる。
3	自立した学習者を目指す自己学習法を習得できる。
4	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。

授業計画

1	オリエンテーション Unit 1 動詞の形① 現在形・過去形 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.20-p.34)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 001 Unit 001 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
2	Unit 2 動詞の形② 未来の表し方・進行形 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.35-p.50)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 002 Unit 002 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
3	Unit 3 Unit 3 動詞の形③ 完了形 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.51-p.66)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S 動詞の形に関するR&W 文法 Unit 003 Unit 001 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
4	動詞復習 NANEXT 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 004 Unit 003 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
5	Unit 4 受動態① 受動態の基本・助動詞が入った受動態・進行形/完了形の受動態 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.67-p.82)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）受動態に関するL&S R&W 受動態に関する文法 Unit 005 Review 001 Unit 004 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
6	Unit 5 受動態② 授与動詞のある文の受動態・注意すべき受動態etc." 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.83-p.98)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）受動態に関するL&S 受動態に関するR&W 文法 Unit 006 Unit 002 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者

7	"受動態復習 NA NEXT" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】受動態の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 受動態に関するL&S R&W 受動態に関する文法 Unit 007 Unit 005 Review 001 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
8	"Unit 6 助動詞① 助動詞の基本" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.99-p.114)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&S R&W 助動詞に関する文法 Unit 008 Unit 006 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
9	"Unit 7 助動詞② 推量や可能性を表す助動詞・助動詞+have+過去分詞" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.115-p.130)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&S 助動詞に関するR&W 文法 Unit 009 Unit 003 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
10	"助動詞復習 NA NEXT" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：助動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&S R&W 助動詞に関する文法 Unit 010 Unit 007 Review 002 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
11	"Unit 8 仮定法① 仮定法の基本" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.131-p.146)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&S R&W 仮定法に関する文法 Unit 011 Unit 008 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
12	"Unit 9 仮定法② should/were to・ifの省略・仮定法現在" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.147-p.162)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&S 仮定法に関するR&W 文法 Unit 012 Unit 004 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
13	"仮定法復習 NA NEXT" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：仮定法の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&S R&W 仮定法に関する文法 Unit 013 Unit 009 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
14	"Unit 10 不定詞① 不定詞の基本・否定語の位置" 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.163-p.178)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 不定詞に関するL&S 不定詞に関するR&W 文法 Unit 014 Unit 005 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
15	不定詞復習 NA NEXTとフィードバック 【授業方法】講義・演習・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業 【予習】 (課題) 不定詞に関するL&S 不定詞に関するR&W 不定詞に関する文法 Unit 015 Unit 010 Review 003 Review 001 【復習】90分：不定詞の復習、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 授業のフィードバック 【担当】高瀬、授業担当補助者

先行履修科目

なし

テキスト

木村達也.英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 コメブン1.アルク.2013
その他 配布プリント。

参考文献

赤尾好夫編：英語の総合的研究．旺文社，2010．（復刻版）
豊永彰：英文法ビフォー&アフター．南雲堂，2009．
中原道喜：新英文読解法．聖文新社，2003．

評価方法

クラスでの活動評価（小テスト等）30％、試験及び課題の達成度（NA NEXT進捗率）40％、授業への参加度 30％

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

本科目では、全員がALK Net Academy NEXT総合英語トレーニング初級コースでe-learningしながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。

授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。評価は、4クラス共通の定期試験（30％）、クラスでの活動評価（30％）、試験および課題の達成度（NA NEXT進捗率）(40%)によって行います。ALK Net Academy NEXT総合英語トレーニング初級コースを受講し、TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで400点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

英語Ⅱ

更新日：2021/09/21 13:43:17

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL105		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540200
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

英語Ⅰで身につけた基礎力を基に、英文を読む力と英語で発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	2～4年で自分が行う英語学習の目標と計画を立てることができる。
2	英語の基礎の定着と応用力の習得ができる。
3	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して知識の習得と英語の実践力（4技能）を強化できる。
4	自立した学習者を目指し、自己学習法を習得することができる。

授業計画

1	Unit 11 不定詞② 意味上の主語・原形不定詞・完了不定詞・不定詞の受動態と進行形 etc. 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.179-p.194)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
2	不定詞復習 NA NEXT 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：不定詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）不定詞に関連したL&S R&W 不定詞に関連した文法 Unit 012 Unit 04 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
3	Unit 12 動名詞① 動名詞の基本・意味上の主語・完了動名詞・動名詞の受動態 etc. 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.195-p.210)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動名詞に関連したL&S R&W 動名詞に関連した文法 Unit 013 Unit 09 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
4	Unit 13 動名詞② 動詞+to不定詞または動名詞 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.211-p.226)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
5	動名詞復習 NA NEXYT 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：動名詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動名詞に関連したL&S R&W 動名詞に関連した文法 Unit .14 Unit 009 Review 004 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
6	Unit 14 分詞① 限定用法と叙述用法 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.227-p.242)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）分詞に関連したL&S R&W 分詞に関連した文法 Unit 015 001 Unit 010 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
7	Unit 15 分詞② 分詞構文・with+独立分詞構文 etc. 【授業方法】情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習（AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.243-p.258)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者

8	分詞復習 NA NEXT 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：分詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 分詞に関連したL&S R&W 分詞構文に関連した文法 Unit 016 006 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
9	Unit 16 関係詞① 関係代名詞の基本・thatが好まれる場合 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：テキスト(p.259-p.274)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 017 Unit 011 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
10	Unit 17 関係詞② 前置詞＋関係代名詞・what・限定用法と非制限用法 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：テキスト(p.275-p.290)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 018 Unit 012 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
11	Unit 18 関係詞③ 関係副詞・複合関係詞 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：テキスト(p.291-p.306)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
12	関係詞復習 NA NEXT 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：関係詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 019 Unit 007 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
13	Unit 19 比較① 比較の基本・比較級／最上級の協調・各級間の書き換え 【授業方法・グループワーク・プレゼンテーション】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL) 【予習】 60分：テキスト(p.307-p.322)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 020 Unit 013 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
14	Unit 20 比較② さまざまな比較表現 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：テキスト(p.323-p.338)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
15	比較復習 NA NEXTとフィードバック 【授業方法】 情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)と全15コマのフィードバック 【予習】 60分：比較の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 021 Unit 14 【復習】 90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者

先行履修科目

なし

テキスト

木村達也.英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 ユメブン1.アルク.2013
その他 配布プリント。

参考文献

斎藤兆史：これが正しい英語学習法．筑摩書房（ちくまプリマー新書），2007．
竹内 理：「達人」の英語学習法．思想社，2007．
鳥飼玖美子：国際共通語としての英語．講談社（現代新書），2011．
中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！．筑摩書房（ちくま文庫），2008．

評価方法

授業への参加度 30％、クラスでの活動評価（小テスト等）30％、試験および課題の達成度（NA NEXT進捗率）40％

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

本科目では、全員がALK Net Academy NEXT総合英語トレーニング初級コースでe-learningしながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。

授業は4クラス制で行い、教材は、「英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 ユメブン1」という共通教材と、担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。

評価は、共通試験（30％）、クラスでの活動評価（30％）、試験および課題の達成度（NA NEXT進捗率）（40％）によって行います。ALK Net Academy NEXT総合英語トレーニング初級コースを受講し、TOEIC L&R テストまたはTOEICの模擬テストで500点とれる学力をつけることができるように努力してください。

英語III

更新日：2021/09/21 13:44:20

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL201		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540300
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

国際活動や留学に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に高める。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	医療・科学的な英文記事・エッセイを読み、内容を理解し、英語で要約することができる。
2	英語の授業を聞き、内容を聞き取ることができる。
3	英語でエッセイを書くことができる。
4	英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。
5	異なる文化的背景を持つ人と英語で討議ができる。
6	情報リテラシー（ICT)を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	Unit 1 Medical truth 医学的な真実 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキストのChapter 1(p.1-p.4)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
2	Unit 2 TV Makes You Fat テレビを見ると太る？ 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 2(p.5-p.8)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
3	Unit 3 Melatonin and Jet Lag メラトニンと時差ボケ 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 3(p.9-p.12)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
4	Unit 4 Fever 人体の不思議-発熱 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 4(p.13-p.16)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
5	Unit 5 How Maggots Cure ウジ虫を使った治療 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 5(p.17-p.20)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
6	Unit 6 Titan 土星の第6衛星タイタン 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 6(p.21-p.24)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
7	Unit 7 The ABC of CPR 心肺機能蘇生法 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 7(p.25-p.28)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 7の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬

8	Unit 8 Light Travels Awfully Fast 先人たちの努力-光の速度をはかる 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 8(p.29-p.32)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
9	Unit 9 History of Coffee コーヒーの歴史 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 9(p.33-p.36)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Cテキストのhapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
10	Unit 10 Melatonin メラトニン 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 10(p.37-p.40)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
11	Unit 11 Gravity Force 重力をコントロールできれば 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 11(p.41-p.44)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
12	Unit 12 Caffeine カフェインは危険なアルカイド？ 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 12(p.45-p.48)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
13	Unit 13 How You Regulate Heat 人体の不思議-体温 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 13(p.49-p.52)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
14	Unit 14 TV Lies Well テレビではうそが分かりにくい 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 14(p.53-p.56)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
15	レポート提出とプレゼンテーション、フィードバック 【授業方法】レポート提出とプレゼンテーション・講義・演習 テキストの"New Moments in Science"についての授業のフィードバック 【予習】60分：レポート作成、与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】60分：New Moments in Scienceについての授業のフィードバック 【担当】高瀬

先行履修科目

なし

テキスト

Karl Kruszelnicki & Hidehiko Konaka. "New Moments in Science". Seibido. 2012.

参考文献

Langan, John. "College Writing Skills". Fifth Edition. McGraw-Hill. 2000.
吉田友子. アカデミックライティング入門－英語論文作成法. 第2版. 慶應義塾大学出版会, 2015.
鳥飼玖美子. 話すための英語力. 講談社, 2017.
ロッシェル・カップ, 大野和基. 英語の品格. 集英社, 2017.
植田一三, 妻鳥千鶴子. 英語で意見を論理的に述べる－技術とトレーニング. 第14版. ベレ出版, 2004.

評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度 (e-learning等) 30%、定期試験または課題レポート 40%

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト500点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて500点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト500点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで500点を得点できるように努力してください。

英語Ⅳ

更新日：2021/09/21 13:45:45

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL301		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540400
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

保健医療関連の学術文章や思弁的内容を含む文章を理解し、日本の諸事情を大まかに説明する技能を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	英語で書かれた保健医療関連の学術文章等を積極的に読み、理解する姿勢と態度を身に着けることができる。
2	保健医療関連の学術文章等や思弁的内容の英語を理解することができる。
3	まとまった量の英文、医療保健についての専門的文章を読むことができる。
4	日本における保健医療関連の諸事情を理解しやすく説明できる。
5	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	オリエンテーション と 1. "Making Connections": Health and Welfare in an Interconnected World 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：Chapter 1(p.1-p.5)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
2	2. Welfare for the Elderly: News Challenges, New Ideas 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 2(p.6-p.10)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
3	3. Allergies: Are We Getting Too Clean for Our Health? 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 3(p.11-p.15)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
4	4. The STD Family: Time for a Refresher Course 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 4(p.16-p.20)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
5	5. ADHD and ADD: Troublemakers? Or Children with Hope? 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 5(p.21-p.25)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
6	6. Dementia and Alzheimer's Disease 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 6(p.26-p.30)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
7	7. Hospices and Palliative Care 【授業方法】講義・演習（発表・AL）・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 7(p.31-p.35)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 7文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬

8	8. Physical Therapists: Partners in Finding the Way Back to Health 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 8(p.36-p.40)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
9	9. Overweight and Obesity: Our World's Eating Epidemic 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 9(p.41-p.45)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
10	10. Genetic Testing and Technology: Designing Our Future? 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter10(p.46-p.50)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
11	11. Child Abuse: A Cry for Welfare Reform 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter11(p.51-p.55)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
12	12. Cosmetic Surgery and Health:The Gray Area between Medicine and Fashion 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter12(p.56-p.60)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
13	13. Slow Food for a Fast World: Health and Welfare We Can Taste 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter13(p.61-p.65)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
14	14. Taking the World's Temperature: Getting a Fever - or the Chills? 【授業方法】講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter14(p.66-p.70)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
15	フィードバック 【授業方法】演習(発表)と15コマの授業のフィードバック 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】90分：英語IVで使用したテキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に関する諸問題を英文で表現したり、英語を使用して論じて、フィードバックを行う 【担当】高瀬

先行履修科目

なし

テキスト

Bruce Allen & Makoto Shishido : Making Connections. SEIBIDO. 2009

および、担当者が配布するもの。

参考文献

鳥飼玖美子：国際共通語としての英語。講談社（現代新書），2011。

中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！ー英語負け組からの華麗なる脱出法。筑摩書房（ちくま文庫），2008。

評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度（e-learning等）30%、定期試験または課題レポート 40%

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト600点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて600点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト600点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで600点を得点できるように努力してください。

看護・医療英語

更新日：2021/09/21 13:48:07

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL401		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540500
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

国際的な現場で働く看護職者に必要なコミュニケーション技能を認識し、その習得に必要な学習スキルを獲得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	公的・技術的伝達と個別的・対人的伝達の違いが理解できる。
2	日本語において優位である伝達ストラテジーと英語におけるその違いが理解できる。
3	「異文化」による価値観の違いに起因する解釈のずれの可能性について理解できる。
4	速読の技術、音声化の技術、医療用語の知識を獲得し、使用することができる。
5	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	Part 1: General Background Information Unit 1 The Human Body 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：テキスト(p6.-p.9)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
2	Part 1: General Background Information Unit 2 Nutrition and Fitness 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.10-p.13)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
3	Part1: General Background Information Unit 3 Communicable Disease 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.14-p.17)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
4	Part1: General Background Information Unit 4 Hygiene and Public Health 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.18-p.21)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
5	Part1: General Background Information Unit 5 Reforming Japanese Healthcare Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.22-p.25)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
6	Part1: General Background Information Unit 7 Dr.Kitasato and the Development of Medicine in Japan 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.26-p.29)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
7	Part II: Special Medical Technologists Unit 8 The Medical Laboratory Technologist 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.30-p.33)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬

8	Part II: Special Medical Technologists Unit 9 Clinical Engineering 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.34-p.37)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
9	Part II: Special Medical Technologists Unit 10 Radiological Technology 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.38-p.41)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
10	Part II: Special Medical Technologists Unit 11 Physical Therapy 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.42-p.45)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
11	Part II: Special Medical Technologists Unit 12 Working in Occupational Therapy 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.46-p.49)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
12	Part II: Special Medical Technologists Unit 13 Speech-Language Therapy as a Vocation 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.50-p.53)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
13	Part II: Special Medical Technologists Unit 14 Orthoptics and Visual Science 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.54-p.57)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
14	Part II: Special Medical Technologists Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessar? 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.58-p.61)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
15	フィードバック 【授業方法】講義・演習 (AL)と15コマの授業のフィードバック 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 授業で使ったテキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に関する英語の専門用語を表現を確認して、フィードバックを行う。 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬

先行履修科目

なし

テキスト

高津昌宏 他, The Hospital Team English for Medical Specialists, 南雲堂, 2016

参考文献

高橋順一・渡辺文夫・大淵憲一：人間科学 研究法ハンドブック．ナカニシヤ出版, 1998．
小林隆児・西研（編）：人間科学におけるエヴィデンスとは何か. 新曜社，2015
斎藤兆史：英語達人列伝．中央公論社（中公新書），2000．
リチャードニスベット：木を見る西洋人森を見る東洋人．ダイヤモンド社，2004．
Rita S. Bruase：Writing your Doctoral Dissertation．Falmer Press, New York，2000．

評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度（e-learning等）40%、定期試験または課題レポート 30%

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、医療や看護に関する英文を通して医療関係の英語を学び、TOEIC L&Rテスト730点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できるように努力してください。

異文化間コミュニケーション

更新日：2021/09/21 13:38:18

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL106		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540600
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

外国の大学生と合議する経験を通して、異文化に対する観察力および想像力ならびに自文化への内省および分析力を涵養する。併せて、英語学習の動機を高める。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	国際的文脈でコミュニケーションをする力を伸ばすための学習技能を活用することができる。
2	コミュニケーションにおける文化の役割と影響について知り、それに配慮するための行動と態度を取ることができる。
3	複数の人々と協力して、「適切な発表の準備と実行」を行う能力と態度を取ることができる。
4	体験を内省し記録することを通じて、内省から新たな目標を認識する態度と能力を活用することができる。

授業計画

1	研修準備1：目標および活動内容の確認と計画：文化・文明・コミュニケーションとは何かについて 【授業方法】講義：オリエンテーション 【予習】本科目を受講して達成すべき個人の目的・目標を明確にする。 【復習】海外に出る上での基本的手続きと学習活動内容を確認し、必要な準備を認識する。これに基づいて、発表および交流活動の準備を始める。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
2	研修準備2：発表主題探索：コミュニケーションのリニアモデルについて 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】相手国の学生との活発な議論を誘発すると思われる話題や論点を考え、情報を収集して、主題案を構想する。 【復習】発表の主題を文章化する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
3	研修準備3：主題および論点の決定：ほうれんそうとPDCAサイクル 【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】主題を決定し、議論の展開を予測して含める内と構成を考える。 【復習】具体的な発表資料を作成する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
4	研修準備4：発表案の検討：署名と印鑑 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】発表案を他のグループに示し、相互にコメントする 【復習】コメントに基づいて修正する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
5	研修準備5：発表・挨拶予行：西欧人の名前の起源 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】予行で明らかになった問題に対し必要な修正を行う。 【復習】さらに練習を積む。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
6	研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など：自分を知る・右脳と左脳、心理学 【授業方法】講義・演習・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
7	研修活動2：Session1 A班、B班の発表およびQA：ジョハリの窓 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬

8	研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA：映画を利用した異文化理解 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
9	研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA相互評価：BAHABAHAによる異文化体験 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
10	研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA：アメリカの映画にみられる日本人への偏見 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
11	研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA：\$10プロジェクト① 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
12	研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA相互評価：\$10プロジェクト② 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
13	研修活動8：閉校式、スピーチ 諸施設訪問でのインタビュー：DEBATEによる異文化体験① 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
14	内省と記録：報告書作成計画、個人および共働活動の内省と執筆：DEBATEによる異文化体験② 【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】班および全体としての活動に関する内省を共有する。報告書の構成と編集方法を定める。班としての報告文の分担部分および個人としての報告文を作成する。 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬
15	フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ 【授業方法】演習とフィードバック 【予習】相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】授業の振り返り 【取組時間】予習30分 復習1時間 【担当】高瀬

先行履修科目

なし

テキスト

テキストは指定しない。

参考文献

E. T. ホール：沈黙の言葉。南雲堂,1996年。
リチャード・ルイス：文化が衝突するとき。南雲堂,1996年。
井上逸兵：伝わるしくみと異文化間コミュニケーション。南雲堂,1999年。
金子光茂、リチャード・H・シンプソン：英語脳の鍛え方。南雲堂,1996年。
久米昭元・長谷川典子：ケースで学ぶ異文化コミュニケーション。有斐閣, 2007年。
八代京子他：異文化トレーニング、三修社、2009年。

評価方法

授業への積極的参加（30％）
国際交流への積極的参加とプレゼンテーション等の完成度（40％）
レポートの完成度（30％）

教員等の実務経験

海外で開催される国際学会での発表、海外渡航などの多くの経験を持つ教員が講義をします。

メッセージ

「国際的」であるとはどういうことなのか―国際的な視点と思考、国際的な精神、国際的な姿勢・態度などについて、概念化し、国際的な場での的確な行動がとれるようにすることを目指してください。海外もしくは国内の学生との交流を計画していますが、コロナ禍の影響でできない場合があります。

フランス語Ⅰ

更新日：2021/03/17 15:57:30

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL107		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540700
担当教員	河野 敦子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

フランス語文法の基礎を学び、フランス語圏の文化に触れるとともに、簡単な文章を組み立てる能力を養うことができる。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。

授業計画

1	オリエンテーション：身近にあるフランス語 【授業方法】演習 【予習】60分：身近にあるフランス語を探してみましょう。 【復習】30分：alphabetをフランス語で言いましょう。
2	0課：フランス語で足し算と引き算をしてみましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：0課 【復習】30分：0～100までの数字をフランス語で言いましょう。
3	1課：フランス語で挨拶しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：1課 【復習】30分：フランス語の挨拶を覚えましょう。
4	2課：パンを買いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：2課 【復習】30分：絶対使う不規則動詞 être を覚えましょう。
5	3課：国籍を伝えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：疑問文の作り方と答え方を覚えましょう。
6	3課：欲しいものがあるか訊ねましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：絶対使う不規則動詞 avoir を覚えましょう。
7	3課：出身都市や体調を伝えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：être と avoir の使える表現を覚えましょう。
8	4課：話せる言葉を確認しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：4課 【復習】30分：1番使う規則動詞 -er動詞を覚えましょう。
9	4課：好きなものを言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：4課 【復習】30分：不定冠詞・部分冠詞・定冠詞を区別しましょう。
10	5課：市場で食べたいものを買いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：5課 【復習】30分：数量表現と簡単な不規則動詞を覚えましょう。
11	6課：どちらか好きなホテルを選びましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：6課 【復習】30分：2番目に使う規則動詞 -ir動詞を覚えましょう。

12	6課：家族を紹介しましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：6 課 【復習】 30分：形容詞と指示形容詞・所有形容詞を使いましょう。
13	10課：欲しいものを買う前に比較しましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：10 課 【復習】 30分：比較級と最上級を確認しましょう。
14	口述試験（自己紹介） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：口述試験の準備 【復習】 30分：自己紹介できるようになりましょう。
15	これまでのまとめとフィードバック：1課から6課までの復習 【授業方法】 演習 【予習】 60分：1 課から6 課までの復習 【復習】 30分：フランス語の基本を身につけましょう。

先行履修科目

なし

テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ1-パリをめぐる-, 朝日出版社, 2016年

参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。

筆記試験 50% + 口述試験 10% + レポート 10% + Petit Test Oral 15% + 課題提出 15% = 100%

Petit Test Oral は毎回授業中に行う簡単な会話文の暗唱など（最高15点）、

課題提出は毎回の授業で身につけた表現の仏作などの提出（最高15点）、

口述試験は14回目の授業中に行うフランス語による自己紹介（最高10点）、

筆記試験は定期試験で行う学習内容の100点満点の試験から50%（最高50点）、

レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献（書名・著者名・出版社名・発行年など）を明記し、学び得た結論を作成し、11月30日火曜12時(正午)までに提出することで10点。

教員等の実務経験

メッセージ

講義概要

テキスト『なびふらんせ1-パリをめぐる-』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な文法と発音の基礎を固めます。毎回学んだばかりのフランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。自分で状況に応じてフランス語が使えるように、考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。また、このテキストはフランス語学習サポート教材Web＜なびふらんせ1＞を利用することができ、授業内容に併せて学習内容を振り返りながら語学学習を進めて行くことができますようになっています。フランス語Ⅰではテキスト前半6課まで進みます。ただし、形容詞のバージョンアップとして10課も取り上げます。

受講上の留意点

辞書を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。また、授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。

6月と11月に行われる仏検で5級・4級を目指し、1年後にフランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

フランス語Ⅱ

更新日：2021/03/17 16:29:31

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540800
担当教員	河野 敦子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

フランス語文法の基礎を踏まえ、簡単なフランス語会話技能を身につけ、フランス語圏の人々と交流できるようになる。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。

授業計画

1	オリエンテーション：フランス語の詩を声に出して読みましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：フランス語Ⅰで学んだことの復習 【復習】30分：フランス語の詩を何度も声に出して読みましょう。
2	7課：どこに行くのか伝えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：7課 【復習】30分：必ず使う不規則動詞 aller と venir を覚えましょう。
3	7課：たった今したこととこれからすることを言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：7課 【復習】30分：近接未来と近接過去を確認しましょう。
4	8課：何を食べるのか相談しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：8課 【復習】30分：便利な不規則動詞 prendre を覚えましょう。
5	8課：フランスに出発する日を教えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：8課 【復習】30分：命令法を使いこなしましょう。
6	9課：今日のお天気を言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：9課 【復習】30分：疑問形容詞の使い方を覚えましょう。
7	9課：時間を教えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：9課 【復習】30分：正確な時間を言えるようにしましょう。
8	10課：旅行で使える表現を身につけましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：10課 【復習】30分：便利な3つの不規則動詞を確実に覚えましょう。
9	11課：毎日することを言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：11課 【復習】30分：いろいろな目的補語代名詞を比較しましょう。
10	11課：道案内をしましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：11課 【復習】30分：場所を表す単語を整理しましょう。
11	12課：昨日したことを言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：12課 【復習】30分：複合過去を確認しましょう。

12	1 2 課：レストランで食事をしましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：1 2 課 【復習】 30分：複合過去をバージョンアップしましょう。
13	1 2 課：デパートでお買い物しましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：1 2 課 【復習】 30分：簡単な指示代名詞を使ってみましょう。
14	口述試験（詩の暗唱） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：口述試験の準備 【復習】 30分：美しいフランス語の詩を身につけましょう。
15	これまでのまとめとフィードバック：7 課から1 2 課までの復習 【授業方法】 演習 【予習】 60分：7 課から1 2 課までの復習 【復習】 30分：フランス語で言えるようになったことを確認しましょう。

先行履修科目

なし

テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ 1-パリをめぐる-, 朝日出版社, 2016年

参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
筆記試験 50% + 口述試験 10% + レポート 10% + Petit Test Oral 15% + 課題提出 15% = 100%
Petit Test Oral は毎回授業中に行う簡単な会話文の暗唱など（最高15点）、
課題提出は毎回の授業で身につけた表現の仏作などの提出（最高15点）、
口述試験は14回目の授業中に行うフランス語による詩の暗誦（最高10点）、
筆記試験は定期試験で行う学習内容の100点満点の試験から50%（最高50点）、
レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献（書名・著者名・出版社名・発行年など）を明記し、
学び得た結論を作成し、6月30日水曜12時(正午)までに提出することで10点。

教員等の実務経験

メッセージ

講義概要
テキスト『なびふらんせ 1 -パリをめぐる-』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真をしながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な文法と発音の基礎を固めます。毎回学んだばかりのフランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。自分で状況に応じてフランス語が使えるように、考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。また、このテキストはフランス語学習サポート教材Web <なびふらんせ 1> を利用することができ、授業内容に併せて学習内容を振り返りながら語学学習を進めて行くことができるようになっています。フランス語Ⅱではテキスト後半7課から進みます。
受講上の留意点
辞書を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。また、授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。
6月と11月に行われる仏検で5級・4級合格を目指し、1年後にフランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

スペイン語Ⅰ

更新日：2021/01/15 21:17:29

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL108		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	540900
担当教員	野村 明衣						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

スペイン語圏の文化に触れ国際的コミュニケーションを高めるとともに、スペイン語の基礎を学び簡単な文章を組み立てる能力を養う。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	スペイン語圏の国々の文化と習慣に親しむことができる
2	スペイン語発音と初歩文法を習得することができる
3	簡単な文章を組み立てて、日常のやり取りをスペイン語でできる

授業計画

1	導入、スペイン語の挨拶 アルファベット 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：挨拶・自己紹介・アルファベット 【担当】野村
2	発音 【授業方法】演習 【予習】40分：第1課1-8頁単語 【復習】60分：発音、アクセント 【担当】野村
3	名詞、名詞の数、冠詞 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：第2課9-16頁単語 【復習】60分：第2課練習問題、聞きとり問題 【担当】野村
4	形容詞 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：第3課17-24頁単語 【復習】60分：第3課練習問題 【担当】野村
5	形容詞 演習 【授業方法】演習 【復習】60分：第3課練習問題続き 【担当】野村
6	主格人称代名詞、動詞“ser”、疑問文と否定文 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：第3課会話文 【担当】野村
7	動詞“ser” 演習 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：第3課聞きとり問題 【担当】野村
8	直説法現在 規則動詞 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：第4課25-32頁単語 【復習】60分：第4課練習問題 【担当】野村
9	直説法現在 規則動詞 演習 【授業方法】演習 【復習】60分：第4課会話文 【担当】野村
10	疑問詞、接続詞 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：第5課33-40頁単語 【復習】60分：第5課練習問題続き 【担当】野村

11	指示詞、時間表現 【授業方法】 演習 【復習】 60分：第5課会話文 【担当】 野村
12	所有詞 【授業方法】 講義・演習 【予習】 40分：第6課41-48頁単語 【復習】 60分：第5課聞きとり問題 【担当】 野村
13	動詞“estar”、“hay” 【授業方法】 講義・演習 【予習】 40分：第6課会話文 【復習】 60分：第6課聞きとり問題 【担当】 野村
14	総復習 【授業方法】 演習 【復習】 60分：1～14回までの復習 【担当】 野村
15	定期試験のフィードバック 【授業方法】 演習 【予習】 40分：事前に理解不十分な箇所を学習しておく 【担当】 野村

先行履修科目

なし

テキスト

辻博子、野村明衣：彩（いろど）りスペイン語、朝日出版社、2021.

参考文献

宮城昇・山田善郎 監修：現代スペイン語辞典．白水社，1999．
高橋覚二他：¿ケ・テ・パサ？ 初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に．朝日出版社，2009．

評価方法

期末試験（50％）、小テスト（50％）

教員等の実務経験

メッセージ

スペイン語Ⅱ

更新日：2021/01/15 21:12:44

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL203		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541000
担当教員	野村 明衣						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

授業の目的

スペイン語文法の基礎を踏まえ、簡単なスペイン語会話技能を身につけ、スペイン語圏の人々と交流できるようになる。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	使用単語を増やして、辞書を引きながら、スペイン語文が読めるようになる。
2	スペイン語圏の文化について調べ、スペイン語で簡単な紹介をすることができるようになる。
3	一つのテーマについてスペイン語文を組み立てて、短い発表ができるようになる。

授業計画

1	導入、1年次の復習 【授業方法】演習 【予習】40分：1年生の範囲（主にser動詞、規則動詞） 【担当】野村
2	指示詞、所有詞 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：33-40頁単語 【復習】60分：5課練習問題 【担当】野村
3	曜日、日付、時間表現① 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：37, 39, 40頁会話文 【復習】60分：5課聞きとり問題 【担当】野村
4	動詞"estar", serとestar 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：41-48頁単語 【復習】60分：6課練習問題 【担当】野村
5	hay, hayとestar 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：45, 47, 48頁会話文 【復習】60分：6課聞きとり問題 【担当】野村
6	直接法現在 不規則動詞（1） 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：49-56頁単語 【復習】60分：7課練習問題 【担当】野村
7	直接目的格人称代名詞 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：7課練習問題続き 【担当】野村
8	間接疑問文、時間表現② 【授業方法】演習 【予習】40分：53, 55, 56頁会話文 【復習】60分：7課聞きとり問題 【担当】野村
9	直接法現在 不規則動詞（2） 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：57-64頁単語 【復習】60分：8課練習問題 【担当】野村

10	間接目的格人称代名詞 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：8課練習問題続き 【担当】野村
11	目的格人称代名詞 演習 【授業方法】講義・演習 【予習】7, 8課の目的格人称代名詞の復習 【復習】60分：8課聞きとり問題 【担当】野村
12	直接法現在 不規則動詞（3） 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：65-72頁 単語 【復習】60分：9課練習問題 【担当】野村
13	前置詞格人称代名詞、動詞"gustar" 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：9課練習問題続き、聞きとり問題 【担当】野村
14	総復習 【授業方法】演習 【復習】60分：1～14回 【担当】野村
15	定期試験のフィードバック 【授業方法】演習 【予習】40分：事前に理解不十分な箇所を学習しておく 【担当】野村

先行履修科目

なし

テキスト

辻博子、野村明衣：彩（いろど）リスペイン語、朝日出版社、2021.

参考文献

宮城昇・山田善郎 監修：現代スペイン語辞典。白水社、1999.

高橋寛二他：¿ケ・テ・パサ？ 初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に。朝日出版社、2009.

評価方法

期末試験（50％）、小テスト（50％）

教員等の実務経験

メッセージ

韓国語Ⅰ

更新日：2021/03/19 16:21:34

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL109		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541100
担当教員	張 慧珍						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

韓国語文法の基礎を学び、朝鮮半島の現代文化に触れるとともに、簡単な文章を組み立てる能力を養う。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	コミュニケーション能力の向上及び韓国文化への理解を深めることができる。
2	「ハングル」の構造について理解できる。
3	「ハングル」の日本語表記（名前・地名など）ができる。
4	簡単な挨拶表現ができる。

授業計画

1	韓国語について①と挨拶表現 【授業方法】講義 【復習】90分：ハングルとは 【担当】張
2	基本母音と合成母音（1） 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
3	基本子音と合成子音 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
4	合成母音（2）と文字の構造 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
5	パッチム（받침） 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 パッチム表 【担当】張
6	発音のコツ 【授業方法】講義 【復習】90分：連音化・濃音化・激音化・有声音化・口蓋音化 【担当】張
7	日本語のハングル表記について 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 ハングル表記表 【担当】張
8	私は～です。① 【授業方法】講義 【復習】90分：～は、～です。～ます 【担当】張
9	私は～です。②「かしこまった丁寧形」のつくり方 【授業方法】講義 【復習】90分：～です。～ます。 【担当】張
10	私は～です。③自己紹介 【授業方法】講義 【復習】90分：挨拶表現と自己紹介の会話練習 【担当】張

11	私は～ではありません。① 【授業方法】講義 【復習】90分：～が、「～です。～ます」のかしこまった表現 【担当】張
12	私は～ではありません。② 【授業方法】講義 【復習】90分：～を、「～です。～ます」のかしこまった表現 【担当】張
13	約束があります。① 【授業方法】講義 【予習】90分：～に ～も ～があります。/ありません。 【担当】張
14	約束があります。② 【授業方法】講義 【復習】90分：～と ～があります/ありません。、位置関係語彙 【担当】張
15	これまでのまとめとフィードバック 【授業方法】講義 【復習】90分：「～です。～ます」のかしこまった表現 ～に ～も ～があります。/ありません。 位置関係語彙 【担当】張

先行履修科目

なし

テキスト

2021年度後期は毎回の授業の際、プリントをお配りします。

参考文献

民衆書林編集局：NEWポータブル日韓・韓日辞典．三修社，2003．

評価方法

授業参加度（20％）・小テスト（20％）・定期試験（60％）

教員等の実務経験

大学において長年韓国語教育に携ってきた経験を生かし、実践的な韓国文化及びハングルを楽しく見につける講義を行います。

メッセージ

毎回、積極的に講義に臨めるよう心がけましょう。

韓国語Ⅱ

更新日：2021/06/02 18:54:55

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL204		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541200
担当教員	張 慧珍						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

韓国語文法の基礎を踏まえ、簡単な韓国語会話技能を身につけ、韓国の大学生と交流できるようになる。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	外国語能力の向上及び韓国文化への理解とともに国際化におけるコミュニケーションの応用ができるようにすることである。
2	正確な発音と文法を学び語彙を増やすことができる。
3	簡単な挨拶表現ができる。
4	韓国旅行会話を楽しく覚えることができる

授業計画

1	韓国語Ⅱの授業案内及び韓国語Ⅰの復習① 【授業方法】講義 【お知らせ】45分－課題・小テスト・定期試験及びフィードバックについて 【復習】45分 韓国語Ⅰ（ハングルの構造及びパッチムと挨拶表現） 【担当】張
2	韓国語Ⅰの復習② 【授業方法】講義 テキストP36～P42 「かしこまった表現・第5課～第6課」 【予習】45分（私は～です。時間ありますか。） 【復習】45分（課題・パッチムと挨拶表現フィードバック） 【担当】張
3	第7課 それは何ですか。① 【授業方法】講義 テキストP43～P45 誰のものですか。 【予習】45分 指示代名詞（これーそれーあれーどれ） 【復習】45分（私は～です。時間ありますか。） 【担当】張
4	第7課 それは何ですか。② 【授業方法】講義 テキストP46～P48 疑問詞「何・どこ」職業名 【復習】45分「～해요」形の過去形と一日の日課の言葉の使い方 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
5	第7課 それは何ですか。③ 【授業方法】講義 テキストP48～P50 尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」 【予習】45分（職業と趣味に関する語彙を覚えましょう。） 【復習】45分「～해요」形の過去形と一日の日課の言葉の使い方 【担当】張
6	第8課 日曜日に何をしますか。① 【授業方法】講義 テキストP51～P54 「～해요形の現在形」 【予習】45分（うちとけた表現/かしこまった表現のつくり方） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
7	第8課 日曜日に何をしますか。② 【授業方法】講義 テキスト p55～p57 【予習】45分（日常生活のパタンを書いてみましょう。） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張

8	第8課 日曜日に何をしますか。③ 【授業方法】講義 テキストp56～p58 年月日の言い方 【予習】45分（数字の読み方・漢字読み・固有読み） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
9	第7課・第8課-会話練習及び小テストのフィードバック 【授業方法】講義 テキストp43～p58 位置関係ことば及び数字の使い方 【予習】45分（「～해요形の現在形」・数字の読み方・位置関係ことば） 【復習】45分（会話練習及び小テストのフィードバック） 【担当】張
10	第9課 何が好きですか。① 【授業方法】講義 テキストP59～P61 形容詞の活用① 【予習】45分（規則形容詞のつくり方） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
11	第9課 何が好きですか。② 変則用言「으」「ㅂ」「ㄹ」 【授業方法】講義 テキストP62 形容詞の活用②③ 【予習】45分（不規則用言のつくり方） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
12	第10課 週末に何をしましたか。① 【授業方法】講義 テキストP65～P62 「～해요形の過去形」 【予習】45分（うちとけた表現の過去形のつくり方） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
13	第10課 週末に何をしましたか。② 【授業方法】講義 テキストP68～P70 「願望表現・～して（から）しましたの過去形」 【予習】45分（～たいです。うちとけた過去形のつくり方） 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
14	第10課 週末に何をしましたか。③と小テスト② 【授業方法】講義 テキストP71～P72「語彙を覚えましょう」と小テスト② 【予習】45分「～해요形の過去形」・形容詞の活用 【復習】45分（課題・小テストフィードバック） 【担当】張
15	韓国語会話練習 【授業方法】講義 【予習】90分「～해요形の過去形」変則用言、願望表現、語彙の使い方 【会話練習】人体用語・看板・メニュー表などを当てながら 会話練習を行います。 【担当】張

先行履修科目

テキスト

金順玉・阪堂千津子 著：最新 チャレンジ！ 韓国語。白水社、2014。

参考文献

民衆書林編集局：NEWポータブル日韓・韓日辞典。三修社、2003。

評価方法

オンライン授業に伴う評価基準は以下のとおりです。
授業課題ワークシート（20％） 小テスト（20％） レポート（60％）

教員等の実務経験

大学において長年韓国語教育に携ってきた経験を生かし、実践的な韓国文化及びハングルを楽しく見につける講義を行います。

メッセージ

ビデオ資料を視聴してご自分で進んで学習して下さい。
なお、授業課題ワークシートと小テストは必ずご提出して下さい。
授業課題ワークシートのご提出する際には授業日時と課題目及び学籍番号、お名前のご記入上PDFファイル化してご提出下さい。なお、小テストにつきましてはフォームに答えてそのまま送信して下さい。
提出期限が設定されておりますので、期限厳守をお願いいたします。

赤十字概論

更新日：2021/09/24 11:55:18

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL102		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	541300
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

赤十字の理念・歴史・活動を人道科学の確立と実践という視点から理解し、国際的視野から今後の課題と展望について理解する。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	赤十字の理念および活動の基本原則を説明できる。
2	国際赤十字および日本赤十字社の成り立ち・使命を説明できる。
3	世界各地で起こっている人道的危機と赤十字の活動について説明できる。
4	赤十字の活動の限界と可能性を考察できる。

授業計画

1	赤十字思想の誕生とその背景 【授業内容】赤十字誕生までの歴史的背景-アンリ・デュナンの生涯と赤十字 【授業方法】講義 【復習】30分：アンリ・デュナンが赤十字創設に至った経緯をまとめる 【担当】小川、宇都宮
2	赤十字の理念について（1） 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【予習】30分：赤十字の理念・人道の意味を調べる 【担当】小川、宇都宮
3	赤十字の理念について（2） 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【復習】30分：人道の意味を考える 【担当】小川、宇都宮
4	赤十字の理念について（3） 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【復習】30分：人道の意味を考える 【担当】小川、宇都宮
5	人道について（1）グループワーク 【授業内容】人道についてグループで考える。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】30分：人道とは何か、自分の考えをまとめる。 【担当】小川、宇都宮
6	人道について（2）プレゼンテーション 【授業内容】人道についてグループで考え、発表する。 【授業方法】演習（発表） 【復習】30分：人道とは何か、グループワーク内容をまとめる。 【担当】小川、宇都宮
7	赤十字の基本原則 【授業内容】赤十字の基本原則について 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字の基本原則についてまとめる。 【担当】小川
8	国際人道法について 【授業内容】国際人道法とは何か 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際人道法についてまとめる 【担当】小川

9	国際赤十字のしくみ 【授業内容】国際赤十字の組織とその役割について 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際赤十字の組織とその役割をまとめる 【担当】小川
10	赤十字の国際活動（赤十字国際委員会） 【授業内容】赤十字国際委員会の活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字国際委員会の活動について調べる 【担当】小川
11	赤十字の国際活動（国際赤十字・赤新月社） 【授業内容】国際赤十字・赤新月社の役割と活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：国際赤十字・赤新月社の活動について調べる 【担当】小川
12	日本赤十字社の成り立ちと歴史、活動について 【授業内容】日本赤十字社の成り立ちと歴史的背景、活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：日本赤十字社創立の経緯や活動をまとめる 【担当】宇都宮
13	赤十字活動について（１）グループワーク 【授業内容】赤十字活動についてグループワークで深める。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】興味のある赤十字の活動について調べる 【担当】小川、宇都宮
14	赤十字活動について（２）グループワーク 【授業内容】赤十字活動についてグループワークで深める。 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】30分：グループで取り上げた赤十字の活動について、理念や原則との関連、活動の意義や課題についてグループや自分の意見をまとめる 【担当】小川、宇都宮
15	赤十字活動について 発表（プレゼンテーション）とフィードバック 【授業内容】グループ発表しフィードバックをもらう。 【授業方法】演習（発表） 【復習】30分：講義全般をふまえ、赤十字の理念、原則、赤十字の活動について復習する。 【担当】小川、宇都宮

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和２年度版．日本赤十字社，2020．
アンリ・デュナン著，木内利三郎訳：ソルフェリーノの思い出．日赤出版普及会，1969．
ジャン・ピクテ著，井上益太郎訳：赤十字の諸原則．日本赤十字社，1958．
ジャン・ピクテ著，井上忠男訳：解説赤十字の基本原則―人道機関の理念と行動規範．東信堂，2006．
吉川龍子：日赤の創始者佐野常民．吉川弘文館，2001．
この他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度10％、プレゼンテーション40％、課題レポート50％を総合して評価する。

教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び赤十字病院で勤務しながら赤十字国際委員会で国際救援活動をしていた教員が、その経験をふまえ赤十字について講義・演習を担当します。

メッセージ

九州は、日本赤十字社創立に縁の深いところです。本学で看護を学ぶ学生として、創立に寄与した人々が生きた時代や思いに触れ、自分の目指すべき方向を考える力を養ってください。

赤十字活動Ⅰ

更新日：2021/09/21 16:35:34

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL103		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541400
担当教員	宇都宮 真由子, 小川 里美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を見学し、社会における赤十字の活動意義・役割を理解する。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	学習課題を明らかにし、フィールドワークの計画書が作成できる。
2	計画書に基づき、主体的かつ社会人として相応しい行動をし、フィールドワークが実施できる。
3	フィールドワークの成果をまとめ、発表ができる。
4	発表会での意見交換や文献を活用して「社会における赤十字活動意義と役割」について考察できる。

授業計画

1	オリエンテーション、赤十字の活動について 【授業内容】赤十字活動を概観し、演習の方向性を示す。 【授業方法】講義 【予習】30分：赤十字概論で学習した内容について復習しておく。 【担当】宇都宮・小川
2	全国の県支部の活動①グループワーク 【授業内容】全国の県支部の活動① どのような活動が行われているか実際を知り、まとめ、発表の準備を行う。 【授業方法】講義 【予習】30分：興味・関心を持っている赤十字活動について調べておく 【担当】宇都宮・小川
3	全国の県支部の活動②グループワーク 【授業内容】全国の県支部の活動② どのような活動が行われているか実際を知り、まとめ、発表の準備を行う。 【授業方法】演習（グループワーク：GW） 【予習】30分：自分の明らかにしたい課題を整理しておく。 【担当】宇都宮・小川
4	全国の県支部の活動③プレゼンテーション 【授業内容】全国の県支部の活動③ グループワーク成果発表 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：発表の準備を行う。 【担当】宇都宮・小川
5	全国の県支部の活動④プレゼンテーション 【授業内容】全国の県支部の活動④ グループワーク成果発表 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：まとめたことを整理しておく。 【担当】宇都宮・小川
6	活動・事業の整理 血液事業について 【授業内容】活動・事業の整理 血液事業について 【授業方法】講義 【予習】60分：発表内容を振り返り、活動・事業を調べる。 【担当】宇都宮・小川
7	活動・事業について① グループワーク 【授業内容】活動・事業について どのような活動が行われているか実際を知り、まとめ、発表の準備を行う。 【授業方法】演習 【予習】60分：興味のある活動・事業を調べる 【担当】宇都宮・小川

8	活動・事業について② グループワーク 【授業内容】活動・事業について どのような活動が行われているか実際を知り、まとめ、発表の準備を行う。 【授業方法】演習 【予習】60分：興味のある活動・事業を調べる 【担当】宇都宮・小川
9	活動・事業について③ プレゼンテーション 【授業内容】活動・事業について③プレゼンテーション 発表する。 【授業方法】演習 【予習】60分：発表準備をする。 【担当】宇都宮・小川
10	【授業内容】活動・事業について④プレゼンテーション 【授業内容】活動・事業について③プレゼンテーション 発表する。 【授業方法】演習 【予習】60分：発表準備をする。 【担当】宇都宮・小川
11	活動・事業についてのフィードバック、コロナ渦でできること①グループワークワーク 【授業内容】活動・事業についてのフィードバック、コロナ渦でできること①グループワークワーク 2つのプレゼンテーションを経て、コロナ渦で自分にできることを考えよう。 【授業方法】演習 【予習】60分：2つのプレゼンテーションを振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・小川
12	コロナ渦でできること②グループワークワーク 【授業内容】コロナ渦でできること②グループワークワーク 2つのプレゼンテーションを経て、コロナ渦で自分にできることを考えよう。 【授業方法】演習 【予習】60分：2つのプレゼンテーションを振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・小川
13	コロナ渦でできること③プレゼンテーション 【授業内容】コロナ渦でできること③プレゼンテーション コロナ渦で自分にできることを考え、発表する。 【授業方法】演習 【予習】60分：2つのプレゼンテーションを振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・小川
14	コロナ渦でできること④プレゼンテーション 【授業内容】コロナ渦でできること③プレゼンテーション コロナ渦で自分にできることを考え、発表する。 【授業方法】演習 【予習】60分：2つのプレゼンテーションを振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・小川
15	フィードバック、まとめ 【授業内容】3つのプレゼンテーションから見えてきた自分が今できることについて、まとめ、フィードバックを行う。 【授業方法】演習（発表） 【復習】60分：発表後の質疑・応答を整理しておく。文献を利用し、課題レポートをまとめる。 【担当】宇都宮・小川

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

「赤十字概論」で配布した資料

日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和2年度版、日本赤十字社、20。

授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度10% 提出物（計画書・フィールドワークでの記録・発表資料）40%

課題レポート50%

教員等の実務経験

赤十字教育機関で学び、または赤十字病院に勤務していた教員が、その経験をふまえ赤十字について講義・演習を担当します。

メッセージ

赤十字に関する理解を深めることは、看護師として基盤となる人間力を高めることにつながります。興味・関心を持っている赤十字活動について調べ、活動の場を知ること、脈々と続く赤十字の精神とは何か、さらに理解を深めてみませんか。

赤十字活動Ⅱ

更新日：2021/02/26 14:42:42

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL304		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541500
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を企画・実践し、社会における赤十字の活動意義・役割を考察する。

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	グローバル社会が直面する人道危機および健康課題とその要因を説明できる。
2	グローバル社会が直面する人道危機や健康課題への取り組みについて、国・地域・分野を超えて説明することができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために赤十字および看護が果たす役割について考察できる。

授業計画

1	研修の準備活動 【授業内容】コースガイダンス、事前学習 【授業方法】講義 【予習】30分：研修訪問地域、訪問施設、研修活動の概要を考える 【復習】60分：研修訪問地域や施設について調べる（統計指標、活動概要など） 【担当】小川、宇都宮
2	研修テーマに関する議論（１） 【授業内容】研修テーマについて、国や地域の実情や課題について討議する 【授業方法】演習（GW） 【予習】120分：日本の歴史、政治・経済、文化、災害、保健医療等について調べる 【復習】120分：討議結果をふまえ、グローバル社会が直面する災害について調べる 【担当】小川、宇都宮
3	研修テーマに関する議論（２） 【授業内容】（１）での議論をふまえ、課題解決に向けた取り組みについて討議する 【授業方法】演習（GW） 【予習】120分：災害と看護について、英語で討議できるよう学習する 【復習】120分：日本から世界に発信できる災害への取り組みについて考える 【担当】小川、宇都宮
4	研修施設訪問 【授業内容】赤十字施設の訪問 【授業方法】演習（GW） 【予習】120分：災害と赤十字の活動について、英語で説明できるように準備する 【復習】120分：災害時の赤十字の対応と課題について考える 【担当】小川、宇都宮
5	研修訪問地区の地区踏査（１） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(AL) 【予習】120分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】120分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮
6	研修訪問地区の地区踏査（２） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(AL) 【予習】120分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】120分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮
7	現地研修① 【授業内容】現地調査① 【授業方法】演習(AL) 【予習】90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】120分：調査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮

8	現地研修② 【授業内容】 現地調査② 【授業方法】 演習(AL) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査の結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
9	現地研修③ 【授業内容】 現地調査③ 【授業方法】 演習(AL) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
10	現地研修④ 【授業内容】 現地調査④ 【授業方法】 演習(AL) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
11	現地研修⑤ 【授業内容】 現地調査⑤ 【授業方法】 演習(AL) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
12	現地研修⑥ 【授業内容】 現地調査⑥ 【授業方法】 演習(AL) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
13	研修の振り返り（１） 【授業内容】 研修での学びと課題について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 90分：研修での学びを整理する 【復習】 120分：グループワークでの話し合いを英語でまとめる 【担当】 小川、宇都宮
14	研修の振り返り（２） 【授業内容】 研修での学びをふまえ、災害がもたらす人道危機や健康課題について考え、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 90分：発表資料の準備（英語） 【復習】 120分：グループワークでの話し合いについて、英語でまとめる 【担当】 小川、宇都宮
15	研修成果の発表/フィードバック 【授業内容】 研修成果を発表し、災害に備えるために、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 90分：発表資料の準備（英語） 【復習】 120分：発表をふまえ、レポートを作成する 【担当】 小川、宇都宮

先行履修科目

なし

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

「赤十字活動Ⅰ」「国際保健・看護Ⅰ」、「災害と看護」に挙げている文献や資料には必ず目を通す。対象地域に関連する文献を読む。

評価方法

事前学習30％ 研修への参加度（発表を含む）30％ レポート40％

教員等の実務経験

国内外において、赤十字の救援活動に従事していた教員が、講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目は、国際看護コースの選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ、Ⅲ」の単位を修得していることが望ましいです。

グローバル社会が直面する「災害」に着目し、国際交流協定校の学生とともに分野を超えて、人々の生命、尊厳、健康、生活を守るために私たちがすべきこと、そして赤十字の使命について考えます。

赤十字救護・援助法

更新日：2020/11/30 10:53:51

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL104		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541600
担当教員							
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

具体的な救急法の知識、技術を習得し、災害・事故防止の思想と互いに助け合うボランティアの精神を理解し、行動する能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	赤十字の事業を理解できる。
2	一次救命処置に関する知識と技術を習得できる。
3	応急手当に関する知識と技術を習得できる。
4	グループで役割を把握し協力して活動することができる。

授業計画

1	【赤十字救急法基礎講習】 赤十字救急法について（救急法を実践する際の心得など）、手当の基本、観察の基本 【授業方法】 講義・演習(GW) 【予習】 60分：日本赤十字社が救急法を普及する目的、救急法の基本的な知識と技術及び赤十字の行う事業について 【担当】 福岡県支部職員
2	一次救命処置（BLS）（心肺蘇生法）（実技） 【授業方法】 演習(実技) 【予習】 60分：一次救命処置（BLS）の手順を予習する。参考文献に記載したインターネット動画【日本赤十字社】一次救命処置（BLS）～心肺蘇生とAED～を見る。 【担当】 福岡県支部職員
3	一次救命処置（BLS）（A E Dを用いた除細動、気道異物除去）（実技） 実技検定、学科検定 【授業方法】 講義・演習(実技) 【予習】 60分：一次救命処置（BLS）（AEDを用いた除細動、気道異物除去）の手順について、動画で予習する。 【担当】 福岡県支部職員
4	【赤十字救急法講習】 赤十字救急法救急員について、急病について 【授業方法】 講義 【予習・復習】 60分：赤十字救急法救急員を養成する目的、期待する意識、能力及び行動、日常生活の中で緊急度や頻度の高い病気の症状について予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
5	けがについて 【授業方法】 講義 【予習・復習】 60分：外傷・骨折に対する適切な手当てについて予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
6	きずの手当について 【授業方法】 講義 【予習・復習】 60分：きずに対する手当の方法について予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
7	止血の仕方、三角巾の使い方（実技） 【授業方法】 演習(実技) 【予習・復習】 60分：正しい方法で、確実に止血ができるように予習・復習する。参考文献に記載した赤十字WEB CROSS-電子講習室-を見る。 【担当】 福岡県支部職員
8	止血の仕方、三角巾の使い方（実技） 【授業方法】 演習(実技) 【予習・復習】 60分：正しい方法で、確実に止血ができるように、動画で予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
9	骨折の手当 【授業方法】 講義 【予習】 60分：骨折に対する手当について予習する。 【担当】 福岡県支部職員
10	搬送、救護 【授業方法】 演習(実技) 【復習】 60分：搬送は傷病の手当と同様に重要であること、また、災害時の対応について日本赤十字社の災害救護と防災ボランティアについて理解し、積極的に参加していく必要性を復習する 【担当】 福岡県支部職員

11	骨折の手当（実技） 【授業方法】 演習(実技) 【予習・復習】 60分：骨折に対する手当の方法について、動画で予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
12	搬送、救護（実技） 【授業方法】 演習(実技) 【予習】 60分：基本的な実技を身につけ、状況に応じた搬送ができるよう動画で予習する 【担当】 福岡県支部職員
13	救護（総合実技） 【授業方法】 演習(実技) 【復習】 60分：急法で身につけた基本的な実技を総合的に活用し、災害時などに適切な手当を実践することの大切さを総合実技の場面設定を通して体験し、実技後に振り返りを行う 【担当】 福岡県支部職員
14	きず、骨折の手当（実技・復習） 【授業方法】 演習(実技) 【復習】 60分：正しい方法で、確実に止血や応急手当ができるよう講習を通して復習する。 【担当】 福岡県支部職員
15	実技検定、学科検定 検定のフィードバック 【授業方法】 講義 【予習・復習】 60分：講習で学んだ学科・実技の振り返りを行うことにより、講習の目的をより深く理解し、現場において確実に実践できるよう予習・復習を行う。 【担当】 福岡県支部職員

先行履修科目

なし

テキスト

日本赤十字社 編：赤十字救急法基礎講習教本、株式会社 日赤サービス

日本赤十字社 編：赤十字救急法講習教本、株式会社 日赤サービス

※その他、『救急教材セット』等が必要である。

参考文献

日本赤十字社講習内容 <http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/>

日本赤十字社電子講習室 <http://www.tokyo.jrc.or.jp/application/webcross/>

評価方法

学科試験50％・実技試験50％

教員等の実務経験

赤十字救急法の指導者であり、県内外の講習会で講師として豊富な経験を持ち、かつ災害救護活動の経験もある日本赤十字社の支部職員が担当する。

メッセージ

ボランティア論

更新日：2020/12/17 11:44:25

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL110		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541700
担当教員	馬田 英樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習						

授業の目的

国際交流・支援、災害救援・支援、地域の活動などに必要なボランティアの考え方とNGO・NPO・地域の活動について学習し、理解を深め、実践力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	ボランティアに関する様々な捉え方とその多様な形態を理解し、説明することができる。
2	身近な地域でのボランティア、被災地の復興支援ボランティア、青年海外協力隊等の海外ボランティア、それぞれの経験者の体験談を聞き、ワークショップ等を通して自分の考えを整理しながら、ボランティアに必要な感性を身につけることができる。
3	演習を通してボランティア活動の計画・実施・検証等の実践力を養うと共に、各自のボランティア観を形成し、社会課題の解決に取り組むことができる。

授業計画

1	オリエンテーション：グループ分け、学生との意見交換、ボランティアとは？（１）：一般的なイメージと本来の意味 【授業方法】講義 【復習】60分：ボランティアの概念について理解 【担当】馬田
2	ボランティアとは？（２）：歴史と文化的・宗教的背景、現代的課題、NPO／NGOについて 【授業方法】講義 【復習】60分：ボランティアの歴史と現代的課題について整理 【担当】馬田
3	ボランティアとは？（３）：多様な形態とその意義について（国内／海外、短期／長期、緊急援助／開発協力等） 【授業方法】講義 【復習】60分：ボランティアの形態や意義について整理 【担当】馬田
4	ボランティアの実際（１）：地域でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【復習】60分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】馬田・ゲストスピーカー
5	ワークショップ（１）：地域でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議 【予習】60分：地域でのボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】馬田
6	ボランティアの実際（２）：被災地でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【復習】60分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】馬田・ゲストスピーカー
7	ワークショップ（２）：被災地でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議 【予習】60分：被災地でのボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】馬田
8	ボランティアの実際（３）：海外でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【復習】60分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】馬田・ゲストスピーカー
9	ワークショップ（３）：海外でのボランティア活動について（レポートの課題を提示） 【授業方法】講義・討議 【予習】60分：海外ボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】馬田
10	事例演習（１）：ボランティア活動計画表の説明・事前学習 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：活動計画表の理解と事前準備 【担当】馬田

11	事例演習（２）：問題意識と課題設定 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：自分の問題意識と課題設定について整理 【担当】馬田
12	事例演習（３）：上位目標と活動目標について 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：課題解決のための上位目標と実現可能な活動目標を設定 【担当】馬田
13	事例演習（４）：具体的な活動と指標について 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：具体的な活動とその指標を設定 【担当】馬田
14	クラス別試験・既習内容まとめと講義 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：ボランティア活動計画表の完成 【担当】馬田
15	グループ毎に演習の発表 課題レポートへのフィードバック 【授業方法】講義・発表 【予習】60分：各グループで発表の準備 【担当】馬田

先行履修科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントを配布

参考文献

- 1) 岡本 栄一 他：ボランティアのすすめ—基礎から実践まで (実践のすすめ). ミネルヴァ書房, 2005.
- 2) 柴田謙治・原田正樹・名賀享：ボランティア論—「広がり」から「深まり」へ. (株) みらい, 2010
- 3) 田中優：幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア. 河出文庫, 2017.
- 4) 西條剛央：人を助けるすんごい仕組み. ダイヤモンド社, 2012.

評価方法

授業への取り組み50%、プレゼンテーション10%、課題レポート40%

教員等の実務経験

メッセージ

「ボランティア」という言葉が持つ幅広い意味を体系的に理解し、社会活動におけるその可能性を体感して欲しいと考えています。ボランティア活動は基本的に「必要な場面」で「できること」を「自発的」に行なうものです。その実践において「対話」「信頼関係」「協働」を意識することで、支援者・被支援者が共にその成果を喜び、お互いが成長することができる活動となります。

医療人類学

更新日：2021/02/26 10:33:40

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	LGL305		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541800
担当教員	星野 晋						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

保健医療にかかわる文化の多様性を学び、文化が人間集団の多様な価値観やライフスタイルにどのように影響しているのかを理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	文化人類学および医療人類学の視点、概念、方法論の特長を説明できる
2	病気、健康、医療について、医療人類学的視点から説明できる
3	医療専門職と生活者の「病むこととケア」をめぐる考え方の相違（文化差）を説明できる
4	超高齢化と人口減のもと医療環境および医療専門職のあり方の変化について説明できる
5	具体的な臨床事例について、医療人類学的解釈にもとづき、解決案を提案できる

授業計画

1	文化人類学および医療人類学の視点と方法 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：文化が異なるとはどういうことか、考えおく。 【復習】 30分：講義で提供した資料をもとに文化人類学・医療人類学の視点と方法を整理する。 【担当】星野
2	文化と医療：国際保健における文化摩擦の事例から 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：文化と医療の関係について考えておく。 【復習】 30分：講義の内容を振り返り、文化と医療の関係について理解しておく。 【担当】星野
3	解剖実習と医学的まなざし 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：西洋医療の特長を考えておく 【復習】 30分：講義で取り上げた現代医療の文化的特性および医療者の職業的アイデンティティ形成について再確認する。 【担当】星野
4	サファリングとケア：シャーマニズムの事例から 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：病むことをめぐる宗教と医療のアプローチちがいと関係について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたサファリングと病むこと、宗教と医療の関係について再確認する。 【担当】星野
5	病むことの語り 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：医療専門職と生活者の病むことやケアに対する捉え方のちがいについて考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたナラティブや生活者にとっての「病むこととケア」について再確認する。 【担当】星野
6	くらしの現場のケア 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：医療専門職と病者やその家族のすれちがいとその回避について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げた医療者－病者関係を異文化間コミュニケーションとする捉え方を再確認する。 【担当】星野
7	高齢化する日本社会における医療環境の変化 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：高齢社会白書等に目を通し、高齢化や人口減が日本の医療環境におよぼす影響を考えておく。 【復習】 30分：日本の医療環境の変化の動向を踏まえて、今後の医療専門職のあり方について再確認する。 【担当】星野
8	事例検討・総括(フィードバック) 【授業方法】講義（ICT） 【予習】 60分：提供されている臨床事例の課題解決方法について検討してくる。 【復習】 60分：全体を振り返り、医療人類学的な視点や方法が自身の将来の臨床にどのように関係するかを整理・再確認する。 【担当】星野

先行履修科目

なし

テキスト

指定テキストはない。必要な資料は講義中に適宜紹介する。

参考文献

波平恵美子 編：系統看護学講座 基礎9 文化人類学．医学書院，2011．
錦織宏・飯田淳子 編：医師・医学生のための人類学・社会学―臨床症例／事例で学ぶ．ナカニシヤ，2021．
江口重幸，斎藤清二，野村直樹 編：ナラティブと医療．金剛出版，2006．

評価方法

授業参加（毎回のコメントシートや宿題レポートを含む）40％、期末レポート60％から総合的に判断

教員等の実務経験

メッセージ

自身の経験と照らし合わせながら、とにかく自分の頭で考えてください。そして視点を変えると、自分の生きている世界の見え方が変わることを楽しんでください。そのことが将来、病者や家族に対する理解を助け、みなさんの臨床を豊かなものにします。

ジェンダー論

更新日：2020/11/30 10:53:51

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL302		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	541900
担当教員	倉富 史枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

社会的歴史的に形成されたジェンダー概念を理解し、自分の生き方と結び付けて、学問や社会への批判的な視点を獲得することを目的とする。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	ジェンダーの視点をういて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。
2	ジェンダーをめぐる問題を自分の生き方と結びつけて、学問や社会への批判的な視点を獲得することができる。
3	ジェンダー問題の解決のために、国際的な視野に立って分析し考察ができる。

授業計画

1	セックス/ジェンダーの定義、性の多様性 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、身の回りの事象に潜むジェンダー問題を考える。 【担当】倉富
2	子どもの社会化とジェンダー 作られる<男らしさ><女らしさ> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、これまでの成長過程で影響を受けたジェンダー問題を考える。 【担当】倉富
3	ジェンダー問題に敏感な教育 教育とメディアリテラシー 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、学校教育で受けた影響を振り返り、メディアに潜むジェンダーバイアスを読み解く。 【担当】倉富
4	恋愛の女性学・男性学 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、「恋愛」の社会的、歴史的背景を考える。デートDV防止について医療者の立場で何ができるかを考える。 【担当】倉富
5	労働におけるジェンダー格差とこれからの働き方 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、性別役割分業の成り立ちとワークライフバランスのとれた人間らしい働き方を理解する。 【担当】倉富
6	多様な家族に向かって近代家族規範と実態の乖離 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、ケア役割をめぐる近代家族規範の画一性を理解し、これからの多様な家族の在り方を考える。 【担当】倉富
7	国際化の中の女性問題・男性問題 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、日本のジェンダー格差を世界の動きから考察する。 【担当】倉富
8	男女共同参画社会基本法が目指すもの(フィードバック) 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：ジェンダーに関する基礎概念の整理 【担当】倉富

先行履修科目

なし

テキスト

伊藤公雄他：女性学・男性学―ジェンダー論入門（3版）．有斐閣，2019．
内閣府・男女共同参画推進連携会議：ひとりひとりが幸せな社会のために 令和元年版データ
担当者が配布する資料

参考文献

適宜支持する。

評価方法

各授業での課題提出率 10%、課題に対する誠実さ 30%、課題の回答内容の総合評価 60%

教員等の実務経験

福岡県男女共同参画センターでジェンダー研究を行い、その後、民間のシンクタンクを創設し、男女共同参画行政に政策提言をしています。

メッセージ

日常の様々な場面での出来事やメディア表現などをジェンダーの視点で問い直し、個人的な問題の背景にある社会構造を読み解く力を身に付けてください。

国際開発論

更新日：2021/01/19 09:42:15

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	LGL303		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	542000
担当教員	小川 里美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

授業の目的

開発途上国の貧困解決と開発に関するさまざまな課題を学習し、開発と国際協力について理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	国際社会が抱える課題を探究し、説明できる。
2	開発とは何かを理解し、説明することができる。
3	社会と人間の開発について説明できる。

授業計画

1	様々な視点から国際社会を概観する。 【授業方法】 講義 【予習】 60分：地理的・社会的・政治的・経済的な観点からの世界を概観する 【担当】 小川里美
2	多様な世界の現実 (1) 文化の側面 【授業方法】 講義 【予習】 60分：文化とは何か、を調べる。 【復習】 60分：生活様式から見た文化の多様性を再確認する。 【担当】 小川里美
3	多様な世界の現実 (2) 経済の側面 【授業方法】 講義 【予習】 60分：経済の仕組みを確認しておく。 【復習】 60分：経済的視点から見た世界の多様性を整理し、理解する。 【担当】 小川里美
4	多様な世界の現実 (2) 政治の側面 【授業方法】 講義 【予習】 60分：政治とは何かを確認する。 【復習】 60分：世界政治体制から見た世界の多様性を整理する 【担当】 小川里美
5	貧しさと豊かさについて考える 【授業方法】 講義 【予習】 60分：貧しさと豊かさを示す指標について調べる 【担当】 小川里美
6	貧困と格差について考える 【授業方法】 講義 【予習】 60分：格差と人間の生活、健康、環境への影響を調べる。 【担当】 小川里美
7	開発とは何か 【授業方法】 講義 【復習】 60分：開発援助の具体例を調べる 【担当】 小川里美
8	援助と自立について考える 【授業方法】 講義 【予習】 60分：人間開発指数上位国と最下位国の差の要因を考える。 【担当】 小川里美
9	開発と国際協力について 【授業方法】 講義 【予習】 60分：国際協力機関と具体例を調べる。 【担当】 小川里美
10	開発事例①（東南アジア諸国） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：東南アジア諸国の実情を調べる。 【担当】 小川里美

11	開発事例②（アフリカ諸国） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：アフリカ諸国の実情を調べる。 【担当】 小川里美
12	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する① 【授業方法】 グループワーク 【予習】 60分：自分の興味のある開発分野と具体例について調べる 【担当】 小川里美
13	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する② 【授業方法】 グループワーク 【予習】 60分：開発事例の成果と課題についてまとめる 【復習】 60分：発表資料を準備する 【担当】 小川里美
14	開発事例の成果と課題、展望について議論する 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 60分：発表資料を準備する。 【復習】 60分：各自の発表から「開発と国際協力」について、自己の考えをまとめる 【担当】 小川里美
15	「開発」再考 これまでの学びからのフィードバック 【授業方法】 講義、まとめとフィードバック 【予習】 60分：講義をとおして、開発とは何かを振りかえる。 【復習】 60分：人間にとって開発とは何かを再考し、自分が個人として、医療従事者としてどのようにかかわることができるのか（あるいはできないのか）を考えてみる。 【担当】 小川里美

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

斎藤文彦：国際開発論．日本評論社，2005．
山本一巳・山形辰史 編：国際協力の現場から一開発にたずさわる若き専門家たち．岩波ジュニア新書，2007．
アマルティア・セン：貧困の克服—アジア発展の鍵は何か．集英社新書，2002．
西川 潤：人間のための経済学．岩波書店,2000．
坪井ひろみ：グラミン銀行を知っていますか？．東洋経済新報社，2006．
佐藤寛：開発援助の社会学．世界思想社，2005．
佐藤寛 編：テキスト社会開発．日本評論社，2007．
青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』．古今書院，2000．

評価方法

授業への参加度 10％ プレゼンテーション40％ レポート50％

教員等の実務経験

赤十字やJICAで国際協力に携わった教員が講義を担当します。

メッセージ

3年生対象の講義なので、自らの経験などを含めて意見のやり取りが行なえる講義になると興味深いと思われる。

看護学概論

更新日：2021/09/28 12:38:51

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NFU101		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	610100
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

統合的な人間理解に基づき、看護の基本となる概念や歴史の変遷、看護独自の役割・機能について学び、「看護とは何か」について探究する。

本科目で育成するDPの力

看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	保健医療福祉を取り巻く状況について説明できる
2	看護提供者の位置づけについて説明できる
3	人間の尊厳を擁護するために必要となる視点を説明できる
4	看護の基本となる概念について説明できる
5	「看護とは何か」について、自己の考えを述べることができる

授業計画

1	本授業の位置づけと全体像を概観する／看護を学ぶにあたって自己の出発点を確認する 【授業内容】カリキュラムの中での本科目の位置づけ、看護を学ぶにあたって必要となる視点、看護に対する自己の考えの出発点の確認 【授業方法】講義 【予習】20分：「学生便覧/履修の手引き」および「シラバス」にてカリキュラムの中での本科目の位置づけを確認しておく 【復習】20分：テキスト1) p.2-8 必読。現時点における自己の看護に対する考えをまとめておく 【担当】本田
2	看護提供者の位置づけについて理解する 【授業内容】わが国の看護提供者（看護職）の資格と養成制度、就業状況、ジェネラリストとスペシャリスト 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1) p.150－168必読 【復習】20分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
3	保健医療福祉を取り巻く状況と、その中での看護の役割について考える 【授業内容】保健医療福祉を取り巻く状況（国民の健康状態、ライフサイクル、地球規模で生じている健康課題等）とその中での看護の役割 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】40分：テキスト1) p.115-136必読。保健医療関連の気になるニュースを調べ、まとめておく 【復習】20分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
4	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（1） 【授業内容】現代医療における倫理的問題、医療をめぐる倫理の歴史的経緯、患者の権利、なぜ倫理について学ぶ必要があるのかを考える 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】40分：テキスト1) p.186-199、p.374-376必読 【復習】20分：疑問点を追加学習しておく 【担当】本田
5	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（2） 【授業内容】職業倫理としての看護倫理（国際看護師協会「ICN看護師の倫理綱領」、日本看護協会「看護者の倫理綱領」）、看護の本質としての看護倫理、看護職は人の生命と尊厳にどのように関わるのかを考える 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】40分：テキスト1) p.199-218、p.370-376必読 【復習】20分：疑問点を追加学習しておく 【担当】本田
6	<看護の基本となる概念①>看護の対象である「人間」について理解する（1） 【授業内容】事例を通して対象理解の重要性や看護の視点から「人間」を捉える必要性について考える 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】40分：テキスト1) p.78-106必読 【復習】20分：疑問点を追加学習しておく 【担当】本田
7	<看護の基本となる概念①>看護の対象である「人間」について理解する（2） 【授業内容】人間を理解する諸側面（全体的存在、基本的欲求、成長発達、生活者としての人間） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1) p.78-106必読 【復習】20分：疑問点を追加学習しておく 【担当】本田

8	＜看護の基本となる概念②＞看護の目標となる「健康」について理解する 【授業内容】健康の捉え方（定義、権利としての健康、捉え方の変遷）、健康と生活、クオリティオブライフ（QOL） 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】４０分：テキスト1）p.108-115必読。自分にとってどのような状態が健康であるか、健康でないかを考えておく 【復習】２０分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
9	＜看護の基本となる概念③＞人間を取り巻く「環境」について理解する 【授業内容】環境の捉え方（定義、環境を捉える視点）、環境への適応機構（ホメオスタシス、コーピング、防衛機制）、看護と環境 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】４０分：テキスト1）p.81-91必読 【復習】２０分：環境の変化によって生じた自己の反応を知識を活用して分析する 【担当】本田
10	＜看護の基本となる概念④＞看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（１） 【授業内容】看護活動の場、場を規定する法律、看護活動の場の拡大と課題（看護の継続性、チーム医療、多職種との連携・協働） 【授業方法】講義 【予習】４０分：テキスト1）p.223-246、p.59-76必読 【復習】２０分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
11	＜看護の基本となる概念④＞看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（２） 【授業内容】看護独自の役割機能を法律・看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（１）、レポートのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】１２０分：本時までにテキスト2）および3）を読み、＜筆者の主張＞と＜その主張に対する自己の考え＞をレポートにまとめておく 【復習】２０分：レポートの不足部分を追加学習する 【担当】本田
12	＜看護の基本となる概念④＞看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（３） 【授業内容】看護独自の役割機能を法律・看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（２） 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】４０分：テキスト1）p.20-45必読 【復習】３０分：看護とは何か、自己の考えをまとめる 【担当】本田
13	看護の歴史の変遷について理解し、これからの看護の目指すべき方向性について考える 【授業内容】歴史にみる看護の形態の変化、看護の専門職化に向けての動き（アメリカ）、日本の職業としての看護の変遷 【授業方法】講義 【予習】４０分：テキスト1）p.138-150を必読し、日本の職業としての看護はどのようにして形づくられてきたのか概要を整理しておく 【復習】２０分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
14	看護理論の発展経緯と代表的な看護理論の概要を理解する 【授業内容】看護理論とは、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、主な看護理論の焦点 【授業方法】講義 【予習】４０分：テキスト1）p.23-46、354-359必読 【復習】２０分：疑問点を追加学習する 【担当】本田
15	看護とは何か、これから看護学をどのように学んでいくかを考える 【授業内容】将来のキャリア像、看護に対する自己の考え、授業目標の達成状況、試験のフィードバック等から、各自がこれから看護学をどのように学んでいくかを考える 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】４０分：科目全体の学習内容について、各自でまとめをしておく 【復習】２０分：試験で理解できていなかった箇所をノートにまとめておく 【担当】本田

先行履修科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕看護学概論（第17版）．医学書院，2020．
- 2) Nightingale, F. : Notes on Nursing:What It Is, and What It Is Not. 1860, 湯楨ます他訳：看護覚え書（改訂第7版）．現代社，2011．
- 3) Henderson, V. : Basic Principles of Nursing Care. 1977, 湯楨ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの（再新装版）．日本看護協会出版会，2016．

参考文献

適宜、文献を紹介する。

評価方法

学修課題・授業への取り組み（50％）、定期テスト（50％）にて総合的に評価する。

教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を事例として活用しながら、看護とは何かを各自が探究できるように授業を行う。

メッセージ

看護職者は何をする人でしょうか？社会の人たちが看護職者に求めていることはどのようなことでしょうか？ 皆さんは、これから看護学を学ぶ者として主体的に授業に参加し、自分自身の考えを深めていく姿勢を養ってください。

看護理論の基礎

更新日：2021/09/22 15:27:35

開講年度	2021	学期	後期	シバースト	NFU205		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	610200
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護の歴史の変遷を捉え、看護理論が創出されてきた背景と経緯について理解する。また、主要な看護理論について学び、これらの理論が看護実践、研究、教育を発展させる可能性について考える。

本科目で育成するDPの力

看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	看護理論を学ぶ意義について説明できる
2	看護の現象に迫る主要理論を複数挙示することができる
3	事例分析を通して、看護理論の理解を深めることができる

授業計画

1	看護理論とは 【授業内容】看護理論とは何か、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、小テスト 【授業方法】講義 【予習】60分：看護学概論で学習した内容について復習しておく。教科書p2～17を読む 【復習】20分：疑問点を調べる 【担当】本田
2	主要理論の理解（1）ニード/セルフケア理論 【授業内容】オレムのセルフケア理論、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p76～86を読み、オレムとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田
3	主要理論の理解（2）相互作用/人間関係理論 【授業内容】トラベルビーの人間対人間の看護、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p144～156を読み、トラベルビーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田
4	主要理論の理解（3）全体性理論 【授業内容】M.ニューマンの拡張する意識としての健康、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p172～183を読み、M.ニューマンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田
5	主要理論の理解（4）システム理論 【授業の内容】ロイの適応モデル、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p184～192を読み、ロイとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田
6	主要理論の理解（5）ケアリング理論① 【授業内容】ワトソンのケアリング理論、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p219～232を読み、ワトソンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田
7	主要理論の理解（6）ケアリング理論② 【授業内容】ベナー看護論、事例分析 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：教科書p246～257を読み、ベナーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる 【担当】本田

8	これからの看護と看護理論の可能性について考える 【授業内容】これからの看護と看護理論の可能性について考えたことを意見交換する 【授業方法】講義、ディスカッション、提出物・小テストへのフィードバック 【予習】60分：看護理論の意義や可能性について自己の考えをまとめておく 【復習】20分：授業全体のまとめをしておく 【担当】本田

先行履修科目

なし

テキスト

筒井真優美編：看護理論 看護理論21の理解と実践への応用（改訂第3版）.南江堂，2019.

参考文献

筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価（第2版）. 医学書院，2020.
 野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論（第2版）. メテカルフレンド社，2016.
 黒田裕子監修：ケースをとおしてやさしく学ぶ看護理論 改訂4版. 日総研，2017.
 初回授業時に、文献リストを配布する。その他、授業で配布する文献・資料

評価方法

各回の提出物（50％）、試験（50％）から総合的に評価する

教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を活かして、理論家の背景、理論の内容、看護実践への活用について授業を行う。

メッセージ

看護理論は難解というイメージが強いのではないだろうか。この授業では、理論家その人や理論の背景にある考え方を理解することによって、看護理論の面白みや深みを知ること、そして看護実践への活用について、事例をもとに考える機会にしたい。

看護過程

更新日：2021/09/21 14:19:21

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	NFU201		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	610300
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	指導教員：鬼丸 美紀、隈井 寛子、高堂 香菜子、添田 梨香、山本 孝治、鈴鹿 綾子、鴨川 めぐみ、福田 陽子 選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護の対象をホリスティックに捉え、対象の持つ健康上の課題を科学的にアプローチするための看護過程について、基盤となる知識と方法を学ぶ。また、演習を通して看護過程を展開するための基礎的能力を身につける。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護過程とは何かについて説明できる
2	看護の本質と看護過程との関係について説明できる。
3	看護過程の各段階について説明できる。
4	看護過程を展開するための基礎的能力を身につけることができる。
5	看護実践における看護過程の意義について考察できる。

授業計画

1	看護過程とは何か（１）：定義と特徴、意義、諸段階 【授業方法】講義 【予習】90分：テキストp218-238までを読み、ポイントをおさえる。 【担当】阿部
2	看護過程とは何か（２）：看護の発展と看護過程、看護診断の考え方 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp238-270を読み、ポイントをおさえる 【担当】阿部
3	看護過程を展開していくための事例学習を深める（１） 【授業方法】講義 【予習】90分：事前学習課題について春休み期間中にノートにまとめる。事例に関連した人体の構造と機能、疾患等について学習する 【復習】60分：不足していた学習を行いノートにまとめる 【担当】小手川
4	看護過程を展開していくための事例学習を深める（２） 【授業方法】講義 【予習】60分：事例の病態・基本情報について様式3-1,3-2にまとめる 【復習】60分：様式3-1,3-2の追加修正 【担当】小手川
5	看護の本質と看護過程との関係：看護における人間の捉え方、ゴードンの機能的健康パターン 【授業方法】講義 【予習】60分：ゴードンの機能的健康パターンについて調べる 【担当】阿部
6	第一段階：アセスメントの理解と実践 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp238-252を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：「栄養/代謝」のクラスタに取り組む 【担当】阿部
7	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】演習、ディスカッション 【予習】60分：「栄養/代謝」に取り組む 【復習】60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】担当教員
8	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】演習、ディスカッション 【予習】60分：「活動/運動」に取り組む 【復習】60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】担当教員

9	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：「健康知覚/健康管理」「排泄」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
10	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
11	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
12	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：全クラスターを完成させる 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
13	第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp238-252を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：関連図と全体像に取り組む 【担当】 阿部
14	第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像） 【授業方法】 演習、ディスカッション 【担当】 担当教員 【予習】 60分：関連図・全体像に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する
15	第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像） 【授業方法】 演習、ディスカッション 【担当】 担当教員 【予習】 60分：関連図・全体像に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する
16	第二段階：看護問題の明確化 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp252-261を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：看護問題に取り組む 【担当】 小手川
17	第二段階：看護問題の明確化 【授業方法】 演習、ディスカッション 【担当】 担当教員 【予習】 60分：看護問題に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する
18	第二段階：看護問題の明確化 【授業方法】 演習、ディスカッション 【担当】 担当教員 【予習】 60分：看護問題に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する
19	第三段階：看護計画の立案 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp261-266までを熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：看護計画に取り組む 【担当】 小手川
20	第三段階：看護計画の立案 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：看護計画に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
21	第三段階：看護計画の立案 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：看護計画に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
22	第四段階：実施、第五段階：評価 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp266-276までを熟読し、ポイントをおさえる 【担当】 小手川

23	看護実践における看護過程の意義について考察する、まとめ（フィードバック） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：事例演習評価表を用いての評価 【担当】 阿部

先行履修科目

なし

テキスト

茂野香おる 他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ（第17版）．医学書院，2019．

参考文献

- 1)渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント（第3版）．ヌーヴェルヒロカワ，2011．
- 2)NANDA International：Nursing Diagnoses Definitions：Definitions & Classification 2018-2020 Eleventh Edition.日本看護診断学会監訳：NANDA－I看護診断 定義と分類 2018-2020．医学書院，2018．
開講時、文献リストを配布する。

評価方法

演習の取り組み姿勢（40％）、看護過程の記録物（60％）により総合的に評価する。なお、遅刻（1点減点）や欠席（3点減点）についても厳重に評価する。

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、看護職にとって必要不可欠な方法論となる『看護過程』について講義・演習を行います。

メッセージ

看護の対象となる人間を捉え、必要な看護援助を見出していくためには、人体のメカニズムを理解しておくことが不可欠となります。事例患者の病態、治療等については既習内容を活用しながら、自己学習を行い、学習ノートに適宜まとめてください。また、テキストの該当ページを予習したうえでオンデマンド授業を受講してください。演習はリアルタイムで行います。自己学習を行った上で演習に参加してください。演習では、看護過程および関連科目で習った知識を活用し、主体的、計画的に課題に取り組みましょう。積極的に質問を行い、自己の視点を広げ、教員からのフィードバックを積極的に求め、看護過程の展開能力を育成していくことが重要となります。春休みの課題も含め、一歩ずつ学習を積み上げてほしいと思います。

フィジカルアセスメント

更新日：2021/09/28 10:16:40

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NFU104		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	610400
担当教員	小手川 良江, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 添田 梨香						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診察技法を身につける。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる
2	フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる
3	得られた情報から対象者の状態を判断することができる
4	看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる

授業計画

1	フィジカルアセスメントの総論 【授業方法】講義 【予習】60分 フィジカルアセスメントの総論：テキスト1)p128-132、テキスト2)p2-6の熟読 フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分）：テキスト1)p194、221-222、テキスト2)p108-109、p170-171 【復習課題】90分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する 【担当】小手川
2	フィジカルアセスメントの基礎知識 【授業方法】演習 【予習】60分 フィジカルアセスメントの総論：テキスト1)p128-132、テキスト2)p2-6の熟読 フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分）：テキスト1)p194、221-222、テキスト2)p108-109、p170-171 【復習課題】90分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する 【担当】小手川
3	フィジカルアセスメントに必要な診察技術 【授業方法】演習 基本的診察技術：問診、視診、打診、触診、聴診 【予習】60分 テキスト1)p132-154、テキスト2)p2-23を熟読し、問診、視診、打診、触診、聴診の診察技術のポイントをノートにまとめる 【復習】30分 提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
4	フィジカルアセスメントに必要な診察技術 【授業方法】演習 基本的診察技術：問診、視診、打診、触診、聴診 【予習】60分 テキスト1)p132-154、テキスト2)p2-23を熟読し、問診、視診、打診、触診、聴診の診察技術のポイントをノートにまとめる 【復習】30分 提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
5	生命徴候（バイタルサイン） 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト1)p154-176、テキスト2)p34-79を熟読し、看護技術Ⅰで学んだバイタルサインについて復習しておく テキスト2)p42、p58、p69、p80のWeb動画を視聴する 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】小手川
6	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】小手川

7	生命兆候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【復習】 60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】 小手川
8	生命兆候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：血圧の測定の練習 【復習】 60分：血圧の測定の練習 【担当】 小手川
9	生命兆候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 【予習】 60分：血圧の測定の練習 【復習】 60分：血圧の測定の練習 【担当】 小手川
10	甲状腺・リンパ系、呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環 【授業方法】 講義 【予習】 90分：甲状腺・リンパ系についてはテキスト1)p216-219、261-262、テキスト2)p90-99、p2106☒、p2117☒、p212腋窩・鎖骨リンパ節の触診の評価、呼吸系についてはテキスト1)p193-202、テキスト2)p100-136、循環器系についてはテキスト1)p204-212、テキスト2)p138-169の熟読と、甲状腺・副甲状腺、リンパ系、呼吸器系、循環器系の構造と機能についての復習を行い、提示課題に取り組む。 【復習】 30分：提示課題に取り組む。 【担当】 隈井
11	甲状腺・リンパ系、呼吸器系：胸郭・肺 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 隈井
12	呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 隈井
13	呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 隈井
14	呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 隈井
15	腹部 【授業方法】 演習 【予習】 90分：消化器系の構造と機能についてノートにまとめる。テキスト1)p220～230、テキスト2)p170～203を熟読する。テキスト2)p177、180、183、187のweb動画を視聴する。腹部全体のフィジカルアセスメントができるように、ポイントをノートにまとめる。 【復習】 60分：腹部全体のフィジカルアセスメントができるように練習する。提示課題に取り組む。 【担当】 添田
16	腹部 【授業方法】 演習 【予習】 90分：消化器系の構造と機能についてノートにまとめる。テキスト1)p220～230、テキスト2)p170～203を熟読する。テキスト2)p177、180、183、187のweb動画を視聴する。腹部全体のフィジカルアセスメントができるように、ポイントをノートにまとめる。 【復習】 60分：腹部全体のフィジカルアセスメントができるように練習する。提示課題に取り組む。 【担当】 添田
17	総合演習 腹部の技術を中心に模擬患者に対しフィジカルアセスメントを行う 【授業方法】 演習、ディスカッション、グループワーク 【予習】 60分：腹部のフィジカルアセスメントができるように、練習する。テキスト1)p29～56、p132～136を熟読し、対象者とのコミュニケーションのポイントを確認する。 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
18	総合演習 腹部の技術を中心に模擬患者に対しフィジカルアセスメントを行う 【授業方法】 演習、ディスカッション、グループワーク 【予習】 60分：腹部のフィジカルアセスメントができるように、練習する。テキスト1)p29～56、p132～136を熟読し、対象者とのコミュニケーションのポイントを確認する。 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
19	脳・神経系：意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能 【授業方法】 演習 【予習】 120分 テキスト1)p173-176、p239-249、テキスト2)p226-325を熟読し、意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能のフィジカルアセスメントができるようにノートにまとめる 【復習】 30分 提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸

20	脳・神経系：意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能 【授業方法】 演習 【予習】 120分 テキスト1)p173-176、p239-249、テキスト2)p226-325を熟読し、意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能のフィジカルアセスメントができるようにノートにまとめる 【復習】 30分 提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
21	筋・骨格系：歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト 【授業方法】 演習 【予習】 90分 テキスト1)p230-239、テキスト2)p326-353を熟読し、骨・関節の解剖生理、筋・骨格系の解剖生理をまとめ、筋・骨格系のフィジカルアセスメントができるようにノートにまとめる 【復習】 30分 提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
22	筋・骨格系：歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト 【授業方法】 演習 【予習】 90分 テキスト1)p230-239、テキスト2)p326-353を熟読し、骨・関節の解剖生理、筋・骨格系の解剖生理をまとめ、筋・骨格系のフィジカルアセスメントができるようにノートにまとめる 【復習】 30分 提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
23	看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ 課題フィードバック 【授業方法】 講義 【復習】 60分：フィジカルアセスメントで学習した内容について復習する 【フィードバック】 演習ごとの課題と小テスト等についてのフィードバックを行う 【担当】 小手川、隈井、鬼丸、添田

先行履修科目

なし

テキスト

テキスト1)茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ18版．医学書院，2021．
 テキスト2)熊谷たまき 他監修：看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント．メディックメディア，2019．

参考文献

山内豊明 監修：山内豊明教授のフィジカルアセスメント全巻．ビデオ・パック・ニッポン/京都科学，2006．
 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック一目と手と耳でここまでわかる.医学書院,2011.
 山内豊明：フィジカルアセスメントワークブック．医学書院，2014．
 Gerard J. Totoro, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (10th) ．2014，佐伯 由香, 細谷 安彦, 高橋 研一, 桑木 共之 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著10版）．丸善出版，2017．
 Barbara L. Herlihy: The Human Body in Health & Illness 5e.2013, 坂井建雄, 大久保暢子訳：ヒューマンボディ原著第5版.エルゼビア社,2017.
 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明 監修：ペイツ診察法 第2版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.
 Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

評価方法

課題・小テスト50%、筆記試験50%

教員等の実務経験

様々な分野における臨床経験を有する教員が、臨床で活かせるフィジカルアセスメントの基礎について講義演習を行う。

メッセージ

フィジカルアセスメントは、2年生で学ぶ看護過程や看護過程の展開実習につながる重要な科目です。また、人体の構造と機能、疾病と治療などの科目で学んだ知識を基礎にしてフィジカルアセスメントを行います。そのため、演習の前には、人体の構造と機能、疾病と治療、フィジカルアセスメントの方法を中心に予習を行ってください。演習後には、不足した知識の復習や技術練習に取り組んでください。

看護技術は、演習の中だけで身につけることはできません。演習の予習復習が重要になります。予習・演習・復習を繰り返すことで、看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけてください。

看護コミュニケーション

更新日：2021/09/21 12:41:01

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NFU105		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	610500
担当教員	高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護場面における援助的な人間関係を構築するための自己表現法を習得する。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	看護場面におけるコミュニケーションを振り返り、現象を説明できる。
2	他者とのかかわりの中で、自己の内面を振り返り、自身の行動を分析的に記述できる。
3	アサーティブな表現としてのDESC法について説明ができる。

授業計画

1	看護におけるコミュニケーションについて理解する 【授業内容】 看護におけるコミュニケーションの意義について学修する 【授業方法】 講義 【復習】 30分：事前に配布した資料を参考に復習する 【担当】 高橋
2	プロセスレコードの概念を学ぶ 【授業内容】 プロセスレコードの概念を講義で学修後に、学生は課題1（プロセスレコード）を作成する。 【授業方法】 講義 【予習】 1時間：教科書p69-73、84-91 【復習】 1時間：課題1（プロセスレコード）をExcelで作成する。作成する際は、評価票（自己評価と教員評価含）を参考に作成すること。 【次回授業で使用する資料】（プロセスレコード）Excel様式でポータル配信します。 【課題1の提出先】 ・第2講義終了後の教員が指定する日時に学務課メールボックスに提出（プリントアウトして提出すること） ・3,4講義のプロセスレコード検討会の資料準備のため、学生は必ず所定の日時に提出してください 【担当】 高橋
3	プロセスレコード検討会 【講義内容】 ・3講義、4講義は1グループ4～6名程度で検討会を行う。検討会の進め方や議論の視点は事前配布資料を読み確認をしておく。 ・検討会で出た意見を参考にしながら、自分のプロセスレコードを赤で修正し検討会終了後に直接教員に提出する。 【授業方法】 演習 グループディスカッション 【予習】 1時間：事前配布資料を読むこと 【担当】 高橋
4	プロセスレコード検討会 【講義内容】 ・3講義と4講義は1グループ4～6名程度で検討会を行う。検討会の進め方や議論の視点は事前配布資料を読み確認をしておく。 ・検討会で出た意見を参考にしながら、自分のプロセスレコードを赤で修正し検討会終了後に直接教員に提出する。 【授業方法】 演習 グループディスカッション 【予習】 1時間：事前配布資料を読むこと 【担当】 高橋
5	アサーティブな表現技法を理解する 【授業内容】 アサーティブな表現としてのDESC法を学修する。振り返りシートでの学び方を修得する 【授業方法】 講義 【予習】 1時間：教科書p56 - 67はアサーティブな表現技法を具体的に解説しているため熟読すること 【復習】 1時間：振り返りシートを作成すること 【次回授業で使用する資料】 振り返りシート（講義時に紙媒体で配布） 【担当】 高橋
6	アサーティブコミュニケーション検討会のための準備 【授業内容】 振り返りシートをグループ内で共有し、グループを代表するコミュニケーション場面を1事例決定する。その事例についてより良いコミュニケーションになるように検討し、第7回での発表準備を行う。 【授業方法】 演習 グループワーク 【予習】 1時間：教科書p56-67 【復習】 1時間：講義資料を見直し要点をまとめる 【担当】 高橋

7	アサーティブコミュニケーション検討会 【授業方法】 ・各グループ毎による発表の後に全体検討会を行う。最優秀ポスター賞を決定する。 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 1時間：教科書p56-67 【復習】 6時間：課題2を作成する。 ・課題2 レポート作成 テーマ：自己のコミュニケーションについて分析し、どのような課題があるのか、その課題に対する自分の考えを述べなさい。（3000文字横書きword形式、設定は自由） ・事前配布した評価票（自己評価、教員評価含）を参考に作成すること。 【課題2 提出日時】 第8講義最初に教員に提出 【担当】 高橋
8	ケアの場面におけるアサーティブな表現を理解する 【授業方法】 コミュニケーション場面の視聴覚教材による講義と課題に対するフィードバックを行う 【授業方法】 講義 【予習】 30分：教科書p56-67 【復習】 30分：講義資料を見直し要点をまとめる 【担当】 高橋

先行履修科目

なし

テキスト

高橋清美：はじめての看護実習 基礎からステップアップ看護コミュニケーション．へるす出版，2014．

参考文献

武藤清栄：言葉を聞く人心を聴く人ーコミュニケーションとメンタルヘルスー．中央労働災害防止協会，2001．
太湯好子：患者の心に寄り添う聞き方・話し方 ケアに生かすコミュニケーション．メヂカルフレンド社，2002．
奥田弘美：メディカル・ケアスタッフのためのコーチング25のコツ．厚生科学研究所，2006．
奥田弘美：かがやくナースのためのPERFECTコーチングスキル．学習研究社，2006．
松崎有子：もう実習で困らない！患者とのコミュニケーション．NCブックス，2005．
上別府圭子・森岡由起子：サイコセラピューティックな看護．金剛出版，2007．
Ernestine Wiedenbach：COMMUNICATION Key to Effective Nursing．1978，池田明子訳：新装版コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵．日本看護協会出版，2007．

評価方法

授業への参加度（30％）、課題1（40％）、課題2（30％）

教員等の実務経験

精神科看護師、病院心理士、スクールカウンセラーの経験がある教員が、その経験を生かして、看護に必要なコミュニケーションについて講義します。

メッセージ

課題に真摯に向き合いながら、人間関係構築のための表現法を習得していきましょう。

看護技術Ⅰ

更新日：2021/09/30 15:01:31

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NFU102		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	610600
担当教員	鬼丸 美紀, 阿部 オリエ, 添田 梨香						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	指導教員：小手川 良江、隈井 寛子、高堂 香菜子、福本 優子、鎌田 ゆき、衛藤 泰秀 必修/選択：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を説明できる
2	看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を説明できる
3	人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術について考えることができる
4	看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身に着けることができる

授業計画

1	看護援助における援助技術の概念と特殊性について理解する ・看護援助に共通する原理・原則、基本技術とは何かについて理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1)p2-16、テキスト2)p2-8を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：授業で学んだことの理解、課題に取り組む 【担当】阿部
2	感染防止の技術：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策 安全確保の技術：安全確保の基礎知識 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1)p64-82、p106-107を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策、安全確保の基礎知識についてノートにまとめる 【担当】鬼丸
3	感染防止の技術：標準予防策（手指衛生、個人防護用具） 【授業方法】演習 【予習】60分：標準予防策（手指衛生、個人防護用具）が実施できるように、ポイントを学習ノートにまとめる 【復習】30分：提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
4	環境調整技術：援助の基礎知識、援助の実際（ベッドメイキング）、活動・休息援助技術：基本的活動の援助（ボディメカニクス） 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分：テキスト2)p10-26、p104-110を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：環境調整技術、ボディメカニクスについてノートにまとめる、提示課題への取り組み 【担当】添田
5	環境調整技術：援助の基礎知識、援助の実際（ベッドメイキング）、活動・休息援助技術：基本的活動の援助（ボディメカニクス） 【授業方法】演習 【予習】60分：ベッド周囲の環境調整、空床のベッドメイキング、ボディメカニクスの活用ができるように、ポイントを学習ノートにまとめる。テキスト2)p10-26、p104-110を熟読する 【復習】90分：ベッド周囲の環境調整、ベッドメイキングができるように練習する 【担当】添田
6	技術試験：ベッドメイキング 【授業方法】演習（技術試験） 【予習】90分：ベッドメイキング、ベッド周囲の環境調整ができるように練習する 【担当】添田
7	活動・休息援助技術：基本的活動の援助、苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持、電法 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分：テキスト2)p104-140、p152-160を熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【復習】60分：活動・休息援助技術、苦痛の緩和・安楽確保の技術のポイントの理解、提示課題への取り組み 【担当】添田
8	活動・休息援助技術：基本的活動の援助（体位変換）、苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持（ポジショニング） 【授業方法】演習 【予習】60分：テキスト2)p113-124、p152-156を熟読し、体位変換、体位保持ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】90分：体位変換、体位保持ができるように練習する 【担当】添田

9	活動・休息援助技術：基本的活動の援助（車いす・ストレッチャーの移乗・移送） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：テキスト2)p126-140を熟読し、車いす・ストレッチャーの移乗・移送ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
10	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（入浴・シャワー浴、全身清拭）、病床での衣生活援助 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 90分：テキスト2)p170-189、p224-231の熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
11	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（全身清拭）、病床での衣生活援助（病衣・寝衣交換） 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 90分：テキスト2)p170-189、p224-231を熟読し、全身清拭と寝衣交換（輸液ラインが入っていない場合）の援助ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
12	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（全身清拭）、病床での衣生活援助（病衣・寝衣交換） 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 90分：テキスト2)p170-189、p224-231を熟読し、全身清拭と寝衣交換（輸液ラインが入っていない場合）の援助ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
13	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・手浴・足浴） 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 90分：テキスト2)p170-177、p190-204の熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
14	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・足浴） 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2)p170-177、p190-204を熟読し、洗髪・足浴の援助ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
15	清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・足浴） 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2)p170-177、p190-204を熟読し、洗髪・足浴の援助ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
16	排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助、清潔・衣生活援助技術（陰部洗浄） 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 90分：テキスト2)p64-79、p204-207の熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【担当】 鬼丸
17	排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助（床上排泄援助）、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（陰部洗浄） 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2)p64-79、p204-207を熟読し、床上排泄、陰部洗浄の援助が行えるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 30分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
18	排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助（床上排泄援助）、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（陰部洗浄） 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2)p64-79、p204-207を熟読し、床上排泄、陰部洗浄の援助が行えるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 30分：提示課題に取り組む 【担当】 鬼丸
19	食事援助技術：食事援助の基礎知識、食事摂取の介助、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（整容・口腔ケア） 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：テキスト2)p28-43、p207-223を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 90分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
20	食事援助技術：食事援助の基礎知識、食事摂取の介助、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（整容・口腔ケア） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：テキスト2)p26-39、p207-223を熟読し、食事の援助、整容、口腔ケアができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
21	バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸） 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：テキスト1)p154-165、テキスト3)p34-59、p76-80を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田

22	バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：テキスト1）p154-165、テキスト3）p34-59、76-80を熟読し、バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸）ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
23	まとめ：課題・筆記試験のフィードバック 【授業方法】 講義 【担当】 鬼丸・阿部・添田

先行履修科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第18版．医学書院，2021．
- 2) 任和子他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 第18版．医学書院，2021．
- 3) 熊谷たまき他：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版．医療情報科学研究所，2019．

参考文献

- 1) Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to The Human Body (11th)．2019，佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
- 2) 藤本真記子 他：看護がみえる vol.1 基礎看護技術第1版．医療情報科学研究所，2018．

評価方法

筆記・技術試験（70％）、学習ノートの充実度や授業への参加度（30％）を総合して評価する。

教員等の実務経験

様々な分野における看護の臨床経験を有する教員が、その経験を活かし看護技術の講義演習を行う。

メッセージ

本科目では、看護師として身に着けるべき基本的な看護技術を学んでいきます。ここでは、単にマニュアル的な手順を覚えるのではなく、看護技術の目的や根拠を考える力が求められます。発展しつづける医療技術に対応するために、看護師は生涯において学習しつづけることが求められています。そのため、皆さんには本科目において基本的な学習姿勢を身につけることを期待しています。是非、主体的に楽しく取り組んで下さい。

看護技術Ⅱ

更新日：2021/09/28 10:54:08

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NFU202		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	610700
担当教員	隈井 寛子, 高堂 香菜子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	指導教員：阿部 オリエ、小手川 良江、鬼丸 美紀、添田 梨香、福本 優子、西尾 美登里、福島 綾子、高瀬 理恵子、鎌田 ゆき 選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況を考慮した看護技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	個別状況を考慮した看護技術の意義と必要性を説明できる。
2	対象および看護者の安全を守る技術の必要性とその基本を説明できる。
3	感染予防技術を理解し、基本技術を実施できる。
4	与薬・活動・休息・食事・排泄・清潔について、原理原則に基づきながら個別状況を考慮した看護技術を実施できる。
5	個別状況を考慮した看護技術を評価することができる。

授業計画

1	概論：治療過程を支える看護技術の意義と安全を守る技術について 感染防止の技術1：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】講義 【予習】90分：テキスト2）p422-453を熟読する。 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
2	感染防止の技術2：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】講義 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
3	感染防止の技術3：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習 【復習】60分：無菌操作、滅菌手袋の着脱を練習する。 【担当】隈井
4	感染防止の技術3：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習 【復習】60分：無菌操作、滅菌手袋の着脱を練習する。 【担当】隈井
5	感染防止の技術4：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
6	感染防止の技術4：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
7	与薬の技術1：与薬における安全、経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分：提示課題に取り組む、与薬の技術についてテキスト2）p286-301、p462 - 471を熟読する。 【復習】90分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
8	与薬の技術2：注射（皮下・皮内・筋肉内注射、静脈内注射、点滴内静脈注射の管理） 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分：注射についてテキスト2）p301 - 333を熟読する。 【復習】60分：提示課題に取り組む、テキスト2）動画p506Q注射の準備、p507U②輸液ルートの準備を視聴する。 【担当】隈井
9	与薬の技術3：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井

10	与薬の技術3：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理 【授業方法】 演習、グループワーク、ディスカッション 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 隈井
11	身体可動制限のある対象への援助：活動・休息、食事、清潔 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：看護技術Ⅰで学んだ活動と休息の援助技術、体位保持、食事援助、整容に関する技術について復習しておく。褥瘡予防についてはテキスト2) p277-284を熟読する。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
12	身体可動制限のある対象への援助：排泄援助 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：看護技術Ⅰで学んだ排泄援助に関する技術について復習しておく。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
13	身体可動制限のある対象への活動・休息援助：車椅子移乗、安楽への援助 【授業方法】 演習 【予習】 60分：13・14回で実施するための手順をまとめておく。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
14	身体可動制限のある対象への食事、清潔援助 【授業方法】 演習 【予習】 60分：13・14回で実施するための手順をまとめておく。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
15	身体可動制限のある対象への排泄援助：ポータブルトイレでの排泄援助、便器・尿器での排泄援助 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：提示課題に取り組む。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
16	身体可動制限のある対象への排泄援助：ポータブルトイレでの排泄援助、便器・尿器での排泄援助 【授業方法】 演習 【予習】 60分：提示課題に取り組む。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
17	身体可動制限のある対象への援助：清潔・衣生活援助 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：看護技術Ⅰで学んだ清潔・衣生活援助について復習しておく。 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
18	身体可動制限のある対象への清潔・衣生活、排泄援助1：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄 【授業方法】 演習、グループワーク 【予習】 60分：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄について実施できるように技術のポイントをまとめ、練習する。 【復習】 60分：実施した内容を振り返り実施計画を修正し、練習する。 【担当】 高堂
19	身体可動制限のある対象への清潔・衣生活、排泄援助1：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄 【授業方法】 演習、グループワーク 【予習】 60分：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄について実施できるように技術のポイントをまとめ、練習する。 【復習】 60分：実施した内容を振り返り実施計画を修正し、練習する。 【担当】 高堂
20	身体可動制限のある対象への清潔・衣生活、排泄援助2：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄 【授業方法】 演習、グループワーク 【復習】 90分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
21	身体可動制限のある対象への清潔・衣生活、排泄援助2：寝衣・シーツ交換、おむつ交換、全身清拭、陰部洗浄 【授業方法】 演習、グループワーク 【復習】 90分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
22	身体可動制限のある対象への援助：まとめ 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 60分：11～21回の援助技術を振り返る。 【担当】 高堂
23	課題、試験に対するフィードバック 【授業方法】 講義 【担当】 隈井

先行履修科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ．医学書院，2020．
- 2) 任和子 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ．医学書院，2020．

参考文献

村中洋子 他編：学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版．医歯薬出版株式会社，2019．
三木明德監修：人体の構造からわかる看護技術のエッセンス．医歯薬出版株式会社，2019．
竹内修二 他：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q&A．照林社，2013．
田中マキ子編：写真でわかる看護技術 日常ケア場面でのポジショニング．照林社，2014．
吉田みつ子,本庄恵子監修：新訂版 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス．インターメディカ，2020．
藤本真記子 他監修：看護がみえるvol.1 基礎看護技術．メディックメディア，2018．
近藤一郎 他監修：看護がみえるvol.2 基礎看護技術．メディックメディア，2018．

評価方法

課題・小テスト（50％）筆記試験（50％）

教員等の実務経験

様々な分野における看護の臨床経験を持つ教員が、その経験を活かして看護技術の講義、演習を行っていく。

メッセージ

本科目では、既習科目の知識を使い、より臨床で活用できるような技術の習得を目指しています。また本科目の講義や演習で学んだ知識と技術、態度は、2年前期の「看護過程の展開実習」で活用していくことが重要となります。

治療検査と看護

更新日：2021/03/02 14:56:52

開講年度	2021	学期	前期	ｼﾝﾊﾞｽｺｰﾄﾞ	NFU203		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	610800
担当教員	千原 明美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

治療や検査の概要を学び、看護職者の役割と援助方法について理解する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	治療・検査の目的及び方法を理解するとともに、検査・治療に伴う日常生活への影響および苦痛を述べることができる。
2	基本的な検査・治療の処置内容・実施前、実施中、実施後の観察項目・注意事項を説明することができる。
3	診療における治療・検査について、看護者が果たすべき役割を述べることができる。

授業計画

1	【ガイダンス】 【治療、検査の概念】 意義、目的、看護の役割 【授業方法】 講義 【予習】 60分：臨床検査「臨床検査の基礎」 p4～58を読んでおく。 【復習】 60分：本日学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。
2	【生体機能検査1】 検体検査と看護（尿／便／体腔内貯留液／血液／喀痰／その他） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：尿・便・血液検査について目的および値をどう読み取れば良いか調べてくる。 【復習】 60分：日学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。。
3	【生体機能検査2】 呼吸機能検査と看護（経皮的動脈血酸素飽和度測定/肺機能検査/血液ガス検査） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：呼吸機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：学習した呼吸機能検査の正常値および異常値を説明できるようにしておく。
4	【生体機能検査3】 循環機能検査と看護（12誘導心電図/心電図モニター） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：循環機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：学習した循環機能検査の正常・異常について説明できるようにしておく。
5	【生体機能検査4】 画像診断と看護（X線単純撮影/消化管造影/脳血管造影/心血管造影，CT検査/MRI検査/PET検査/核医学検査） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：画像診断の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：画像診断読影の基本的な知識を説明できるようにしておく。
6	【生体機能検査5】 内視鏡検査と看護（上部・下部消化管内視鏡検査/気管支鏡検査/膀胱尿道鏡検査） 超音波検査と看護（心エコー検査/乳房超音波検査/腹部超音波検査） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：内視鏡検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：内視鏡検査前・検査中・検査後に注意すべきことを説明できるようにしておく。
7	【治療を受ける患者への看護1】 輸液療法を受ける患者への看護 ME機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ） 【授業方法】 演習 【予習】 60分：輸液療法におけるME機器について調べて、使用時の注意点を説明できるようにしておく。 【復習】 60分：演習で使用したME機器についての使用上の注意点を再度テキストを読んで復習する。
8	【治療を受ける患者への看護2】 輸血療法を受ける患者への看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：臨床検査「輸血に関する検査」 P189～p192を読んでおく。 【復習】 60分：各種輸血製剤の管理・使用方法・使用上・使用後の注意点について述べられるように復習しておく。
9	【治療を受ける患者への看護3】 透析療法を受ける患者への看護 血液透析／腹膜透析 【授業方法】 講義 【予習】 60分：成人看護技術「腹膜透析」 p356～p359を読んでおく。 【復習】 60分：血液透析・腹膜透析を受ける患者の看護について述べられるように復習しておく。
10	【治療を受ける患者への看護4】 手術療法を受ける患者への看護①手術療法とは手術における生体侵襲 手術前患者の看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：ナースングラフィカ 周術期看護 P12～P55を読んでおく 【復習】 60分：手術前看護について述べられるように復習しておく。

11	【治療を受ける患者への看護5】 手術療法を受ける患者への看護② 手術中患者の看護 手術室の環境管理 【授業方法】 講義 【予習】 60分：ナースンググラフィカ 周術期看護 P58～p70を読んでおく。 【復習】 60分：手術中看護について述べられるように復習しておく。
12	【治療を受ける患者への看護6】 手術療法を受ける患者への看護③ 手術後患者の回復を促進する看護 合併症予防と発生時の看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：ナースンググラフィカ 周術期看護 P90～p118を読んでおく。 【復習】 60分：手術後看護について述べられるように復習しておく。
13	【治療を受ける患者への看護7】 手術療法を受ける患者への看護④ 排泄ケア ストーマケア 【授業方法】 講義 【予習】 60分：成人看護技術「排泄ケア」 p214～p222を読んでおく。 【復習】 60分：ストーマについて、ストーマを有する患者の看護について述べられるように復習しておく。
14	【治療を受ける患者への看護8】 手術療法を受ける患者への看護⑤ 創傷管理技術 排液管理とドレーン 【授業方法】 講義 【予習】 60分：創傷治癒について、病理学・人体の構造と機能で習ったメカニズムを復習し、ナースンググラフィカ 周術期看護 P33～P35を読んでおく。 【復習】 60分：創傷管理・排液管理・ドレーン管理について注意すべきことを述べられるようにしておく。
15	【まとめ】 治療、検査における看護のまとめ及びフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 60分：理解不十分な箇所について事前に学習しておく。 【復習】 60分：治療・検査それぞれに必要な看護についてポイントを自分で説明できるようにしておく。

先行履修科目

なし

テキスト

野崎真奈美 他編著：看護学テキストNICE成人看護技術．南江堂，2017．
 中島恵美子 他編：ナースンググラフィカ 成人看護学④ 周術期看護，2017
 奈良信雄 編：系統看護学講座 別巻 臨床検査．医学書院，2019．

参考文献

矢永勝彦 他編：系統看護学講座別巻 臨床外科総論．医学書院，2017
 有田清子 他編：系統看護学講座専門分野1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ．医学書院，2017．
 香春知永 他：系統看護学講座専門分野1 基礎看護学〔4〕臨床看護総論．医学書院，2016．
 石塚睦子 編著：よくわかる周手術期看護．学研メディカル秀潤社，2017．
 杉本由香 監修：Nursing Canvas Book 8 生体検査・検体検査・看護技術．学研メディカル秀潤社，2016．
 写本庄 恵子 他監修：写真でわかる臨床看護技術1・2 アドバンス，インターメディカ，2016．

評価方法

定期試験80％、課題20％

教員等の実務経験

いろいろな診療科で治療・検査を受ける患者の看護を行った経験のある看護教員が講義を担当。

メッセージ

本科目で学んだ知識をこれからの臨地実習や看護過程展開に活かせるように、頑張って事前・事後学修をしっかりと行いながら習得して行って下さい。

キャリアデザイン I

更新日：2021/01/27 12:11:37

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NFU206		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	610900
担当教員	原田 紀美枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

自分の将来像を模索し、専門職としての目的意識を形成する。

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	キャリアおよびキャリアデザインの基本的な考え方を理解できる。
2	自己を分析的に捉え、自身の傾向について考察できる。
3	様々な看護専門職について調べ、理解することができる。
4	専門職としてのキャリアデザインを基に、自身の将来像について考察できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション キャリアデザインの基本 キャリアに影響する要素 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章（P.12-26）を精読する 【担当】原田
2	看護職としてのキャリア形成の基礎：資格と教育背景 ＊レポート課題提出 【授業方法】講義 演習（GW） 【予習】60分：看護職の様々な専門性を示す資格制度について調べ、レポートにまとめる(事前提出) 【復習】60分：キラリ看護の仕事の中で、関心がある動画を視聴し、自身のキャリアについて考える(Formsへの回答) 【担当】原田
3	看護師としての成長 看護師のクリニカルラダー ＊1年次のPROGテスト結果持参 【授業方法】講義 演習（GW） 【予習】60分：テキスト第3章（p.78-113）第5章(p.163-170)を精読する 【復習】30分：1年次のPROGテストの結果を参考に自身の特徴を考えレポートを作成する(わたしの履歴書、夢・目標) 【担当】原田
4	看護職の就業状況の特徴 【授業方法】講義 【予習】60分：配布資料を精読する 【担当】原田
5	看護師のキャリアにおける障壁 看護師としての転機 【授業方法】講義 【復習】120分：テキスト第4章(p.116-137, 148-162, 171－183)を精読する 【担当】原田
6	看護という仕事の特徴 看護師の社会的イメージ 感情労働 臨床におけるジレンマ 【授業方法】講義 【予習】30分：配布資料を精読する 【復習】60分：テキスト第1章（p.27-33）、第4章（p.138-145）を精読する 【担当】原田
7	ゲストスピーカーの講話を通して様々な看護師の働き方を学ぶ 【授業方法】講義 【復習】60分：今までの学習内容をもとに最終レポート課題の準備を行う 【担当】原田、ゲストスピーカー
8	自身の将来像を描く 1・2回目レポートのフィードバック 【授業方法】講義 演習（GW） 【復習】180分：自身のキャリアデザインについてレポートを作成をする 【担当】原田

先行履修科目

なし

テキスト

勝原裕美子：看護師のキャリア論．ライフサポート社，2007．

参考文献

Benner, P.／井部俊子訳：ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ．医学書院，2005．
武井麻子：感情と看護 人のかかわりを職業とすることの意味．医学書院，2001．
Gratton, L., Scott, A.／LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略．東洋経済新報社．2016．

他、適宜提示する

評価方法

レポート（60％）、授業への取り組み（40％）で総合的に評価する。

教員等の実務経験

認定看護管理者の資格を持ち、医療機関で看護管理者として勤務経験のある教員が、キャリアに関する動向を踏まえてキャリアデザインについて講義します。

メッセージ

キャリアというと職業や仕事に関することのみを指すと思われがちですが、キャリアを考えることは自身の人生を考えることです。職業人としてまた専門職者としての可能性を探り、自身の将来像を描くことで、人生の展望を広げていきましょう。長期の「夢・目標」を設定することが、大学生活で何をどのように学んでいくのかを考えることにつながっていきます。

キャリアデザインII

更新日：2021/09/21 18:04:16

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NFU401		
学年	4	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	611000
担当教員	姫野 稔子, 永松美雪, 倉岡 有美子, 中村 光江, 石飛 マリコ, 西村 和美, 西山 陽子, 苑田 裕樹, 山本 孝治, 福島 綾子, 鈴鹿 綾子, 福田 陽子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護職者としての自己の課題を認識し、キャリア形成の基礎力と専門職として必要な知識を習得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	社会人及び専門職として求められる人物像を考えた上で、専門職としての自己の強みと課題を認識することができる。
2	卒業までに必要な知識について、自己学習計画を立案することができる。
3	社会保障を踏まえ、健康支援能力を向上させることができる。

授業計画

1	クリティカルケア：術後看護（呼吸管理）、せん妄予防、終末期看護・家族看護 【授業方法】講義・小テストを実施する。 【予習】30分：術後の呼吸管理（呼吸の生理、呼吸不全、呼吸器合併症）、せん妄予防、終末期看護、家族看護 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】苑田、福島
2	精神疾患の治療・看護 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する。 【予習】60分 統合失調症(精神機能を含む)、気分障害に関する疫学・治療とその看護の既習内容 【復習】30分 小テストの見直し 【担当】石飛
3	正常妊娠の経過と看護 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する。 【予習】30分：正常妊娠の妊娠期・産褥期・新生児の経過と看護 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】福田
4	ハイリスク妊娠の経過と看護 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する。 【予習】30分：合併妊娠（糖尿病）の妊娠期・産褥期・新生児（低出生体重児・巨大児）の経過と看護 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】永松
5	急性期および慢性期の疾患をもつ児の特徴とその看護 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する。 【予習】60分：①川崎病、②急性リンパ性白血病、③ネフローゼ症候群、④慢性期の疾患をもつ児の特徴 【復習】30分：授業資料 【担当】大重
6	成人期に特徴的な疾患・治療と看護（がん看護） 【授業方法】講義：講義前に小テストを実施する。 講義内で、ディスカッションを行う。 【予習】30分：事前に出題される小テストを解き、解説できるように事前学習してまとめる。 【復習】30分：事前学習に補足した後、関連する国家試験問題を解く。 【担当】西山
7	クリティカルケア：術後看護（循環管理、ショックの分類、不整脈） 【授業方法】講義・小テストを実施する。 【予習】30分：急性大動脈解離の病態・治療と術後の合併症と看護、ショックの分類と特徴、不整脈について 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】苑田
8	成人期に特徴的な疾患・治療と看護（糖尿病・内分泌代謝系疾患） 【授業方法】講義・小テストを実施する。 【予習】30分：糖尿病の病態と看護（疾病と治療Ⅱ、慢性看護Ⅰ）、糖尿病・内分泌代謝系疾患に関する国家試験過去問題の見直し 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】山本・鈴鹿

9	精神疾患の治療・看護 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する 【予習】60分：アルコール依存症・摂食障害・発達障害に関する疫学・治療とその看護の既習内容 精神疾患に関する法律・社会保障 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】石飛
10	老年期に特徴的な疾患・治療と看護（認知症） 【授業方法】講義・ワーク・小テストを実施する。 【予習】30分：認知症高齢者に関する社会保障 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】姫野
11	老年期に特徴的な疾患・治療と看護（摂食・嚥下障害と誤嚥性肺炎、大腿骨頸部骨折） 【授業方法】講義・小テストを実施する。 【予習】30分：摂食・嚥下に関する解剖生理の知識確認、大腿骨周辺の解剖の知識確認 【復習】30分：講義資料および小テストの見直し 【担当】姫野
12	在宅看護の特徴と主な制度 【授業方法】講義・小テストを実施する 【予習】30分：訪問看護制度（健康保険法、介護保険法）と地域包括ケアシステムについて事前学習をしてまとめる 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】西村
13	成人期に特徴的な疾患・治療と看護（慢性腎臓病・慢性腎不全） 【授業方法】講義・小テストを実施する。 【予習】30分：慢性腎臓病・慢性腎不全の病態と看護（疾病と治療Ⅱ、慢性看護Ⅰ）、慢性腎臓病・慢性腎不全に関する国家試験過去問題の見直し 【復習】30分：授業および小テストの復習 【担当】中村
14	在宅療養者とその家族への看護（脳梗塞後遺症、難病） 【授業方法】講義・小テストを実施する 【予習】30分：①脳梗塞後遺症、②ALS、③パーキンソン病、④COPD（在宅酸素療法含む）の病態と看護について事前学習をしてまとめる 【復習】30分：授業資料および小テストの見直し 【担当】西村
15	看護職の多様なキャリア 定期試験に関するフィードバック 【授業方法】講義 【予習】 60分：自分が描くキャリアデザインをレポートにまとめる 【復習】 30分：教員から受けたフィードバックの内容を確認する 【担当】倉岡

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しません。シラバスに提示されている内容に関するテキストや資料を持参してください。

参考文献

必要に応じて提示します。

評価方法

定期試験100% ※授業形態の変更に伴い、評価方法が変更することもあります。その際には周知いたします。

教員等の実務経験

看護師の臨床経験を有する教員が、経験を活かして各学問領域の専門知識について講義します。

メッセージ

最後のセメスターの講義になります。看護職となるための各々の課題を見出し、卒業後に必要となる専門知識を習得してください。

日常生活援助実習

更新日：2021/01/12 11:24:01

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NFU103		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	611100
担当教員	阿部 オリエ, 鬼丸 美紀, 添田 梨香, 倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	指導教員：小手川 良江、隈井 寛子、高堂 香菜子 選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

病院において、治療を受けている対象者への日常生活援助の必要性や根拠を理解する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	日常生活援助を受けている対象者の情報を看護師から得ることができる。
2	実施可能な日常生活援助を決定することができる。
3	看護師と共に日常生活援助実施を実施する対象者に説明し同意を得ることができる
4	看護師と共に安全・安楽に日常生活援助が実施できる
5	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、日常生活援助技術の根拠が理解できる
6	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、対象者の自立や個性に応じた日常生活援助について考えることができる
7	自己の技術の振り返りを行い、日常生活援助技術に対する課題を明らかにすることができる
8	看護技術の原理・原則（安全、安楽、自立、個別性、効率性）などに照らし合わせて、自身が行った日常生活援助を考察し記述できる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】 1．実習期間 〔病院実習〕 前半グループ：2021年8月30日（月）～9月2日（木） 後半グループ：2021年9月6日（月）～9月9日（木） 〔学内実習〕 前半グループ：2021年9月3日（金） 後半グループ：2021年9月10日（金） 2．実習場所 福岡赤十字病院、総合せき損センター、宗像医師会病院のいずれか1か所 3．実習配置人数 1グループ2～3名 4．実習の進め方 実習施設は、学生の希望を基に検討する。実習の詳細は、シラバスおよび実習要項で説明を行う。実習要項の変更に関しては、ポータルサイトで掲示する 【予習】120分： 詳細は後日ポータルサイト上で説明を行う 【復習】120分： 詳細は後日ポータルサイト上で説明を行う 【担当】 阿部・鬼丸・添田・倉岡含む看護の基盤領域教員

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

既習科目のテキスト・資料。特に看護技術に関する文献は、自ら収集・活用すること。

評価方法

実習目標の達成状況（50％）、レポート（30％）、課題への取り組みおよび授業への参加態度（20％）

教員等の実務経験

様々な場で看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、日常生活援助の原理・原則における思考について、臨地の場でタイムリーに指導を行います。

メッセージ

看護大学入学後、初めての実習科目になります。主に看護技術Ⅰで学んだ知識や技術を、対象者という“個”にどのように応用していくか、いわゆる「個別性」を学ぶ機会となります。グループごとに担当教員を交えてカンファレンスを行う機会を設けます。学生それぞれが、他者の意見を聴き、自分の考えを発信できるようになることを期待しています。そして、それは、コミュニケーションの1つの形です。日常生活援助を実施するにあたり、対象者とのコミュニケーションや観察を行うことは、基本的な能力として求められます。学内で学んだことを、実習の場でどのように応用するか、かつ、更なる学習のための自己の課題は何かについて、深く考える機会にしましょう。

看護過程の展開実習

更新日：2021/10/11 13:05:04

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	NFU204		
学年	2	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	611200
担当教員	小手川 良江, 阿部 オリエ, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 高堂 香菜子, 添田 梨香						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	指導教員：西山 陽子、山本 孝治、鈴鹿 綾子、宇都宮 真由子、鴨川 めぐみ、衛藤 泰秀、福田 陽子、山内 多恵 選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

健康障害を持った対象者との関わりを通して、看護過程の展開方法を学ぶとともに、看護学実習における基本的学習方法を身につける。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	自分の行動を分析的に捉えることができる。
2	看護過程を展開できる。
3	看護過程の重要性を理解できる。

授業計画

1	事前課題【予習】 ・看護過程の教科書、資料、事例の看護展開を用いて、看護過程の復習を行う（取組時間：120分） ・看護技術の復習を行う（取組時間：120分） ・実習要項の看護過程の展開実習に関する箇所を熟読する（取組時間：60分）
2	実習方法と実習の進め方 1. 実習方法 1) 期間（病院・学内） 2021年7月19日～8月6日（3週間） 2) 実習場所 嘉麻赤十字病院、九州病院、熊本赤十字病院、福岡赤十字病院、宗像医師会病院、山口赤十字病院、門司メディカルセンター 3) 指導体制 一つの病棟に学生3-6名程度を配置し、担当教員と実習指導者が主に指導にあたる 2. 実習の進め方 1) 全体オリエンテーション 実習目的および概要を理解する（全体オリエンテーション時は必ず実習要項を持参する） ＜予習＞45分 ・看護過程の展開実習の実習要項を熟読する ・Ⅰ.看護学臨地実習の意義～Ⅹ.実習における注意事項、レベルⅡ実習要項を熟読しておく 2) 学内演習 看護技術練習 看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について理解する ＜学修課題＞ 120分：受持ち対象者に実施できるレベルまで看護技術を練習する 60分：看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について教科書や資料などを用いて復習する 3) 病院実習 入院している対象者1名（もしくは2名）を受け持ち、看護過程の展開を行う 看護過程記録物のフィードバック 看護技術到達度表を用いた看護技術に対する学生の自己評価や教員からのフィードバック 自分が行った看護の意味について検討する ＜学修課題＞ 実習要項を確認し、主体的に病院実習に取り組む 看護過程の記録物は病院実習期間中に完成させる 自分が行った看護の意味について検討し、課題レポートにつなげる 4) 学内実習 学内カンファレンス、面接、文献学習等を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する理解を深める レポートのフィードバック 実習のフィードバック 【担当】 小手川・阿部・隈井・鬼丸・高堂・添田

先行履修科目

日常生活援助実習

テキスト

特に指定しない。

参考文献

既習科目のテキスト・資料。
その他、対象者を理解するために、必要な文献を自ら収集・活用すること。

評価方法

実習目標の達成度(80%)、実習態度(20%)により総合的に評価する。

教員等の実務経験

様々な分野での臨床経験を持つ教員が、看護過程を指導する。

メッセージ

講義・演習で学んだ看護過程を基本とし、臨床の場で実際に看護過程を展開します。看護過程を展開するためには、1年生から学んだ人体の構造と機能、疾病の知識が重要になります。また、大学で学んでいないことを自分で学び看護過程につなげることも重要です。みなさんが主体的に取り組むことを期待しています。

リハビリテーション論

更新日：2021/02/04 19:20:16

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NAP301		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	620100
担当教員	千原 明美, 梶原 弘平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について述べるができる。
2	リハビリテーションを必要とする人の特徴について述べるができる。
3	経過別・障害機能別リハビリテーションについて説明することができる。
4	リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について説明することができる。

授業計画

1	ガイダンス，リハビリテーション概論/リハビリテーション看護概論 【授業方法】講義 【予習】30分：2年次地域看護Ⅰで履修した、ICFについてを再度復習しておく。 【復習】60分：テキストp12～p46を読んで、リハビリテーション看護について自分のことばでまとめられるようにしておく。 【担当】千原
2	各身体機能のメカニズムとアセスメント（1）呼吸・循環・運動 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学修した、呼吸・循環・運動機能のメカニズムを説明できるように復習しておく。 【復習】60分：テキストp78～101を読み、呼吸・循環・運動のアセスメントをどのようにするか説明できるようにしておく。 【担当】千原
3	身体機能のメカニズムとアセスメント（2）栄養・排泄・高次脳・性機能・感覚器 【授業方法】講義 【予習】60分：講義内容のkey Wordについて今まで学習したことは復習し、説明できるようにしておく。 【復習】60分：テキストp102～152を読み、合わせて講義内容を振り返る。 【担当】梶原
4	心理・社会的なアセスメントと支援 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp30～54、p162～176を事前に読む。 【復習】60分：講義した心理・社会的なアセスメントが活用できるように、講義資料を基に振り返りを行う。 【担当】梶原
5	生活の再構築へのアセスメントと援助① 【授業方法】講義 【予習】60分：ADL,ICF,FIM,BIについて調べて、説明できるようにしておく。 【復習】60分：テキストp182～p208を読む。 【担当】千原
6	生活の再構築へのアセスメントと援助② 【授業方法】講義 【予習】60分：障害のある人に関する法律・施策についてテキストp48～58までを読んで、障害のある対象者への生活再構築に向けての社会資源を調べてくる。 【復習】60分：テキストp210～p264を読んで、各事例のリハビリテーション看護について理解する。 【担当】千原
7	チームアプローチと看護の役割 【授業方法】講義 【予習】60分：p60～p76を読んで、チームアプローチの中での看護の役割を考えてくる。 【復習】60分：講義で学んだチームアプローチと看護の役割について、自分の考えをまとめる。 【担当】小倉リハビリテーション病院 地域リハビリテーションセンター センター長 森山 雅志
8	リハビリテーション看護のまとめ/課題・試験のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義で学んだ重要用語について説明できるように復習しておく。 【担当】千原

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

奥宮暁子他 編集：ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護．メディカ出版，2017．

参考文献

酒井郁子，金城利雄編集：リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む．南江堂，2015．

武田宜子他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護．医学書院，2015．

落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック 第2版，学研，2016．

評価方法

定期試験80％、課題20％

教員等の実務経験

急性期・慢性期病院での臨床、及び在宅・地域でリハビリテーションを他職種連携で実践してきた看護師経験のある看護教員が講義を担当。

メッセージ

テキストに使われているリハビリテーション看護での重要用語を予習・復習してそれを各自再復習して今後の看護に活かせるようになりましょう。

慢性看護Ⅰ

更新日：2021/09/21 15:14:03

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP201		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	620200
担当教員	中村 光江, 山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

各ライフステージにわたる、慢性疾患とともに生きる人を理解するための概念を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	慢性病の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病とともに生きる人への理解や看護を支える理論や概念を説明できる。
3	慢性病とともに生きる人とその家族へのアセスメントの視点や援助方法について例を挙げて述べるができる。

授業計画

1	慢性病とその治療の特徴/看護の役割 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅰ章「慢性期看護とは」(p.2～39)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
2	慢性病とともに生きる人とその家族の身体的・心理社会的特徴（受け入れ過程/自己概念/役割） 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅱ章「慢性疾患を有する人とその家族の理解」(p.42～70.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
3	各ライフステージにおける慢性病の特徴と影響（特に成人期） 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】45分：「人間の成長発達段階」(看護学概論)を復習する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
4	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本（１）（セルフケア・セルフマネジメント能力を高める看護） 【授業方法】講義 【予習】45分：健康行動論で学んでいる理論・概念を復習する。 テキスト第Ⅰ章「慢性疾患を有する人に対する看護の役割」(p.30～39.) 第Ⅲ章「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」(p.72～76.p.96～101.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
5	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本（２）（成人教育/相談技術/社会資源の活用） 【授業方法】講義 【予習】テキスト第Ⅲ章「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」(p.101～127.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
6	消化器系障害とともに生きる人への看護(1)胃・十二指腸潰瘍/肝炎/肝硬変/肝臓がん 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章p281～314「胃・十二指腸潰瘍」「慢性肝炎」「肝硬変」「肝臓がん」 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】山本
7	消化器系障害とともに生きる人への看護(2)潰瘍性大腸炎・クローン病/大腸がん 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章p315～327「潰瘍性大腸炎」「クローン病」 【復習】30分：授業内容の復習 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】山本
8	慢性病とともに生きる人への理解(1)療養の実際、患者会の活動について 【授業方法】講義 【予習】30分：第7回の授業内容から「クローン病の病態生理、生活への影響」についてまとめる 【復習】40分：ゲストスピーカーの話から病気とともに生きることについてまとめる 【担当】ゲストスピーカー

9	呼吸器系障害とともに生きる人への看護/気管支喘息/慢性閉塞性肺疾患 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第Ⅴ章 熟読「気管支喘息」p.218～224. 「慢性閉塞性肺疾患」p.225～232. 「疾病と治療Ⅰ」で学んだ呼吸器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
10	腎機能障害とともに生きる人への看護（慢性腎臓病/腎不全/人工透析） 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第Ⅴ章 熟読「腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助」p.357～367.「人工透析を受ける患者の援助」p.140～150. 「疾病と治療Ⅱ」で学んだ腎疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】西山
11	循環器系障害とともに生きる人への看護（高血圧/慢性心不全/虚血性心疾患） 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第Ⅴ章 熟読「循環器系の障害を有する人とその家族への援助」p.240～280 「疾病と治療Ⅰ」で学んだ循環器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
12	脳・神経系障害とともに生きる人への看護/脳梗塞/パーキンソン病 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第Ⅴ章「脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助」を熟読する。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】西山
13	慢性病とともに生きる人への理解(2)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の理解 【授業方法】講義（AL） 【予習】45分：資料「病みの軌跡」を熟読し「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の概要を理解する。 【復習】45分：授業で提示する事例の「病みの軌跡」について考え、演習用フォーマットを完成させる。 【担当】中村
14	慢性病とともに生きる人への理解(3)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の活用 【授業方法】反転授業、講義 【予習】45分：完成させた「病みの軌跡」のフォーマットを見直し、疑問点を明確にしておく。 【復習】60分：事例の「病みの軌跡」についてまとめる。（課題） 【担当】中村
15	小テスト、定期試験、課題に対するフィードバック/科目全体のまとめ 【授業方法】講義 【復習】30分：全体の振り返り 【担当】中村、山本、西山、鈴鹿

先行履修科目

なし

テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第3版．南江堂，2019．

参考文献

鈴木志津枝編：慢性期看護論 第3版．ヌーヴェルヒロカワ，2014．

Woog,P.(ed.)：The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model．1992，黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡．医学書院，1995．

Strauss,A.L.et al. (ed.)：Chronic Illness and the Quality of Life, 南裕子監訳：慢性疾患を生きる．医学書院，1987．

評価方法

ICTを用いた小テスト（40％）、定期試験（50％）、課題（10％）で総合的に評価する。

※小テストは、第7回、9回、10回、11回、12回で実施する。

※課題は第14回に提示する（病みの軌跡の記述）。

教員等の実務経験

慢性看護（腎臓内科、消化器科、糖尿病専門科など）の分野で看護師として臨床経験がある教員が講義を担当する。

メッセージ

「慢性看護Ⅰ」で学ぶ理論や概念は、2年生前期の「健康行動論」と関連させることでより看護実践に活用できるようになります。本科目での学びは、後期の「慢性看護Ⅱ」の演習において具体化され、その後の「慢性看護実習」（レベルⅢ）での発展的活用につながっていきます。

※ COVID-19の感染状況によって授業内容・授業形態、評価方法に変更が生じる可能性があります。

慢性看護Ⅱ

更新日：2021/09/21 15:20:09

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	620300
担当教員	山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子, 中村 光江						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

慢性疾患の予防からセルフケア、患者会の運営、セルフケアグループの役割など、個および集団への指導や援助方法を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	様々な慢性疾患の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病をもつ人とその家族について、長期的な視点に基づいて全人的なアセスメントができる。
3	慢性病の予防から終末期までそれぞれの病期の特性に応じて、セルフケアを支えるための具体的な援助方法を説明できる。
4	事例の展開を通して、慢性病をもつ人と家族への看護を具体的に考察できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション/演習「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」オリエンテーション①/病みの軌跡の復習 【授業方法】講義 【予習】45分：慢性看護Ⅰで取り組んだ病みの軌跡について振り返る 【復習】60分：事例「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」個人課題をすすめる 【担当】山本、中村
2	免疫系障害とともに生きる人への看護：関節リウマチ/全身性エリテマトーデス/ステロイド療法 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅳ章4.ステロイド療法を受ける患者の援助/第Ⅴ章4.関節リウマチ5.全身性エリテマトーデスを熟読し、要点にマーカーを引く。 【復習】45分：小テストの解答をテキストや講義内容から確認する。 ＊ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】西山
3	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護(1)：糖尿病の病態、症状 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章「糖尿病」，系統看護学講座専門分野Ⅱ内分泌，のテキストを熟読する 【復習】40分：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療の学修後にもう一度テキストを熟読し、要点をまとめる。 ＊ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
4	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護(2)：治療、糖尿病の療養 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章「糖尿病」，系統看護学講座専門分野Ⅱ内分泌，のテキストを熟読する 【復習】40分：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療の学修後にもう一度テキストを熟読し、要点をまとめる。 ＊ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
5	患者会/セルフケアグループの役割 【授業方法】講義 【予習】45分：テキストP123～127「サポートグループやセルフヘルプグループ」を熟読、慢性看護Ⅰ第8回授業のゲストスピーカーの講義内容、資料の振り返り 【復習】30分：授業プリントの確認、内容の整理 ＊ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】山本
6	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（1）：Response to the question 【授業方法】講義・演習（ディスカッション・ディベート） 全体討論・ディスカッション 【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」＜看護問題抽出まで完成させておく＞ 【復習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村
7	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（2）：全体フィードバック/オリエンテーション② 【授業方法】講義・演習（プレゼンテーション） 看護過程の展開「看護問題抽出」までのポイントについて、教員からのフィードバック 【予習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【復習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【担当】山本

8	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（1）：指導案の実際 【授業方法】講義・演習（グループワーク） グループワークによる討議，教員からのフィードバック 【予習】60分：テキスト第Ⅴ章「糖尿病」，系統看護学講座専門分野内分泌のテキストを用いて，糖尿病指導案の事例についてクラスター「健康管理・健康知覚」のアセスメントを完成させておく。 【復習】45分：「健康管理・健康知覚」のクラスターについて追加修正 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
9	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（2）：指導案のピアレビュー 【授業方法】講義（グループワーク） グループワークによる討議，教員からのフィードバック 【予習】45分：糖尿病事例に対する指導案の「テーマ」「患者指導の目的」「患者の行動目標」，パンフレットを完成させておく。 【復習】60分：指導案、パンフレットの追加修正 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
10	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実践（1）：指導案・パンフレットを用いたセルフケア指導の実践 【授業方法】演習＜登校＞（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】60分：セルフケア指導実践の練習 【復習】30分：演習の振り返り ＊第10・11回は同日2コマで、A/Bクラスに分かれて実施する。 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
11	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実践（2）：指導案・パンフレットを用いたセルフケア指導の実践 【授業方法】演習＜登校＞（グループワーク、プレゼンテーション） 【予習】60分：セルフケア指導の実践を振り返り，指導案・パンフレットを追加修正し指導の練習を行う。 【復習】30分：演習の振り返り ＊第10・11回は同日2コマで、A/Bクラスに分かれて実施する。 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
12	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実践（3）：セルフケア指導実践へのフィードバック 【授業方法】講義（グループワーク） 【予習】60分：第10・11回の演習を振り返る。 【復習】30分：セルフケア指導における留意点をまとめる 【担当】鈴鹿
13	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（3）：Response to the question 【授業方法】講義・演習（ディスカッション・ディベート） 全体討論・ディスカッション 【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」＜看護計画立案まで完成させておく＞ 【復習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村
14	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（4）：全体フィードバック/演習の振り返り 【授業方法】講義・演習（プレゼンテーション） 【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 看護過程の展開「看護計画」のポイントについて、教員からのフィードバック 【復習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正 【担当】山本
15	科目のまとめ、小テストへのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：第2回～5回までの小テストを振り返る 【復習】30分：科目で学んだことを慢性看護実習でどのように活かすのかまとめる ＊「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（課題）を期日までに提出する。 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村

先行履修科目

なし

テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂版 第3版．南江堂，2019．

参考文献

鈴木志津枝編：慢性期看護論 第3版．ヌーヴェルヒロカワ，2014．
森山美知子編：新しい慢性疾患ケアモデル ディジーズマネジメントとナースিংケースマネジメント．中央法規出版，2007．
日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表第7版．文光堂，2013．
日本糖尿病教育・看護学会編：糖尿病に強い看護師育成支援テキスト．日本看護協会出版会，2008．
福井トシ子監修：ライフステージから理解する糖尿病看護―事例で学ぶアセスメントのポイント―．中央法規，2013．

評価方法

ICTを用いた小テスト（20％）、課題（60％）、演習への取り組み（20％）で総合的に評価する。
＊小テストは第2回～第5回で実施する。
＊課題の評価内訳：指導案・パンフレット作成（25％）、病みの軌跡を用いた看護過程の展開（35％）

教員等の実務経験

腎臓内科、糖尿病内科等の病棟で看護師の経験がある教員が講義、演習を担当する。

メッセージ

慢性看護Ⅱは2年生の集大成といえる慢性看護実習（レベルⅢ）につなぐ科目です。授業のなかで、学生間の全体討論やピアレビューを実施します、活発な意見交換をして学びを共有し深めていきましょう。課題は計画的に学習を進めていくように心がけてください。

※ COVID-19の感染状況によって、授業内容・授業形態、評価方法が変更される可能性があります。

母性看護 I

更新日：2021/09/24 17:16:28

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP203		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	620400
担当教員	永松美雪, 園田 希, 福田 陽子, 橋本真貴子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

女性の各ライフステージにおける健康課題、女性特有の疾患に対する看護の特性、周産期看護の基礎となる周産期学の知識を学び、女性の生涯を通じた看護や健康支援を理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	女性の健康は性周期ならびに性ホルモンの変動に大きく影響されていることを説明することができる。
2	女性のライフサイクルの各ステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）の健康課題と支援について考察することができる。
3	女性特有の疾患に対する看護の特性を説明することができる。
4	妊娠、分娩、産褥の正常経過を説明することができる。
5	新生児の生理的变化について説明することができる。

授業計画

1	母性看護の基盤となる概念/リプロダクティブヘルスに関する概念・確認テスト① 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分 テキスト（ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「1.母性看護の基盤となる概念」、「2.リプロダクティブヘルスに関する概念」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松
2	母性を取り巻く社会の変遷と現状・確認テスト② 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分 テキスト（ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「3.リプロダクティブヘルスに関する動向」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松
3	リプロダクティブヘルスに関する倫理・確認テスト③ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「4.リプロダクティブヘルスに関する倫理」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】園田
4	生殖の生理・確認テスト④ 【授業方法】講義 【予習】60分 「人体の構造と機能Ⅳ」での生殖器および受精と発生に関する学習内容の復習、およびテキスト（ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「6.生殖に関する生理（1.女性の生殖器～5.妊娠のメカニズム）」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】橋本
5	妊娠期における生理的变化・確認テスト⑤ 【授業方法】講義 【予習】60分 「人体の構造と機能Ⅳ」での受精と発生（胎児の発達、妊娠による母親の変化）に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第3章妊娠期における看護」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田

6	分娩期における生理的变化・確認テスト⑥ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第4章分娩期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
7	産褥期における生理的变化・確認テスト⑦ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第6章産褥期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
8	新生児期における生理的变化・確認テスト⑧ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第5章新生児期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
9	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援①・確認テスト⑨ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「5.リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援（1.子どもと女性の保護に関する法律～4.暴力・虐待の防止に関する法律と支援）」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】園田
10	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援②・確認テスト⑩ 【授業方法】講義 【予習】60分 テキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「5.リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援（5.周産期医療システム）」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】ゲストスピーカー/園田
11	生殖における健康問題と看護①・確認テスト⑪ 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分 「疾病と治療Ⅲ」での性感染症に関する学習内容の復習、第1回目の講義内容の復習およびテキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「6.生殖に関する生理（6.性行動、性反応）」「7.生殖における健康問題と看護（2.性感染症）」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松
12	生殖における健康問題と看護②・確認テスト⑫ 【授業方法】講義 【予習】60分 「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、テキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「7.生殖における健康問題と看護（1.月経異常・3.女性生殖器の腫瘍）」、テキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「8.不妊症」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】園田
13	生殖における健康問題と看護③・確認テスト⑬ 【授業方法】講義 【予習】60分 「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、第12回目の講義内容の復習およびテキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「7.生殖における健康問題と看護（3.女性生殖器の腫瘍）」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】橋本
14	加齢とホルモンの変化・確認テスト⑭ 【授業方法】講義 【予習】60分 「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、テキスト（ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「9.加齢とホルモンの変化」をよく読み、予習をしておく。 【復習】60分 学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】橋本

15	母性看護Ⅰ全体を通してのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分 これまでの講義資料を確認し、母性看護Ⅰでの理解不十分だった箇所について整理しておく。 【担当】永松、園田、福田、橋本

先行履修科目

なし

テキスト

中込さと子他：ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護. メディカ出版, 2019.

森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論. 医学書院, 2020.

参考文献

小林康江他：ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践. メディカ出版, 2019.

森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 第14版. 医学書院, 2021.

末岡浩他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 第15版. 医学書院, 2019

仁志田博司：新生児学入門 第5版. 医学書院, 2018.

評価方法

講義後の確認テスト：50%、学習ノート（講義毎に作成）：50%をもとに総合的に評価する。

教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟での臨床経験がある教員が、その経験を活かし、女性の生涯を通じた健康支援と妊産褥婦および新生児への看護に必要な理論基盤や知識について講義します。

メッセージ

少子化、核家族化、生殖補助療法、出生前診断など、女性を取り巻く環境は大きく変化し続けています。多角的な視点から母性看護の基盤となる知識を習得し、母性看護Ⅰでの学びを深めていきましょう。

母性看護Ⅱ

更新日：2021/09/21 12:18:17

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NAP302		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	620500
担当教員	園田 希, 福田 陽子, 橋本真貴子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	必修/選択：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

周産期看護に必要な理論と技術について学び、周産期を中心とした母子およびその家族の看護に必要な基礎的能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	周産期における対象の特性に応じた看護の視点を、基礎的知識を用いて説明できる。
2	母性の看護過程の展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。

授業計画

1	小テスト・オリエンテーション・母性看護の基盤となる概念と看護過程の展開 【授業方法】講義 【予習】60分 母性看護Ⅰでの学習内容を復習し、小テスト・講義に臨む。 ※なお、小テストの結果は最終評価には含めない。 【担当】園田
2	妊娠期における看護①・確認テスト① 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（妊娠期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」をよく読み、予習しておく。 【担当】橋本
3	妊娠期における看護② 【授業方法】プレゼンテーション 事例をもとに作成した保健指導案を、グループ毎に発表し討議を行う。 【予習】120分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護 D妊婦と家族の看護 ③親になるための準備教育」をよく読みグループ毎に、保健指導案の作成を行う。 【復習】60分：指導案の加筆修正（要提出） 【担当】園田、福田、橋本
4	分娩期における看護・確認テスト② 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（分娩期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第4章 分娩期における看護」をよく読み、予習しておく。 【担当】橋本
5	産褥期における看護・確認テスト③ 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（産褥期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護」の身体的変化・心理的变化・社会的変化に関する内容をよく読み予習しておく。 【担当】福田
6	新生児期における看護・確認テスト④ 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（新生児期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第5章 新生児期における看護」をよく読み予習しておく。 【担当】福田
7	周産期に関わる看護技術 【授業方法】演習 妊娠期（子宮底長・腹囲の計測、レオパルド触診法、胎児心音の聴取）、産褥期（子宮復古の観察）、新生児期（バイタルサインの測定）に関して演習を行う。 【予習】60分：テキスト（ナーシンググラフィカ 母性看護学③母性看護技術）のARコンテンツから該当の動画を視聴し、事前学習課題（要提出）に取り組む。 【復習】60分：演習後、指定の事後課題（要提出）に取り組む。 【担当】園田、福田、橋本

8	セルフケア能力を高める看護 【授業方法】プレゼンテーション 事例をもとに作成した保健指導案を、グループ毎に発表し討議を行う。 【予習】120分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護 C褥婦と家族の看護」をよく読みグループ毎に、保健指導案の作成を行う。 【復習】60分：指導案の加筆修正（要提出） 【担当】園田、福田、橋本
9	妊娠・分娩・新生児・産褥の異常・確認テスト⑤ 【授業方法】講義 【予習】60分：「疾病と治療Ⅳ」での妊娠合併症に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第7章妊娠・分娩・新生児・産褥の異常 I 妊娠の異常と看護」をよく読み、予習しておく。 【担当】園田
10	周産期における看護過程の展開① 【授業方法】グループワーク 【予習】60分：事例をもとに、個人で情報収集・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、情報収集・アセスメントの加筆修正を行う。 【担当】園田、福田、橋本
11	周産期における看護過程の展開② 【授業方法】グループワーク 【予習】60分：事例をもとに、個人で情報収集・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、情報収集・アセスメントの加筆修正を行う。 【担当】園田、福田、橋本
12	周産期における看護過程の展開③ 【授業方法】グループワーク 【予習】60分：事例をもとに、個人で看護診断・計画立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、看護診断・計画立案の加筆修正を行う。 【担当】園田、福田、橋本
13	周産期における看護過程の展開④ 【授業方法】グループワーク 【予習】60分：事例をもとに、個人で計画立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、計画立案の加筆修正を行う。 【担当】園田、福田、橋本
14	周産期における看護過程の展開（発表） 【授業方法】プレゼンテーション 【予習】120分：周産期における看護過程の展開での演習内容をもとに、グループ毎にアセスメント・看護診断・看護計画を発表し討議を行う。 【担当】園田、福田、橋本
15	母性看護Ⅱ全体を通してのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅱでの理解不十分だった箇所について整理しておく。 【担当】園田、福田、橋本

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論. 医学書院, 2020.
横尾京子他：ナースング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術. メディカ出版, 2019.

参考文献

堀内成子他：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第2版. 照林社, 2017.
小林康江他：ナースング・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践. メディカ出版, 2019.
中村幸代他：根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画. 南江堂, 2018.
仁志田博司：新生児学入門 第5版. 医学書院, 2018.

評価方法

講義後の確認テスト：50%、課題提出：30%、事例発表の資料：20%をもとに総合的に評価する。

教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟・産婦人科外来・地域での実践経験がある教員が、その経験を活かし、妊産褥婦および新生児への看護について講義します。

メッセージ

本科目は、女性のライフサイクルの中で特に変化の大きい周産期に特化した科目になります。本科目での講義や演習課題（看護過程展開）への取り組みを通して、女性とその家族への支援について、学修していきましょう。

小児看護Ⅰ

更新日：2021/02/26 16:35:04

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP204		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	620600
担当教員	東 優里子, 大重 育美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる
2	子どものフィジカルアセスメントの特徴を説明できる
3	子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を説明できる
4	子ども・家族の諸統計、家族看護理論を説明できる
5	子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を説明できる

授業計画

1	子どもの最善の利益にかなう医療・看護/子どもの人権 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P44～53 予習キーワード：子どもの権利条約、小児医療における倫理的配慮 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
2	小児看護における概念と理念 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P117～137、課題1に取り組む 予習キーワード：エリクソンの自我発達理論、ピアジェの認知発達理論、ボウルビイの愛着理論、マラーの分離一個体化理論、家族システム論、家族発達理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
3	小児を取り巻く医療の変遷と課題 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P15～38 予習キーワード：小児看護・医療の歴史、小児看護の変遷、小児看護の国際動向、小児看護・医療の課題と展望 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
4	小児の成長・発達と看護（発達の基本） 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116 予習キーワード：成長・発達・発育の概念と定義、成長・発達の区分・原則 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
5	小児の成長・発達と看護（発達評価法） 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116、課題2に取り組む 予習キーワード：遠城寺式乳幼児分析発達検査法、日本版デンバー式発達スクリーニング検査指数を用いた評価（カウプ指数、ローレル指数、肥満度） 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
6	小児の成長・発達と看護（日常生活援助の視点） 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116、課題3に取り組む 予習キーワード：原始反射、姿勢反射、粗大運動、微細運動、眠る・食べる・排泄の機能 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重

7	母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P57～62 予習キーワード：母子保健、子育て支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重、ゲストスピーカー
8	小児を守る法律と制度 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P39～44、P65～80 予習キーワード：小児看護・医療の法律、学校保健、予防接種、難病や障害をもつ小児への保健・福祉 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
9	子どもの虐待に関する小児看護の役割 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P42～43、P62～64 予習キーワード：ネグレクト、性的虐待、身体的虐待、心理的虐待、マルトリートメント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
10	子どもの事故防止と安全教育（家庭内と施設内） 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P161、P172、P173、P191、P208、P209、第2・6回の講義内容を復習してから本講義に臨む 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東
11	障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P74～79、P139、P140、P143、P144 予習キーワード：ノーマライゼーション、セルフケア理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東
12	発達障害のある子どもと家族の看護 【授業方法】講義 【予習】60分：予習キーワード：広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】大重
13	小児期にある対象の理解と看護 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～14 予習キーワード：今までの講義を通して、「子どもとはどのような存在か」を考察する。 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東
14	小児看護の特質 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～14 予習キーワード：小児看護の目標、小児看護師の役割 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東
15	小児看護Ⅰの総括 【授業内容】小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所についてのフィードバックを行う。 【授業方法】講義 【予習】60分：小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所 【復習】30分：これまでの授業資料を確認しておく 【担当】東、大重

先行履修科目

なし

テキスト

小林京子、高橋孝雄：小児看護学概論 小児保健。メテカルフレンド社、2020年 第6版。

参考文献

厚生労働統計協会：国民衛生の動向2020/2021.厚生労働協会，2020.

二宮啓子，今野美紀：小児看護学概論 改訂第3版。南江堂，2017.

二宮啓子，今野美紀：小児看護技術改訂第3版。南江堂，2017.

評価方法

定期試験(70%)、提出課題 (30%)

教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

メッセージ

出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んでください。

提出課題については、演習ノートに記載して自己学習を行ってください。課題の詳細は、講義中に示します。また演習ノートを参考にして、復習の機会にしてください。演習ノートは、3年次科目の小児看護ⅡやレベルⅣ実習でも活用するので、今から内容が充実した演習ノートを作成しましょう。

小児看護Ⅱ

更新日：2021/01/13 16:12:00

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP303		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	620700
担当教員	松中 枝理子, 東 優里子, 大重 育美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態： 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

小児の健康問題を理解し、病院や地域において種々の健康レベルにある子どもと家族への看護方法・技術、健康教育、継続的支援の方法を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	小児看護Ⅰで学んだ基礎的知識を踏まえて、対象の特性に応じた看護の視点を説明できる。
2	小児の看護展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。
3	小児の健康障害を持つ子どもと家族の看護の特性を説明できる。

授業計画

1	障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護：①小児の病気に対する認識過程、②入院時、入院中の看護、③家族の反応と心理理解 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P2～23、P276～277 予習キーワード：小児の療養の場、小児の病気の理解と説明、インフォームドコンセント、インフォームドアセント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
2	急性的経過をたどる健康問題／障害と看護、慢性的経過をたどる健康問題／障害と看護 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P125～132（急性期）、P142～155（慢性期） 予習キーワード：＃8000、急性期の小児の特徴、急性状態が小児に与える影響、小児慢性特定疾病対策事業、慢性期疾患に伴う小児の状態、移行期 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
3	先天的な健康問題のある小児と家族の看護、感染予防の必要がある小児と家族の看護 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P205～210 予習キーワード：先天異常の定義と分類、小児の発達段階に応じた援助、心室中隔欠損症、感染経路、感染経路別予防策、急性細気管支炎 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
4	周術期における小児と家族の看護、活動制限が必要な小児と家族の看護 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P132～141、P178～183、P512～514 予習キーワード：周術期にある小児と家族の体験、手術が小児に与える影響、周術期の小児と家族の看護、直腸肛門奇形、活動制限の種類や目的、活動制限による影響、小児の骨折と治療 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
5	看護過程の展開 【授業方法】講義 【予習】30分 予習キーワード：急性期・周手術期・慢性期にある小児と家族の体験、病気や入院が小児と家族に与える影響、急性期・周手術期・慢性期の小児と家族の看護 【復習】180分：講義資料の振り返り、課題1（選択）に取り組む 【担当】東
6	小児看護に必要な看護技術 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P287～346内の動画も視聴すること。 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換、身体計測、採血、採尿、骨髓穿刺、腰椎穿刺、与薬、注射、輸液療法、吸引、酸素療法、経管栄養 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東
7	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換① 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：教科書P287～318、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】東

8	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換② 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：教科書P287～318、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 東
9	プレバレーション① 【授業方法】 講義 【予習】 60分：教科書P277～285 予習キーワード：プレバレーション 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 東
10	プレバレーション② 【授業方法】 演習（実技、発表） 【予習】 60分：教科書P277～285、課題3（必修）に取り組む 予習キーワード：プレバレーション 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 東
11	低出生体重児と家族の看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：教科書P26～36、P200～205、P374～402 予習キーワード：新生児の分類、ハイリスク新生児の特徴と要因、アセスメントの視点、入院中の看護 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 東
12	心身障害のある小児と家族への看護、医療的ケアを必要としながら退院する小児と家族への看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：教科書P210～224、P515～518 予習キーワード：大島分類、超重症児、てんかん、脳性麻痺、医療的ケア、経管栄養法、気管切開、入院生活から在宅への移行に向けた支援 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 ゲストスピーカー
13	在宅・地域で医療的ケアを必要とする小児と家族への看護、家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族への看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分、教科書P235～245 予習キーワード：慢性疾患のある小児へのセルフケア支援、ネフローゼ症候群 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 ゲストスピーカー
14	ターミナル期および災害時における小児と家族の看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分、教科書P155～162、P261～267 予習キーワード：発達段階における死の概念、終末期の小児をもつ家族看護、災害による小児への影響 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 大重
15	小児看護Ⅱ全体のまとめ 【授業内容】 小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題についてのフィードバックを行う。 【授業方法】 講義 【予習】 60分：小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 東、大重

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

小林京子、高橋孝雄：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護。メヂカルフレンド社、2019年、第6版。

参考文献

小林京子、高橋孝雄：小児看護学概論 小児保健。メヂカルフレンド社、2019年、第6版。
今野美紀他編集：小児看護技術 改訂第3. 南江堂、2017。
荻津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程。医歯薬出版、2012。
岡田喜篤監修：新版 重症心身障害療育マニュアル。医歯薬出版、2015。
鈴木康之他監修：写真でわかる重症心身障害者(児)のケア。インターメディカ、2015。

評価方法

定期試験（80％）、【課題2】演習に関する課題（10％）、【課題3】演習に関する課題（10％）

教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

メッセージ

本科目は、出生から小児期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。本科目を学習する際に、講義用ノートと小児看護Ⅰから知識を集積している演習ノートを準備してください。各回講義前の予習として学習課題に予習キーワードを挙げています。ただし、キーワードがすべて該当ページにあるとは限りませんので、事前に自身で調べておいてください。該当ページでのキーワードの予習を講義用ノートに記載した上で、講義に臨んでください。講義では、講義用ノートに必要事項を書き加えてください。演習は、事前課題と指定の視覚教材の視聴を課して、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。

老年看護Ⅰ

更新日：2021/09/21 11:58:14

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP205		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	620800
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 千原 明美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

個々のもつ老年観を豊かにし、高齢者や高齢者を取り巻く社会支援システムについて理解を深め、高齢者看護の基礎的能力を養う。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	自己の老年観をみつめ、老年観の構成要素や老年看護における老年観の重要性を理解できる。
2	高齢者疑似体験を通して高齢者の身体特性を体感し、心理・社会的特性を洞察できる。
3	老化の理解と日常生活への影響を理解できる。
4	加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の疾病を理解できる。
5	高齢者に関する統計的輪郭および変遷と施策に結び付けて理解することができる。
6	高齢者が生活もしくは療養している場と関連する制度を理解できる。
7	老年看護の原理・原則および役割機能を理解できる。
8	治療を受ける高齢者の看護について理解できる。

授業計画

1	「古い」「老いを生きる」とはどういうことなのかを考える：1）個々の老年観を言語化し、見つめ、洞察する/2）Agingの捉え方を理解する 【授業方法】講義 【復習】30分：老年期の特徴についてレジュメや教科書で復習する 【担当】姫野
2	高齢者疑似体験演習によりて、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（1） 【授業方法】グループワーク・ディスカッション 【復習】90分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野、千原
3	高齢者疑似体験演習によりて、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（2） 【授業方法】グループワーク・ディスカッション 【復習】90分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野、千原
4	国内外における高齢化の統計的輪郭と施策の変遷を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：高齢化の全体像を理解し、保健福祉政策とのつながり整理する 【担当】姫野
5	老化のメカニズムと身体機能の変化を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：それぞれの器官の正常と加齢による生理的变化について復習する 【担当】姫野
6	社会の高齢化に伴う社会保障と権利擁護について理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナーシンググラフィカ第2章3高齢者を支える制度を読んでくる 【復習】60分：介護保険、権利擁護について復習する 【担当】原田
7	高齢者に関するケアシステムを理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナーシンググラフィカ第2章 5.地域包括ケアを読んでくる 【復習】60分：高齢者医療に関する制度を整理する 【担当】原田
8	認知症疾患の病態を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：医学書院テキスト第4章 A.認知症を読んでくる 【担当】原田
9	認知症高齢者への対応方法を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：8回の講義内容をもとに、認知症疾患の特徴について整理する。 【担当】原田

10	老年医学（１）脳神経系・筋骨格系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ脳神経・筋骨格系の機能を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する 【担当】千原
11	老年医学（２）呼吸器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ呼吸器系の機能を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する 【担当】千原
12	老年医学（３）循環器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ循環器系の機能を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する 【担当】千原
13	老年医学（４）感覚器系・泌尿器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ感覚器・泌尿器系の機能を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する 【担当】千原
14	治療を受ける高齢者への看護の役割を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：治療を受ける高齢者への看護の役割を整理する 【担当】原田
15	老年看護の理念・目標・原則を理解する／定期試験のフィードバック 【授業方法】講義 【復習】60分：高齢者看護の理念と原則、高齢者看護の役割を整理する／定期試験のフィードバックを受けた内容を復習する 【担当】原田

先行履修科目

なし

テキスト

佐々木英忠著：系統看護学講座21 老年看護 病態・疾患論．医学書院，2020．
 堀内ふき他著：ナースングラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害．メディカ出版，2021．

参考文献

メアリーＡ．マテソン他：看護診断にもとづく老人看護学1～5．医学書院，1992-1995．
 E．H．エリクソン他：老年期-生き生きしたかわりあい-．みすず書房，1997．
 Lawton, M.P. : Environment and other determinants of well-being in older people. Gerontologist 23(4).349-357, 1983．

評価方法

レポート20％、定期試験80％

教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、講義や演習を行います。

メッセージ

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳおよび疾病と治療Ⅰ～Ⅳの復習をして講義に臨んでください。

老年看護Ⅱ

更新日：2021/09/21 13:55:03

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP304		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	620900
担当教員	梶原 弘平, 原田 紀美枝, 千原 明美, 山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の健康課題から生じる日常生活上の問題に対し、個別的援助方法を導くための視点と技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	高齢者特有の健康問題のメカニズムおよび看護を説明することができる。
2	生活者として的高齢者をとらえるために必要なアセスメントの視点を理解し、高齢者の個性を捉えた生活援助技術を実施することができる。
3	高齢者特有の健康問題を持つ対象のアセスメント結果から科学的根拠に基づいた看護援助方法を具体的に述べるることができる。

授業計画

1	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン①（栄養障害・浮腫） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章1低栄養、7浮腫を精読する。 【復習】60分：高齢者の栄養障害、浮腫の特徴について整理する。 【担当】原田
2	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン②（脱水・皮膚掻痒症） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章1脱水第3章掻痒を精読する。 【担当】原田
3	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 活動・運動/睡眠・休息パターン（転倒・廃用症候群・睡眠障害） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第4章3睡眠障害、第5章1歩行・移動、4廃用症候群を事前に読む。 【復習】60分：高齢者の転倒・廃用症候群・睡眠障害の看護について復習する。 【担当】梶原
4	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン①（抑うつ・せん妄） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第2章2うつ病、3せん妄を事前に読む。 【復習】60分：高齢者のうつ病、せん妄の看護について復習する。 【担当】梶原
5	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン②（認知障害）認知症サポーター養成講座 【授業方法】講義 演習（AL） 【復習】120分：認知症の病態及び症状に対する看護について復習する。 【担当】原田 キャラバンメイト：藤田、濱崎他
6	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン③（コミュニケーション障害） 【授業方法】講義 【復習】120分：コミュニケーション障害の原因と種類を理解し、各々の看護について復習する。 【担当】山内
7	高齢者のEnd-of-Lifeケア 【授業方法】講義 【復習】120分：終末期の看護を理解し、講義内容を踏まえてそれぞれの死生観を考察する。 【担当】梶原
8	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン③（摂食・嚥下障害） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章1摂食嚥下障害を精読する。 【復習】60分：摂食・嚥下のメカニズム及び看護について復習する。 【担当】山内
9	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法1 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。 【担当】山内

10	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法2 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。 【復習】 60分：摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法について復習する 【担当】 山内
11	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 排泄パターン（排尿障害・排便障害） 【授業方法】 講義 【予習】 30分：排泄のメカニズムについて人体の構造と機能で学んだ内容を復習しておく。 【復習】 60分：排泄障害およびその看護について復習をする。 【担当】 千原
12	高齢者への排泄の援助 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：11回目の授業内容の復習を行い、排泄援助の具体的な看護技術について考える。 【復習】 60分：実施した技術の振り返りを行う。 【担当】 千原
13	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 1 【授業方法】 演習（AL） 【予習】 60分：事前に配布された課題に取り組みGWに備える。今までの看護過程を復習する。 【復習】 60分：GWでの意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 梶原 原田 千原 山内
14	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 2 【授業方法】 演習（発表）・グループワーク 【予習】 60分：事前に配布された課題に取り組み発表に備える。 【復習】 60分：発表での意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 梶原 原田 千原 山内
15	老年看護Ⅱの総括およびフィードバック/事例の看護過程展開の解説 【授業方法】 講義 【復習】 60分：老年看護Ⅱにおける学習内容で理解が不十分であった箇所の知識の整理を行う。 【担当】 梶原 千原

先行履修科目

2年後期までに履修すべきすべての科目

テキスト

堀内ふき他：ナースンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践．メディカ出版，2021．

参考文献

山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2012．
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画.メディカルビュー社，2008．
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程.医歯薬出版株式会社，2015．
大塚真理子:カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2014．

評価方法

定期試験80％ 課題 20％

教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、看護過程や高齢者の看護援助技術についての講義や実技指導を行います。

メッセージ

本科目は、3年後期に控える老年看護実習につなげる位置づけです。老年看護実習で活用できるように知識・技術を身につけてください。

クリティカルケア I

更新日：2021/09/21 13:30:00

開講年度	2021	学期	後期	シバースト	NAP206		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	621000
担当教員	苑田 裕樹, 福島 綾子, 衛藤 泰秀, 鴨川 めぐみ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

救急看護やクリティカルケアを受ける患者およびその家族を理解するための理論や概念の学習を通して、危機的状況にある患者やその家族への看護について学習する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	クリティカルな状況下にある患者の身体的側面および心理的側面の特徴を述べることができる。
2	クリティカルな状況下にある患者の家族の機能と対処能力について述べるができる。
3	クリティカルな状況下にある患者への看護専門職としての援助役割について考えることができる。

授業計画

1	【救急看護・クリティカルケア概論と看護の特徴】 【授業方法】講義、アクティブ・ブック・ダイアログ®形式での相互学習（グループワークとディスカッション、プレゼンテーション） 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第1章 救急医療の現状 第2章 集中治療の現状 第3章 救急医療・集中治療における看護 3.救急医療・集中治療下の看護とは 【復習】30分：授業内容、Teamsを活用した学生間での相互コメントと課題提出、小テスト 【担当】苑田、福島
2	【救急看護・クリティカルケア概論と看護の特徴】 侵襲と生体反応 【授業方法】講義、前回授業・課題・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第3章 救急医療・集中治療における看護 1.救急医療・集中治療下の患者の特徴 【復習】30分：授業内容、小テスト 【担当】衛藤
3	【集中治療下での看護の実践】循環障害、循環器系のアセスメントと看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 治療選択（代理意思決定支援）における看護の役割と専門性 第6章 集中治療下での看護の実践 B.循環機能の維持 第8章 事例で考える救急看護・ICU看護 7.ショック 既習科目の復習：血圧のメカニズム、ショックの分類を整理 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト作成と相互解答・相互解説（掲示板機能によるディスカッション） 【担当】苑田
4	【集中治療下での看護の実践】循環障害、循環器系のアセスメントと看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第8章 事例で考える救急看護・ICU看護 1.激しい胸痛、4.急性腹症 既習科目の復習：刺激伝導系、正常心電図、心不全 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト作成と相互解答・相互解説（掲示板機能によるディスカッション） 【担当】苑田
5	【集中治療下での看護の実践】呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第6章 集中治療下での看護の実践 A.呼吸機能の維持 既習科目の復習：呼吸のメカニズム、化学受容体、呼吸不全 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト作成と相互解答・相互解説（掲示板機能によるディスカッション） 【担当】苑田
6	【集中治療下での看護の実践】呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第8章 事例で考える救急看護・ICU看護 3.呼吸困難 既習科目の復習：肺炎、無気肺、COPD、気胸、肺塞栓症、呼吸音 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト作成と相互解答・相互解説（掲示板機能によるディスカッション） 【担当】苑田

7	【集中治療下での看護の実際】脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第8章 事例で考える救急看護・ICU看護 4.くも膜下出血 既習科目の復習：意識障害、脳卒中 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト 【担当】衛藤
8	【集中治療下での看護の実際】脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護 【授業方法】講義、GW（ディスカッション）、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第4章 救急看護の実際 b.脳神経系のアセスメント 既習科目の復習：意識障害の評価（JCS、GCS） 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト 【担当】衛藤
9	【集中治療下での看護の実際】事例：呼吸・循環・意識障害のアセスメント（統合） 【授業方法】講義、GW（ディスカッション）、前回授業・小テストのフィードバック、これまでに学習した知識の応用・事例へのアセスメント 【予習】60分：既習の呼吸器系、循環器系、脳神経系内容 【復習】60分：授業内容、課題提出（アセスメント） 【担当】苑田
10	【集中治療下での看護の実際】栄養障害と栄養管理・看護 【授業方法】講義、前回授業・課題へのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第6章 集中治療下での看護の実際 E.栄養管理 既習科目の復習：第2回授業内容 文献検索（WEB可）キーワード：クリティカルケアにおける栄養管理 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト 【担当】鴨川
11	【集中治療下での看護の実際】凝固・線溶系障害、重症感染症と看護 【授業方法】講義、GW（ディスカッション）、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第3章 救急医療・集中治療における看護 1.救急医療・集中治療下の患者の特徴 B.身体的特徴 既習科目の復習：血液の凝固と線溶、DIC 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト 【担当】福島
12	【集中治療下での看護の実際】患者の精神障害、苦痛と看護 【授業方法】講義、GW（ディスカッション）、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第6章 集中治療下での看護の実際 C苦痛の緩和 D.合併症予防 既習科目の復習：せん妄 【復習】30分：授業内容、Moodleでの小テスト 【担当】福島
13	【救急看護・集中治療下での看護の実際】危機理論/家族看護、終末期看護 【授業方法】講義、前回授業・小テストのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第4章 救急患者の家族に対する看護 文献検索（WEB可）キーワード：クリティカルケアにおける家族看護 【復習】60分：授業内容、課題提出（家族看護・せん妄・終末期看護のアセスメント）：Teamsでの相互コメント（掲示板機能によるディスカッション） 【担当】福島
14	【救急看護の実際】日本の救急医療、救急患者に対するアセスメントと看護（患者急変対応） 【授業方法】講義、GW（ディスカッション）、前回授業・課題へのフィードバック 【予習】30分：テキスト「救急看護・クリティカルケア」 第1回の授業の復習（救急医療の現状） 第4章 救急看護の実際 既習科目の復習：一次救命処置 ICU看護と救急看護の特殊性と求められる能力 【復習】30分：授業内容、Moodelでの小テスト 【担当】鴨川
15	【救急看護・集中治療下での看護の実際】全体のまとめ・フィードバック/クリティカルケアIIへの導入 【授業方法】前回授業・小テストのフィードバック、全体のまとめ、フィードバック 【予習】60分：到達目標を踏まえ、講義全体のポイントを整理する 【復習】60分：全体のまとめ 【担当】苑田、福島、衛藤、鴨川

先行履修科目

なし

テキスト

1) 佐藤まゆみ, 林直子：成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア（改訂第3版）. 南江堂, 2019.

参考文献

- 1) 道又元裕他著：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2016.
 - 2) 山勢博彰，山勢善江他著：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2016.
- その他：適宜提示する。

評価方法

講義ごとに実施する小テストと課題の成果：50%、総合テスト：50%、で評価する。

教員等の実務経験

救急救命センターやICU、CCUなどの専門分野で臨床経験のある教員が、その経験を活かして、クリティカルケア領域の看護について講義・演習を行います。

メッセージ

ICUやCCUなどで行われている看護は、特殊な技術を用いているように捉えられていることが多いのですが、実際には看護の基礎を理解した実践が求められている領域だと思っています。病態が複雑であったり、重症で高度な治療が必要だったりするかもしれませんが、対象となる患者は其中で生活している人です。ここで学習した知識や観察の技術、日常生活援助の技術のすべてを駆使し、患者に合わせた工夫をし、小さな反応を見逃さずにケアを行っていく必要があります。まずはしっかりと知識を習得し、クリティカルケアⅡ、クリティカルケア実習につなげていってほしいと願っています。また、講義科目ですが、InputとOutputをバランスよく配置した授業設計としています。習得した知識を長期記憶にとどめ、さらに習得した知識をどのように活用するのかというところまでを目指して学習していきます。そのため復習としてMoodleでの小テストを活用し、掲示板機能でのグループワークやディスカッションの時間を準備しています。

クリティカルケアII

更新日：2021/09/21 13:53:06

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP305		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621100
担当教員	福島 綾子, 苑田 裕樹, 衛藤 泰秀, 鴨川 めぐみ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

救急およびクリティカルな状況下にある患者への看護を展開するための方法を習得する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	予測的視点を用いて患者の観察項目を見出すことができる。
2	クリティカルな状況にある患者の状態を観察できる。
3	得た情報をアセスメントし、患者の看護問題を抽出することができる。
4	看護問題に対して具体的・個別的看護計画を根拠に基づいて立案することができる。
5	チームで協力しながら、主体的に課題に取り組むことができる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】 クリティカルケアIIの全体像の説明、事前・事後課題、演習の進め方 【クリティカルケアに必要な看護技術】 急変時の看護、救急処置を必要とする患者への看護 【授業方法】 講義、演習（G.W.） 【予習】 90分： 1）クリティカルケアⅠ資料の確認 2）事前テストへの取り組み：100点になった時点で履修可能とする 【復習】 90分： 事例患者の看護過程の展開（病態の整理、行われている検査、治療内容の学習、アセスメント） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
2	【クリティカルケアに必要な看護技術】 急変時の看護、救急処置を必要とする患者への看護 【授業方法】 演習（G.W.） 【予習】 30分： 1）クリティカルケアⅠ「救急看護の実際」の単元の復習 2）指定されたHPより新型コロナウイルス、緊急性の高い13の症状を調べる 【復習】 30分： 授業内容に関する小テスト 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
3	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 モニタリング、人工呼吸器の見方、意識レベルの判断、鎮痛鎮静管理 【授業方法】 オンデマンド授業 【予習】 30分： 事例患者の病態についてまとめ、観察項目を抽出する 【復習】 60分： 事例患者のモニタリングの内容、人工呼吸器管理の状況、意識レベルを判断する方法、鎮痛鎮静管理方法を整理する 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
4	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 以下の項目から2つ以上選択して受講する：水分出納の計算、口腔ケア、家族看護、せん妄ケア、ドレーン／カテーテル類の管理、早期リハビリテーション、創傷管理、血液検査データの評価、PICS 【授業方法】 オンデマンド授業 【予習】 60分： クリティカルケアⅠおよびこれまで学習した資料の見直し 【復習】 90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションできるようまとめる（オフィスアワーを活用する） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
5	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認 【復習】 90分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川

6	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認 【復習】 90分： 1) 事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2) 実際に観察するための練習 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
7	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 90分： 1) フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2) 第3回で視聴した講義内容が実践できるようにポイントを確認しておく 【復習】 90分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習（オフィスアワーを活用する） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
8	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 90分： 1) フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2) 第3回で視聴した講義内容が実践できるようにポイントを確認しておく 【復習】 90分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習（オフィスアワーを活用する） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
9	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（実践） 【授業方法】 演習（シミュレーション） 【予習】 90分： 1) 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習（オフィスアワーを活用する） 2) 情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】 90分 得られた情報をもとに、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う（Teamsを使つてのディスカッション） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
10	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（実践） 【授業方法】 演習（シミュレーション） 【予習】 90分： 1) 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習（オフィスアワーを活用する） 2) 情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】 90分 得られた情報をもとに、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う（Teamsを使つてのディスカッション） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
11	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 発表会の準備 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 90分： 1) 観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2) 事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす（Teamsを使つてのディスカッション） 【復習】 90分： 発表会の準備としてチームでポスターを完成させる 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
12	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 発表会の準備 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 90分： 1) 観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2) 事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす（Teamsを使つてのディスカッション） 【復習】 90分： 発表会の準備としてチームでポスターを完成させる 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
13	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会 【授業方法】 演習（プレゼンテーション） 【予習】 90分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など（Teamsを使つてのディスカッション） 【復習】 90分： 1) 発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2) 最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
14	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会 【授業方法】 演習（プレゼンテーション） 【予習】 90分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など（Teamsを使つてのディスカッション） 【復習】 90分： 1) 発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2) 最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川

15	【まとめ】 定期テストを終えてのフィードバック、看護過程の展開についてのフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 60分： クリティカルケアⅡにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認（第3回～5回で視聴したオンデマンド講義の再確認など） 【復習】 90分： 学習内容の復習（専門性強化演習Ⅰにて小テストを実施） 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

佐藤まゆみ，林直子：成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア（改訂第3版）．南江堂，2019．

参考文献

道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2016．
 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2016．
 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用．日本看護協会出版会，2007．
 その他、適宜提示する

評価方法

定期試験40％、最終発表会とその取り組み20％、演習態度20％（ピア評価含む）、事前・事後課題20％

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、クリティカルケア領域の看護について講義・演習を行います。

メッセージ

ICUやCCU、救命救急センターなどで行われている看護は、特殊な技術や能力が求められているように捉えられていることが多いです。受け持つ患者の病態が複雑だったり、重症で高度な治療が必要だったりしますが、実際には看護の基本を理解した実践が求められる領域だと思っています。

対象となる患者は、突然、特殊な環境に身を置かれ、そのような環境で生活をしなければならなくなった人です。これまで学習した知識や観察の技術、日常生活援助の技術をすべて駆使し、患者に合わせた工夫をし、小さな変化を見逃さずにその人の生活を支えていくことが求められます。難しいこともあると思いますが、命を救い、生を支える看護を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。一人の力だけでなく、チームとして、そして私たちと一緒に学んでいきましょう。

在宅看護Ⅰ

更新日：2021/09/30 16:34:13

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NAP207		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	621200
担当教員	西村 和美, 小野 ミツ, 西尾 美登里						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅で提供する看護に必要な知識、方法を学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念について説明できる。
2	在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる。
3	在宅看護の展開に必要な法・制度について説明できる。
4	在宅療養者とその家族の暮らしを支える保健・医療・福祉の社会資源の特徴と地域包括ケアシステムについて説明できる。
5	対象別に在宅療養者とその家族に対する看護援助を考察することができる。

授業計画

1	在宅看護の概念（１）地域療養を支える在宅看護の役割・機能 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①在宅看護の概念 p12-31を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅看護の役割と機能について理解を深める。 【担当】西村
2	在宅看護の概念（２）在宅看護の基盤となる基本理念、在宅看護における倫理 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①在宅看護の概念 p32-39を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅看護の基盤となる基本理念と在宅看護における倫理について理解を深める。 【担当】小野
3	在宅療養者と家族の支援（１）在宅看護の対象と活動の場、在宅療養の成立要件 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①在宅療養者と家族の支援 p42-51を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅看護の対象と活動の場の特性、在宅療養の成立要件について理解を深める。 【担当】西村
4	在宅療養を支える訪問看護 【授業方法】講義、小テスト 【予習】３０分：在宅看護論①在宅療養を支える訪問看護 p164-191を熟読する。 【復習】３０分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、訪問看護における看護活動の特徴について理解を深める。 【担当】西村
5	在宅療養者と家族の支援（２）在宅療養者の家族への看護 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①在宅療養者と家族の支援 p52-66を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅療養者の家族への看護について理解を深める。 【担当】西尾
6	地域療養を支える制度 【授業方法】講義、小テスト 【予習】３０分：在宅看護論①地域療養を支える制度 p112-153を熟読する。 【復習】３０分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、地域療養を支える法・制度と社会資源について理解を深める。 【担当】西村
7	地域包括ケアシステムにおける在宅看護（１）地域包括ケアシステムと多職種・多機関連携 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①地域包括ケアシステムにおける在宅看護 p70-77、p88-94を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、地域包括ケアシステムについて理解を深める。 【担当】小野
8	地域包括ケアシステムにおける在宅看護（２）ケアマネジメントと権利擁護 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①地域包括ケアシステムにおける在宅看護 p95-109、地域療養を支える制度 p153-162を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、ケアマネジメントと権利擁護について理解を深める。 【担当】小野

9	地域包括ケアシステムにおける在宅看護（３）療養の場の移行に伴う看護 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①地域包括ケアシステムにおける在宅看護 p 77-87を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、退院支援・退院調整について理解を深める。 【担当】西村
10	在宅看護における安全と健康危機管理（１）在宅看護における危機管理 【授業方法】講義、小テスト 【予習】３０分：在宅看護論①在宅看護における安全と健康危機管理 p 194-204を熟読する。 【復習】３０分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、在宅看護における危機管理について理解を深める。 【担当】西村
11	在宅看護における安全と健康危機管理（２）在宅療養を支える災害対策 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論②在宅療養を支える災害対策 p 164-171を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直しを行い、在宅療養を支える災害対策について理解を深める。 【担当】西村
12	対象に応じた在宅看護（１）移行期：在宅での医療機器管理の支援 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論①在宅における援助技術 p 208-209、p 219-233を熟読する。教科書② p 191-194の事例を読み、事例に対する課題を考える。 【復習】３０分：教科書と配布資料を読み直しを行い、ALS療養者への在宅看護について理解を深める。 【担当】西村
13	対象に応じた在宅看護（２）安定期：日常生活アセスメント 【授業方法】講義、小テスト 【予習】３０分：在宅看護論①在宅における援助技術 p 208-219を熟読する。教科書② p 184-186の事例を読み、事例に対する課題を考える。 【復習】３０分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、脳梗塞後遺症のある高齢者への在宅看護について理解を深める。 【担当】西村
14	対象に応じた在宅看護（３）終末期：自宅で看取るための支援 【授業方法】講義 【予習】３０分：在宅看護論②ターミナルケア p 48-52、疼痛管理 p 153-157を熟読する。在宅看護論② p 187-190の事例を読み、事例に対する課題を考える。 【復習】３０分：教科書と配布資料を読み直しを行い、終末期のがん療養者への在宅看護について理解を深める。 【担当】西村
15	在宅看護Ⅰのまとめー課題・小テスト等に関するフィードバックー 【授業方法】講義 【復習】３０分：教科書を読み直しを行い、在宅看護の対象や活動の場の特性、関連する法・制度、看護活動の特徴について理解を深める。 【担当】西村

先行履修科目

なし

テキスト

臺有桂 他 編：ナースিং・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2020.

臺有桂 他 編：ナースিং・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，2020.

参考文献

厚生労働統計協会 編：厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向 2020/2021．厚生労働統計協会，2020.

厚生労働統計協会 編：厚生 の指標 増刊 国民の福祉と介護の動向 2020/2021．厚生労働統計協会，2020.

河野あゆみ 編：新体系看護学全書 在宅看護論．メヂカルフレンド社，2019．

評価方法

課題（小テストを含む）（30％）、定期試験（70％）

教員等の実務経験

看護師・保健師として臨床経験のある教員が、地域で生活する療養者やその家族に対しての看護活動の経験を活かして在宅看護について講義を行います。

メッセージ

在宅看護Ⅰでは『在宅看護提供のしくみ』をよく理解することが重要です。特に、訪問看護制度や介護保険制度、在宅療養者に必要な法・制度と社会資源については「わかりやすいノート」の作成」がその後の在宅看護実習や国家試験対策にも効果的です。

在宅看護Ⅱ

更新日：2021/09/24 12:11:10

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP306		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621300
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美, 西尾 美登里, 上野 満里						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養者の演習事例について看護過程の展開を実施できる。
2	看護過程の展開をととして、在宅療養者の暮らしを重視した看護の必要性について説明できる。
3	在宅療養者に提供されるケアマネジメントの実際を検討し、介護サービス・福祉用具等の活用について説明することができる。
4	在宅療養者の健康と暮らしを支援する多職種連携と協働について説明することができる。
5	訪問看護におけるマナーと面接技術を習得し、在宅療養者・家族との信頼関係形成の重要性を考えることができる。

授業計画

1	在宅療養における看護過程の特徴 【授業方法】講義、小テスト 【予習】30分：在宅看護Ⅰの復習；在宅看護論① p24-38 在宅看護の基盤、p42-51 在宅看護の対象者・在宅療養の成立要件、p164-176 訪問看護の特徴を熟読する（小テストの試験範囲とする）。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し、在宅療養における看護過程の特徴について理解を深める。 【担当】鎌田
2	看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（1） 【授業方法】講義、AL（ICFによる視点からアセスメント） 【予習】30分：在宅看護論② p17-23 在宅療養における看護過程を熟読する。パーキンソン病の病態・症状・治療・看護を復習する。 【復習】30分：ワークシート様式2－1 基礎情報、様式2－3 アセスメントを追加・修正する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
3	看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（2） 【授業方法】講義、AL（生活機能の全体をとらえた健康課題の抽出）；エ（グループワーク・プレゼンテーション） 【予習】30分：ワークシート様式2－3 アセスメントを追加・修正する。 【復習】30分：ワークシート様式2－3 健康課題を追加・修正する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
4	在宅看護におけるコミュニケーション 【授業方法】演習、AL（実習室使用した家庭訪問の技術の演習）；エ（グループワーク・プレゼンテーション） 【予習】30分：在宅看護論② p14-17 家庭訪問・訪問の手順と心構え、p26-29 コミュニケーションを熟読し、家庭訪問計画を作成する。 【復習】30分：演習の学びをワークシートに記載する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
5	在宅療養を支える社会資源 【授業方法】講義、AL（在宅療養者が利用する介護サービス・福祉用具） 【予習】30分：在宅看護論① p119-127 介護保険制度・サービスの種類と内容、在宅看護論② p38-44 環境整備・生活リハビリテーションを熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。社会資源に関する情報やアセスメントを様式2-1、2-3に追加・修正する。 【担当】鎌田
6	看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（3） 【授業方法】講義、AL（健康課題の解決とQOL維持向上に向けた看護計画立案） 【予習】30分：看護目標と看護計画と評価指標を検討する。 【復習】30分：ワークシート様式2－4 看護目標と看護計画と評価指標を追加・修正する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
7	在宅療養初期における重症心身障害児の看護 【授業方法】講義、AL（医療的ケアを必要とする児の看護、家族支援のアセスメント・看護計画） 【予習】30分：在宅看護論① p137-143 障害児・障害者総合支援法、p151-153 子どもの自宅療養を支える制度、p249-250 事例、在宅看護論② p102-105在宅経管栄養法、p125-127 在宅人工呼吸療法を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し、在宅療養における重症心身障害児の看護について理解を深める。 【担当】鎌田

8	在宅療養継続における精神障がい者の看護 【授業方法】講義、AL（事例についての自助・互助を支援するためのアセスメント・看護計画） 【予習】30分：在宅看護論① p124 精神科訪問看護、p137-143 精神障害者・障害者総合支援法、p253-254 事例を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し、在宅療養における精神障がい者の看護について理解を深める。 【担当】鎌田
9	在宅療養における緩和ケア 【授業方法】講義、AL（事例について全人的苦痛を軽減するためのアセスメント・看護計画） 【予習】30分：在宅看護論① p44 全人的ケア、在宅看護論② p153-157 疼痛管理、p106-109 在宅中心静脈栄養法を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し、在宅療養における緩和ケアについて理解を深める。 【担当】鎌田
10	在宅療養を支える看護技術（１）：演習オリエンテーション 【授業方法】演習（看護計画に基づき訪問看護を実践するための行動計画・シナリオ作成） 【予習】30分：演習要項を熟読し必要な復習をする。 【復習】30分：ワークシート様式2-2 訪問記録を追加・修正する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
11	在宅療養を支える看護技術（２）：訪問看護の実践 【授業方法】演習、AL（看護計画に基づき、訪問看護の実際をロールプレイで実施）：エ（グループワーク・プレゼンテーション） 【予習】30分：訪問計画（シナリオ）を見直し模擬練習する。 【復習】30分：訪問計画の実施をふり返り、ワークシート様式2-2訪問目的・計画等を記入する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
12	看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（４）：演習のふり振り返り・実施評価 【授業方法】演習、AL（他グループ・教員からのフィードバック、グループで意見交換）：エ（グループワーク・プレゼンテーション） 【予習】30分：他グループへのフィードバックの意見をまとめる。 【復習】30分：演習の学びをワークシート様式3に記入する。様式2-4看護計画を追加・修正する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
13	在宅療養におけるケアマネジメントの実際 【授業方法】講義、AL（演習事例について介護保険における居宅介護支援〔ケアプラン〕を検討） 【予習】30分：在宅看護論① p95-109 ケアマネジメントを熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し、在宅療養におけるケアマネジメントについて理解を深める。 【担当】鎌田
14	在宅療養における多職種連携・協働 【授業方法】講義、AL（演習事例について訪問看護と多職種連携・協働の実際を検討、討議） 【予習】30分：在宅看護論① p88-93 在宅ケアで連携する関連事業所・職種、p125-129 介護保険サービスを熟読する。 【復習】30分：他者からの意見をもとに追加・修正し、看護計画にも追加する。 【担当】鎌田、西村、西尾、上野
15	在宅看護Ⅱのまとめ/演習課題・定期試験に関するフィードバック 【授業方法】講義 【復習】30分：フィードバックをふまえて演習課題について更に調べる。 【担当】鎌田

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

在宅看護Ⅰで使用したテキスト（下記の2冊）を使用する。

臺有佳他編：ナースンググラフィカ在宅看護論①地域療養を支えるケア。第6版，メディカ出版，2019。

臺有佳他編：ナースンググラフィカ在宅看護論②在宅療養を支える技術。第1版，メディカ出版，2019。

参考文献

押川真喜子監修：新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス。インターメディカ，2020。

河原加代子他：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論。第5版，医学書院，2019。

河野あゆみ編集：強みと弱みからみた在宅看護過程＋総合的機能関連図。医学書院，2018。

評価方法

定期試験（55％）、課題の提出状況と内容（20％）、演習の到達度：態度も含む（20％）、小テスト（5％）

教員等の実務経験

訪問看護ステーションや外来などで看護師として臨床経験のある教員が、経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

在宅での看護は、対象者の個性性に応じると同時に、医療の提供方法に独創性を必要とする応用的な分野です。在宅看護Ⅰの学修内容を活かして、積極的に取り組みましょう。

精神保健看護Ⅰ

更新日：2021/09/21 12:18:37

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP208		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	621400
担当教員	高橋 清美, 石飛 マリコ, 高瀬 理恵子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

生涯にわたるパーソナリティーの発達と各ライフステージにおける精神的危機に対する保健看護の役割を学ぶとともに、メンタルアセスメントの枠組みとなる理論と技法について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	精神保健看護の意義、役割と機能が説明できる。
2	精神保健看護学の対象であるこころの健康、こころの発達が説明できる。
3	精神の健康に影響する因子を理解し、精神の健康保持・増進への援助について述べる事が出来る。
4	精神の健康保持増進のための看護援助方法を説明できる。

授業計画

1	精神の健康、こころの発達 【授業内容】精神の健康、こころの発達について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容のノートをまとめる 【担当】高橋
2	精神看護の考え方 【授業内容】精神看護の考え方について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
3	精神保健医療の歴史① 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
4	精神保健医療の歴史② 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
5	精神保健福祉と法制度 【授業内容】精神保健福祉と法制度について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
6	障害者と権利擁護 【授業内容】障害者と権利擁護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第3章（社会復帰・社会参加の項）、第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛

7	教育の場におけるこころの健康 【授業内容】教育の場におけるこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】60分 文部科学省HPで児童・生徒・学生の心の健康に関し、自己の関心テーマを検索し学習をしておくこと。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛
8	職場における精神保健 【授業内容】職場における精神保健について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】60分 厚生労働省HPで職場における心の健康問題に関し、自己の関心テーマを検索し、学習をすること。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛
9	地域社会とこころの健康 【授業内容】地域社会とこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第6章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛
10	精神保健医療に関する社会資源 【授業内容】精神保健医療に関する社会資源について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第3章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬
11	リエゾン精神看護 【授業内容】リエゾン精神看護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第2章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛
12	精神看護援助の基本：生きる力と強さへの支援 【授業内容】精神看護援助の基本である生きる力と強さへの支援について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。第13回プロセスレコードの学習に関して患者－看護師関係での気がかりな場面の取り上げ方について説明する。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
13	精神看護援助の基本：患者－看護師関係 【授業内容】精神看護援助の基本である患者－看護師関係について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】演習 プロセスレコードを記載してみる。 【予習1】30分 教科書Ⅱの第1章を通読すること 【予習2】15分 はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション, p70-71を通読すること 【復習】120分 プロセスレコードを作成する 【担当】高橋
14	精神看護援助の基本：セルフケア理論による看護援助 【授業内容】精神看護援助の基本であるセルフケア理論による看護援助について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬
15	精神保健看護Ⅰ全15コマで実施した小テストの実施と主要内容に対する解説 【授業内容】15コマで学んだ内容について振り返りを行う 【授業方法】講義 フィードバック PBL 【予習】60分 第14回までの復習、全小テスト見直し 【復習】60分 全ての学習内容の知識の整理、まとめシートにて課題解決型学習を行う 本講義のフィードバックに関しては、特に押さえてほしい内容を「まとめシート」に記載しています。まとめシートの内容に沿って自己学習を進めてください。 【担当】高橋

先行履修科目

なし

テキスト

吉松和哉 他 著：第6版 精神看護学Ⅰ 精神保健学。ヌーヴェルヒロカワ、2015。
 川野雅資 他 著：第6版 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学。ヌーヴェルヒロカワ、2015。

高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション．へるす出版，2014．
野村総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版．医学書院，2018．

参考文献

Erikson, E.H. : The Life Cycle Completed . 1982, 村瀬孝雄・近藤邦夫訳：ライフサイクル、その完結．みすず書房，1989．
野中猛 監修：看護に必要な精神保健制度ガイド．中山書店，2008．
野末聖香 編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために．医歯薬出版，2004．

評価方法

参加度15%、定期試験85%

教員等の実務経験

精神科看護師、病院心理士、スクールカウンセラーの経験がある教員が、その経験を活かして、精神保健看護実践について講義します。

メッセージ

講義終了後は、必ず復習を行い、学習ノートに学びをまとめてください。
各授業での知識の定着を確認することを目的に「小テスト」を実施します。小テスト内容を重点的に復習を行って下さい。
第13講のときのみ、「高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション，へるす出版，2014．」を持参してください。
疾病と治療Ⅳの内容を踏まえながら予習して授業に臨んでください。

精神保健看護Ⅱ

更新日：2021/02/05 14:49:58

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NAP307		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621500
担当教員	石飛 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	主な精神症状と生活障害について説明できる。
2	精神科医療で提供される医療・保健・福祉の概要が説明できる。
3	精神疾患をもつ人のセルフケアの観察とアセスメントの視点を説明できる。
4	精神疾患をもつ人に対する看護の役割について倫理観、人権の視点を含めて述べることができる。
5	地域における精神保健福祉のサポートシステムについて説明できる。

授業計画

1	精神看護に必要な理論と看護過程 【授業内容】オリエンテーションおよび精神看護に必要な理論と看護過程について学修します 自己目標シートの作成 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 教科書Ⅱ 第1章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高橋
2	精神科アセスメント（精神症状・状態像・セルフケアの把握） 【授業内容】精神看護における看護過程の思考のプロセスを説明します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 教科書Ⅱ 第1章 3) 標準精神医学 第3章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高橋
3	統合失調症をもつ人とその家族への看護①（急性期看護） 【授業内容】統合失調症をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、隔離室の看護、精神療法、薬物療法について学修します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章、第4章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高瀬
4	統合失調症をもつ人とその家族への看護②（回復期・慢性期看護） 【授業内容】統合失調症をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、SST、心理教育について学修します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章、第4章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高瀬

5	気分・感情障害をもつ人とその家族への看護①・電気けいれん療法 【授業内容】 気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、電気けいれん療法時の看護について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第13章、第6章p.144-146 3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
6	気分・感情障害をもつ人とその家族への看護② 【授業内容】 気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、家族看護について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第13章 3) 教科書Ⅱ 第3章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
7	発達障害のある人とその家族への看護 【授業内容】 発達障害のある人の併存症状(精神状態)とセルフケアのアセスメント、看護について学修します 自己目標シートの中間評価 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第14章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 高橋
8	摂食障害のある人とその家族への看護 【授業内容】 摂食障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第15章 3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
9	物質関連障害を持つ人とその家族への看護 【授業内容】 アルコール依存症を持つ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第20章 3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 高瀬
10	パーソナリティ障害を持つ人とその家族への看護 【授業内容】 パーソナリティ障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第10章 3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
11	精神看護における安全管理 【授業内容】 精神科で起こりやすい副作用や合併症（誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群）と看護のポイントを学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 教科書Ⅱ 第1章、第2章、第4章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 高瀬
12	アウトリーチ型精神医療と看護について 【授業内容】 ACTの実際について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読し、関連文献を収集する。 1) 地域移行、退院支援に関する文献を収集し目を通す 2) 教科書Ⅰ 第3章 3) 教科書Ⅱ 第4章 【復習】 30分：授業資料の見直し 【担当】 渡邊（ちはやACTクリニック院長）

13	精神障がい者とその家族の地域生活支援（精神科訪問看護、デイケアでの看護、生きる力と強さ） 【授業内容】 地域で生活する精神障がい者とその家族の支援について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 教科書Ⅰ 第3章 2) 教科書Ⅱ 第1章、第4章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
14	精神疾患を持つ人とその家族の看護の実際 【授業内容】 事例を用いて看護過程を学修します 【授業方法】 講義、自分で展開した看護過程(関連図と看護計画)に関して、グループワークでディスカッションし、追加修正する。（授業後に関連図と看護計画を提出。15回で返却、フィードバックを行います。） 【予習】 60分：以下を精読 1) 事例を熟読 2) これまでの授業の振り返り 【復習】 30分：これまでの授業の振り返り 【担当】 石飛
15	精神保健看護Ⅱの総括/定期試験へのフィードバック 【授業内容】 定期試験の解説とまとめ 自己目標シートの最終評価 【授業方法】 講義、演習 【予習】 60分：試験終了後の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】 60分：すべての学習内容、小テストの振り返り 【担当】 石飛

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

吉松和哉 他 著：精神看護学Ⅰ 精神保健学．第6版．ヌーヴェルヒロカワ，2016．
 川野雅資 他 著：精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学．第6版．ヌーヴェルヒロカワ，2016．
 野村総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版．医学書院，2018．

参考文献

井上令一：カプラン臨床精神医学テキスト DSM-5診断基準の臨床への展開 第3版．メディカル・サイエンス・インターナショナル，2016．
 中井久夫・山口直彦：第2版 看護のための精神医学．医学書院，2004．
 長嶺敬彦：抗精神病薬の「身体副作用」がわかる．医学書院，2006．
 宇佐美しおり 他：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版．ヌーヴェルヒロカワ，2015．

評価方法

参加度15%、個人ワーク(看護過程の関連図・看護計画)10%、定期試験75%にて評価する。

教員等の実務経験

精神科看護師の臨床経験がある教員が、その経験を活かして精神保健看護実践について講義します。

メッセージ

授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を30分程度行ってください。精神疾患をもつひとの生活や生きづらさに関する動画配信を行います。

第3回講義で看護過程様式を配布します。第14回講義で、個人で看護過程展開した看護過程様式を持参してください。

本科目は、自己教育力を養う科目となっています。精神保健看護を学び、どのようなことを身につけたいか、第1講義目に自己の目標を設定し、その後、中間・最終評価をします。

疾患とその看護に関して、講義時間内に看護過程を演習し繰り返し学習します。

がん看護

更新日：2021/09/21 17:49:08

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP209		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621600
担当教員	西山 陽子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

さまざまな健康段階にあるがん患者の身体機能、心理・社会的機能の特徴と健康問題について理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	臨床経過を踏まえ、症状や治療に伴う身体的、心理・社会的影響と健康問題について説明できる。
2	がんサバイバーが、治療の効果を促進し、有害事象への対策を効果的に実施するための療養支援について説明できる。
3	がん医療の変化と課題について説明できる。

授業計画

1	1.オリエンテーション/2.がんの背景・臨床経過・がん患者の全人的苦痛 【授業方法】講義 ＊講義内容から小テストを行う。 【予習】60分：テキストP44～81についてまとめる。 【復習】40分：講義内容をまとめる。
2	がん手術療法を受ける人への看護 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP215～231、P136～152についてまとめる。 【復習】40分：講義内容で学んだことを予習へ加筆する。
3	がんと共に生きる人への看護：胃がんと共に生きる人への看護 【授業方法】講義 ＊2回、3回のまとめとして小テストを行う。 【予習】60分：第2回の講義と連動しています。前回の講義を見直し、胃がんの病態と治療、看護について調べる。 【復習】60分：がん手術療法を受ける方への看護をまとめる。
4	がん薬物療法を受ける人への看護 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP153～180、P232～250を読む。 【復習】60分：がん薬物療法の有害事象とその看護について学んだことをまとめる。
5	がんと共に生きる人への看護：肺がんと共に生きる人への看護 【授業方法】講義 ＊4回、5回のまとめとして小テストを行う。 【予習】60分：第4回の講義と連動しています。前回の講義内容を復習し、肺がんの病態、治療、看護について調べる。 【復習】60分：肺がんの薬物療法を受ける人への看護をまとめる。
6	がん放射線療法を受ける人への看護 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP180～200、P248～261を読む。 【復習】40分：がん放射線療法の代表的な有害事象に関する看護についてまとめる。
7	がんと共に生きる人への看護：乳がんと共に生きる人への看護 【授業方法】講義 ＊6回、7回のまとめとして小テストを行う。 講義内でグループワークを行う。 【予習】60分：第6回の講義と連動しています。前回の講義を復習し、乳がんの病態、治療、看護について調べる。 【復習】40分：乳がんの放射線療法を受ける人への看護をまとめる。
8	まとめ：治療を受けるサバイバーへの支援のポイントを振り返る。 【授業方法】講義 講義のポイントを振り返り、小テストの結果を中心にフィードバックを行う。 講義内でグループワークを行う。 【予習】40分：講義資料や自分でまとめたものを用いてポイントを振り返る。 【最終課題】レポート テーマ等詳細は講義内で提示する

先行履修科目

なし

テキスト

小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版．医学書院，2019．

参考文献

必要に応じて提示する

評価方法

授業参加（10％）、小テスト（40％）、レポート（50％）
1回、3回、5回、7回に小テストを行う。

教員等の実務経験

がん患者への看護を臨床で実践した経験がある教員が担当する。

メッセージ

がんは日本人の死因の第1位ですが、治療の発展は著しく、がんとともに生きる方は増加しています。しかし、治療の中には深刻な有害事象を伴うものも多く、がんサバイバーは、身体的および心理・社会的にも大きな影響を受けます。がん治療を受けるサバイバーのQOLを保ち、治療効果を最大限にできるよう支援するにはどのように看護したらよいかを考えていきましょう。

家族看護

更新日：2021/03/01 19:15:25

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP210		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621700
担当教員	西村 和美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

「家族看護とは何か」という視点を持ちつつ、家族を単位とした看護のアプローチ方法と、さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	家族を単位として援助することの意義を説明できる。
2	家族看護を支える理論と看護のアプローチ方法を説明できる。
3	事例を通して、家族を支援するためのアセスメントの方法を説明できる。
4	家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験について考察できる。

授業計画

1	家族看護とは 家族とは 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP2～30を熟読する。 【復習】30分：家族看護、家族の定義をまとめる。
2	家族看護の対象理解 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP30～83を熟読し、ワークシート（ジェノグラム・エコマップ）を作成する。 【復習】30分：家族構造の把握方法（ジェノグラム・エコマップ）、家族機能、現代家族の課題についてまとめる。
3	家族を理解するための諸理論 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP86～116を熟読する。 【復習】30分：家族看護の理論についてまとめる。
4	家族看護過程と実際 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP118～163を熟読する。 【復習】30分：家族看護過程の方法についてまとめる。
5	家族看護と多職種連携 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP164～186を熟読する。 【復習】30分：家族アセスメントモデルについてまとめる。
6	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（1） 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：テキストP251～262を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】60分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
7	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（2） 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：テキストP200～211を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】60分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
8	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（3）まとめ、課題へのフィードバック 【授業方法】講義 事例課題に対するフィードバック 【予習】30分：テキストP251～262、テキストP200～211を熟読する。 【復習】60分：家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験についてまとめる。

先行履修科目

なし

テキスト

上別府圭子：系統看護学講座 別巻 家族看護学．医学書院，2018．

参考文献

中野綾美・瓜生浩子：家族看護学－家族のエンパワーメントを支えるケア．メディカ出版，2020．

評価方法

定期試験50%、課題・レポート40%、授業の参加度10%

教員等の実務経験

病院や地域で患者および家族ケアの臨床経験をもつ教員が、その経験を活かして、家族看護活動について講義します。

メッセージ

定型的な家族の枠組みにとらわれず、多様な家族のあり方を考える機会とします。家族を理解するには、まず自分の家族体験を振り返り、家族のイメージを描きます。自己を振り返り、患者・家族を看る目を育ててください。様々な事例の家族看護について一緒に考えていきましょう。

地域看護 I

更新日：2021/02/04 19:16:35

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP211		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	621800
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美, 緒方 文子, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進について、基礎的な考え方を理解し、地域看護の特性について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	地域看護の基盤となる理念や概念を理解できる。
2	地域看護活動の歴史的変遷について理解できる。
3	地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進活動について説明できる。
4	健康危機管理に関する看護の役割について説明できる。

授業計画

1	ガイダンス、地域看護の基盤となる概念・理念 【授業方法】 【講義予習】30分：地域とは何か、地域看護の概念について調べる。教科書第1章、第2章を熟読する。 【復習】30分：地域で生活する人々の健康と生活の質向上に地域看護が果たす役割について、講義資料と課題をとおして理解を深める。 【担当】小野
2	地域看護の歴史的変遷 【授業方法】講義 【予習】30分：地域看護の歴史についてまとめる。教科書の第9章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書第9章を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
3	対象地域・対象者を多角的にアセスメントする必要性 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の第6章A、第6章Cを熟読する。 【復習】30分：対象とした地域や対象者を多角的にアセスメントすることの必要性について調べる。 【担当】西村
4	ヘルスプロモーション 【授業方法】講義 【予習】30分：地域全体の健康水準を向上させる活動であるヘルスプロモーションに活動について調べる。教科書第1章、第2章等を熟読する。 【復習】30分：講義資料と課題をとおして、理解を深める。 【担当】緒方
5	エンパワメント 【授業方法】講義 【予習】30分：地域看護活動の目的であるエンパワメントとは、その必要性について調べる。教科書第2章、第6章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
6	地域看護活動の基本的な展開の場と特性 【授業方法】講義、ワーク、小テスト 【予習】30分：あなたが住んでいる地域について調べその特徴をまとめる。教科書第3章Aを熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】宮川
7	住民主体の健康づくり 【授業方法】講義、ワーク、小テスト 【予習】30分：住民を主体とした看護活動について、教科書第5章、第6章B、第7章、第8章Bを熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】宮川
8	地域における健康危機管理、課題のフィードバック 【授業方法】講義、ワーク、小テスト 【予習】30分：あなたが住んでいる地域の新型コロナウイルス感染症の発生動向について調べまとめる。教科書第9章を熟読する。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】宮川

先行履修科目

なし

テキスト

標美奈子他：標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論. 医学書院, 2019

参考文献

上野昌江他 編：公衆衛生看護学 第2版. 中央法規, 2016

厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2020/2021. 厚生労働統計協会, 2020

世界保健機関(WHO)：ICF 国際生活機能分類 国際生涯分類改訂版. 中央法規, 2002

評価方法

筆記試験 (50%), 課題(小テスト含む) (40%), 授業参加 (10%)

教員等の実務経験

保健師や看護師の臨床経験のある教員が、地域で生活する人々の健康への支援について講義を担当します。

メッセージ

地域で生活する人々への疾病予防、健康の保持・増進のための看護活動を学び、日常生活の中で、個々人が自らの健康に関心を持ち、地域で健康課題を解決できるように支援していくための看護職の役割について、学び考えていきましょう。

地域看護Ⅱ

更新日：2021/02/26 16:58:01

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NAP308		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	621900
担当教員	宮川 淳子, 小野 ミツ, 緒方 文子, 西村 和美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活する様々なライフステージにある人々の健康課題、健康に関連する行動や生活と環境の特性を理解し、生涯にわたる継続的な健康支援とプライマリヘルスケアシステムの重要性、地域における看護活動を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2	プライマリヘルスケアの概念について説明できる。
3	看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
4	各ライフステージにおける健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
5	リスクの高い人々の健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
6	国内外の社会情勢に応じた健康ニーズについて説明できる。

授業計画

1	プライマリヘルスケアと地域看護の概要 【授業方法】講義，ワーク，小テスト 【予習】30分：プライマリヘルスケアの概念と公衆衛生の政策について調べる。地域看護Ⅰを復習する。 【復習】30分：小テストの見直し，教科書（公衆衛生看護学概論 p2-22）を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
2	母子保健（親子保健）（１） 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の広報を持参する，母子が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書第1章を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
3	母子保健（親子保健）（２），児童虐待 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：乳幼児の予防接種について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書第1章を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
4	学校保健 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第9章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】西村
5	成人保健（１） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第2章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
6	成人保健（２） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第2章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
7	高齢者保健福祉 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第3章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小野
8	精神保健福祉 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第4章を熟読する。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小野

9	難病，障がい児・者保健福祉（１） 【授業方法】講義，ワーク，小テスト 【予習】30分：教科書第5章と在宅看護論① p136－153を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】西村
10	難病，障がい児・者保健福祉（２） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第6章と在宅看護論① p136-153を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】西村
11	健康危機管理（１）感染症保健 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：感染症の種類とその分類をまとめる。自分の居住地で行われている新型コロナウイルス感染症対策について，発症から診断までの流れを調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書第7章を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
12	健康危機管理（２）感染症保健と災害保健 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：教科書第7章を熟読する。結核とHIV/AIDSの病態生理を復習する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
13	産業保健（１） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第10章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
14	産業保健（２） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第9章を熟読する。 【復習】30分：配布資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
15	地域看護Ⅱの授業のまとめと定期試験のフィードバック 【授業方法】講義 【復習】30分：第1～14回の授業のまとめ/定期試験や小テストの見直し 【担当】宮川

先行履修科目

2年後期までに履修すべきすべての科目

テキスト

松田正己他 編：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動 第4版．医学書院，2019.
標美奈子他 編：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 第5版．医学書院，2020.
（2年後期地域看護Ⅰで使用したテキスト）
臺有桂他 編：ナースングラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア．メディカ出版，2019.
（2年後期在宅看護Ⅰで使用したテキスト）
厚生労働統計協会 編：厚生 の指標増刊 国民衛生の動向2020/2021．厚生労働統計協会出版，2019.

参考文献

上野昌江他 編：公衆衛生看護学 第2版．中央法規，2016.

評価方法

定期試験50％，課題（小テスト含む）40％，授業参加10％

教員等の実務経験

保健師・看護師の臨床経験のある教員が，地域で生活する人々へのさまざまな保健活動について講義を担当します。

メッセージ

地域で生活する様々な健康レベル・ライフステージにある人々への保健活動がどのようなヘルスケアシステムの中で実施されているかを理解し，地域を体系的にとらえることができるように学修していきます。

既習の科目「保健統計学」「慢性看護Ⅰ」「地域看護Ⅰ」「在宅看護Ⅰ」などで学修した内容を復習しておきましょう。

第9-10回の講義のときには，「臺有桂他編：ナースングラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア．メディカ出版」を持参してください。

看護技術Ⅲ

更新日：2021/09/21 18:15:07

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP212		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	622000
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況に応じた看護技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	対象者の健康障害を適切にアセスメントし、看護技術を提供する必要性を科学的根拠に基づいて説明できる。
2	看護技術の目的に応じた観察とアセスメントを適切な方法とタイミングで行える。
3	対象者の個別状況と提供する看護技術に伴う合併症やアクシデントを予測した安全確保対策を実施できる。
4	対象者の個別状況を考慮し、対象者にとって安楽な援助方法を選択できる。
5	行った看護技術と目的に応じた観察やアセスメントの結果を正しく説明できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション、食事の看護技術/経管栄養法（1） 【授業方法】講義 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①オンデマンド講義を踏まえ、経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本、西山
2	食事の看護技術/経管栄養法（2） 【授業方法】演習(実技、グループワーク) ＊演習終了後に小テスト①を実施する。 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本
3	創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(1) 【授業方法】講義(反転授業) 演習(実技、グループワーク) 【予習】30分：①皮膚・粘膜の構造と機能を復習②指定された動画を視聴し、創傷の処置の手順、褥瘡予防のケアについてまとめる（テキストp262～p272、p277～p284） 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
4	創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(2) 【授業方法】演習(実技、グループワーク) ＊演習終了後に小テスト②を実施する。 【予習】30分：①皮膚・粘膜の構造と機能を復習②指定された動画を視聴し、創傷の処置の手順、褥瘡予防のケアについてまとめる（テキストp262～p272、p277～p284） 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
5	呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（1） 【授業方法】講義(反転授業) ・演習(実技、グループワーク) 【予習】30分：呼吸に関する人体の構造と機能を復習する。指定された動画を視聴し、酸素吸入療法、一時的吸引の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【復習】30分：演習を通して学んだことをノートに加筆・修正する。 【担当】西山
6	呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（2） 【授業方法】演習(実技、グループワーク) ＊演習終了後に小テスト③を実施する。 【予習】30分：呼吸に関する人体の構造と機能を復習する。指定された動画を視聴し、酸素吸入療法、一時的吸引の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【復習】30分：演習を通して学んだことをノートに加筆・修正する。 【担当】西山
7	症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（1） 【授業方法】講義 【予習】40分：今まで学修したテキスト・講義資料を用いて、インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習する。 血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。 【復習】40分：血糖測定とインシュリン自己注射の手順とポイントを修正・加筆し、演習が想起できるようにする。 【担当】鈴鹿

8	症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（2） 【授業方法】 講義(反転授業) 演習（実技、グループワーク） 【予習】 40分：インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習し、血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。演習の手技を想起できるようにする。 【復習】 40分：それぞれの演習を評価し、手順とポイントを修正・加筆する。 ＊第8・9回は同日2コマで実施する。 【担当】 鈴鹿・西山・山本
9	症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（3） 【授業方法】 演習（実技、グループワーク）＊講義終了後に小テスト④を実施する。 【予習】 40分：インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習し、血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。 【復習】 30分：それぞれの演習を評価し、手順とポイントを修正・加筆する。 ＊第8・9回は同日2コマで実施する。 【担当】 鈴鹿・西山・山本
10	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（1） 【授業方法】 演習（実技、グループワーク） 【予習】 30分：看護技術Ⅱで学んだ無菌操作の原理原則をテキスト、講義資料で復習する。指定された動画を視聴し一時的導尿の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【復習】 60分：手順を暗記、無菌操作で実施できるよう練習する。 【担当】 西山
11	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（2） 【授業方法】 演習（実技） ＊技術テスト 【予習】 60分：手順を復習し暗記する。手技を復習し、練習する。 【復習】 30分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。 【担当】 西山・山本・鈴鹿
12	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（3） 【授業方法】 演習（実技） ＊技術テスト 【予習】 90分：手順を復習し暗記する。手技を復習し、練習する。 【復習】 30分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。 【担当】 西山・山本・鈴鹿
13	排泄の看護技術：浣腸、坐薬（1） 【授業方法】 講義 【予習】 40分：①排便に関連する人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p61-65,p80-85）およびMoodleに提示される動画を視聴して、浣腸と坐薬の与薬方法手順とポイントをまとめる。 【復習】 30分：：浣腸、座薬の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。 【担当】 山本
14	排泄の看護技術：浣腸、坐薬（2） 【授業方法】 演習(実技、グループワーク) ＊演習終了後に小テスト⑤を実施する。 【予習】 40分：①排便に関連する人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p61-65,p80-85）およびMoodleに提示される動画を視聴して、浣腸と坐薬の与薬方法手順とポイントをまとめる。 【復習】 30分：：浣腸、座薬の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。 【担当】 山本
15	科目全体のまとめ：小テストと演習についてのフィードバックを行う。 【授業方法】 講義（グループワーク） 【予習】 60分：各技術のポイントを振り返り、疑問点を明確にする。 【復習】 60分：講義を通して確認した要点をテキストや参考図書で確認する。 【担当】 西山・山本・鈴鹿

先行履修科目

なし

テキスト

任 和子他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第17版．医学書院，2019．

参考文献

川村雅文他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[2]呼吸器 第15版．医学書院，2019．
 南川雅子他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[5]消化器 第15版．医学書院，2019．
 吉岡成人他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[6]内分泌・代謝 第15版．医学書院，2019．
 伊藤由恵 他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[8]腎・泌尿器 第15版．医学書院，2019．

評価方法

筆記テスト（50％）、小テスト（15％）、技術テスト（15％）、事前学習（14％）、授業態度（6％）、で総合的に評価する。
 ＊小テストは5回実施、技術テストは1回実施する。技術テストは別途評価表を配布する。
 ＊事前学習：事前学習はノートにまとめ演習に持参する。教員が内容を確認し評価する。
 ＊授業態度：講義全体の主体性、協調性等について評価する。演習では、臨地実習に準じた身だしなみやマナーについても評価対象とする。

教員等の実務経験

臨床で看護師として様々な対象者へ看護技術を実践した経験を持つ教員が担当する。

メッセージ

演習は、チームであることを意識し、グループダイナミクスを発揮して、主体的に周囲と協力、意見を交換しながら共に学びを深めていきましょう。看護技術Ⅰ・Ⅱで行った自己学修をこの科目でも継続してください。ポイントは、解剖・生理、疾病の成り立ち、治療検査時の看護、看護技術Ⅰ・Ⅱなどの学びを想起しながら、この科目の学修とつなげることです。技術の手順・留意点には、解剖生理学的な背景と関係があります。ただまとめるのではなく、考えながらまとめるようにすると理解しやすくなります。

看護技術Ⅳ

更新日：2021/09/21 13:57:32

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NAP309		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	622100
担当教員	福島 綾子, 苑田 裕樹, 衛藤 泰秀						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

健康レベル、ライフステージ、個もしくは集団など、対象の特性に対して、適切な看護を行うための看護技術を習得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	侵襲度の高い看護技術を適切に実施するために必要な基本的知識と、科学的根拠に基づいた原理原則について説明できる。
2	援助の必要性を判断し、侵襲度の高い看護技術を対象の特徴に合わせて安全に実施できる。
3	実施した結果を患者の状況に合わせて評価することができる。

授業計画

1	授業ガイダンス：看護技術を適切に実践するための要素とは、【与薬の技術：注射】筋肉内注射 【授業方法】 講義（一部オンデマンド講義） 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅰ序章「看護技術を学ぶにあたって」 p2～15 2）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ「看護技術の基盤」 p2～8 3）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 p316～320 【復習】 90分： 事例患者の看護過程の展開（アセスメント、問題抽出、看護計画立案） 【担当】 福島・衛藤・苑田
2	【与薬の技術：注射】筋肉内注射（１） 【授業方法】 演習（実技） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 316～320 2）筋肉内注射チェックリストの作成 【復習】 60分： 自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する 【担当】 福島
3	【与薬の技術：注射】筋肉内注射（２） 【授業方法】 演習（実技） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 316～320 2）筋肉内注射チェックリストの作成 【復習】 60分： 自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する 【担当】 福島
4	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（１） 【授業方法】 演習（実技） 筋肉内注射の技術テストに向けての準備をする（手技の確認、根拠の確認など） 【予習】 60分： 1）筋肉内注射チェックリストの見直し 2）事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術、実施後の評価のポイントをまとめる 【復習】 60分： 技術テストに向けての準備（オフィシアワーを活用する） 【担当】 福島

5	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（2） 【授業方法】演習（実技） 筋肉内注射の技術テストに向けての準備をする（手技の確認、根拠の確認など） 【予習】60分： 1）筋肉内注射チェックリストの見直し 2）事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術、実施後の評価のポイントをまとめる 【復習】60分： 技術テストに向けての準備（オフィスパワーを活用する） 【担当】福島
6	【与薬の技術：注射】技術テスト 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分： 技術テストに向けての準備（オフィスパワーを活用する） 【復習】60分： 1）筋肉内注射に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】福島
7	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分： 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「症状・生体機能管理技術の基礎知識」p374～375、「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382 【復習】60分： 1）静脈血採血チェックリストの作成 2）事例患者を通して、静脈血採血を行う目的、採血実施後の患者の安全と観察の視点を振り返る 【担当】衛藤
8	【与薬の技術：注射】静脈内注射／点滴静脈内注射 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分： 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～334 【復習】60分： 1）静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成 2）事例患者の看護問題に対する看護計画の見直し 【担当】福島
9	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（1） 【授業方法】演習（実技） シミュレーターを用いて採血の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382 2）静脈血採血チェックリストの作成 【復習】90分： 1）静脈血採血に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】衛藤
10	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（2） 【授業方法】演習（実技） シミュレーターを用いて採血の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382 2）静脈血採血チェックリストの作成 【復習】90分： 1）静脈血採血に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】衛藤
11	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（3） 【授業方法】演習（実技） シミュレーターを用いて採血の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382 2）静脈血採血チェックリストの作成 【復習】90分： 1）静脈血採血に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】衛藤

12	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（１） 【授業方法】 演習（実技） シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336 2）静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成 【復習】 90分： 1）静脈内注射／点滴静脈内注射に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】 福島
13	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（２） 【授業方法】 演習（実技） シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336 2）静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成 【復習】 90分： 1）静脈内注射／点滴静脈内注射に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】 福島
14	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（３） 【授業方法】 演習（実技） シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする 【予習】 60分： 1）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336 2）静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成 【復習】 90分： 1）静脈内注射／点滴静脈内注射に関連した事後課題 2）小テスト 【担当】 福島
15	演習を終えてのフィードバック／事後課題、小テストに対するフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 60分：看護技術Ⅳにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認 【復習】 90分：全体の学びを整理 【担当】 福島・衛藤・苑田

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野 1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ．医学書院，2019．
茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野 1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ．医学書院，2019．

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

技術テスト30％、演習態度20％、事前・事後課題30％、小テスト20％

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、臨床看護技術について教授します。

メッセージ

看護技術Ⅳで取り扱う技術は、患者にとって侵襲度の高い看護技術です。看護者としての責任を自覚しながら演習に臨んでください。
3年次の科目ですので、単に手技を行うだけでなく、演習の準備から片付け、および演習の進行についても学生主体で取り組んでももらいます。個人の学修にとどまらず、グループ／チームで課題に取り組み、互いに高め合いながら学習していくことを希望します。

専門性強化演習Ⅰ

更新日：2021/03/18 08:56:09

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NAP310		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	622200
担当教員	西尾 美登里,石飛 マリコ,高橋 清美,永松美雪,石山 さゆり,梶原 弘平,西村 和美,原田 紀美枝,苑田 裕樹,園田 希,福田陽子,東 優里子,上野 満里,衛藤 泰秀,鎌田 ゆき,鴨川 めぐみ,高瀬 理恵子,千原 明美,橋本真貴子,福島 綾子,山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

各専門領域の実習に必要な知識、技術、態度を強化する。
実習の体験で得られた看護の現象について探求し、課題としてとらえた看護の現象について言語化・抽象化・概念化といった思考過程を繰り返しながら、次の看護実践の方向性を見出す能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	各専門領域における技術演習を通して、レベルⅣ実習に向けて必要となる知識、技術、態度を主体的に身につけることができる。
2	実習中に直面しうる倫理的問題について、看護の視点から考えることができる。
3	実習での体験をもとに、看護の現象に潜む探究課題を見出すことができる。
4	探究課題を明らかにするために必要な情報資源を収集、活用することができる。
5	看護実践の探求を通して、看護実践の言語化、抽象化、概念化するための方法を学ぶことができる。

授業計画

1	【レベルⅣ実習前】看護学実習における倫理とは 【授業方法】教員による講義約45分と振り返り45分 看護学実習における倫理、Covid-19を含む感染症における医療倫理、看護師の倫理に関する講義。 【予習】60分：事前課題（Covid-19やインフルエンザ感染症の知識、倫理とは何かを調べる。これまでの実習における倫理的課題について考えてくる。） 【担当】レベルⅣ担当教員（担当学生）
2	【レベルⅣ実習前】看護学実習における「コロナ禍での臨地実習における感染症と基本的態度」に関するディスカッション 【授業方法】演習(グループディスカッション)、学生同士で、COVID-19を含む感染症について、日々の生活や大学内、実習でどのような姿勢で取り組み、自己の感染予防、患者や周囲の感染予防の方法、またその根拠を述べ、できるかぎり安心安全に実習が遂行できるための認識の共有と検討を行い、書面にまとめる。 【予習】30分：COVID-19、インフルエンザについての知識 実習における感染予防に関する知識を各自調べてくる。 【復習】30分: 演習(グループディスカッション)で得た知識を追加し振り返る。 【担当】レベルⅣ担当教員 A~Eグループに分かれて、各領域が担当する。
3	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習 【授業方法】演習と講義。 【予習】30分：手洗いの必要性和手順・方法について各自調べてくる。 【復習】30分: 演習の振り返り 【担当】レベルⅣ担当教員
4	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
5	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
6	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
7	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員

8	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】 演習と講義 【予習】 30分：各担当領域から提示される課題 【復習】 30分：各担当領域から提示される課題 【担当】 レベルⅣ担当教員
9	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】 演習と講義 【予習】 30分：各担当領域から提示される課題 【復習】 30分：各担当領域から提示される課題 【担当】 レベルⅣ担当教員
10	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】 演習と講義 【予習】 30分：各担当領域から提示される課題 【復習】 30分：各担当領域から提示される課題 【担当】 レベルⅣ担当教員
11	【レベルⅣ実習一斉学内週】講義:看護現象における課題の探求とは 【授業方法】 臨床の看護職による講義 【予習】 120分：前半実習の振り返り 【復習】 120分：探究課題を明らかにする文献収集、ワークシート作成 【担当】 西尾・石飛
12	【レベルⅣ実習一斉学内週】レベルⅣ実習の前半の体験を基に探求したい事柄・場面について振り返り、演習(グループディスカッション) 【授業方法】 演習(グループディスカッション) 【予習】 120分：前半実習の振り返り 【復習】 120分：ワークシートの作成 【担当】 レベルⅣ担当教員
13	【レベルⅣ実習終了後】「レベルⅣ実習での体験を基に探究課題を明らかにする：レポート作成/グループでのピア評価 【授業方法】 演習(グループディスカッション) 【予習】 120分：ワークシートの作成、課題レポート 【復習】 120分：グループ討議を受けての課題レポートの修正 【担当】 レベルⅣ担当教員
14	レベルⅣ実習での体験をもとに探究課題を明らかにする：レポートの評価/プレゼンテーションの準備 【授業方法】 演習(グループディスカッション)、プレゼン準備 【予習】 120分：レポート作成 【復習】 120分：レポートの修正、プレゼン準備 【担当】 レベルⅣ担当教員
15	看護の探究課題の事例についての発表：レポート、プレゼンテーションへのフィードバック 【授業方法】 プレゼンテーション グループ内でPPTでのプレゼンテーション 【予習】 120分：各グループでのプレゼン準備 【復習】 120分：最終レポート提出準備 【担当】 レベルⅣ担当教員

先行履修科目

なし

テキスト

必要時、資料を配布する。

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

技術演習での取り組み状況（30％）、参加・取り組み状況（20％）、プレゼンテーション（20％）、レポート（30％）

教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、さまざまな看護活動について講義します。

メッセージ

レベルⅣ実習では、約3か月という短い時間で対象や場の特徴が異なる5領域、6つの実習でそれぞれの実習目的を達成しなければなりません。一方で、レベルⅣ実習での各専門領域での経験は、みなさんの「看護」にとって大きな影響を与えるものになるはずです。ぜひ各領域での学びが深まることを期待しています。自らの経験についてじっくりと振り返ることは、難しい作業となるかもしれませんが、その作業の中でしか気づくことのできない言動の意味、自身の思考などは、みなさんが自分自身の「看護」を発展させていく上での大きな味方ともなってくれるはずです。この科目では、みなさんの「もっと成長したい」気持ちを伸ばしていくことをモットーに、レベルⅣ担当教員全員でサポートしていきます。苦しい作業になるかもしれませんが、じっくり、しっかり「考え」、それぞれの問いの答えを見つけていきましょう。

慢性看護実習

更新日：2021/01/14 08:44:07

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP213		
学年	2	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	622300
担当教員	山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子, 中村 光江						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

慢性期にある対象の特徴や日常生活への影響を理解したうえで、看護実践を通して、継続的な支援を必要とする対象のニーズを把握し、個別性に応じた看護を提供できる能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	慢性病を持つ対象者の健康問題に対して適切に看護を展開できる。
2	慢性病を持つ対象者とその家族に必要な支援について考えることができる。
3	包括的医療における看護の役割を理解し、多職種との協働について考えることができる。
4	分析的に自己を捉え、自主的に実習に取り組むことができる。

授業計画

1	授業方法と学習課題 【授業方法】実習 【予習】18時間 ＊予習の必要時間は個々で異なるため時間はあくまで目安である ・「病みの軌跡」と「看護過程の展開方法」の振り返り ・主として「慢性看護Ⅰ・Ⅱ」、「健康行動論」、「看護技術Ⅲ」、「人体の構造と機能」、「疾病と治療」における知識や理解に関し、自己の課題を克服するための学習 ・代表的な慢性疾患である以下について、事前学習を行っておく ＜糖尿病、慢性腎不全、慢性心不全、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、慢性肝炎・肝硬変＞ ・行動変容を促す看護技術 【復習】6時間 ・受け持ち対象者の疾患および病態生理に関する知識の整理 ・対象者への看護実践の振り返り（指導内容と指導方法を含む） ・実習で明らかとなった自己の課題への取り組み 【担当】山本・西山・鈴鹿・中村
2	実習方法 1) 実習期間 臨地：2022年1月17日（月）～2月1日（火）、学内：2022年2月2日（水）、2月4日（金） 2) 実習場所 複数の医療施設での実習を予定している。 3) 実習の進め方 （1）学内オリエンテーション 10月、12月、1月に複数回実施する （2）学内演習 臨地実習において実施可能な看護援助及び研鑽が必要な看護技術の演習を計画・実施・評価する。 （3）施設での実習 入院中あるいは外来受診中の慢性病をもつ対象者1人を受け持ち、看護を実践する。 （4）学内実習 学内カンファレンス・面接等を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する自身の考えを深める。 担当教員との面談を通し、実習の到達目標の達成状況、課題についてフィードバックを受ける。 ＊状況によっては施設実習ではなく、オンライン・学内実習など実習方法が変更される可能性がある。 その場合は科目担当者から別途連絡をおこなう。

先行履修科目

レベルⅡ看護過程の展開実習

テキスト

慢性看護Ⅰ・Ⅱ、健康行動論で使用したテキスト

参考文献

関連科目のテキスト、授業で配布された資料

評価方法

実習目標の達成度（69％）、課題レポート（15％）、実習態度（16％）

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員の指導の下、慢性病をもつ対象者に対する看護を実践する実習を行う。

メッセージ

慢性病を持つ人々は年々増加し、一人が複数の慢性病を持つことも一般的になってきました。病気や障害とともに生きる過程を全人的に理解し、長期的な視点を持って個別性に応じた看護を学びます。病気と折り合いをつけつつ、その人らしく生きていくことについて、ご本人や家族とともに考えましょう。対象者の「病みの軌跡」に対する理解を看護実践にも活かしてください。

レベルIII実習になりますので、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢を期待します。

COVID-19の感染状況によって、実習の方法について変更が生じる可能性があります。

成育看護実習

更新日：2021/01/18 15:06:43

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NAP311		
学年	3	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	622400
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希, 福田 陽子, 東 優里子, 橋本真貴子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

リプロダクションサイクルにある人々の健康と次代を担う子どもが健やかに育つための看護を提供できる能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	リプロダクションサイクルにある対象者（周産期・小児期における母子およびその家族）を、成長発達過程をふまえ、連続的に身体的、心理・社会的存在として説明できる。
2	リプロダクションサイクルにおける対象者の健康状態を、身体的、心理・社会的特性をふまえて明確にし、健康の保持増進と発達を促すような看護を展開できる。
3	リプロダクションサイクルにある対象者の人権を尊重し、倫理的態度に関わる重要性を理解し、考察することができる。
4	看護と保健医療・福祉・教育などの関連諸機関との連携について説明できる。
5	自己を内省し、主体的・積極的に実習に取り組むことで、リプロダクションサイクルにある対象者と援助的人間関係を構築するためのアプローチを考察できる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】臨地実習もしくは学内実習 【担当】永松・石山・園田・福田・橋本・東
2	I．実習方法 1．実習期間 3週間 2．実習場所 臨地実習もしくは学内実習 3．実習の進め方 1）母性看護実習（1週間）： 周産期の母子と家族を対象とした看護過程の展開を行う。 2）小児看護実習（1週間）： 健康問題または障がいをもって入院する子どもと家族を対象とした看護過程の展開を行う。 3）成育実習（1週間）： 地域で生活する乳幼児期の子どもの成長・発達の特徴を理解し、 乳幼児期の子どもと援助的人間関係を築くためのコミュニケーション の特徴について説明できることを目標に、保育所もしくは幼稚園で実習を行う。 ＊学習の進捗状況に応じて、実習指導教員が実習記録物や課題レポートに 関するフィードバックを行う。 4．実習時間 9：00－16：00
3	II．実習上の留意点 対象の特性から感染防止には特に注意しなければならない。学生自身が感染媒介となることを防止するために体調不良時には必ず医療機関を受診する。
4	III．学修課題 【予習】取り組み時間：5時間 内容：事前課題に取り組み、課題ノートにまとめる。 母性、小児看護学の講義内容および演習内容を振り返る。 母性、小児領域の主な疾患について病態を振り返る。 【復習】取り組み時間：40時間 内容：成育看護実習で課されている記録をまとめる

先行履修科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

1. 母性看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料

(1) 森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論. 医学書院, 2020.

(2) 横尾京子他：ナースング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術. メディカ出版, 2019.

2. 小児看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料

(1) 小林京子、高橋孝雄：小児看護学概論 小児保健. メヂカルフレンド社, 2020年 第6版.

(2) 小林京子、高橋孝雄：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護. メヂカルフレンド社、2019年、第6版.

参考文献

堀内成子他：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第2版. 照林社, 2017.
石黒彩子 編：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 第2版. 医学書院, 2012.
山元恵子 編：写真でわかる小児看護技術 第3版. インターメディカ, 2015.
鈴木康之, 舟橋満寿子 編：写真でわかる重症心身障害児(者)のケア. インターメディカ, 2015.
倉田慶子, 市原真穂, 仁宮真紀 編：ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護計画. へるす出版, 2017.

評価方法

①母性看護実習評価40％ ②小児看護実習評価40％ ③成育実習評価20％

成育看護実習は母性看護実習、小児看護実習、成育実習にて構成されていることから、本実習の単位取得には各実習の合格基準を満たす必要がある。したがって、合格基準を満たせない実習がある場合には、成育看護実習としての単位を取得できないことになる。

教員等の実務経験

助産師または看護師として、成育看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、成育看護実習の指導を行います。

メッセージ

成育看護実習は母性看護学、小児看護学、成育実習にて構成されています。本科目の病棟実習はそれぞれ1週間であり、その1週間の中で受け持ち対象者の看護展開を行う必要があります。それまでの実習と比べると戸惑いを覚えるかもしれませんが、実際には、成育看護の対象となる人々の状態変化は著しく、入院期間も短いことが一般的です。したがって、その看護展開には十分な準備と予測的視点を持って臨むことが求められます。とくに母性看護Ⅱと小児看護Ⅱは実習を想定した授業内容になっており、母性看護Ⅱと小児看護Ⅱで学んだ知識を総動員して実習に臨んでほしいと思います。

老年看護実習

更新日：2021/01/20 09:47:54

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP312		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	622500
担当教員	原田 紀美枝, 梶原 弘平, 千原 明美, 山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

療養が必要となった高齢者を包括的に捉え、尊厳や生命の維持およびQOLの向上を目指す援助を実践できる能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	高齢者及び家族と良好な援助関係を築くことができる。
2	高齢者の身体的・心理的・社会的特性を踏まえ、個別性を尊重した看護を展開することができる。
3	高齢者の医療を支える職種の役割・機能および看護師の役割・機能を理解することができる。
4	看護の現象を振り返り、それに基づいたそれぞれの老年観および看護観を言語化できる。
5	自らの課題を認識し、課題解決に向けた目標を持ち、主体的に行動することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】8時間：事前課題に取り組む。 ・老年医学の講義内容の振り返り ・高齢者に起こりやすい健康問題の講義内容の振り返り ・高齢者に関連する社会保障制度について ・看護過程 【担当】原田・梶原・千原・山内
2	I．実習方法 1．実習期間 2週間 2．実習場所 福岡赤十字病院、今津赤十字病院、嘉麻赤十字病院、福岡聖恵病院 3．実習の進め方 1～2名の患者を受け持ち、看護過程の展開を行う。 【スケジュール】 1日目(学内)：オリエンテーション/受け持ち患者概要説明、実習の個人目標の確認 2日目(臨地)：病棟オリエンテーション、受け持ち患者を決定し情報収集 3日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 4日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 5日目(臨地)：看護問題の特定 6日目(臨地)：看護計画発表 7日目(学内)：実習目標中間評価 8日目(臨地)：看護計画実施・評価 9日目(臨地)：病院実習のまとめ 10日目(学内)：全体でのまとめ ※看護過程展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜担当教員からフィードバックを受けながら進める。また、実習中間時期に、実習目標の中間評価を行い、指導教員のフィードバックを受け自己課題を明確にする。
3	II．実習上の留意点 ・実習スケジュールは、施設や祭日の状況に応じ調整をしながら進行するため、指導教員の指示を確認する。 ・臨地実習においては、十分の健康管理を行うこと。特に新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関しては、別途示す対策を遵守する。対策の順守ができていない場合は、臨地実習を中止せざるを得ないことがあることを十分に理解しておく。 ・受け持ち対象者へのケアの実施に関しては、患者の安全を確保するため、単独では実施しない。

先行履修科目

3年前期に開設するすべての必修科目

テキスト

堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害．メディカ出版，2016。
堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践．メディカ出版，2021。
鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患編.医学書院，2018。

参考文献

山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2018．
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画.メディカルビュー社，2008．
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程.医歯薬出版株式会社，2015．
大塚真理子:カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2018．
その他、実習中に適宜提示する。

評価方法

目標達成度：看護過程ルーブリック評価（DP問題解決力）52％
実習態度（DP人間の尊厳を擁護する力・自己教育力・チームで働く力・看護の専門性を探究する力）48％

教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、臨地での実習指導を行います。

メッセージ

受け持ち対象事例は、疾患や障害を持ちながら生活をされています。対象者が、健やかにその人らしい老年期を過ごすために、どのような援助が必要なのかを考えてほしいと思います。また臨地ではない実習になりますが、学びを多くするためにも自主的に積極的に行動して下さい。

クリティカルケア実習

更新日：2021/04/06 20:23:00

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NAP313		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	622600
担当教員	苑田 裕樹, 福島 綾子, 衛藤 泰秀, 鴨川 めぐみ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

救急およびクリティカル状況下で集中治療・看護を受ける患者および家族の危機状態に対する看護を提供できる能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	救急およびクリティカルな状況下にある患者や家族への看護に必要な態度を身につけることができる。
2	患者やその家族の身体・心理・社会的危機状況についてアセスメントすることができる。
3	患者の生命を守るために行われている治療・検査を理解し、必要な看護を実施できる。
4	救急およびクリティカルな状況下での看護における看護師の役割と専門性について述べることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】 実習 【事前課題】 10～15時間（予習の必要時間は個々で異なるため、時間はあくまで目安である） ・夏季課題を提示（7月配布） ・クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡの内容についての復習 ・フィジカルアセスメントスキルの復習 ・実習要項（学内実習版）をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。また、実習の心構えをよく読み、自己の課題を明確にしておく。 【担当】 苑田・福島・衛藤・鴨川
2	実習方法 1）実習期間 2週間（90時間） 2）実習方法 臨床と学内とブレンド型実習 2日間臨地実習＋学内実習（オンライン実習含む） ※新型コロナウイルス感染症の状況、および実習病院の受け入れ可否などを考慮し、計画を変更して実施する可能性がある。 （1）臨地実習 ・各実習施設において、1ユニットにつき1名の学生が2日間の臨地実習を行う予定である。 ・原則、看護過程の展開の基づき、受け持ち患者への看護実践を指導のもと行う。また、臨地実習指導看護師のシャドーイングを通して看護を学ぶ。 （2）学内実習 ＜事例展開＞ ・電子カルテ（Forms）から配信される経時的な情報やモニターやフィジカルアセスメントの配信映像から情報を収集する。 ・学内実習では、シミュレーション教育として仮装ICUの患者のモニタリングやフィジカルアセスメントを実践して観察を行う。OSCEを実施する。 ・また、日常生活援助方法の演習を通して、スキルと獲得とともに患者のニーズや看護の専門性について考える機会を設ける。 ・ペアの学生間で日々の意見交換、及びZoom上でのジグソー法で学習を深める。 ・多職種連携や家族ケアのビデオ動画を視聴し、看護の専門性と役割、態度について考える機会を設定する（実習病院の指導者から指導を受ける）。 ・カンファレンスやチームへの貢献度についてはピア評価を取り入れて評価する。 ・VR動画の視聴（ICU、救急救命センター施設、ドクターヘリ機内）や遠隔授業（日本の救急医療体制、救急救命士の役割、プレホスオピタルとの連携）を実施する。 3）実習スケジュール 1週目 月：オリエンテーション 火～金：臨地実習・学内実習 2週目 月～木：臨地実習・学内実習 金：実習のまとめとフィードバック、最終カンファレンス 4）その他 ・新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、感染管理対策を徹底して実習を行う。 ・学内実習の場合も、臨地実習という姿勢で実習に取り組む。白衣の身だしなみ、言葉遣いなどの礼節を適切に実行する。 ・オンラインでのカンファレンスには画面上に自身の顔を映して参加する。 ・記録物の提出方法は、実習の方法によって変更の可能性があるため、実習開始時に説明する。

先行履修科目

3年前期に開講する全ての必修科目

テキスト

クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡで使用した以下のテキスト

- 1) 道又元裕 他著：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2019.
- 2) 山勢博彰・山勢善江 他著：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2019.

参考文献

- 1) 佐藤まゆみ, 林直子：成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア（改訂第3版）. 南江堂, 2019.
- その他：講義資料

実習中、適宜提示する。また学生自身で実習に関連する文献を収集し、活用する。

評価方法

実習評価表に基づき評価する。

実習目標達成度：実習態度25%（ピア評価含む）、記録物・看護の実践75%（OSCE・演習状況含む）

なお、遅刻・早退：1点、欠席：2点の減点となる。

教員等の実務経験

クリティカルケア領域（ICU/救急領域等）に従事する高い専門性をもつ臨床実習指導者と、クリティカルケア看護の臨床経験のあるおよび教員が、その経験を活かして、クリティカルケア看護について実習指導を行います。

メッセージ

クリティカルケア実習では、クリティカルな状況下で集中治療・看護を受ける患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を展開します。既習の知識や理論を用いて患者を全人的に捉え、顕在および潜在する問題に対して予測的な視点と科学的根拠に基づいて実践・評価していきます。

また、クリティカルケア実習では、「受け持ち看護師」として責任を持った行動を求めます。患者に対して必要となる看護は何かを臨地実習指導者や日々の担当看護師、実習担当教員を含めた看護チームで意見交換を行いながら最善の看護を検討し実践してください。そのため、学生は複数名で1人の患者を受け持ち、常に学生同士のチーム間で意見交換をしつつ、看護チームの一員という自覚を持って実習に取り組むことを期待します。自己教育力を育成・向上するために、自己分析する能力を育み、常に自己の課題を明確にしながら、目標達成のために継続的な取り組みを期待します。

在宅看護実習

更新日：2021/03/02 11:50:16

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NAP314		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	622700
担当教員	西尾 美登里, 小野 ミツ, 西村 和美, 上野 満里, 鎌田 ゆき, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、訪問看護で提供する看護援助の方法を学ぶ。また、在宅ケアシステムにおける専門職種間の連携・協働を理解するとともに、その中で果たす看護職の役割を考える。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養者とその家族が安全で安心に暮らすことができ、QOL向上をはかるための看護を展開することができる。
2	在宅療養者とその家族の暮らしにおける健康上の課題を説明でき、それらに応じた支援方法を工夫できる。
3	在宅療養を支える保健・医療・福祉の社会資源について理解を深め、多職種間の連携・協働の必要性を説明できる。
4	在宅ケアにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護師の役割を説明できる。
5	在宅療養者とその家族の看護に必要な態度を身につけることができる。

授業計画

1	1. 事前課題【予習】 ・教科書の事例課題（病態・看護、社会資源等）を活用し、実習前に在宅看護Ⅰ、在宅看護Ⅱの内容を復習しておく。（取組時間：120時間） ・在宅看護実習で学びたいこと（自己の実習目標）について、A4用紙1枚にまとめる。（取組時間：60分） ・在宅看護実習の実習要項を熟読し、実習目的、目標を理解する。（取組時間：30分）
2	2. 実習方法 1) 実習期間：2週間 2) 実習の進め方：臨地実習 ・実習では、受け持ち療養者の看護過程を展開する。受け持ち療養者以外にも、さまざまな背景の療養者の生活と看護を学ぶ。 ・受け持ち療養者の情報からICFの視点で全体像をまとめ、看護計画立案を行う。 ・多職種連携と協働について学びを深める。 ・臨地実習でのカンファレンスは、各週1回（中間・終了）の計2回行い、日時は実習指導者と担当教員と調整する。中間カンファレンスでは、受け持ち療養者の全体像、関連図、実施計画の発表を行う。臨地実習での終了カンファレンスは、最終訪問の計画の実施・評価や、全体的な学びを発表し共有する。カンファレンスは、学生が主体で行い、事前準備や司会進行を行う。最終学内日は、小テストと目標に沿った各グループディスカッションと発表を実施する。教員からのフィードバックは、小テストとグループディスカッションを通して実施する。 3) 実習担当教員：西尾、小野、西村、上野、鎌田、宮川
3	3. 実習上の注意事項 ・事前課題の提出は、実習の前提条件となるので留意する。 ・連絡・相談はメールや指定された方法で行う。

先行履修科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

在宅看護Ⅰ・Ⅱで使ったテキストおよび資料

参考文献

実習に関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

ルーブリック評価（90％），小テスト(10％)

教員等の実務経験

訪問看護ステーションや外来で看護師として臨床経験のある教員が、在宅看護での経験を活かして実習指導を担当します。

メッセージ

これまでの学びを臨地で確認するとともに、臨地でなければ学べない在宅場面での看護活動を学修していきましょう。在宅療養者とその家族の暮らしや価値観を尊重した個性や、「その人らしさ」を支える看護について考えていきましょう。

精神保健看護実習

更新日：2021/02/05 14:55:25

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NAP315		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	622800
担当教員	石飛 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

精神疾患をもつ人々とその家族に対する精神看護の展開方法ならびに基礎的能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	精神に障害を持つ人の尊厳を重視した倫理的行動の重要性を説明することができる。
2	患者―看護者関係の発展過程や治療的関わりを通してよりよい援助の人間関係を築くことができる。
3	自己を分析的に捉え、自主的かつ自律的に実習に取り組むことができる。
4	多職種連携における看護の役割を認識し、チーム内での自己の役割を実践できる。
5	精神疾患をもつ対象者および家族の抱える問題をアセスメントし、主体性を尊重した看護を展開できる。
6	精神疾患をもつ人とその家族に対する看護の役割と専門性について述べるができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【事前課題】夏季課題提示（8月上旬に配布） 1．精神保健福祉に関する知識の確認 2．主な精神疾患の病態・治療・検査・看護の確認 3．プロセスレコードの記載方法の確認 ＊取り組み時間は24時間が目安 ＊事前課題は実習に活用されるものであり、実習中の自己学習も追加していくこと。実習中の自己学習が追加されたものを最終提出すること。実習中に追加された自己学習分は、参加度で評価する。 【復習】毎日の実習のまとめと、翌日の実習の準備を十分に行うこと。 ＊復習取組時間は特に指定しない 【担当】石飛・高瀬・高橋
2	I．実習方法 1) 実習期間 2021年9月27日～2021年12月24日 2) 実習場所 ・精神科病院 2週間。最終日は個別にフィードバック面接を行う 3) 実習の進め方 ・受け持ち患者1名を担当し、看護過程を展開する。 ・事例カンファレンスを実施し、対象理解を深める。またプロセスレコードを記入、検討し、自己洞察を深める。 ・実習で体験した内容をふまえて、精神障害をもつ人の権利擁護と倫理的配慮についてレポートを記述し考察する。

先行履修科目

3年前期に開設するすべての必修科目。

テキスト

講義で使用したテキストおよび配布資料。

参考文献

適宜、提示します。

評価方法

実習到達度および実習態度 72点

事前課題A 12点

参加度 10点

レポート 6点（形式分のみ。内容は実習到達度で評価する）

教員等の実務経験

精神科病棟で臨床経験のある教員が実習指導を担当する。

メッセージ

精神保健看護実習では、看護における倫理観や倫理的行動について十分に学修を深めてほしい。

災害と看護

更新日：2021/01/22 17:17:12

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NIN406		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	630100
担当教員	小川 里美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

災害サイクルの特徴を概観し、各サイクルにおける健康課題や看護ニーズ、看護職者の役割について理解するとともに、災害看護に必要な基礎的能力を習得する。

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	災害および災害医療・災害看護に関する基礎的知識について理解できる。
2	災害サイクルに応じた被災者の特性と看護について理解できる。
3	トリアージの基本的知識および方法について理解できる。
4	災害時における看護職者の役割について理解できる。

授業計画

1	災害とは、災害の種類と特徴、災害と法律について 【授業方法】講義 【予習】30分：最近、日本および世界で起こった災害を調べる。 【担当】小川
2	災害と健康、災害サイクルと災害医療、災害時要援護者、要配慮者について 【授業方法】講義 【復習】60分：災害サイクルの特徴と健康課題について復習する。 【担当】小川
3	災害急性期の看護ー赤十字医療施設・救護班の活動 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp101～119、p.201～220を精読する。 【担当】小川
4	災害急性期の看護ーDMATについて① 【授業方法】ライブ講義 【予習】30分：DMATについて各自で調べる。 【担当】ゲストスピーカー
5	災害急性期の看護ーDMATの活動の実際 【授業方法】ライブ講義 【予習】30分：DMATについて各自で調べる。 【担当】ゲストスピーカー
6	災害慢性期の看護ー仮設住宅・復興住宅における健康問題と看護 【授業方法】ライブ講義 【復習】60分：テキストp. 121～131を精読する。 【担当】小川
7	災害静穏期・準備期の看護① 【授業方法】講義 【復習】60分：テキストp.133～142を精読し、課題に取り組む。 【担当】小川
8	災害時のこころのケア 【授業方法】ライブ講義 【復習】30分：テキストp.171～188を精読する。 【担当】小川
9	災害静穏期・準備期の看護② 【授業方法】講義 【復習】60分：提出された課題に取り組む 1. 【担当】小川
10	災害静穏期・準備期の看護③ 【授業方法】講義 【復習】60分：提出された課題に取り組む 【担当】小川

11	災害支援ナース、受援について 【授業方法】講義 【復習】30分：各自で災害支援ナースの活動、受援について調べる。 【担当】小川
12	災害看護演習（トリアージ）① 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容およびstart法について復習しておく。 【担当】小川
13	災害看護演習（トリアージ）② 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容およびstart法について復習しておく。 【担当】小川
14	災害看護演習（トリアージ）③ 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容およびstart法について復習しておく。 【担当】小川
15	災害と看護のまとめ フィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義・演習での学びを振り返り、理解を深めておく。 【担当】小川

先行履修科目

なし

テキスト

浦田喜久子 他：災害看護学・国際看護学 第4版. 医学書院, 2019.

その他、必要に応じて資料を配付する。

参考文献

小原真理子：いのちとこころを救う災害看護．学研, 2008.

小原真理子：演習で学ぶ災害看護．南山堂, 2010.

小原真理子 他：災害看護 心得ておきたい基本的な知識 改訂3版．南山堂, 2019.

その他、必要に応じて紹介する。

評価方法

授業への参加度10％ 課題への取り組み40％ レポート50％で総合的に評価する。

教員等の実務経験

災害救護活動の経験のある教員が、その経験を活かして、災害看護について講義・演習を行います。

メッセージ

講義の他、演習を通じて災害看護について考えていきます。積極的な取り組みを期待します。

国際保健・看護Ⅰ

更新日：2021/09/24 11:58:58

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NIN202		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630200
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

日本を含む世界各国における保健衛生の現状や課題、関連する要因について基礎的な理解を深め、人々の健康増進に関与する国際保健・看護の特性について学ぶ。

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	グローバル社会における健康課題とその要因について説明できる。
2	人々の生命・健康・生活の課題とそれらに取り組む国際的な支援の枠組みや活動について説明できる。
3	グローバル社会における保健医療と看護の役割について説明できる。

授業計画

1	国際看護概論 【授業内容】 授業の進め方、国際看護コースについて 【授業方法】 講義 【予習】 30分：国際看護とは何かを調べる。 【復習】 30分： 【担当】 小川、宇都宮
2	国際保健概論 【授業内容】 国際保健・グローバルヘルスとは、グローバルヘルスに関連する主要概念 【授業方法】 講義 【予習】 30分：世界で話題になった健康問題について調べる 【復習】 30分：健康観の変遷、SDGs、UHC 【担当】 小川、宇都宮
3	グローバルヘルスの課題（1） 授業内容】 健康の決定要因、グローバルヘルスの課題、ヘルスシステムなど 【授業方法】 講義 【予習】 30分：健康の決定要因について調べる 【復習】 30分：興味のある感染性疾患、新興感染症、熱帯病などについて調べる 【担当】 小川、宇都宮
4	グローバルヘルスの課題（2） 【授業内容】 保健指標の種類と読み方、活用など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：世界の人口動態、平均余命、死因などについて調べる 【復習】 60分：関心のある国の健康課題について調べる 【担当】 小川、宇都宮
5	在日外国人の保健医療/異文化理解とケア 【授業内容】 在留・訪日外国人に対する保健医療のしくみなど 【授業方法】 講義 【予習】 30分：日本人出国者と外国人入国者の推移について調べる 【復習】 60分：在留・訪日外国人への県内の取り組みや課題について調べる 【担当】 小川、宇都宮
6	国際看護概論の概念と理論 【授業内容】 国際看護の概念、原理、活動など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：看護の定義、対象、健康の定義など復習しておく 【復習】 30分：世界各国の看護事情について調べる 【担当】 小川、宇都宮
7	紛争と看護 【授業内容】 戦傷外科、国際人道法、赤十字国際委員会の活動など、 【授業方法】 講義 【予習】 30分：紛争している国や地域を調べる 【復習】 30分：紛争がもたらす健康障害、赤十字の活動・看護について考える 【担当】 小川、宇都宮

8	難民と看護 【授業内容】 難民・国内避難民、スフィアプロジェクトなど 【授業方法】 講義 【予習】 30分：世界の難民について調べる 【復習】 60分：難民の生活、健康などについて調べる 【担当】 小川、宇都宮
9	開発と看護/看護の将来的展望 【授業内容】 国際看護の課題（労働力移動、看護の人材育成など）開発の概念、開発協力と赤十字など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：国際看護師協会（ICN）/開発協力（外務省、NGO等）について調べる 【復習】 30分：看護分野の国際的な活動/保健医療・看護分野における開発協力について調べる 【担当】 小川、宇都宮【授業内容】
10	ケーススタディ 事例提示 【授業方法】 講義/演習（AL） 【予習】 30分：今まで習ったことを復習しておく。 【復習】 60分：事例を読みこみ、必要な情報を収集する。 【担当】 小川、宇都宮
11	グループワーク① 【授業方法】 討議（GW） 【予習】 30分：提示された事例の読み込み、前回調べた内容をまとめておく。 【復習】 60分：情報収集、グループワークで抽出された問題に対して自分の考えをまとめる。 【担当】 小川、宇都宮
12	グループワーク② 【授業方法】 演習（A/L） 【予習】 30分：追加された場面に対しての情報収集、グループワークで抽出された問題に対して自分の考えをまとめ、対応を考える。 【復習】 60分：指導内容の検討と提出資料の作成 【担当】 小川、宇都宮
13	グループワーク③ 【授業方法】 発表 【予習】 30分：発表資料を準備する。 【担当】 小川、宇都宮
14	グループワーク④/プレゼンテーション 【授業方法】 発表 【予習】 30分：発表資料の作成 【担当】 小川、宇都宮
15	フィードバック 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 30分：今までの資料、提出資料に再度目を通しておく。 【復習】 60分：国際看護についての考えをまとめる。 【担当】 小川、宇都宮

先行履修科目

なし

テキスト

一戸 真子編集：国際看護、学研メディカル秀潤社、2016。

参考文献

国際保健医療学会編：国際保健医療学第3版。杏林書院、2013。
人間の安全保障委員会：安全保障の今日的課題－人間の安全保障委員会報告書。朝日新聞社、2003。
中村安秀，河森正人編：グローバル人間学の世界。大阪大学出版会、2011。
Basch,P.：Text of International Health. 1999, 梅内拓生（監修）その他：バッシュ国際保健学講座，2001。
Leininger M.：Transcultural Nursing. Masson international nursing publications, 1979。
G.ホフステード：多文化世界。有斐閣，1995。
Skolnik R：Essentials of Global Health. Jones & Bartlett Pub, 2008。

評価方法

授業への参加度（40%）
授業中に課された課題への取り組み（30%）
課題提出物（30%）

教員等の実務経験

国際赤十字やJICAでの救援や開発協力の経験のある教員が、その経験を活かして、講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目では、前半はグローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、わが国における在日外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力等、国際看護に必要な基礎知識を学びます。後半は、具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して、グローバルヘルスの課題と国際看護を実践的に深く学びます。国際看護や国際協力について考え、他者に伝えられる機会を提供します。

国際保健・看護Ⅱ

更新日：2021/09/24 12:00:38

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NIN301		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	630300
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

グローバル化の進展に伴い、多様化・複雑化する世界の健康問題について、海外研修を通して学習し、保健医療分野、特に看護の役割・課題について考察する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因について調べ、まとめることができる。
2	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因を訪問国の看護学生らと討議し、課題解決に向けた取り組みを考え、実施できる。
3	日本および国際交流協定校のある国の保健医療・看護の実情と課題や課題解決への取り組みについて、自己の考えをまとめ発表できる。

授業計画

1	国際交流協定校のある国に関する事前学習、先方の学生との討議の準備を行い、資料をまとめる。 【授業内容】 第1回~第9回：準備活動（対面もしくはオンライン） グループワーク・プレゼンテーション コースガイダンスおよび活動内容を決める。 事前学習を行い、その内容をまとめ、発表する。 【学修課題：復習60分】 訪問国の概要（政治・経済、医療システム、健康指標等）を調べ、まとめる。
	第10回~第40回：国際交流協定校の学生との討議（オンライン） グループワーク・プレゼンテーション 学習目的、討議内容を英語で伝える。日本の文化や看護について説明する（英語）。事前学習・準備を活かし、国際交流協定校の看護学生らと健康課題 への取り組みについて討議する。 【学修課題：復習60分】 日々の研修内容をふりかえり、各自で学修成果をまとめる。
	第41回~第45回：研修レポートおよび報告書の作成、フィードバック（対面もしくはオンライン） 国際交流協定校との一連の活動で、学習、経験したことをまとめる。研修全般を通して、自己の体験・考えをまとめる。報告書を期日までに編集する。

先行履修科目

2年前期までに履修すべき全ての科目

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には目を通す。訪問国や研修内容に基づいて、必要な文献を読む。

評価方法

事前学習（30％）
研修中の活動への参加度（30％）
レポート（40％）

教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が、研修を担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者を対象にしています。

研修に必要な英語力を修得するよう、例えば、英語IIIの履修やTOEIC700点など目標を掲げ、意図的に英語の学習をすることが必要です。

研修国を知るためにも、保健医療・看護に限らず、様々な文献を調べるとともに、英語の文献も積極的に読むようにして下さい。

国際保健・看護Ⅲ

更新日：2021/01/22 15:27:37

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NIN401		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	630400
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

自ら企画した研修を通して国内外の健康問題を多角的に探究し、保健医療、看護の役割・課題について考察する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	知的興味や関心に基づき、研修で取り組むテーマを明確にできる。
2	研修目標を設定し、その達成に向けた具体的な計画を立案できる。
3	研修を遂行するために、関係機関との交渉ができる。
4	研修計画に基づいた実践ができる。
5	研修成果をまとめ・発表し、レポートとして記述できる。
6	自己の研修目標を適切に評価できる。

授業計画

1	学生自身が選択したテーマに基づき研修計画を立案し、主体的に研修を行う。 【研修方法】(訪問もしくはオンライン)
	1．研修期間：現地での研修は、原則として5日間以上10日間以内で行う。 2．研修場所：国際交流協定校を含む国内外の施設 3．研修の進め方 自ら選択したテーマに基づき実施可能な研修計画を立案する（日本語・英語）。 研修テーマに関連する事前学習を行い、発表資料を作成する（英語）。 先方と調整しながら現地での研修を行う。 研修終了後、学修成果をレポートにまとめ、研修目標の達成度を評価する。 教員よりフィードバックを行う。 【学修課題】 事前学習として研修テーマに関連する文献や統計資料等を読み込み、日本と訪問国・地域の状況についてまとめる。（予習180分） 現地研修では、最終日に学修成果を発表することになるので、日々学修したことをまとめ、発表資料の作成につなげる。（復習180分）

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には、目を通す。研修内容に必要な文献を検索し読む。

評価方法

研修計画書（30％）
研修への取り組み姿勢（20％）
研修目標の達成度（30％）：学生各自が自己の研修目標に沿って評価表を作成し評価する
課題レポート（20％）

教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者の選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ」の単位修得していることが望ましいです。

研修には相当な準備と事前学習が必要です。興味・関心のある国内外の健康・保健医療・看護の課題を見出し、自分で研修を企画・立案し、実践することで、将来のキャリアを考えるきっかけにしてほしいと考えています。

看護とリスクマネジメント

更新日：2021/09/21 18:50:57

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NIN201		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630500
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

医療現場におけるリスクの特性やヒューマンエラーに関する基礎知識を学習し、看護業務におけるリスクの予見と対応方法を理解する。

本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

到達目標

1	医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を説明できる。
2	医療現場で起こりやすい医療事故について危険を予知し、対策を立案できる。
3	医療事故発生のメカニズムと事故後の対応について説明できる。
4	医療事故防止のためのコミュニケーションスキルについて説明できる。
5	実習中に看護学生に求められるリスクマネジメントについて考察できる。

授業計画

1	医療安全とリスクマネジメントの概念 1) 医療安全と看護の理念 2) 医療安全への取り組みと医療の質の評価 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章第2章を読み、インシデント・アクシデントの定義を調べておく。 【担当】倉岡
2	起こりやすい医療事故と対策1【日常生活援助編】危険予知訓練(KYT) 【授業方法】講義、演習（グループワークオ プレゼンテーション） 【予習】60分：日常生活援助実習におけるヒヤリ・ハット事例を振り返る。 【担当】倉岡
3	起こりやすい医療事故と対策2【診療補助編】危険予知訓練(KYT) 【授業方法】講義、演習（グループワークオ プレゼンテーション） 【予習】60分：テキスト第5章を読んでくる。 【担当】倉岡
4	医療事故の発生のメカニズムとリスクマネジメント 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章を読んでくる。 【担当】倉岡
5	医療事故後の対応/医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第7章を読んでくる。 【担当】倉岡
6	医療安全とコミュニケーション（Team STEPPS） 【授業方法】講義、演習（グループワークオ プレゼンテーション） 【予習】60分：事前に配布する資料を読んでくる。 【担当】倉岡
7	医療事故に対する看護師の法的責任と倫理的課題 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章を読んでくる。 【担当】倉岡
8	看護学生の実習と医療安全/定期試験へのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第8章を読んでくる。 【担当】倉岡

先行履修科目

なし

テキスト

松下由美子他編集：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全第4版。メディカ出版，2021。

参考文献

河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー．医学書院，2014．
相馬孝博：ねころんで読めるWHO患者安全カリキュラムガイド．メディカ出版，2013．
兵藤好美，細川京子：医療安全に活かすKYT，メヂカルフレンド社，2012．

評価方法

グループワークなど授業への参加度（20％）、定期試験（80％）により総合的に評価する。

教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、安全に看護を提供するための基礎的知識について講義します。

メッセージ

人間はエラーを誘発しやすい特性を持っています。看護師は24時間・365日ベッドサイドで看護を行ない、患者の最も近くにいる存在です。患者も私たち看護師も安全で安心な環境で過ごすことができるように、医療安全の知識を深めていきましょう。

看護政策

更新日：2021/09/21 18:51:58

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NIN407		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630600
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護行政・政策の概要を理解し、国民によりよい看護サービスを提供するための仕組みについて理解する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	政策に関する基本概念をふまえたうえで、医療や看護に関する政策はどのように決定されるのか、例を挙げて説明できる。
2	現在の日本における保健医療福祉行政の課題を批判的に吟味し、解決のための方法（これからの自分の行動を含む）を具体的に提案することができる。
3	政策決定において看護職として意見を反映させる方法を述べることができる。

授業計画

1	看護における政策過程：よりよい看護の提供と看護制度・政策の関係 【授業方法】ライブ授業 【予習】60分：テキスト第1章第2章を読んでくる。 【担当】倉岡
2	保健師助産師看護師法 【授業方法】ライブ授業 【予習】60分：第4章、コラムp68を読んでくる。 【担当】ゲストスピーカー（田村やよひ）、倉岡
3	診療報酬改定への看護職の関与 【授業方法】ライブ授業 【予習】60分：テキスト第3章第4章、コラムp110～111を読んでくる。 【担当】倉岡
4	日本看護協会、日本看護連盟と看護政策 【授業方法】ライブ授業 【予習】60分：テキスト第3章第4章、コラムp46、48、65、75を読んでくる。 【担当】倉岡
5	政策提言コンペティションの準備①（個人での文献検討とグループ形成） 【授業方法】グループワークオ プレゼンテーション 【予習】60分：教員が提示したテーマから1つ選び、関連する文献を調べる。 【担当】倉岡
6	政策提言コンペティションの準備②（グループでの検討） 【授業方法】グループワークオ プレゼンテーション 【復習】60分：グループで検討した政策を洗練させる。 【担当】倉岡
7	政策提言コンペティションの準備③（グループで発表資料作成） 【授業方法】グループワークオ プレゼンテーション 【復習】60分：発表資料の作成 【担当】倉岡
8	政策提言コンペティション/定期試験へのフィードバック 【授業方法】ライブ授業（発表・討議） 【予習】60分：発表資料の作成 【担当】倉岡

先行履修科目

なし

テキスト

見藤隆子他著：看護職者のための政策過程入門第2版．日本看護協会出版会，2017．

参考文献

日本看護協会出版会編：日本看護協会の政策提言活動．日本看護協会出版会，2010．
田村やよひ著：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法第2版．日本看護協会出版会，2015．

評価方法

授業への参加度（20％）、プレゼンテーションの内容（20％）、レポート（60％）で評価する。

教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、政策決定において看護職として意見を反映させるための基礎的知識について講義します。

メッセージ

学生の皆さんにとって政策は、なじみがうすく、看護とのつながりも分かりにくいかもしれません。しかし、看護師がベッドサイドで提供する看護に、政策は大きく影響しています。対象者によりよい看護を提供したいと考えたときに、今ある制度や政策を変えること（政策的アプローチ）で実現できる可能性も大きくあります。皆さんが、将来、政策的アプローチで看護を変えていけるよう、本科目では看護政策の基礎的知識を学びます。さらに、本科目は社会と看護とのつながりを考えるよい機会にもなります。

看護教育

更新日：2021/09/21 16:27:55

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	NIN408		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630700
担当教員	阿部 オリエ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護学教育の歴史的変遷を踏まえ、その目的、達成に向けた看護教育制度および教育課程について基礎的な理解を深め、看護学教育の今日的課題について考察する。

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	看護学教育を学ぶ意義について理解できる
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題について説明できる
3	看護教育制度の歴史的変遷を理解し、社会情勢との関連において説明できる
4	看護教育の仕組みと課題を理解し、看護学を大学で学ぶ意味について説明できる
5	看護学教育を具体化するためのカリキュラムの概要について説明できる
6	看護学教育の今日的課題について考察し、今後の展望について自己の考えを述べることができる

授業計画

1	看護教育学を学ぶ意義/看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（１） 【授業方法】講義 【予習】６０分：看護職は専門職といえるのか、文献などを活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（２） 【授業方法】講義 【予習】６０分：制度も含め、新人看護職員に対する支援がどのように行われているか調べる 【担当】阿部
3	看護教育制度の歴史的変遷（１） 【授業方法】講義 【予習】６０分：看護六法を参照し、看護制度の変遷について概要をまとめる 【担当】阿部
4	看護教育制度の歴史的変遷（２）、看護教育に関するTOPICS 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】６０分：看護大学が増えた理由について、統計などの資料を活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
5	看護教育の仕組みと課題（１） 【授業方法】講義 【予習】６０分：最も興味のある国の看護教育制度について調べ、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
6	看護教育の仕組みと課題（２） 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】６０分：看護基礎教育における課題について、自己の考えをまとめる（課題レポートにつなげる） 【担当】阿部
7	看護学教育を具体化するためのカリキュラムについて 【授業方法】講義、グループワーク 【予習】６０分：カリキュラムとは何かについて調べる 【復習】６０分：本学カリキュラムの良い点と改善点について、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
8	看護学教育の今日的課題と今後の展望について考える・課題のフィードバック 【授業方法】講義、グループワーク 【予習】９０分：課題レポートのテーマについて考え、必要な文献・資料を収集する 【復習】１８０分：課題レポートの作成を行う 【担当】阿部

先行履修科目

なし

テキスト

看護行政研究会編：看護六法 令和３年版．新日本法規，2021．

参考文献

開講時、文献リストを配布する

評価方法

授業への参加度・予習（40％）、課題レポート（60％）により総合的に評価する

教員等の実務経験

看護師の臨床経験があり、看護教育学を探究している教員が、その経験を活かして、看護の統合科目である『看護教育』について講義を行います

メッセージ

看護と教育がどのように関係し合っているか、皆さんは考えたことがありますか？看護教育とは、いつ、どこで、誰が、何の目的で始めたのでしょうか？看護教育が始まる前に、看護は存在していなかったのでしょうか？この授業では、皆さんがこれまで学習してきたこと、これから学習していくことをふまえ、看護教育の歴史的変遷、現在、将来的な展望について考察を深める授業となります。よって、選択科目ではありますが、看護学生として、皆、受講してもらう必要がある科目と考えています。看護は学習することで成立します。学習とは、専門職である以上、生涯かけて行う営みです。現在だけではなく、今後、看護職としてどのように学習していけばよいのかを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。きっと、社会に出た時に役に立ったり、拠り所になると思います

緩和ケア

更新日：2021/09/21 16:28:15

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	NIN302		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630800
担当教員	中村 光江						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

苦痛を有する患者および家族の特徴を理解し、患者や家族にとってできる限り望ましいＱＯＬを実現するために必要な理論、ケア技術について学ぶ。また、緩和ケアチームにおける看護職者の役割を理解する。

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	緩和ケアの特徴と意義を説明できる。
2	生命を脅かす病苦を持つ人およびその家族の特徴を説明できる。
3	全人的ケアについて説明できる。
4	緩和ケアにおけるチームアプローチと看護の役割について説明できる。
5	緩和ケアにおける倫理的課題について説明できる。

授業計画

1	緩和ケアの特徴と意義 【授業方法】講義・小テスト 【予習】３０分：テキスト第1章を精読。 【復習】６０分：授業内容をまとめる。小テストの復習 【担当】中村
2	緩和ケアにおけるチームアプローチ・看護の役割と特徴 【授業方法】講義・ディスカッション・小テスト 【予習】３０分：テキスト第2章を精読。 【復習】６０分：授業内容をまとめる。小テストの復習 【担当】中村
3	全人的ケアの実践（１）身体的ケア・心理的ケア・コミュニケーション 【授業方法】講義・小テスト 【予習】３０分：テキスト第3章、第5章A、Bを精読。 【復習】６０分：授業内容をまとめる。小テストの復習 【担当】中村
4	全人的ケアの実践（２）社会的ケア・スピリチュアルケア 【授業方法】講義・小テスト 【予習】３０分：テキスト第5章C、Dを精読。 【復習】６０分：授業内容をまとめる。小テストの復習 【担当】中村
5	緩和ケアの広がりー療養の場・様々な疾患ー 【授業方法】講義・小テスト 【予習】３０分：テキスト第６章を精読。 【復習】６０分：授業内容をまとめる。小テストの復習。 【担当】中村
6	家族へのケア 【授業方法】講義・小テスト 【予習】３０分：テキスト第8章を精読。 【復習】６０分：授業および小テストの復習。 【担当】中村
7	緩和ケアにおける倫理的課題 【授業方法】講義・小テスト 【予習】６０分：テキスト第４章を精読。 【復習】３０分：授業および小テストの復習。 【担当】中村
8	臨死期のケア・小テストへのフィードバック 【授業方法】講義・小テスト 【予習】６０分：テキスト第７章を精読。 【復習】６０分：科目全体の総復習。課題レポート作成。 【担当】中村

先行履修科目

なし

テキスト

田村恵子編：緩和ケア 第3版．医学書院，2020．

参考文献

梅田恵，射場典子編：緩和ケア 改訂第2版．南江堂，2018．
kübler - Ross, E. : On Death and Dying. 1969, 鈴木晶 訳：死ぬ瞬間―死とその過程について．中央公論新社，2001．
広瀬寛子：悲嘆とグリーフケア．医学書院，2011．
小西恵美子編：看護倫理 改訂第2版．南江堂，2014．
NHKエンタープライズ：がん看護専門看護師 田村恵子の仕事 希望は、必ず見つかる, 2009. (DVD)

評価方法

定期試験（80％）、レポート（20％）

※ 授業形態の変更がある場合、評価方法についても変更の可能性あります。

教員等の実務経験

緩和ケア、ターミナルケアの分野で看護師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。

メッセージ

現在の日本は超高齢社会であり多死社会でもあります。最後まで自分らしく生きることについて考える人々が増え、緩和ケアやエンド・オブ・ライフケアへのニーズも高まっています。本科目では既習の看護学およびその他諸学の知識を活かして、緩和ケアおよびエンド・オブ・ライフケアについて考えます。自らの死生観および看護者としての姿勢を問い直し、より深い人間理解に基づいた看護を目指しましょう。

看護管理

更新日：2021/09/21 18:52:48

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	NIN304		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	630900
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

質の高い看護サービスを提供するための、システムやマネジメントに必要な基礎知識を学習し、リーダーシップやマネジメントを理解する。

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	看護管理のプロセスについて説明できる。
2	看護師の仕事とその管理、看護管理に求められる能力について説明できる。
3	看護の質向上のために必要な知識について説明できる。
4	看護職の教育制度と人材育成について説明できる。
5	看護活動を取り巻く法律・制度を説明できる。

授業計画

1	看護管理の基本となるもの① 1. 看護管理とは 2. 看護管理の基盤となる知識 3. 看護管理のプロセス 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章、第2章を読んでくる。 【担当】倉岡
2	看護管理の基本となるもの② 4. 市民・多職種との連携・協働 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第2章を読んでくる。 【担当】倉岡
3	看護師の仕事とその管理 資源管理 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章を読んでくる。 【担当】倉岡
4	看護管理に求められる能力 1. 集団に働きかけるスキル 2. 看護管理能力の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第5章を読んでくる。 【担当】倉岡
5	看護の質保証 1. 看護管理と倫理 2. 医療・看護の質と評価 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第4章を読んでくる。 【担当】倉岡
6	看護職の教育制度と人材育成 1. 看護の教育体系 2. 看護職としてのキャリア 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第6章を読んでくる。 【担当】倉岡
7	看護活動を取り巻く法律・制度 1. 医療保険制度 2. 看護管理に関連する法律 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第7章、第8章を読んでくる。 【担当】倉岡

8	看護管理の総括（学生によるプレゼンテーションと討議）/小テストへのフィードバック 【授業方法】 講義（発表・ディスカッション） 【予習】 60分：プレゼンテーションの準備をする。 【担当】 倉岡

先行履修科目

3年前期に開設するすべての必修科目

テキスト

吉田千文他編：ナースング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理。メディカ出版、2018.

参考文献

上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践（1）第9版。医学書院、2013.
 他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業参加度（授業中の発言など）（15%）、プレゼンテーションの内容（5%）、定期試験（80%）で評価する。

教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、組織的に質の高い看護サービスを提供するための基礎的知識について講義します。

メッセージ

看護管理は、看護管理者だけに必要な知識ではなく、一人一人の看護師にも必要とされる知識やスキルです。基礎教育での最終段階でこの科目を学ぶことは今後、看護職者として働く皆さんの実践をよりよいものにすると考えます。
 各回で、皆さんに考えていただきたいポイントを提示します。看護管理に関する理論を深く理解するために、能動的に参加してください。

看護研究方法

更新日：2021/03/05 13:38:20

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	NIN303		
学年	3	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	631000
担当教員	梶原 弘平, 石飛 マリコ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文（原著）のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。
2	研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。
3	研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬研究計画書を作成できる。
4	研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。
5	看護研究論文のクリティークが実施できる。

授業計画

1	看護研究の意義と役割/研究の基本的な考え方 【授業方法】科目オリエンテーション、講義 【予習】60分：テキスト第1章B「研究とは」を事前に読む 【復習】30分：研究の基本的事項をまとめる 【担当】梶原
2	論文の種類と読み方/論文検索 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章「文献検討」、第9章「研究結果の活用」を事前に読む 【復習】30分：論文の種類と特徴をまとめる 【担当】梶原
3	研究プロセスの概観/研究の問い（研究課題）/研究枠組みと仮説 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第2章「研究過程の概観」、第4章「概念枠組みと仮説」を事前に読む 【復習】30分：Research Questionについてまとめる 【担当】梶原
4	研究デザインの位置づけ/研究デザインの種類 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第5章「研究デザイン」を事前に読む 【復習】30分：Research Questionと研究デザインの関係についてまとめる 【担当】梶原
5	論文の構成/論文の書き方/研究倫理の確保（倫理的配慮） 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章D「研究における倫理の考え方と対応」,E「研究対象者の権利と倫理審査体制」,第9章C「研究論文の構成方法」を事前に読む 【復習】60分：論文の構成、論文の書き方（研究倫理の確保を含む）をまとめる 【担当】石飛
6	量的研究① データの収集、母集団と標本 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第7章「データの収集」を事前に読む 【復習】60分：量的研究の特徴、データの種類と質問紙法 【担当】梶原
7	量的研究② データの分析/記述統計 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第8章「データの分析」を事前に読む 【復習】60分：記述統計と推定統計、仮説の立て方 【担当】梶原

8	量的研究③ 推定統計 【授業方法】講義 【予習】60分：第7回の内容を整理し、テキスト第8章「データの分析」を読む 【復習】60分：推定統計の種類を提示し、どういう場合に用いるのか事例を考える 【担当】梶原
9	質的研究① 質的研究とは/質的研究の特徴 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第10章「質的・帰納的研究」を事前に読む 【復習】60分：質的研究の特徴についてまとめる 【担当】石飛
10	質的研究② 質的研究のデータ/質的研究の課題 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第10章「質的・帰納的研究」を事前に読む 【復習】60分：質的データの特徴及び収集方法についてまとめる 【担当】石飛
11	よい論文とは/論文クリティーク 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第9章「研究結果の活用」を事前に読む 【復習】60分：提示された2つの研究論文（量的研究・質的研究）を熟読し、クリティークの準備をする 【担当】梶原
12	指定論文（量的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・グループワーク 【予習】120分：指定論文（量的研究）の熟読/クリティーク 【復習】60分：指定論文（量的研究）に対するクリティークをまとめ、期日（講義内で説明）までに提出する 【担当】梶原 石飛
13	指定論文（質的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・グループワーク 【予習】120分：指定論文（質的研究）の熟読/クリティーク 【復習】60分：指定論文（質的研究）のクリティークをまとめ、期日（講義内で説明）までに提出する 【担当】石飛 梶原
14	研究計画書の書き方 【授業方法】講義・研究計画書作成課題の提示 【予習】60分：テキスト第6章「研究計画書」を事前に読み、指定論文の計画書部分を調べる 【復習】60分：研究計画書作成の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成開始 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原
15	研究倫理の確保/研究計画書への倫理的配慮の記載 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章D「研究における倫理の考え方と対応」,E「研究対象者の権利と倫理審査体制」,第9章C「研究論文の構成方法」を事前に読む 【復習】60分：研究計画書に必要な倫理的配慮、および量的研究、質的研究の特徴に応じた研究倫理の確保の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】石飛
16	研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスションについて熟考）① 【授業方法】講義・グループワーク 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習 【復習】60分：研究計画書作成 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原 石飛
17	研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスション及び研究目的の決定）② 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成）/リサーチクエスションの検討 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【復習】60分：自身の疑問と文献検討に基づいてリサーチクエスションを明確化し、研究目的を決定し記述する 【担当】梶原 石飛
18	研究計画書作成（文献検索・研究目的に応じた研究方法の検討）③ 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成） ※ 文献検討は、主として、研究目的に応じた研究方法を検討するため 【復習】60分：研究目的に応じた研究方法を検討する。決定した内容を研究計画書に記述する 研究計画書第1回目を期日（講義内で説明）までに提出 【担当】梶原 石飛
19	指定論文（量的研究）のクリティークへのフィードバック 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究）のクリティークの見直し 【復習】60分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】梶原

20	指定論文（質的研究）のクリティークへのフィードバック 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究）のクリティークの見直し 【復習】60分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】石飛
21	研究計画書へのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：提出した研究計画書を見直し、自身の研究目的を達成できる最適の研究計画とし、研究全体の一貫性を確保するためにはどのように修正すればいいのか検討しておく。 【復習】120分：研究計画書修正に必要な文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成）を実施したうえで研究計画書を修正する。 ※ 修正した最終の研究計画書を期日(講義内で説明)までに提出 【担当】梶原 石飛
22	看護研究のプロセスについてのまとめ/研究計画書へのフィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】60分：研究を計画するうえでの重要事項を整理する 【担当】梶原 石飛
23	優秀論文から学ぶ 【授業方法】優秀論文の発表会に参加し、看護研究を実施するうえでの留意点を学ぶ 【予習】60分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】60分：優秀論文から学んだ内容をレポートにまとめる 【担当】梶原 石飛

先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

南裕子編：看護における研究 第2版．東京，日本看護協会出版会，2017．

参考文献

坂下玲子他：系統看護学講座 別巻 看護研究．東京，医学書院，2016．

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step 第5版．東京，医学書院，2017．

ビヴァリー M. ヘンリー：看護研究ハンドブッカーヘルスケアの質改善のために．東京，医学書院，2004．

他、適宜提示する

評価方法

1～21回は前期に、22、23回目は後期に開講する。

評価はレポート（100%）で、内訳は、クリティークに関するレポート（20%）、研究計画書（提出1回目20%、2回目50%）、レポート：優秀論文から学んだこと（10%）とする。

レポートの提出は、前期に2回（クリティークに関するレポート2編、研究計画書1回目）後期に2回（研究計画書最終提出、レポート：優秀論文から学んだこと）とする。レポートの提出の期日は講義内で説明しますので、提出期限は厳守する。

教員等の実務経験

看護研究を継続してきた教員が、その経験を活かして看護研究方法の授業を実施する。

メッセージ

本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館での指導も活用し、文献データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。4年次の卒業研究のためだけでなく、就職後も看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学びましょう。

卒業研究

更新日：2021/02/09 13:25:30

開講年度	2021	学期	通年	ｼﾗﾊﾞｽｺｰﾄﾞ	NIN402		
学年	4	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	631100
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子, 倉岡 有美子, 高瀬 文広, 高橋 清美, 永松美雪, 中村 光江, 中山 晃志, 姫野 稔子, 柳井 圭子, 阿部 オリエ, 石飛 マリコ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 小野 ミツ, 梶原 弘平, 西村 和美, 原田 紀美枝, 木村 涼平, 小手川 良江, 苑田 裕樹, 園田 希, 西尾 美登里, 西山 陽子, 福田 陽子, 山本 孝治, 東 優里子, 上野 満里, 衛藤 泰秀, 鬼丸 美紀, 鎌田 ゆき, 鴨川 めぐみ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高堂 香菜子, 千原 明美, 橋本真貴子, 福島 綾子, 宮川 淳子, 山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

4年間の学習過程で培われた自己の問題意識を、既習知識と文献検索の結果を活用して、研究上の問い、研究テーマへと発展させ、それらへの答えを探索する過程を通し、論理的・科学的探究方法の基礎的能力を育成する。

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	これまで体験した看護実践を踏まえてResearch Questionを立てることができる。
2	Research Questionを明らかにするための研究計画を立案することができる。
3	研究のプロセスに沿って自らを律し積極的に研究を遂行することができる。
4	研究における倫理的問題を考慮し、基本的人権を擁護することができる。
5	研究結果を論文にまとめることができる。

授業計画

1	学生は、主体的かつ計画的に下記のとおり研究を実施する。実施過程において、適宜教員にアポイントを取り、助言を受けながら進める。 【授業方法】 演習 1. Research Questionの設定 授業科目「看護研究方法」で学修した内容を踏まえ自ら関心のあるResearch Questionを設定する。 2. 研究計画書作成【提出期限：7月30日金曜日】 1) 設定したResearch Questionについて研究計画書作成例に基づき研究計画書を作成する。 2) 研究計画書は提出期限までに指導教員に提出する。 3) 研究対象が患者、住民、家族などの人を対象とする場合は本学研究倫理審査委員会および臨床側が指定する研究倫理審査機関の規定に基づき倫理審査申請を行う。 3. データ収集・分析 作成した研究計画書に基づき実施する。 4. 論文作成および抄録の提出【提出期限：10月29日金曜日】 1) 研究論文本文と抄録は作成規定に従い作成する。 5. 卒業研究へのフィードバック 提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰する。12月に全体に対するフィードバックと全学年対象に優秀論文の発表会を開催する。

先行履修科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

看護研究方法で使用したテキスト

評価方法

卒業研究ルーブリック評価（ディプロマポリシーにもとづく）（40％）、研究計画書（20％）、論文本文および抄録（40％）

教員等の実務経験

看護職の臨床経験のある教員やリベラルアーツの各分野に精通した教員が、その経験を活かして、卒業研究の指導を行います。

メッセージ

提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出医、優秀論文として表彰します。選ばれた学生には、12月の優秀論文発表会で研究への取り組みと結果について発表していただきます。

看護技術 V

更新日：2021/09/30 16:35:57

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	NIN409		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	631200
担当教員	西村 和美, 西山 陽子, 山本 孝治, 鎌田 ゆき, 鈴鹿 綾子, 中村 光江, 苑田 裕樹, 福田 陽子, 福島 綾子, 衛藤 泰秀, 鴨川 めぐみ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

専門性のある看護職者として必要な知識・技術等の能力が身についているか客観的評価を行うとともに、自らの課題解決に向けて取り組む。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自己の看護実践能力を明らかにしたうえで、課題解決および能力の向上に向け、実践的な看護を学ぶ取り組みができる。
2	状況判断が必要なシナリオを検討し、既習の知識や技術、経験をもとに必要な臨床技術を考え、観察、実践、報告できる。
3	客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination:OSCE)への取り組みを通して、専門性のある看護職者としての今後の課題を明確にできる。

授業計画

1	ガイダンス・事例提示 【授業方法】講義 【復習】120分：現時点における自己の看護実践能力を明らかにし、課題を見出す 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 福田
2	事例に基づく技術演習（在宅・母性①） 【授業方法】演習 【予習】60分：事前課題として、事例に関する人体の構造と機能、疾病と治療、事例の疾患の進行状況等を調べ、まとめる 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】西村 鎌田 福田
3	事例に基づく技術演習（在宅・母性②） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：事例の対象をアセスメントし、ディスカッションを通して適切な看護ケアを考察する 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】西村 鎌田 福田
4	事例に基づく技術演習（在宅・母性③） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：事例の対象をアセスメントし、ディスカッションを通して適切な看護ケアを考察する 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】西村 鎌田 福田
5	事例に基づく技術演習（クリティカル①） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：予測できる場面を想定した予習、演習ノート（フィジカルアセスメントを含む） 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】苑田 福島 衛藤 鴨川
6	事例に基づく技術演習（クリティカル②） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：予測できる場面を想定した予習、演習ノート（フィジカルアセスメントを含む） 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】苑田 福島 衛藤 鴨川
7	事例に基づく技術演習（慢性①） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：事前課題として、事例に関する人体の構造と機能、疾病と治療、事例の疾患の進行状況等を調べ、まとめる。課題の中から提出する項目と提出方法は科目オリエンテーション時に周知する 【復習】60分：事前学習において不足していた内容を追加学習する 【担当】中村 西山 山本 鈴鹿
8	事例に基づく技術演習（慢性②） 【授業方法】演習(実技、ディスカッション、グループワーク) 【予習】60分：事例の対象をアセスメントし、ディスカッションを通して適切な看護ケアを考察する 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】中村 西山 山本 鈴鹿

9	事例に基づく技術演習（慢性③） 【授業方法】演習（実技、ディスカッション、グループワーク） 【予習】60分：事例の対象をアセスメントし、ディスカッションを通して適切な看護ケアを考察する 【復習】60分：事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】中村 西山 山本 鈴鹿
10	事例に関連した看護技術（OSCEを含め）のオリエンテーション 【授業方法】講義 【復習】事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療、関連法規、社会保障等を復習、原理・原則に基づく看護技術の復習 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 苑田 福田 福島 衛藤 鴨川
11	事例に関連した看護技術を統合した技術演習 【授業方法】演習（対面） 【事前練習】3時間：これまでの事例に基づく技術演習を振り返り、原理・原則に基づく看護技術の復習および演習ノートの整理 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿
12	事例に関連した看護技術（OSCEを含め）を統合した技術試験 【授業方法】演習（対面） 【事前練習】3時間：これまでの事例に基づく技術演習を振り返り、原理・原則に基づく看護技術の復習および演習ノートの整理 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 苑田 福田 福島 衛藤 鴨川
13	事例に関連した看護技術（OSCEを含め）を統合した技術試験 【授業方法】演習（対面） 【事前練習】3時間：これまでの事例に基づく技術演習を振り返り、原理・原則に基づく看護技術の復習および演習ノートの整理 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 苑田 福田 福島 衛藤 鴨川
14	事例に関連した看護技術を統合した技術演習 【授業方法】演習（対面） 【事前練習】3時間：事例に基づく技術試験を振り返り、原理・原則に基づく看護技術の復習および演習ノートの整理 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 苑田 福田 福島 衛藤 鴨川
15	まとめ 技術試験のフィードバック 1）技術試験のフィードバック（対面） 2）演習を通して、自己の課題を明確にし、課題解決に向けた取り組みを考察する 3）情報や研究成果を活用し、看護実践能力とは何かについて考察する 【授業方法】講義 【予習】60分：看護実践能力における自己の課題を明確にし、今後の取り組みについてまとめる 【担当】西村 西山 山本 鎌田 鈴鹿 中村 苑田 福田 福島 衛藤 鴨川

先行履修科目

なし

テキスト

これまでに使用した講義・演習に関連するテキスト

参考文献

これまでに使用した講義・演習・実習の資料や関連するテキスト

評価方法

事例への取組（60％）、技術試験（40％）

教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、さまざまな看護活動について講義します。

メッセージ

自らの課題解決に向けて積極的に取り組みましょう。

専門性強化演習Ⅱ

更新日：2021/03/17 11:53:51

開講年度	2021	学期	前期	ｼﾗﾊﾞｽｺｰﾄﾞ	NIN403		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	631300
担当教員	石飛 マリコ, 上野 満里, 高瀬 理恵子, 高橋 清美, 倉岡 有美子, 永松美雪, 中村 光江, 姫野 稔子, 阿部 オリエ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 梶原 弘平, 原田 紀美枝, 西村 和美, 小手川 良江, 苑田 裕樹, 園田 希, 西尾 美登里, 西山 陽子, 福田 陽子, 山本 孝治, 東 優里子, 衛藤 泰秀, 鬼丸 美紀, 鎌田 ゆき, 鴨川 めぐみ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高堂 香菜子, 千原 明美, 橋本真貴子, 福島 綾子, 宮川 淳子, 山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

- 1．健康課題を持つ人々への看護を探究するために、これまで学んだ知識や技術を統合させ、専門的な技能を獲得する。
- 2．地域で生活する人々への看護を探究するために、地域包括ケアシステムを学び、多職種連携・協働およびケアマネジメントについて理解する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自身の看護実践に対する興味・関心や自己の課題に基づき、実習で取り組む看護実践を明確にできる。
2	実習目標を設定し、その達成に向けた実習計画を具体的に立案できる。
3	地域包括ケアの必要性を説明できる。
4	ケアマネジメントの概念とプロセスについて説明できる。
5	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態に応じた支援について説明できる。

授業計画

1	専門性強化演習Ⅱコースガイダンス（看護の統合実習・地域包括ケア実習合同） 【授業方法】演習 【予習】60分：実習要項を読み、自己課題を整理してくる。 【担当】園田・上野
2	既習の臨地実習や学内実習を通して学んだ看護を学生カンファレンスや教員からの指導を受けてリフレクションし、自己の学習課題を明確にする 学習課題を明確にするためにリフレクションを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】60分：実習計画書の作成 【復習】30分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
3	看護の統合実習計画立案1（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目的の明確化と実習目標の設定） 自己の学習課題を明確にし、実習目的の明確化と実習目標の設定を行う。演習の中で、実習目的や実習目標に関するフィードバックを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】60分：実習計画書の作成 【復習】30分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
4	看護の統合実習目標達成に向けて必要な知識の習得 関心のある看護実践について文献等で学習をする。演習の中で、学習した内容に関してフィードバックを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】60分：実習計画書の作成 【復習】30分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
5	看護の統合実習計画2（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】60分：実習計画書の作成 【復習】30分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
6	看護の統合実習計画3（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】60分：実習計画書の作成 【復習】30分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員

7	看護の統合実習計画4（学生カンファレンスや教員・臨床指導者からの指導を受け実習計画を修正する） 学生カンファレンスや教員・臨床指導者の指導をもとに実習計画を修正する。演習の中で、実習計画の修正に関してフィードバックを行う。 【事前学習】 学生カンファレンスや教員・臨床指導者より指導を得るための実習計画書案を作成する。 【授業方法】 演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】 60分：実習計画書の作成 【復習】 30分：実習計画書の修正 【担当】 実習指導担当教員
8	学生カンファレンスや教員の指導に基づき実習計画を完成させる 【授業方法】 演習 【事前準備】 60分：助言・指導を受けた内容をまとめ、実習計画書の改善点を明らかにする。 【復習】 60分：実習計画書の修正 【授業方法】 実習計画書の改善点を反映させ、実習計画を完成させる。 ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【担当】 実習指導担当教員
9	地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得1（地域包括ケアシステムについて） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：地域包括ケアシステムについて文献等で学修し1600字程度に要約する。 地域包括ケアシステムの現状と課題について、自己の考えと他者の意見を区別して1600字程度に記述する。 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 実習指導担当教員
10	地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得2（ケアマネジメントについて） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：ケアマネジメントの定義とプロセスなどを文献等で学修し1600字程度に要約する。 ケアマネジメントの現状と課題について、自己の考えと他者の意見を区別して1600字程度に記述する。 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 実習指導担当教員
11	地域包括ケア実習目標達成に向けて必要な知識の習得3－1（多職種連携/協働、チームアプローチについて） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分 多職種連携/協働、チームアプローチについて文献等で学修し1600字程度に要約する。 多職種連携/協働、チームアプローチの現状と課題について、自己の考えと他者の意見を区別して1600字程度に記述する。 【復習】 60分 演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 実習指導担当教員
12	地域包括ケア実習に必要な知識の習得3－2（多職種連携/協働、チームアプローチ） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：前回のレポートを振り返り、明らかになった課題に取り組む。 アウトリーチについて文献等で学修し1600字程度に要約する。 アウトリーチの現状と課題について、自己の考えと他者の意見を区別して1600字程度に記述する。 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 ゲストスピーカー 実習指導担当教員
13	地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得4（地域包括ケアシステム構築の取り組みの実際） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：地域包括ケアシステム構築の取り組みの実際について、所定の資料から2事例を選択し自分なりに工夫して3200字程度で述べる。 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 実習指導担当教員
14	地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得5－1（実習施設と実習施設所在地の概況） 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：実習施設所在地の概況・実習施設の活動をケアマネジメントの視点で自分なりに工夫して各1600字程度で述べる。 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 【担当】 実習指導担当教員
15	地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得5－2（実習施設と実習施設所在地の概況）演習のフィードバック 【授業方法】 演習（GW） 【事前準備】 60分：前回のレポートを振り返り、明らかになった課題に取り組む 【復習】 60分：演習で学んだ内容を活用してレポートの追加修正を行う。 演習のフィードバック、実習オリエンテーションを行う。 【担当】 実習指導担当教員

先行履修科目

なし

テキスト

看護の統合実習のための演習 特に指定しない。

地域包括ケア実習のための演習（地域包括ケア実習で使用するテキスト）

宇都宮宏子：退院支援ガイドブック．2018，学研プラス．

参考文献

実習テーマに関する文献は、学生各自で収集し、活用する。

評価方法

看護の統合実習のための演習（2回から8回）：実習計画書作成30% 取り組み姿勢20%
地域包括ケア実習のための演習（9回から15回）：課題レポート30% 取り組み姿勢20%

教員等の実務経験

看護の臨床経験のある教員がその経験を活かして講義演習を行います。

メッセージ

講師の都合により、講義の順序が変更に可能性がある。

地域包括ケア実習

更新日：2021/02/26 16:32:52

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	NIN404		
学年	4	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	631400
担当教員	上野 満里, 小野 ミツ, 緒方 文子, 西村 和美, 西尾 美登里, 鎌田 ゆき, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動の実際について、多職種連携/協働によるチームアプローチの視点から学ぶとともに健康に寄与する看護職の役割を理解する。
また、地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアの意義を学ぶとともに、将来の地域ケアシステムのあり様を考える。

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動における多職種連携/協働によるチームアプローチを説明できる。
2	地域で生活する人々に対するケアマネジメントと看護職の役割を説明できる。
3	地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアシステムについて説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康段階に応じた将来の地域ケアシステムのあり様を考察することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】 2時間：1. 地域包括ケアシステムについて 2時間：2. ケアマネジメントについて 2時間：3. 多職種連携/協働におけるチームアプローチについて 2時間：4. 地域ケアシステムについて 2時間：5. 自分が実習する施設と所在地の概要について 辞書・辞典を活用して言葉の意味を正確に理解する。 在宅看護Ⅰ・Ⅱ、地域看護Ⅰ・Ⅱ、社会福祉、小児看護、老年看護、精神看護等の講義内容の復習を行う。 【復習】 2時間：毎日の実習で学んだことを実習目的・目標を参考に整理をする。 臨地実習で明らかになった自己の課題に取り組む。 明日の実習内容の確認と準備を行う。 【フィードバック】 各クール1週目は地域包括ケアシステムにおける実習施設のケアマネジメント、2週目は地域包括ケアシステムにおける実習施設のケアマネジメントと地域ケアシステムについてフィードバックを行う。 【担当】上野・小野・緒方・西村・西尾・鎌田・宮川
2	1. 実習期間 1クール：2021年5月17日（月）～5月28日（金） 2クール：2021年5月31日（月）～6月11日（金）
3	2. 実習方法 実習期間は2週間（10日間）で臨地8日間学内2日間で構成する。 事前学習、臨地実習、学内実習を通して地域保健医療福祉活動と看護職が行うケアマネジメント及び多職種連携/協働によるチームアプローチの実際と現状の課題について総合的に学ぶ。また、地域包括ケアシステムの現状と課題及び将来の地域ケアシステムのあり様を考える。
4	3. 実習場所 宗像市、北九州市、福岡市などの病院及び地域看護関連施設とし、詳細は別途資料を配布する。原則、学生1名につき2か所の臨地施設での実習となる。 1) 医療機関の地域医療連携室・入退院支援センターなど 2) 居宅介護支援事業所 3) 地域包括支援センター 4) 在宅ケア関連施設 5) 地域で生活する障害児者への地域支援サービス

先行履修科目

3年次後期までに開講されているすべての必修科目の単位をすべて修得していること。

テキスト

宇都宮宏子：退院支援ガイドブック，学研プラス，2018．

参考文献

厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2018/2019.厚生労働統計出版会，2018.
佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学.メヂカルフレンド社，2019.
標美奈子他 編：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論.医学書院，2019.
実習に関する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

最終レポート50%、実習評価表50%

教員等の実務経験

臨床・公衆衛生看護の経験のある教員の支援の下、保健医療福祉活動の対象や地域の特性に合わせたケアマネジメントの実際に関する実習を行います。

メッセージ

看護の統合実習

更新日：2021/01/14 16:46:13

開講年度	2021	学期	前期	シラバスコード	NIN405		
学年	4	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	631500
担当教員	石飛 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美, 倉岡 有美子, 永松美雪, 中村 光江, 姫野 稔子, 阿部 オリエ, 石山 さゆり, 梶原 弘平, 原田 紀美枝, 小手川 良江, 苑田 裕樹, 園田 希, 西山 陽子, 福田 陽子, 山本 孝治, 東 優里子, 衛藤 泰秀, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高堂 香菜子, 千原 明美, 橋本真貴子, 福島 綾子, 山内 多恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

病院や施設で、臨床に即した看護を経験する中で、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自己の看護実践に対する探求課題に基づき、実習目標の設定と計画立案ができる。
2	実習計画を遂行するために、必要な関係者との交渉・調整ができる。
3	人間の尊厳と人権の擁護に配慮しながら、対象者の持つ健康問題に対して実習計画に基づき看護実践ができる。
4	チームアプローチや多職種連携の視点を用いて、医療チームの一員として看護師の役割を考察できる。
5	創造的に看護を探求するために、実習で経験した看護実践を記述して分析し、その成果をレポートにまとめることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】 60分：シラバスをよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 2週間程度：自らが選択したテーマに関連する領域の知識・技術を十分に振り返った上で臨地実習や学内実習へ臨む。 【担当】実習担当教員
2	実習方法 実習計画を立案し、主体的に実習を行う。 1．実習期間 臨地および学内での実習は、原則として2021年6月14日～7月16日の期間とする。 2．実習場所 病院・施設・学内 3．実習の進め方 立案した計画に基づき看護展開を行う。展開した看護を分析し、創造的に看護を探求した成果をレポートにまとめる。看護過程に関しては日々の指導の中でフィードバックを行い、展開した看護を分析し、創造的に看護を探求した成果に関してはレポートの指導を通し、フィードバックを行う。

先行履修科目

3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて修得していること。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

実習目標の達成度（50％）、実習への取り組み姿勢：（20％）、課題レポート（30％）を総合して評価を行う。

教員等の実務経験

看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を生かし、指導にあたります。

メッセージ

大学生活最後の実習になります。卒業までに解決すべき自己課題を明確にし、実践に即した実習ができるように、綿密な実習計画を立案し、より多くのことを吸収してきてほしいと思います。臨床指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、充実した実習にしていきましょう。

公衆衛生看護Ⅰ

更新日：2021/10/15 11:59:54

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	PHN301		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	640100
担当教員	緒方 文子, 小野 ミツ, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域で生活を営む対象(個人・家族・集団・地域) の健康に影響を及ぼす要因を理解し、地域特性と健康課題をアセスメントする方法を学習する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題を明確化するための方法やプロセスを理解することができる。
2	地域特性を把握するために必要な既存資料を収集することができる。
3	既存資料や住民インタビューの結果を分析・統合して地域特性を把握することができる。

授業計画

1	公衆衛生看護の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
2	公衆衛生看護の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
3	地域組織活動の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「7章：地域組織活動の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
4	地域ケアシステムの構築とネットワーク化 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「8章：地域ケアシステムの構築とネットワーク化」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
5	地域特性の把握1 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
6	地域特性の把握2 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
7	情報収集とアセスメント 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
8	福岡県及び宗像市の特性について：情報収集とアセスメント 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
9	情報の分析及び統合と診断 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：地域特性の把握」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
10	福岡県及び宗像市の特性について：情報の分析及び統合と診断 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
11	健康課題の抽出 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：地域特性の把握」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川

12	福岡県及び宗像市の特性について：健康課題の抽出 【授業方法】 グループワーク 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 小野、緒方、宮川
13	診断結果の発表1 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 小野、緒方、宮川
14	診断結果の発表2 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 小野、緒方、宮川
15	福岡県及び宗像市の特性について：フィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 小野、緒方、宮川

先行履修科目

なし

テキスト

中村裕美子他 編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術．医学書院，2020．
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022 厚生労働統計協会，2021．

参考文献

井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2019
佐伯和子 編：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第2版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案，医歯薬出版株式会社，2020
都築千景 編：地域特性がみえてくる 地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して，医歯薬出版株式会社，2020
金川克子他 編：地域看護診断 第2版．東京大学出版会，2011
エリザベス T. アンダーソン他 編：コミュニティアズパートナーモデル 第2版．医学出版，2007

評価方法

課題（70％）、授業参加度（30％）

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、地域診断についての講義を担当します。

メッセージ

この科目では講義の一部でデータ処理を行うため、情報機器の操作で学んだ内容を復習し、使い慣れた状態で講義に臨んでください。また、集計した結果を分析・統合して地域特性を把握する際には、既習科目で学んだ統計学や疫学Ⅰ、保健統計学の知識や技術が必要となります。

公衆衛生看護Ⅱ

更新日：2021/10/15 12:01:19

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	PHN302		
学年	3	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	640200
担当教員	緒方 文子, 小野 ミツ, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域において健康課題を持つ個人や集団にアプローチやエンパワメントするための知識を深め、看護活動方法や技術を学習する。

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	地域に暮らす個人・家族・集団が持つ健康への力を向上するための保健活動について理解できる。
2	地域で生活している個人の健康課題を明確化し、保健指導による支援活動の展開が理解できる。
3	地域で生活している家族に対し家庭訪問の場における支援活動の展開が理解できる。
4	地域で生活している集団に対し健康教育による支援活動の展開が理解できる。
5	地域の健康課題を解決するための施策化へのプロセスが理解できる。

授業計画

1	公衆衛生看護における機能と技術、公衆衛生看護における対象の理解 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「1章：公衆衛生看護における機能と技術」、「2章：公衆衛生看護における対象の理解」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
2	公衆衛生看護の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
3	対人支援活動の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「4章：対人支援活動の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
4	健康相談の展開 【授業方法】ロールプレイ 【予習】30分：教科書の「4章：対人支援活動の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
5	健康相談の展開：フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「4章：対人支援活動の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
6	家庭訪問による支援の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「5章：家庭訪問による支援の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
7	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）保健 【授業方法】ロールプレイ 【予習】30分：教科書の「5章：家庭訪問による支援の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
8	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）への支援 【授業方法】ロールプレイ 【予習】30分：教科書の「5章：家庭訪問による支援の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
9	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）保健：フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「5章：家庭訪問による支援の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
10	健康教育の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：健康教育の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川

11	企画書と指導案の作成 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：教科書の「6章：健康教育の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
12	シナリオと教材の作成 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：教科書の「6章：健康教育の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
13	シナリオと教材の作成 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：教科書の「6章：健康教育の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
14	健康教育の展開：健康教育の実施 【授業方法】ロールプレイ 【予習】30分：教科書の「6章：健康教育の展開」を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川
15	まとめ/フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：これまでに使用した資料を読んで授業に参加する。 【担当】小野、緒方、宮川

先行履修科目

なし

テキスト

中村裕美子他 編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 医学書院，2020.
松田正巳他 編：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院，2020.
厚生労働統計協会 編：厚生 の 指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022 厚生労働統計協会，2021.

参考文献

井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2019
村嶋幸代他 編：最新 保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術．メヂカルフレンド社，2015
金川克子他 編：最新 保健学講座 3 公衆衛生看護活動論 1．メヂカルフレンド社，2015
金川克子他 編：最新 保健学講座 4 公衆衛生看護活動論 2．メヂカルフレンド社，2015

評価方法

課題（70％）、授業参加度（30％）

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、公衆衛生看護技術について講義・演習を担当します。

メッセージ

実践の場面では対象と課題により支援手法が異なるため、既習科目の看護コミュニケーションや健康行動論を復習して講義に臨んでください。

公衆衛生看護III

更新日：2021/03/17 13:22:00

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	PHN401		
学年	4	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	640300
担当教員	小野 ミツ, 緒方 文子, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

地域保健活動が円滑に展開できるためのマネジメント機能と方法を学び、関係者と連携・協働して地域づくりを行い、地域ケアシステムを構築する方法について学習する。

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	公衆衛生看護管理の目的及びその機能を理解できる。
2	行政における保健福祉計画の策定プロセスが理解できる。
3	行政における健康危機管理が理解できる。

授業計画

1	公衆衛生看護の理念、公衆衛生看護の対象、公衆衛生看護の場 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書の「1章：公衆衛生看護の理念」、「2章：公衆衛生看護の対象」、「3章：公衆衛生看護の場」を読んで授業に参加する。 【担当】小野
2	社会環境の変化と健康課題 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「4章：社会環境の変化と健康課題」を読んで授業に参加する。 【担当】小野
3	公衆衛生看護活動の展開の基盤、公衆衛生看護活動の展開方法 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「5章：公衆衛生看護活動の展開の基盤」、「6章：公衆衛生看護活動の展開方法」を読んで授業に参加する。 【担当】緒方
4	保健医療福祉における事業化と施策化 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「7章：保健医療福祉における事業化と施策化」を読んで授業に参加する。 【担当】緒方
5	公衆衛生看護管理 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「8章：公衆衛生看護管理」を読んで授業に参加する。 【担当】宮川
6	健康危機管理 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：指定する課題を実施する。 【担当】宮川
7	健康危機管理 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：指定する課題を実施する。 【担当】宮川
8	公衆衛生看護の歴史/まとめ、フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「10章：公衆衛生看護の歴史」を読んで授業に参加する。 【担当】小野

先行履修科目

なし

テキスト

標美奈子他 編：標準保健師講座1 対象別公衆衛生看護概論．医学書院，2020
厚生労働統計協会 編：厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向2020/2021．厚生労働統計協会，2020

参考文献

中村裕美子他 編：標準保健師講座2 対象別公衆衛生看護技術．医学書院，2020

松田正巳他 編：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動．医学書院，2020

佐伯和子 編集：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第2版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案，医歯薬出版株式会社，2020

井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2019

金川克子他 編：最新 保健学講座 1 公衆衛生看護学概論．メヂカルフレンド社，2015

平野かよ子他 編：最新 保健学講座 5 公衆衛生看護管理論．メヂカルフレンド社，2015

社会保険実務研究所 編：週刊 保健衛生ニュース．社会保険実務研究所，2020

評価方法

定期試験（50％）、課題（40％）、授業参加度（10％）で総合的に評価する。

教員等の実務経験

保健師の臨床経験のある教員が、公衆衛生看護管理について講義を担当します。

メッセージ

健康増進のために取り組まれている国内外の動向について、新聞や雑誌，ニュースなどから情報収集を行いましょう。

公衆衛生看護実習

更新日：2021/01/26 10:21:42

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	PHN402		
学年	4	曜日/時限		単位数	5.0	科目コード	640400
担当教員	宮川 淳子, 小野 ミツ, 緒方 文子, 西村 和美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

授業の目的

これまでの学修を踏まえ、地方自治体を中心に、地域における対象（個人・家族・集団・組織・地域）の健康課題をアセスメントし、地域住民のQOL向上のために行われるヘルスプロモーション活動を学び、地域での看護実践を行う意義を理解するとともに基本的能力を獲得する。

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題や強みを把握する方法を修得することができる。
2	公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解することができる。
3	対象の健康ニーズを捉え、特性に応じた援助方法を修得することができる。
4	地域の保健・医療・福祉、その他の関係機関の役割と連携の実際を理解することができる。
5	住民の主体的な保健組織活動の実際を学び、健康施策への住民の参画の意義を理解することができる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】実習 【予習】18時間：以下の課題を事前に実施し実習に臨む 1）実習目標および実習計画を作成する。 2）実習する保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 3）参加する保健事業の事業内容と法的根拠について学習する。 4）健康教育の企画立案，指導案，シナリオ案，媒体案を作成する。 5）実習に必要な知識・技術の復習をする。 【担当】緒方・宮川・西村・小野
2	1）実習期間 2021年8月2日（月）～8月6日（金），8月23日（月）～9月17日（金） 225時間（5単位）
3	2）実習施設 学外の実習施設は，福岡県内の保健福祉環境事務所（保健所）および市区町村（保健センター等）である。
4	3）実習配置 別途配布
5	4）指導体制 学外実習では実習施設の指導者と教員が連携して指導を行う。
6	5）実習の進め方 実習の流れは市町村，保健所によって実習時間等の実習の進め方や留意点等が異なるため実習オリエンテーションで提示する。 実習目標および実習計画に沿って，毎日の行動計画を立案し主体的に学習をすすめる。
7	学修課題 以下の課題を事前に実施し実習に臨む （1）実習目標及び実習計画を作成する。 （2）実習する保健所管轄地域及び市町村について，必要な既存資料を入手し，データから地域アセスメントを行い，暫定的な地域の健康課題を抽出する。 （3）参加する保健事業の法的根拠と内容について学習する。 （4）健康教育の企画立案，指導案，シナリオ案，媒体案を作成する。 （5）実習に必要な知識・技術の復習をする。
8	フィードバック 実習終了後に公衆衛生看護実習での学習成果をまとめた成果報告会を実施する。

先行履修科目

なし

テキスト

一般社団法人日本ワクチン産業協会:予防接種に関するQ&A集 2020. 一般社団法人日本ワクチン産業協会,2020.
講義で使用したテキスト及び配布資料

参考文献

それぞれの政策に関する法律に関連する文献などは各自で検索・収集し、実習に活用する。

評価方法

課題（10％），実習参加度（健康管理含む）（10％），学習到達度，学習態度，実習記録等についてのルーブリック評価（80％）による総合評価とする。

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、実習指導を担当します。

メッセージ

地域診断や健康教育の準備では、グループメンバーと協力して計画的に進めていくように心がけてください。また、主体的に実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、積極的な姿勢で実習に臨んでください。

国際保健特論Ⅰ

更新日：2021/02/25 17:16:34

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	81010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	810100
担当教員	小川 里美, 守山 正樹, 緒方 文子						
学部/学科	大学院 修士課程 保健コース 国際保健						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

災害・国際協力、ヘルスプロモーションの分野における個人・集団の健康を多角的・構造的に捉えるために必要となる基本的な概念、諸理論、方法論を探究する。

到達目標

1	国際保健の基本的概念や動向を理解できる
2	ヘルスプロモーションにおいて活用できる概念、理論、方法・手法を理解できる
3	健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を理解する
4	個や集団の健康問題にアプローチする方法・手法について学び、その有効性と限界を理解できる

DPとの関連

DP1 ◎

DP2 ○

DP5 ○

授業計画

1	プライマリ・ヘルス・ケアの理念と概念 【授業内容】 アルマ・アタ宣言の分析 【授業方法】 講義 【担当】 守山
2	ヘルスプロモーションの理念と概念 【授業内容】 オタワ憲章の分析 【授業方法】 講義 【担当】 守山
3	社会保障とヘルスケアシステムの概要 【授業内容】 社会保障とヘルスケアの歴史的発展と検証 【授業方法】 講義 【担当】 守山
4	社会保障の理論と方法① 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 守山
5	社会保障の理論と方法② 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 守山
6	社会保障の理論と方法③ 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 守山
7	ヘルスプロモーションの理論・方法① 【授業内容】 ヘルスプロモーションで活用できる理論と方法について 【授業方法】 講義 【担当】 緒方
8	ヘルスプロモーションの理論・方法② 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 緒方
9	ヘルスプロモーションの理論・方法③ 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 緒方
10	ヘルスプロモーションの理論・方法④ 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 緒方

11	人間の安全保障の概念と背景 【授業内容】人間の安全保障の概念について 【授業方法】講義 【担当】小川
12	人間の安全保障と健康格差 【授業内容】人間の安全保障と指標、健康格差について 【授業方法】講義 【担当】小川
13	人間の安全保障と国際社会の取り組み 【授業内容】人間の安全保障の現状と国際機関の取り組みについて 【授業方法】講義 【担当】小川
14	人間の安全保障における国際連携の成果と課題① 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義 【担当】小川
15	人間の安全保障における国際連携の成果と課題② 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義 【担当】小川

学習方法

授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp (小川) ma-moriyama@jrckicn.ac.jp (守山)
a-ogata@jrckicn.ac.jp (緒方)

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・ Pender, Nola: Health Promotion in nursing practice (3rd ed) . 1996, 小西恵美子監訳：ベンダーヘルスプロモーション看護論．東京，日本看護協会出版会，1997．
- ・ Lynne E.Young, Virginia Hayes: Transforming Health Promotion Practice: Concepts, Issues and Applications. 2002, 高野順子, 北山秋雄 監訳：ヘルスプロモーション実践の変革 新たな看護実践に挑む．東京，日本看護協会出版会，2008．
- ・ Green, L. W. Kreuter, M: Health Program Planning: An Educational and Ecological Approach 4th ed.. 2005, 神馬征峰訳：実践ヘルスプロモーション－PR ECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価．東京，医学書院，2005．
- ・ Anderson, E.T. McFarlane J.: Community as Partner Theory and Practice in Nursing 4th ed.. 2014, エリザベス T. アンダーソン・ジュディス・マクファーレン編集，金川克子・早川和生監訳：コミュニティ アズ パートナー地域看護学の理論と実際（第2 版）．東京，医学書院，2007．
- ・ Leaning, J. et al.: Humanitarian Crises The medical and public health response. Cambridge, Harvard University Press, 1999.
- ・ 日本国際保健医療学会編：国際保健医療学第3 版．東京，杏林書院，2013．
- ・ World Health Organisation. “The Ottawa Charter for Health Promotion.” <http://www.who.int/healthpromotion/conferences/previous/ottawa/en/> (accessd 2017-11-14) ．
- ・ World Health Organisation. “The 6th Global Conference on Health Promotion.” <http://www.who.int/healthpromotion/conferences/6gchp/en/> (accessd 2017-11-14) ．
- ・ 島内憲夫, 鈴木美奈子：21 世紀の健康戦略シリーズ 6 ヘルスプロモーション WHO バンコク憲章．東京，垣内出版，2012．
- ・ 棕野美智子, 田中耕太郎：はじめての社会保障：福祉を学ぶ人へ 第13 版．東京，有斐閣，2016．
- ・ 鎮目真人：比較福祉国家：理論・計量・各国事例．京都，ミネルヴァ書房，2013．
- ・ 佐伯和子編：地域看護アセスメントガイド 第2版：地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案．東京，医歯薬出版，2020．
- ・ 山浦晴男：地域再生入門：寄りあいワークショップの力．東京，筑摩書房，2015．

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（40％） レポート（50％）

国際保健特論Ⅱ

更新日：2021/02/25 17:17:08

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	81020		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	810200
担当教員	小川 里美, 守山 正樹, 緒方 文子						
学部/学科	大学院 修士課程 保健コース 国際保健						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

災害・国際協力、ヘルスプロモーションの各分野において、主要な概念、諸理論、方法論について探究し、各分野における専門性発展のための方法を検討する。

到達目標

1	コミュニティ・アセスメントの概念、理論、方法・手法を用いて、保健看護活動の計画、実施、評価を行うことができる。
2	健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を活用して、介入の課題を考察できる。

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP6（保健）○

授業計画

1	コミュニティ・アセスメントの概念 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの発展過程 【授業方法】講義 【担当】守山
2	コミュニティ・アセスメントの実際① 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの場面と展開について 【授業方法】講義 【担当】緒方
3	コミュニティ・アセスメントの実際② 【授業内容】地域特性・健康課題のアセスメントについて 【授業方法】講義 【担当】緒方
4	コミュニティ・アセスメントの実際③ 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義 【担当】緒方
5	コミュニティ・アセスメントの実際④ 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義 【担当】緒方
6	コミュニティ・アセスメントの実際⑤ 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義 【担当】緒方
7	自然災害時の健康と看護①（急性期・慢性期） 【授業内容】災害急性期・慢性期の特徴、健康問題と看護 【授業方法】講義 【担当】小川
8	自然災害時の健康と看護② 【授業内容】災害復興期、静穏期・準備期の特徴と看護 【授業方法】講義 【担当】小川
9	人為的災害時の健康と看護①（紛争下にある人々の健康） 【授業内容】武力紛争時の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】小川
10	人為的災害時の健康と看護②（難民・避難民の健康） 【授業内容】難民・避難民の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】小川

11	開発協力①保健人材開発の戦略と課題 【授業内容】 開発協力の編成と人材開発について 【授業方法】 講義 【担当】 小川
12	開発協力②開発途上国における保健人材育成の取り組みの実際 【授業内容】 保健人材育成の実際について 【授業方法】 講義 【担当】 小川
13	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（1） 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 小川、守山、緒方
14	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（2） 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 小川、守山、緒方
15	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（3） 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義 【担当】 小川、守山、緒方

学習方法

授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川）、ma-moriyama@jrckicn.ac.jp（守山）、
a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健特論Ⅰに準ずる。他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（40％） レポート（50％）

演習（国際保健）

更新日：2021/03/05 15:04:11

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	81030		
学年	1	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	810300
担当教員	小川 里美, 守山 正樹, 緒方 文子						
学部/学科	大学院 修士課程 保健コース 国際保健						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる
3	研究計画書の構成および作成方法が理解できる

DPとの関連

DP2 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】研究テーマについて 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】阿部、梶原、園田、西村、緒方
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】研究テーマに関連のある文献クリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】研究テーマに関連のある文献クリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】研究テーマに関連のある文献クリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（５） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（１） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（２） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（３） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（４） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（５） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業内容】【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
25	研究計画の中間報告 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方

26	研究計画に関する修正・検討（1） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習 【担当】小川、守山、緒方

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） ma-moriyama@jrckicn.ac.jp（守山）
a-ogata@jrckicn.ac.jp(緒方)

テキスト

特に指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（国際保健）

更新日：2021/03/23 17:56:41

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	81040		
学年	2	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	810400
担当教員	小川 里美, 守山 正樹, 緒方 文子						
学部/学科	大学院 修士課程 保健コース 国際保健						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画書に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
5	データの分析 【授業内容】データ分析の確認 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
7	修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】発表資料の確認 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会誌への投稿、学会発表の確認 【授業方法】講義 【担当】小川、守山、緒方

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） ma-moriyama@jrckicn.ac.jp（守山）
a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

生涯発達看護特論Ⅰ

更新日：2021/03/16 11:17:23

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	82010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	820100
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平, 西山 陽子						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

看護の対象者を生涯発達の観点で捉え、各期に生じる健康問題と生活への影響、それらの援助に必要な概念、諸理論、アセスメントについて探究する。

到達目標

1	生涯発達に関する理論・概念を理解できる
2	発達各期に関する理論・概念・ケアモデルが理解できる
3	発達各期における理論・概念・ケアモデルを用いて、看護の対象の健康課題を包括的にとらえることができる

DPとの関連

DP1 ○
DP2 ◎
DP5 ○

授業計画

1	【生涯発達に関する理論・概念】ライフサイクル理論 【授業内容】ライフサイクル理論の歴史および諸理論を概観する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	【生涯発達に関する理論・概念】発達課題論 【授業内容】それぞれのライフステージにおける発達課題論を概観する。 【授業方法】講義 【担当】西山
3	【生涯発達に関する理論・概念】心理社会発達理論 【授業内容】認知発達理論、社会文化認知理論、心理社会的発達理論 【授業方法】講義 【担当】永松
4	【生涯発達に関する理論・概念】行動変容理論 【授業内容】行動変容に関する理論を概観する。 【授業方法】講義 【担当】西山
5	【生涯発達に関する理論・概念】家族発達理論 【授業内容】家族発達の理論について概観する。 【授業方法】講義 【担当】梶原
6	【生涯発達に関する理論・概念】役割理論 【授業内容】役割理論について概観し、実践への活用を考察する 【授業方法】講義 【担当】原田
7	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】セクシュアリティ 【授業内容】セクシュアリティにおける発達課題と健康課題 【授業方法】講義 【担当】永松
8	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】病みの軌跡理論 【授業内容】「慢性疾患の病みの軌跡」看護モデルを概観し、実践への活用について考察する。 【授業方法】講義 【担当】中村
9	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】社会的学習理論 【授業内容】代表的な社会的学習理論を学び、活用方法を理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
10	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】病気の不確かさ理論 【授業内容】病気の不確か理論を概観し、実践への活用を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田

11	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】セルフケア理論 【授業内容】 セルフケア理論について、実践への適応方法について理解する。 【授業方法】 講義 【担当】 梶原
12	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（1） 【授業内容】 学生によるプレゼンテーションおよびディスカッション 【授業方法】 プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】 姫野・中村・永松・原田・梶原・西山
13	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（2） 【授業内容】 学生によるプレゼンテーションおよびディスカッション 【授業方法】 プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】 姫野・中村・永松・原田・梶原・西山
14	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（3） 【授業内容】 学生によるプレゼンテーションおよびディスカッション 【授業方法】 プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】 姫野・中村・永松・原田・梶原・西山
15	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（4） 【授業内容】 学生によるプレゼンテーションおよびディスカッション 【授業方法】 プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】 姫野・中村・永松・原田・梶原・西山

学習方法

生涯発達・発達各期に関する理論等の講義・ワークシートを用いた演習に加え、発達各期の事例課題より、適切な理論・概念などを用いて、患者の健康課題を包括的に検討し、より効果的なアセスメントや看護についてプレゼンテーション、ディスカッションを行う。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み，t-himeno@jrckicn.ac.jp

中村：火曜日の昼休み，m-nakamura@jrckicn.ac.jp

永松：火曜日の昼休み，m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み，k-harada@jrckicn.ac.jp

梶原：水曜日の昼休み，k-kajiware@jrckicn.ac.jp

西山：水曜日の昼休み，y-nishiyama@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

佐藤栄子：中範囲理論入門（第二版）．名古屋，日総研出版，2009．

野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論 第2版．メジカルフレンド，2016．

筒井真優美：看護理論家の業績と理論評価．東京，医学書院，2015．

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（50％）、プレゼンテーション(50％)

生涯発達看護特論Ⅱ

更新日：2021/01/26 13:39:44

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	8202A		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	820200
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：成人看護（慢性）分野						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	成人看護（慢性、エンドオブライフ）における実践・研究のための基本概念および理論を理解する。
2	成人看護（慢性、エンドオブライフ）における倫理的課題と解決方法を考察することができる。
3	成人看護（慢性、エンドオブライフ）の対象に応じた介入・支援方法を考察することができる。
4	成人看護（慢性、エンドオブライフ）分野の論文を抄読し、実践・研究の方向性を概観できる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	成人期（慢性期、エンドオブライフ）の特徴 【授業内容】慢性病を持つ人の成人期（慢性期、エンドオブライフ）の特徴を学び、そのQOLについて考察する。 【授業方法】講義 【担当】中村
2	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（1） 【授業内容】コンプライアンス/アドヒアランス、行動変容に関する理論を概観する。 【授業方法】講義 【担当】中村
3	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（2） 【授業内容】行動変容に関する理論の中から、ヘルス・ビリーフ・モデル、自己効力感、変化のステージモデルについて学び、効果的な行動変容への支援を検討する。 【授業方法】講義 【担当】中村
4	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（3） 【授業内容】成人を対象とする学習理論（アンドラゴジー）を学び、効果的学習支援について考察する。 【授業方法】講義 【担当】中村
5	成人看護（エンドオブライフ）における実践・研究のための基本概念と理論（4） 【授業内容】終末期看護、エンドオブライフケアの歴史を概観し、関連する基本概念を理解する。 【授業方法】講義 【担当】中村
6	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における倫理的課題（1） 【授業内容】慢性期およびエンドオブライフにおける倫理的課題に関連する概念(スティグマ、アドボカシー等)を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
7	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における倫理的課題（2） 【授業内容】慢性病を持つ人および人生の最終段階にある人に関する倫理的課題について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
8	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における意思決定支援 【授業内容】慢性病を持つ人の意思決定の特徴を学び、支援について検討する。 【授業方法】講義 【担当】中村
9	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における困難事例の検討（1） 【授業内容】慢性看護における困難事例を検討する。 【授業方法】講義 【担当】中村
10	成人看護（慢性期、エンドオブライフケア）における困難事例の検討（2） 【授業内容】エンドオブライフケアにおける困難事例を検討する。 【授業方法】講義 【担当】中村

11	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（１） 【授業内容】院生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】中村
12	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（２） 【授業内容】院生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】中村
13	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（３） 【授業内容】院生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】中村
14	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（４） 【授業内容】院生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】中村
15	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（５） / まとめ 【授業内容】院生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションおよびディスカッション 【担当】中村

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤に各分野に分かれ、その理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびレビューを行い、ディスカッションし自らの考えを深め、言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
中村：火曜日の12:20~12:50, m-nakamura@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

Bandura, A.: Self-efficacy in changing societies. 1995, 本明寛, 野口京子監訳：激動社会の中の自己効力。東京, 金子書房, 1997。
一般社団法人 日本健康教育学会：健康行動理論による研究と実践。東京, 医学書院, 2019。
Lubkin, I. M., Larsen, P. D.: Chronic Illness Impact and interventions. 2002, 黒江ゆり子監訳：クロニックイイルネス人と病いの新たなかわり。東京, 医学書院, 2007。
長江弘子：看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア。東京, 日本看護協会出版会, 2014。
Prochaska, J. O., Norcross, J. C., DiClemente, C. C: Changing for Good. 1994, 中村正和監訳：チェンジング・フォー・グッドーステージ変容理論で上手に行動を変える。東京, 法研, 2004。

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（50％） プレゼンテーション（50％）

生涯発達看護特論Ⅱ

更新日：2021/02/25 10:03:35

開講年度	2021	学期	後期	シバースト	8202B		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	820200
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：老年看護						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	Aging のメカニズムを理解できる。
2	Aging に関する諸理論やケアモデルを看護介入に活用する方法を理解することができる。
3	老年期における倫理的問題と解決方法を理解することができる。
4	老年看護領域における論文を抄読し、研究の動向を概観することができる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	Aging の理論 【授業内容】生物学・心理学社会学的理論を理解する 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	アドバンスケアプランニング（ACP） 【授業内容】アドバンスケアプランニングの倫理的意義と課題および事例への応用を理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
3	人口の高齢化と制度の変遷 【授業内容】日本の高齢化の特徴及び保健医療福祉政策を学習し、看護における課題を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
4	老年期におけるケアモデルと看護への適用（1） 【授業内容】研究的視点より高齢者に活用できるケアモデルを学び、実践への応用について理解する。 【授業方法】講義 【担当】梶原
5	老年期におけるケアモデルと看護への適用（2） 【授業内容】コンフォート理論を学び、実践への活用について考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
6	高齢者の健康問題と看護介入方法 【授業内容】高齢者の健康問題に対する介入方法を研究的視点から理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
7	老年看護分野における倫理的問題 【授業内容】倫理的判断の基準となるガイドラインを学習し、老年看護分野における倫理的課題を解決するための看護の役割を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
8	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（1） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 梶原
9	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（2） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 梶原
10	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（3） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 梶原

11	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（４） 【授業内容】 老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 姫野 原田 梶原
12	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（５） 【授業内容】 老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 姫野 原田 梶原
13	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（６） 【授業内容】 老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 姫野 原田 梶原
14	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（７） 【授業内容】 老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 姫野 原田 梶原
15	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（８） 【授業内容】 老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 姫野 原田 梶原

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤に各分野に分かれ、その理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびレビューを行い、ディスカッションし自らの考えを深め、言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：火曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

梶原：水曜日の昼休み, k-kajiwara@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

乾敏郎他：よくわかる認知科学。京都，ミネルヴァ書房，2010。

Lubkin, I. M., Larsen, P. D.:Chronic Illness Impact and interventions. 2002, 黒江ゆり子監訳：クロニックイリネス人と病いの新たなかかわり。東京，医学書院，2007。

Joyce, E. Thompson, et al. : Bioethical Decision Making For Nurses. 1992, ケイコ・イマイ・キン他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ。東京，日本看護協会出版会，2004。

安藤邑恵他：ICF の視点に基づく高齢者ケアプロセス。東京，学文社，2009。

野沢慎司：リーディングスネットワーク論。東京，勁草書房，2006。

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（50％） プレゼンテーション（50％）

生涯発達看護特論Ⅱ

更新日：2021/01/18 18:17:10

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	8202C		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	820200
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：成育看護分野						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	胎児期から成熟期の成長・発達の過程と成長・発達に影響する要因を説明できる。
2	親役割獲得過程にある女性と家族に関する理論を説明できる。
3	女性に対する倫理的問題に対して、理論を活用して支援方法を考察できる。
4	女性とパートナー・家族の健康と支援に関する論文を抄読し、研究の動向を概観できる。

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP5 ○

授業計画

1	愛着 【授業内容】愛着理論、胎児愛着理論、きずな理論による親子の相互関係 【授業方法】講義 【担当】永松
2	親子関係 【授業内容】親子関係が影響する生涯発達と親性 【授業方法】講義 【担当】永松
3	女性とパートナーとの関係 【授業内容】女性とパートナーとの関係性と健康問題 【授業方法】講義 【担当】永松
4	家族関係 【授業内容】親役割獲得過程にある女性と家族の危機理論と家族ストレス対処理論 【授業方法】講義 【担当】永松
5	女性と家族の倫理的課題 【授業内容】親役割獲得過程にある女性と家族の倫理的課題とアドボカシー 【授業方法】講義 【担当】永松
6	親役割獲得過程にある女性の支援 【授業内容】事例演習① 【授業方法】講義 【担当】永松
7	親役割獲得過程にある女性の支援 【授業内容】事例演習② 【授業方法】講義 【担当】永松
8	クリティーク① 【授業内容】親子関係や虐待に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】演習 【担当】永松
9	クリティーク② 【授業内容】親子関係や虐待に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】演習 【担当】永松
10	クリティーク③ 【授業内容】女性とパートナーとの関係に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】演習 【担当】永松

11	クリティーク④ 【授業内容】 女性とパートナーとの関係に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 永松
12	クリティーク⑤ 【授業内容】 家族関係に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 永松
13	クリティーク⑥ 【授業内容】 女性と家族の倫理的課題に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 永松
14	クリティーク⑦ 【授業内容】 親役割獲得過程にある女性の支援に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 永松
15	クリティーク⑧ 【授業内容】 親役割獲得過程にある女性のパートナー・家族への支援に関する研究論文のクリティーク 【授業方法】 演習 【担当】 永松

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤に各分野に分かれ、その理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびレビューを行い、ディスカッションし自らの考えを深め、言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

永松：水曜日の昼休み、m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

乾敏郎他：よくわかる認知科学．京都，ミネルヴァ書房，2010．

Lubkin, I. M., Larsen, P. D.:Chronic Illness Impact and interventions. 2002, 黒江ゆり子監訳：クロニックイルネス人と病いの新たななかかわり．東京，医学書院，2007．

Joyce, E. Thompson, et al.：Bioethical Decision Making For Nurses．1992, ケイコ・イマイ・キシ他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004．

安藤邑恵他：ICF の視点に基づく高齢者ケアプロセス．東京，学文社，2009．

野沢慎司：リーディングスネットワーク論．東京，勁草書房，2006．

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（50％） プレゼンテーション（50％）

演習（生涯発達看護）

更新日：2021/03/05 15:03:10

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	82030		
学年	1	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	820300
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる
3	研究計画書の構成および作成方法が理解できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】 演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
2	英文文献の検索方法 【授業内容】 データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】 各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】 各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】 各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】 各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（1） 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（2） 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（3） 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（4） 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討および確定 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（1） 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（2） 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（3） 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（4） 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（5） 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（1） 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（2） 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（3） 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画書の中間報告会における発表および検討 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
26	研究計画に関する修正・検討（1） 【授業内容】中間報告会での検討を踏まえた研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原
27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】中間報告会での検討を踏まえた研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】姫野、中村、永松、原田、梶原

28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】 中間報告会での検討を踏まえた研究計画書の検討及び修正 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】 中間報告会での検討を踏まえた研究計画書の検討及び修正 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】 中間報告会での検討を踏まえた研究計画書の検討及び修正 【授業方法】 演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

中村：火曜日の昼休み, m-nakamura@jrckicn.ac.jp

永松：水曜日の昼休み, m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

梶原：水曜日の昼休み, k-kajiwara@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（生涯発達看護）

更新日：2021/02/25 10:05:35

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	82040		
学年	2	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	820400
担当教員	姫野 稔子, 中村 光江, 永松美雪, 原田 紀美枝, 梶原 弘平						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 生涯発達看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○
DP3◎
DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
2	研究計画書作成 【授業内容】 設定した研究課題について、リサーチクエスション、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
5	データの分析 【授業内容】 それぞれの研究計画に基づき、データの分析を行う。 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
6	論文作成 【授業内容】 論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】 論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備を行う 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】 学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 【授業方法】演習 【担当】 姫野、中村、永松、原田、梶原

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：火曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

中村：火曜日の昼休み, m-nakamura@jrckicn.ac.jp

永松：水曜日の昼休み, m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

梶原：水曜日の昼休み, k-kajiwara@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

広域看護特論Ⅰ

更新日：2021/03/16 13:42:24

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	83010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	830100
担当教員	高橋 清美, 西村 和美, 石飛 マリコ, 苑田 裕樹						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における国内外の諸制度やしくみを理解し、システムにおける実際と現状における諸問題に着目し、今後の在り方を考える。

到達目標

1	テーマに基づき広域看護の3つの分野からの視点を学ぶ意義について理解できる
2	クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における法制度としくみについて、基本的な知識と最新の知識を理解し、政策的な動向による看護職の役割について討議することができる
3	専門的関心がある現象について、理論や先行研究を引用しながら自己の洞察をレポートで表現することができる

DPとの関連

DP1◎

DP2○

DP5○

授業計画

1	10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 【授業内容】10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する知識を踏まえたうえで議論を通して、広域看護の意義を理解する。 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
2	在宅看護における法制度としくみについて 【授業内容】在宅看護における法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】西村
3	メンタルヘルスにおける法制度としくみについて 【授業内容】メンタルヘルスにおける法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
4	クリティカルケアにおける法制度としくみについて 【授業内容】クリティカルケアにおける法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】苑田
5	10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する討議 【授業内容】10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する討議を通して今後の課題を探究する 【授業方法】演習 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】西村、石飛
6	10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会① 【授業内容】10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】高橋
7	10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会② 【授業内容】10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】西村

8	10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会③ 【授業内容】10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】石飛
9	家族看護に関する理論とアセスメント 【授業内容】家族看護に関する理論とアセスメントを学ぶ 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】石飛
10	家族看護に関する事例分析 【授業内容】家族看護に関する 事例分析を学ぶ 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】苑田
11	チームアプローチの理論と今日的課題 【授業内容】チームアプローチの理論を学び今日的課題を探究する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
12	チームアプローチに関するプレゼンテーション① 【授業内容】チームアプローチに関するプレゼンテーション 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】西村
13	チームアプローチに関するプレゼンテーション② 【授業内容】チームアプローチに関するプレゼンテーション 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】高橋
14	代理意思決定に関する理論 【授業内容】代理意思決定に関する理論を学ぶ 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
15	代理意思決定支援についての事例分析 【授業内容】代理意思決定支援に関する事例発表を行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】60分：関心がある内容について発表準備を行う（形式は問わない。） 【担当】高橋

学習方法

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアにおける①法制度としくみ ②10年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック ③家族看護 ④チームアプローチ ⑤代理意思決定の5つをテーマとし、各分野、ならびにこれらを統合したものを広域看護の視点として学ぶ。教員は、学生がどのような予習を行ったかを確認しながら講義を進めていくため、学生は予習を行っておくこと。第6～第8講義と第12～13講義の演習は、学生によるプレゼンテーションであるため事前準備（プレゼン資料の作成）を行っておくこと。なお、第15講義の演習は、学生によるプレゼンテーションであるが発表方法の形式は一切問わない。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください
高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp 西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp
石飛：m-ishitobi@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

Gail, W. Stuart.: Principles and Practice of Psychiatric Nursing 9th ed.. St. Louis, Mosby Elsevier, 2009.
Karen K Carlson: AACN Advanced Critical Care Nursing . St. Louis, Mosby, 2009.
Valerie Page E., et al.: Delirium in Critical Care (Core Critical Care) . New York, Cambridge University Press, 2011.
Rudi Dallos, et al.: An Introduction to Family Therapy. New York, Open University Press, 2005.
森山美知子：ファミリーナースングプラクティス 家族看護の理論と実践。東京、医学書院、2001。

評価方法

討議への参加度・プレゼンテーション（50％）、レポート（50％）。レポートテーマ：「専門的関心がある現象について、国内外の諸制度や仕組みを踏まえたうえで、現状課題に着目し、今後の在り方を考察しなさい。」文字数は3000字程度でPDFファイル形式とする。提出先は科目担当者全員にメール送信すること。提出締め切りは別途連絡予定。

広域看護特論Ⅱ

更新日：2021/01/15 16:06:37

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	8302A		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	830200
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：クリティカルケア						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	クリティカルケアを受ける患者および家族を、全人的に理解し看護を提供するための諸理論とその適用について探究する

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	クリティカルケアとは何か、発展プロセスと現状を理解する。 【授業内容】クリティカルケアとは何か、発展プロセスと現状を理解する。 【授業方法】講義 【担当】
2	生体侵襲理論を用いた患者のアセスメント 【授業内容】生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントを学ぶ 【授業方法】講義 【担当】
3	生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントと看護介入 【授業内容】生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントと看護介入を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】
4	危機理論、ストレスコーピング理論 【授業内容】危機理論、ストレスコーピング理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】
5	危機理論、ストレスコーピング理論を用いたアセスメントと看護介入 【授業内容】危機理論、ストレスコーピング理論を用いたアセスメントと看護介入を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】
6	クリティカルケアにおけるトピックス① 【授業内容】クリティカルケアにおけるトピックス① 【授業方法】講義 【担当】
7	クリティカルケアにおけるトピックス② 【授業内容】クリティカルケアにおけるトピックス② 【授業方法】講義 【担当】
8	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業方法】講義 【担当】
9	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業方法】講義 【担当】
10	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業方法】講義 【担当】
11	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業方法】講義 【担当】

12	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その５） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その５） 【授業方法】講義 【担当】
13	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その６） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その６） 【授業方法】講義 【担当】
14	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その７） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その７） 【授業方法】講義 【担当】
15	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その８） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その８） 【授業方法】講義 【担当】

学習方法

講義および討議形式で進める。講義で得た知識を実践にどのように適用できるかを討議するので、準備をして参加する

オフィスアワー

テキスト

特に指定しない

参考文献

Gail, W.Stuart.: Principles and Practice of Psychiatric Nursing 9th ed.. St. Louis, Mosby Elsevier,2009.
Rudi, Dallos., et al.:An introduction to family therapy: systemic theory and practice. Open University Press, 2000.
Derek, Doyle., et al.: Palliative Care in the Home. Oxford university Press, 2000.
白澤政和他：ケアマネジメント概論。東京，中央法規，2000。

評価方法

レポート（100％）

広域看護特論Ⅱ

更新日：2021/03/04 16:26:52

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	8302B		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	830200
担当教員	高橋 清美, 西村 和美, 石飛 マリコ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：メンタルヘルスケア						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	現代社会におけるメンタルヘルスの問題を分析し、対応すべき課題について抽出できる
2	メンタルヘルスの状態を把握するためのアセスメント内容・方法を検討することができる
3	先行研究を用いてメンタルヘルスの安定を保つための方法を検討し、新たな対応策を探究することができる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	現代社会と精神保健 【授業内容】現代社会と精神保健に関する概要を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
2	精神発達に伴う精神保健的問題（人格水準と発達課題） 【授業内容】精神発達に伴う精神保健的問題に関する理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
3	脳の生理的機能と行動との関連 【授業内容】脳の生理機能と行動との関連に関する理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
4	精神アセスメント 【授業内容】精神症状と状態像の把握について学修する 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション 【担当】高橋
5	精神障害と身体合併症看護 【授業内容】精神障害と身体合併症看護について学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
6	メンタルヘルスケアに関するトピックス 【授業内容】メンタルヘルスケアに関するトピックスを学ぶ 【授業方法】演習 学生プレゼンテーション 【担当】高橋
7	メンタルヘルス領域の家族看護に関する課題 【授業内容】メンタルヘルス領域の家族看護に関する課題を学修する 【授業方法】講義 【担当】石飛
8	家族看護に関する研究の動向 【授業内容】家族看護に関する研究の動向を学ぶ 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション 【担当】石飛
9	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛
10	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛

11	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛
12	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛
13	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛
14	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛
15	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛

学習方法

各回のテーマごとに提示される事前課題を準備して参加する。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解する

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

石飛：m-ishitobi@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

Gail, W. Stuart.: Principles and Practice of Psychiatric Nursing 9th ed.. St. Louis, Mosby Elsevier, 2009.

Rudi, Dallos., et al.: An introduction to family therapy: systemic theory and practice. Open University Press, 2000.

Derek, Doyle., et al.: Palliative Care in the Home. Oxford university Press, 2000.

白澤政和他：ケアマネジメント概論。東京、中央法規、2000。

評価方法

レポート（100％）

広域看護特論Ⅱ

更新日：2021/03/05 14:53:22

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	8302C		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	830200
担当教員	高橋 清美, 西村 和美, 石飛 マリコ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：在宅ケア						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	国内外の在宅看護を取り巻く社会背景と在宅ケアシステムの変遷について理解することができる。
2	在宅ケアにおいて活用できる概念、諸理論について説明できる。
3	在宅における保健・医療・福祉制度や関連する機関の機能を理解し、関係機関との連携・協働のあり方について考察することができる。
4	在宅看護におけるケアマネジメントの過程、展開について考察することができる。
5	在宅ケアの研究論文を抄読し、看護の専門性の発展のための方法を探究することができる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	在宅医療・福祉・看護の変遷と課題 【授業内容】日本や諸外国の在宅ケアシステムの変遷を学修し、在宅ケアシステムの課題について検討する 【授業方法】講義 【担当】西村
2	在宅医療・福祉・看護の理論と概念 【授業内容】在宅医療・福祉・看護において活用できる理論、概念を学修する 【授業方法】講義 【担当】西村
3	在宅医療・福祉・看護におけるシステム 【授業内容】在宅医療・福祉・看護に関連する法制度、機関の機能を理解する 【授業方法】講義 【担当】西村
4	多職種連携・協働とケアマネジメント 【授業内容】在宅における多職種連携・協働とケアマネジメントについて学修する 【授業方法】講義 【担当】西村
5	ケアマネジメントの展開：事例検討① 高齢者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養する高齢者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】講義 【担当】西村
6	ケアマネジメントの展開：事例検討② 難病患者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養する難病患者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】講義 【担当】西村
7	ケアマネジメントの展開：事例検討③ がん患者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養するがん患者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】講義 【担当】西村
8	在宅における End of Life Care （１） 【授業内容】在宅における End of Life Care について学修する 【授業方法】講義 【担当】西村
9	在宅における End of Life Care （２） 【授業内容】在宅における End of Life Care における在宅ケアシステムについて学修する 【授業方法】講義 【担当】西村

10	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（１） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、討議 【担当】西村
11	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（２） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、討議 【担当】西村
12	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（３） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、討議 【担当】西村
13	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（４） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、討議 【担当】西村
14	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（５） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、討議 【担当】西村
15	在宅ケアの発展に向けての課題 【授業内容】在宅ケアの発展に向けての看護の専門性について理解する 【授業方法】講義、討議 【担当】西村

学習方法

テーマごとに提示される事前課題を準備して参加する。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください

西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

白澤政和他：ケアマネジメント概論．東京，中央法規，2000．

上田敏：国際生活機能分類 ICF の理解と活用ー一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか．東京，萌文社，2019．

評価方法

レポート（100％）

演習（広域看護）

更新日：2021/03/05 15:02:19

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	83030		
学年	1	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	830300
担当教員	高橋 清美, 石飛 マリコ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる
3	研究計画書の構成および作成方法が理解できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】 演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議する 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、石飛、西村
2	英文文献の検索方法 【授業内容】 データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】 演習 【担当】 緒方、阿部、梶原、園田、西村、
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 緒方、阿部、梶原、園田、西村、
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 緒方、阿部、梶原、園田、西村、
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 緒方、阿部、梶原、園田、西村、
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 緒方、阿部、梶原、園田、西村、
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 高橋、石飛、西村
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 高橋、石飛、西村
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 高橋、石飛、西村
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業方法】 演習（学生プレゼンテーション） 【担当】 高橋、石飛、西村

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（1） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（2） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（3） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（4） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（1） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（2） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（3） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（4） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（5） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（5） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（1） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（2） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（3） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
26	研究計画に関する修正・検討（1） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村

28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（5） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、石飛、西村

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントに応じます。
高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 石飛 m-ishitobi@jrckicn.ac.jp
西村 k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

参考文献は、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（広域看護）

更新日：2021/01/15 16:29:29

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	83040		
学年	2	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	830400
担当教員	高橋 清美, 西村 和美, 石飛 マリコ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 広域看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○
DP3◎
DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスション、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
5	データの分析 【授業内容】データの分析を検討する 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、西村、石飛

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。学生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントメントに応じます。

高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 石飛 m-ishitobi@jrckicn.ac.jp

西村 k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

基盤看護特論Ⅰ

更新日：2021/03/02 12:44:15

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	84010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	840100
担当教員	本田 多美枝, 倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

人間の尊厳を基本とした看護ケアの本質的側面を問い、そのケア提供を可能にするための看護管理、看護政策、看護教育のあり方について、基本となる概念、諸理論、方法論を探究する。

到達目標

1	日本の看護教育の今日的課題について説明することができる
2	専門職実践の特徴を踏まえた人材開発の諸理論、方法論について説明できる
3	人材開発に関する諸理論・方法論を活用し、教育（学習）の実践例を考察できる
4	人間の尊厳を基本とした看護ケアについて考察し、その背景となる看護政策、看護管理のあり方について探究する 1) 看護の本質を多面的に考察する
5	人間の尊厳を基本とした看護ケアについて考察し、その背景となる看護政策、看護管理のあり方について探究する 2) 看護政策・管理の歴史的発展過程を理解できる
6	人間の尊厳を基本とした看護ケアについて考察し、その背景となる看護政策、看護管理のあり方について探究する 3) 保健師助産師看護師法の構造と課題を理解できる

DPとの関連

DP1◎

DP2○

DP5○

授業計画

1	人材開発とは何か、人材開発の目的・位置づけ・過程について理解する 【授業内容】人材開発の目的・位置づけ・過程、人材開発に関する主要な概念・理論の紹介 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
2	日本の看護教育の現状と課題を概観する① 【授業内容】看護基礎教育の現状と課題 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
3	日本の看護教育の現状と課題を概観する② 【授業内容】看護継続教育の現状と課題 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
4	専門職実践の特徴と人材開発の方法① 【授業内容】成人学習理論 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
5	専門職実践の特徴と人材開発の方法② 【授業内容】経験からの学習、リフレクション 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田
6	専門職実践の特徴と人材開発の方法③ 【授業内容】学習する組織、組織学習理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田
7	事例分析① 【授業内容】学生による教育（学習）の実践例をもとに、現象に潜む教育的意味について概念や理論を活用して議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田
8	事例分析② 【授業内容】学生による教育（学習）の実践例をもとに、現象に潜む教育的意味について概念や理論を活用して議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田
9	看護の本質について考える（ベナー看護論）① 【授業内容】ベナー看護論 1～3章 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】倉岡

10	看護の本質について考える（ベナー看護論）② 【授業内容】ベナー看護論 4～12章の中から数章選択する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議 【担当】倉岡
11	看護政策・看護管理の歴史的発展過程の概観① 【授業内容】戦後の看護管理思想の発展過程と今後の課題① 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議 【担当】倉岡
12	看護政策・看護管理の歴史的発展過程の概観② 【授業内容】戦後の看護管理思想の発展過程と今後の課題② 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議 【担当】倉岡
13	看護提供システム 【授業内容】病院における看護提供システムの種類と特徴 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議 【担当】倉岡
14	保健師助産師看護師法の構造と重要条文 【授業内容】保健師助産師看護師法の構造と重要条文 【授業方法】講義 【担当】倉岡
15	専門職としての看護ケアを実現する保健師助産師看護師法を考える 【授業内容】保健師助産師看護師法の課題 【授業方法】討議 【担当】倉岡

学習方法

この授業は、教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示すること、各大学院生は事前学習を行い、授業に参加することが求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田） y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡）

テキスト

Benner,P.: From Novice to Expert.2001, 井部俊子監訳：ベナー看護論新訳版—初心者から達人へ—。東京、医学書院、2005。

参考文献

杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学（第6版）。東京、医学書院、2016。
舟島なをみ：看護教育学研究 発見・創造・証明の過程（第3版）。東京、医学書院、2018。
舟島なをみ：看護学教育における授業展開（第2版）。東京、医学書院、2020。
舟島なをみ監修：看護実践・教育のための測定用具ファイル—開発過程から活用の実際まで（第3版）。東京、医学書院、2015。
福澤英弘：人材開発マネジメントブック—学習が企業を強くする—。東京、日本経済新聞出版社、2009。
Benner,P., et al.: Educating Nurses.2010, 早野 ZITO 真佐子訳：ベナー ナースを育てる。東京、医学書院、2011。
Merriam,S.B., & Caffarella,R.S.: Learning in Adulthood:A Comprehensive Guide.1999, 立田慶裕、三輪建二監訳：成人期の学習—理論と実践。東京、鳳書房、2005。
Mayeroff, Milton: On caring. 1971, 田村真、向野宣之訳：ケアの本質 生きることの意味。東京、ゆみる出版、1987。
小玉香津子：看護学：小玉香津子講義集。横浜、ライフサポート社、2013。
田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法第2版。東京、日本看護協会出版会、2015。
その他、適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20%）、プレゼンテーション（30%）、レポート（50%）

基盤看護特論Ⅱ

更新日：2021/01/14 14:09:03

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	8402 A		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	840200
担当教員	本田 多美枝, 柳井 圭子, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護管理						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護管理学の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	安全かつ円滑に看護を実践するために、最善かつ現実的な看護マネジメントに必要な諸理論・方法論、法制度について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護管理学の専門性発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護管理学の研究領域・研究方法の特徴 【授業内容】看護管理学の研究領域・研究方法の動向と特徴を捉える 【授業方法】講義 【担当】倉岡
2	行動科学の展開① 【授業内容】行動科学に関する諸理論を取り上げ、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション 【担当】倉岡
3	行動科学の展開② 【授業内容】行動科学に関する諸理論を取り上げ、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション 【担当】倉岡
4	管理者の能力（コンピテンシー）① 【授業内容】管理者の能力（コンピテンシー）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議 【担当】倉岡
5	管理者の能力（コンピテンシー）② 【授業内容】管理者の能力（コンピテンシー）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議 【担当】倉岡
6	看護管理者の能力開発（経験学習） 【授業内容】看護管理者の能力開発（経験学習）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】講義 【担当】倉岡
7	組織倫理① 【授業内容】組織倫理に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議 【担当】倉岡
8	組織倫理② 【授業内容】組織倫理に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション 【担当】倉岡
9	看護労働に関する法的諸問題 【授業内容】看護労働の場に生じている法的諸問題について検討する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション 【担当】倉岡
10	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション 【担当】倉岡

11	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】 看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーション 【担当】 倉岡
12	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】 看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーション 【担当】 倉岡
13	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】 看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーション 【担当】 倉岡
14	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】 看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーション 【担当】 倉岡
15	看護倫理学の今日的課題の克服に向けた提案 【授業内容】 看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーション 【担当】 倉岡

学習方法

教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。

y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡）

テキスト

Hersey P.B., Blanchard H.K., and Johnson D.E. Management of Organizational Behavior Utilizing Human Resources (7th). 1996, 山本成二, 山本あづさ訳：入門から応用へ行動科学の展開（新版）人的資源の活用．東京，生産性出版，2000.

Spencer M.L., & Spencer M. S. Competence at work. 1993, 梅津祐良，成田攻，横山哲夫訳：コンピテンシー・マネジメントの展開[監訳版]．東京，生産性出版，2011.

倉岡有美子：看護師長として成長しつづける! 経験学習ガイドブック．東京，医学書院，2019

鶴若麻理，倉岡有美子編著：看護管理と倫理の考えかた．東京，学研メディカル秀潤社，2014．

参考文献

井部俊子，中西睦子監修：看護管理学習テキスト第3版 2020年度刷①～⑤巻．東京，日本看護協会出版会，2020．

虎の門病院看護部：看護管理者のコンピテンシー・モデル: 開発から運用まで．東京，医学書院，2013．

看護管理コンピテンシー研究会編：看護管理者のコンピテンシー・モデル事例集: 書き方とその評価．東京，医学書院，2015．

武村雪絵編著：看護管理に活かすコンピテンシー．東京メテカルフレンド社，2014．

松尾 睦：成長する管理職．東京，東洋経済新報社，2013．

勝原裕美子：組織で生きるー管理と倫理のはざまでー．東京，医学書院，2016．

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション・討議：40％）、課題レポート（60％）

基盤看護特論Ⅱ

更新日：2021/03/02 12:45:19

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	8402B		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	840200
担当教員	本田 多美枝, 柳井 圭子, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護教育分野						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護学教育の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	看護専門職の育成を目指した看護学教育を行うために必要となる概念や諸理論・方法論、教育制度等について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護学教育の専門性発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護学教育の目的、研究領域・研究方法の特徴 【授業内容】看護学教育の目的、研究領域・研究方法の特徴 【授業方法】講義および討論 【担当】本田・阿部
2	看護学教育におけるトピックス① 【授業内容】看護基礎教育のトピックス 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田
3	看護学教育におけるトピックス② 【授業内容】看護継続教育のトピックス 【授業方法】講義および討論 【担当】本田・阿部
4	看護職のキャリア開発に関する理論 【授業内容】看護職のキャリア開発に関する諸理論 【授業方法】講義および討論 【担当】本田・阿部
5	臨地実習指導論 【授業内容】臨地実習指導論 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田
6	教師の専門性と看護教師教育の課題 【授業内容】教師の専門性と看護教師教育の課題 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田
7	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
8	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
9	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
10	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部

11	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
12	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
13	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
14	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部
15	看護学教育の今日的課題と変革に向けた提案 【授業内容】大学院生の問題意識に基づき、看護学教育の変革に向けた提案について討論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部

学習方法

教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進める。
プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示すること、各大学院生は事前学習を行い、授業に参加することが求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）、k-yanai@jrckicn.ac.jp（柳井）、
y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡）、o-abe@jrckicn.ac.jp（阿部）

テキスト

特に指定しない

参考文献

Bastable, B.S.: Nurse as Educator: Principles of Teaching and Learning for Nursing Practice (3rd ed.) . Massachusetts, Jones and Bartlett Publishers, 2008.
杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学（第6版）．東京，医学書院，2016．
舟島なをみ：看護教育学研究 発見・創造・証明の過程（第3版）．東京，医学書院，2018．
舟島なをみ：看護学教育における授業展開（第2版）．東京，医学書院，2020．
舟島なをみ監修：看護実践・教育のための測定用具ファイル開発過程から活用の実際まで（第3版）．東京，医学書院，2015．
基盤看護特論Ⅰで配布した文献リストの他、適宜、紹介する。

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション・討議：40％）、課題レポート（60％）

基盤看護特論Ⅱ

更新日：2021/02/26 12:24:54

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	8402C		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	840200
担当教員	本田 多美枝, 柳井 圭子, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護倫理分野						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護倫理学の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	看護実践の場において倫理的感受性を高め、倫理的判断を下すために必要となる諸理論・方法論、倫理規範について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護倫理学の発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護倫理の基本的考え方について議論する 【授業内容】看護倫理の基本書を精読し、専門用語について確認する 【授業方法】講義 【担当】柳井
2	日本の看護倫理学発展過程と今日的課題を議論する 【授業内容】トピックを取り上げ、原則的視点で検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
3	看護現場における他の専門職者との関係から生じる課題を議論する 【授業内容】看護の法的位置づけについて検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
4	患者の権利とアドボケイトについて議論する 【授業内容】患者の権利論を看護者として検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
5	看護専門職と倫理規範について議論する 【授業内容】倫理規範を精読し探求する 【授業方法】講義 【担当】柳井
6	看護実践現場で直面する法的問題について議論する 【授業内容】倫理的思考の基盤となる法の枠組みと手段について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
7	関心ある看護倫理問題へのアプローチ法について議論する 【授業内容】問題解決に向かうためにとるべきアプローチの方策を検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
8	他国での研究動向について検討する（1） 【授業内容】海外での看護倫理に関する問題状況について文献探索を行う 【授業方法】講義 【担当】柳井
9	他国での研究動向について検討する（2） 【授業内容】文献検索で見つけた論文について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
10	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（1） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井

11	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（２） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
12	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（３） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
13	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（４）（５） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
14	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（６） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
15	研究課題への取組方法について議論する 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討し、研究計画に向けた準備を行う 【授業方法】講義 【担当】柳井

学習方法

授業は、教員による講義と受講者によるプレゼンテーション・ディスカッションにて進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。

k-yanai@jrckicn.ac.jp, (柳井)

テキスト

特に指定しない

参考文献

下記以外は、授業内で紹介します。

小西恵美子：看護倫理を考える言葉.東京,日本看護協会出版会,2018.

浅井篤, 小西恵美子：倫理的に考える医療の論点.東京,日本看護協会出版会,2018.

Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice : A Guide to Ethical Decision Making, THIRD EDITION

2008, 片田範子・山本あい子訳：看護実践の倫理【第3版】倫理的意思決定のためのガイド．東京，日本看護協会出版会，2010．

宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任．東京，中央法規，2014．

Chambliss, D. F. : Beyond Caring : Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics,

1996．浅野祐子訳：ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾．東京，日本看護協会出版会，2002．

Thompson, J. E., Thompson, H. O: Bioethical Decision making for nurses, 1985, ケイコ・イマイ・キン・竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定10のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004．

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション・討議：40％）、課題レポート（60％）

演習（基盤看護）

更新日：2021/03/05 15:05:04

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	84030		
学年	1	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	840300
担当教員	本田 多美枝, 柳井 圭子, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる
3	研究計画書の構成および作成方法が理解できる

DPとの関連

DP2○
DP3◎
DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】 演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】 演習 【担当】 本田、柳井、倉岡、阿部
2	英文文献の検索方法 【授業内容】 データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】 質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】 阿部、梶原、園田、西村、緒方
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】 演習 【担当】 本田、柳井、倉岡、阿部
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】 演習 【担当】 本田、柳井、倉岡、阿部
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】 演習 【担当】 本田、柳井、倉岡、阿部
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】 文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】 演習 【担当】 本田、柳井、倉岡、阿部

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（1） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（2） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（3） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（4） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（1） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（2） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（3） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（4） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（5） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（1） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（2） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（3） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
26	研究計画に関する修正・検討（1） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部

28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、柳井、倉岡、阿部

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田） k-yanai@jrckicn.ac.jp（柳井）
y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡） o-abe@jrckicn.ac.jp（阿部）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（基盤看護）

更新日：2021/03/02 12:47:55

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	84040		
学年	2	曜日/時限		単位数	4.0	科目コード	840400
担当教員	本田 多美枝, 柳井 圭子, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ						
学部/学科	大学院 修士課程 看護コース 基盤看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○
DP3◎
DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
5	データの分析 【授業内容】データの分析 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業方法】演習 【担当】本田・柳井・倉岡・阿部

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。

t-honda@jrckicn.ac.jp（本田） k-yanai@jrckicn.ac.jp（柳井）

y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡） o-abe@jrckicn.ac.jp（阿部）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

クリティカルケア看護特論Ⅰ

更新日：2021/03/09 10:06:36

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	85010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850100
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

クリティカルケア領域で、ストレスフルな体験をする患者および家族の危機状況をアセスメントし、看護介入するための理論やモデルを理解する。

到達目標

1	理論に基づきクリティカルケアの対象となる患者や家族の心理社会的特徴を理解する
2	理論に基づいたアセスメントをもとに、クリティカルケア領域における患者や家族に対する高度な看護実践を考究する
3	クリティカルな状況にある患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携を探究する

DPとの関連

DP1○

DP2○

DP6（CNS）◎

授業計画

1	危機に関する概念と危機理論の成り立ち 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
2	危機介入の目的と方法 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
3	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル① 【授業内容】 危機理論・危機モデル 【授業方法】 講義 【担当】
4	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル② 【授業内容】 危機理論・危機モデル 【授業方法】 講義 【担当】
5	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル③ 【授業内容】 ストレス・コーピング理論 【授業方法】 講義 【担当】
6	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル④ 【授業内容】 ストレス・コーピング理論 【授業方法】 講義 【担当】
7	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル⑤ 【授業内容】 家族発達理論、家族システム理論 【授業方法】 講義 【担当】
8	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討① 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
9	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討② 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
10	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討③ 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】

11	危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク① 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
12	危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク② 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
13	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携① 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
14	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携② 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
15	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携③ 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー

学習方法

高度な看護実践を提供するための知識を獲得するために、学生の臨床での経験を言語化し、それらを知識に基づいて分析した結果を討議する方法で進めていく

オフィスアワー

テキスト

- ・Donna C. Aguilera：Crisis Intervention theory and methodology（7th）. St.Louis Mosby.1993,小松源助他訳：危機介入の理論と実際―医療・看護・福祉のために―. 東京, 川島書店, 1997.
- ・林峻一郎編訳：ラザルス講演 ストレスとコーピング―ラザルス理論への招待. 東京, 星和書店, 1990.

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

クリティカルケア看護特論Ⅱ

更新日：2021/03/09 10:19:49

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	85020		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850200
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

クリティカルケアを必要とする患者の生活行動や機能回復状況を把握し、高度な看護実践を導くための、主要系統別・状況別フィジカルアセスメントができる

到達目標

1	複雑かつ急激に変化する患者の状況をアセスメントする目的について理解する。
2	クリティカルケアにおける主要系統別・状況別フィジカルアセスメントの内容及方法について理解する。
3	1. 複雑かつ急激に変化する患者の状況をアセスメントする目的について理解する。
4	事例を通して、患者の生活行動や機能回復状況を判断し、高度な看護実践を見出すことができる。

DPとの関連

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	クリティカルケアにおけるフィジカルアセスメントとは 【授業内容】 【授業方法】講義 【担当】
2	脳神経系の基礎知識 【授業内容】構造/機能、障害、脳虚血、CBF/CPP 【授業方法】講義 【担当】
3	脳神経系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】意識状態、運動機能/反射、瞳孔の評価、バイタルサインの変化、髄膜刺激症状 【授業方法】講義 【担当】
4	呼吸器系の基礎知識 【授業内容】構造、呼吸調節、ガス交換、換気力学、血流均衡、肺内シャント 【授業方法】講義 【担当】
5	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】呼吸音、モニタリング（血液ガス分析、EtCO ₂ 、人工呼吸器グラフィックモニター） 【授業方法】講義 【担当】
6	循環器系の基礎知識 【授業内容】構造/機能、刺激伝導系の異常 【授業方法】講義 【担当】
7	循環器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】心音、モニタリング（心電図、動脈圧、フロートラック、中心静脈圧、肺動脈圧） 【授業方法】講義 【担当】
8	代謝系の基礎知識 【授業内容】糖・蛋白質・脂質・ビリルビン代謝、ビタミン貯蔵、ホルモン作用 【授業方法】講義 【担当】
9	代謝系のフィジカルアセスメントの実際、機能の評価、栄養状態の評価 【授業内容】 【授業方法】 【担当】
10	外傷患者の基礎知識 【授業内容】診断と治療について、ショックの病態 【授業方法】講義 【担当】

11	外傷患者のフィジカルアセスメントの実際、 【授業内容】 傷患者のPrimary Survey 【授業方法】 講義 【担当】
12	Common Disease のフィジカルアセスメント（発熱、頭痛、胸痛、腹痛）の実際 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
13	事例演習① 【授業内容】 脳出血 【授業方法】 講義 【担当】
14	事例演習② 【授業内容】 ACS による心不全 【授業方法】 講義 【担当】
15	事例演習③ 【授業内容】 ARDS 【授業方法】 講義 【担当】

学習方法

クリティカルケア特有の状況を、シミュレーター等を活用し学習する。

オフィスアワー

テキスト

Lynn S. Bickley : Bates' Guide to Physical Examination and History Taking (11th) Philadelphia.
Lippincott Williams & Wilkins.2013 : 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明日本語版監修, ベイツ診察法 第2 版. 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.

参考文献

David L. Simel, Drummond Rennie : JAMA evidence The Rational Clinical Examination Evidence- Based Clinical Diagnosis. 2008 : 竹本毅訳 : JAMA 版 論理的診察の技術 エビデンスに基づく診断のノウハウ. 東京, 日経BP社, 2010.

評価方法

授業・討議への参加度（50%））、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）

クリティカルケア看護特論III

更新日：2021/03/09 10:18:56

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	85030		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850300
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

複雑かつ急激に変化するクリティカルな状況の患者の病態生理とそれに伴う管理を、生体侵襲理論を用いて理解し、緊急的な管理および集中的な管理に関する最新のエビデンスから、患者・家族を尊重した高度な看護を見出す

到達目標

1	1. クリティカルな状況にある患者の身体内部で起こる複雑かつ急激な変化を、生体侵襲理論を用いて説明することができる。
2	2. クリティカルな状況にある患者の生命維持に関する緊急処置や集中管理を、エビデンスに基づいて理解し、高度な看護実践を考究することができる。

DPとの関連

DP2○

DP6 (CNS) ◎

DP7 (CNS) ○

授業計画

1	生体侵襲理論① 【授業内容】生体侵襲概要、急性相反応の特徴、Moorの分類、SIRS/CARS 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
2	生体侵襲理論② 【授業内容】自律神経系・内分泌系・炎症性・代謝系反応 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
3	脳神経管理とクリティカルケア① 【授業内容】脳卒中における頭蓋内圧管理 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
4	脳神経管理とクリティカルケア② 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
5	循環管理とクリティカルケア① 【授業内容】血圧管理、尿量、輸液の選択、輸血 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
6	循環管理とクリティカルケア② 【授業内容】補助循環、致死的不整脈の管理 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
7	循環管理とクリティカルケア③ 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
8	呼吸管理とクリティカルケア① 【授業内容】換気・酸素化・酸塩基平衡の管理、酸素療法 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
9	呼吸管理とクリティカルケア② 【授業内容】気道管理、人工呼吸器管理、鎮静、ウィニング 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
10	呼吸管理とクリティカルケア③ 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー

11	栄養・代謝管理とクリティカルケア① 【授業内容】 栄養・代謝（糖、蛋白質）・電解質の管理 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
12	栄養・代謝管理とクリティカルケア② 【授業内容】 目標体温管理 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
13	栄養・代謝管理とクリティカルケア③ 【授業内容】 栄養管理（TPN, PPN, 経腸栄養）時のケア 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
14	外傷管理とクリティカルケア① 【授業内容】 頭部/胸部/腹部/骨盤/脊椎/多発外傷の管理 【授業方法】 講義 【担当】
15	外傷管理とクリティカルケア② 【授業内容】 看護ケアの実際 【授業方法】 講義 【担当】

学習方法

クリティカルな状況にある患者の状態を生体侵襲という視点から理解し、身体の機能別にその管理と看護を深く追及する。一般的な解剖生理学の知識は必須となるため、事前に計画的に自己学習して講義にのぞむ。内容によっては、講師が勤務する施設での講義を設定する場合がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（50％）、課題レポート（50％）

クリティカルケア看護演習Ⅰ

更新日：2021/03/09 10:21:31

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	85040		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850400
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

クリティカルな状況にある患者の回復に向けた、ケアとキュアが融合した介入、および家族に対する援助的かかわりについての実践力を養う。

到達目標

1	クリティカルな状況にある患者の症状緩和をめざし、ケアとキュアを融合させた高度な看護の提供ができる。
2	エビデンスに基づいた日常生活援助方法について理解できる。
3	クリティカルな状況にある患者、家族に対し、援助関係論や家族看護論を基盤にした適切な心のケアが提供できる。

DPとの関連

DP2○

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	生体侵襲理論、身体的ストレス理論を踏まえた患者の特徴、ケアとキュアのあり方 本授業では、高機能シミュレーターを用いた演習を中心に、患者の症状回復、および患者と家族の心理的安寧のための援助方法の修得をめざす。 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
2	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
3	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
4	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
5	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
6	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
7	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
8	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
9	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
10	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】

11	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
12	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
13	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
14	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
15	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】 【授業方法】演習 【担当】
16	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
17	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
18	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
19	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
20	患者、家族の心のケア 【授業内容】家族看護論 【授業方法】演習 【担当】
21	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
22	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
23	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
24	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
25	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
26	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
27	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 【担当】

28	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
29	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
30	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】

学習方法

本授業では、高機能シミュレーターを用いた演習を中心に、患者の症状回復に向けた援助方法 の修得をめざす。また1～9回目の演習は、専門科目の「クリティカルケア看護特論Ⅲ」を、20～30回目は、「クリティカルケア看護特論Ⅰ」の内容を十分に復習し、理解したうえで臨む必要がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

山勢博彰：救急・重症患者と家族のための心のケア。大阪，メディカ出版，2010。
道又元裕：重症患者の全身管理。名古屋，日総研出版，2009。

評価方法

担当したプレゼンテーションの内容（70％）、授業への積極的参加度（30％）

クリティカルケア看護演習Ⅱ

更新日：2021/03/09 10:23:03

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	85050		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850500
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

クリティカルな状況における個人の選択と意思決定などの倫理的諸問題に対応しうる知識を獲得し、問題解決のための実践力を養う。

到達目標

1	倫理的諸問題を解決するための具体的方策、倫理的判断力を獲得できる。
2	倫理的問題に対する感受性を高めることができる。
3	倫理調整に必要な指導的役割、コンサルテーション技法、コーディネーション技法を獲得できる。

DPとの関連

DP1◎

DP5○

DP6（CNS）○

授業計画

1	クリティカルケアにおける倫理的諸問題に関する現状と看護師の役割 ※各テーマは、院生の知的関心、時事、趨勢を見極め変更することがある 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
2	自己決定権（尊厳死、リビングウィル、延命治療）の諸相と倫理的問題 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
3	自己決定権 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
4	自己決定権 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
5	自己決定権 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
6	自己決定権 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
7	インフォームドコンセントの在り方をめぐる倫理的問題 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
8	インフォームドコンセント 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
9	インフォームドコンセント 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
10	インフォームドコンセント 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】

11	インフォームドコンセント 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
12	脳死下臓器移植で生じる倫理的問題 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
13	脳死下臓器移植 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
14	脳死下臓器移植 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
15	脳死下臓器移植 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
16	脳死下臓器移植 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
17	自殺企図をめぐる個人的価値観と専門的価値観 【授業内容】 【授業方法】 【担当】
18	自殺企図 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
19	自殺企図 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
20	自殺企図 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
21	自殺企図 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
22	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】 【授業方法】 【担当】
23	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
24	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
25	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
26	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】
27	クリティカルケアにおける終末期看護 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】

28	End of life care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
29	End of life care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】 演習 【担当】
30	End of life care 【授業内容】 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 演習 【担当】

学習方法

授業は、倫理的諸問題に関する講義と討議で構成されている。討議の参加においては、講義資料を熟読するとともに、テーマに関連する資料を自主的に集め、自己の考えをまとめておく必要がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

国際看護師協会：ICN 看護師の倫理綱領2012 年版．東京，日本看護協会，2012．
<http://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/document/ethics/pdf/icncodejapanese.pdf>.
アン J. デーヴィス監修：看護倫理 理論・実践・研究．東京，日本看護協会，2002．
日本看護協会：看護者の倫理綱領．東京，日本看護協会，2003．
<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/pdf/rinri.pdf>.
Mayeroff, Milton: On caring.1971, 田村真, 向野宣之訳：ケアの本質 - 生きることの意味．
東京，ゆみる出版，1987．
Gsupple 編集委員会：改訂2版 事例でまなぶケアの倫理．吹田，メディカ出版，2010．

評価方法

授業への積極的参加度（20％）、プレゼンテーション（40％）、
倫理的諸問題における看護師の役割についてのレポート（40％）

クリティカルケア看護演習III

更新日：2021/03/09 10:55:19

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	85060		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850600
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

全人的な苦痛を緩和・軽減するためのケア・処置に関する諸理論、原理、方法、効果判定などについての実践力を養う。

到達目標

1	各アセスメントツールの使用方法について学び、過大な侵襲を受けている患者を客観的に評価する手段を獲得することができる。
2	具体的な実践事例を通し、学んだアセスメントツールを用いたうえで、患者の病態を正しく判断し、適切な看護ケアを導き出すことができる。
3	スケールやアセスメントツールの開発の過程と、それらを用いた国内外の研究の動向を知ることができる。

DPとの関連

DP2◎

DP5○

DP6（CNS）○

授業計画

1	鎮静と睡眠の評価① 本科目は、クリティカルな状況にある患者の状態を客観的に評価するための方法について、国内外で用いられている高い信頼性を持つスケールを教授するとともに、具体的な実践事例を用いて検討することで、正しく患者の病態を判断し、適切な看護ケアを導き出せる専門職者の育成をめざす。 【授業内容】 意識と脳、睡眠の基礎 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
2	鎮静と睡眠の評価② 【授業内容】 せん妄の分類、診断基準、発症構造と起因子 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
3	鎮静と睡眠の評価③ 【授業内容】 予防と発症後ケア 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
4	鎮静と睡眠の評価④ 【授業内容】 日本語版 CAM-ICU、鎮静プロトコルの活用とケア 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
5	疼痛評価① 【授業内容】 痛みの定義、分類と特徴 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
6	疼痛評価② 【授業内容】 鎮痛薬の種類、効能のメカニズム 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
7	疼痛評価③ 【授業内容】 疼痛アセスメント 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
8	疼痛評価④ 【授業内容】 鎮痛ケアの実際とその効果の判定 【授業方法】 演習 【担当】 ゲストスピーカー
9	睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
10	睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】

11	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
12	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
13	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
14	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
15	疼痛管理に関する研究の動向 【授業内容】 【授業方法】演習 【担当】
16	疼痛管理に関する研究の動向 【授業内容】 【授業方法】演習 【担当】
17	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
18	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】
19	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
20	重症度評価① 【授業内容】APACHEスコアを用いた評価の実際 【授業方法】演習 【担当】
21	重症度評価② 【授業内容】ISS、RTS、TRISS などを用いた評価の実際 【授業方法】演習 【担当】
22	重症度評価③ 【授業内容】重症度評価に関する研究の動向 【授業方法】演習 【担当】
23	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1準備 【授業方法】演習 【担当】
24	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1準備 【授業方法】演習 【担当】
25	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1発表 【授業方法】演習 【担当】
26	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1発表 【授業方法】演習 【担当】
27	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例2準備 【授業方法】演習 【担当】

28	院生による看護ケアの検討 【授業内容】 事例2準備 【授業方法】 演習 【担当】
29	院生による看護ケアの検討 【授業内容】 事例2発表 【授業方法】 演習 【担当】
30	院生による看護ケアの検討 【授業内容】 事例2発表 【授業方法】 演習 【担当】

学習方法

授業は、客観的評価方法としてのスケールやアセスメントツールに関する講義と討議で構成する。討議の準備として、各テーマに関連する資料を自主的に集め、自己の考えをまとめておく必要がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

道又元裕：ICUディジーズ．東京，学研メディカル秀潤社，2013．

評価方法

担当したプレゼンテーションの内容（70％）、授業への積極的参加度（30％）

クリティカルケア看護演習Ⅳ

更新日：2021/03/09 10:25:00

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	85070		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	850700
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

クリティカルケアのサブスペシャリティである救命・救急看護における専門性を理解したうえで高度な実践力を養う。

到達目標

1	救急患者の緊急度を把握するために必要となるフィジカルアセスメントを実践できる。
2	アセスメント結果を踏まえ、臨床推論のプロセスを効果的に用い、救急患者の緊急度を正確に把握することができる。
3	緊急時のケアとキューに関するスキルをみがき、急変対応能力を高めることができる。
4	救急患者、家族の心理状態をアセスメントし、必要となる看護ケアを導き出せる。

DPとの関連

DP5◎
DP6（CNS）○
DP7（CNS）○

授業計画

1	緊急度判定における基本概念の整理、患者の特徴、緊急度判定能力とは 本授業では、高機能シミュレーターを用いた演習を中心に、フィジカルイグザミネーションと フィジカルアセスメント、およびクリティカルシンキング能力の向上をめざし、症例シナリオ を繰り返し実践することで、救急看護師に必要となる臨床推論の思考プロセスの修得をめざす。 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
2	緊急度判定における臨床推論とは、その思考プロセス 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
3	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際① 【授業方法】 演習 【担当】
4	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際① 【授業方法】 演習 【担当】
5	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際② 【授業方法】 演習 【担当】
6	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際② 【授業方法】 演習 【担当】
7	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際③ 【授業方法】 演習 【担当】
8	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際③ 【授業方法】 演習 【担当】
9	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際④ 【授業方法】 演習 【担当】

10	症例シナリオを用いた臨床推論：フィジカルアセスメントの実際④ 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際④ 【授業方法】 演習 【担当】
11	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際⑤ 【授業方法】 演習 【担当】
12	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】 フィジカルアセスメントの実際⑤ 【授業方法】 演習 【担当】
13	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
14	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
15	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
16	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
17	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
18	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
19	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
20	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
21	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 来院時心肺停止への対応、救命処置 【授業方法】 演習 【担当】
22	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 呼吸を安楽にするためのケアとキューア 【授業方法】 演習 【担当】
23	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 循環を安定させるためのケアとキューア 【授業方法】 演習 【担当】
24	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 急性薬物中毒患者へのケアとキューア 【授業方法】 演習 【担当】
25	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】 演習 【担当】
26	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】 演習 【担当】

27	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】 演習 【担当】
28	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】 輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】 演習 【担当】
29	救命・救急における終末期看護 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】
30	救命・救急における終末期看護 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】

学習方法

共通科目の「フィジカルアセスメント特論」、「病態生理学特論」を十分に理解したうえで、演習に臨む必要がある。

オフィスアワー

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

山勢博彰：救命救急ディジーズ．東京，学研メディカル秀潤社，2015．
日本臨床救急医学会：緊急度判定支援システム．東京，へるす出版，2010．
日本臨床救急医学会：緊急度判定支援システムプロバイダーマニュアル．東京，へるす出版，2011．

評価方法

授業への積極的参加度（30％）、
救命・救急における終末期看護に関するレポート（70％）

クリティカルケア看護実習Ⅰ

更新日：2021/03/09 10:38:33

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	85080		
学年	2	曜日/時限		単位数	5.0	科目コード	850800
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

集中ケアを必要とする患者とその家族に対する高度で専門的な看護実践能力を獲得するとともに、専門看護師の役割である実践、相談、調整、倫理調整、および教育のための基礎的能力を養う

到達目標

1	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。1) 患者の身体的・心理的・社会的状態について、専門的なアセスメントができる。
2	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。2) 患者の身体的問題を効果的に解決し、苦痛緩和を図ることができる。
3	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。3) 患者の心理・社会的問題に対し、効果的に看護介入することができる。
4	患者家族への心理的な援助を、理論を適用して実践できる。
5	看護師の学習課題を把握し、教育計画を立案して指導することができる。
6	看護師からの患者ケアに対する相談に対し、コンサルテーションを実施できる。
7	チーム医療におけるコーディネーターとしての役割を認識し、実践できる。
8	ポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者とその家族の健康問題に対し、効果的に看護介入することができる。
9	自己の看護を評価し、今後の課題も含めて考察できる。

DPとの関連

- DP1○
DP4○
DP5○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	急性疾患により生命の危機状態にある患者や、大手術後の患者などを受け持ち、看護実践をおこなう 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 小倉記念病院ICUなど
2	可能な限りポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者への看護実践も経験する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 小倉記念病院ICUなど
3	受け持ち患者に対する看護計画をカンファレンスで発表し、指導看護師の助言を受け、より適切な看護ケアを提供する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 小倉記念病院ICUなど
4	到達目標の達成に向け、コンサルテーションや倫理調整を専門看護師のスーパーバイズを受けながら活動する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 小倉記念病院ICUなど
5	自己の実践内容を評価し、文献的知見も含めて考察する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 小倉記念病院ICUなど

学習方法

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目での学びを十分に復習したうえで、実習に臨む必要がある。また実習終了後は、受け持った全ケースの看護展開を再検討し、実習終了後の発表会において成果を報告できるよう準備する。
担当教員によるスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。その他、注意事項などは実習要項を参照すること

オフィスアワー

テキスト

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で配布された資料

参考文献

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で紹介された資料

評価方法

看護実践内容（25％）、実習記録（25％）、
実習中のカンファレンスや実習後の発表会でのプレゼンテーション内容（50％）

クリティカルケア看護実習Ⅱ

更新日：2021/03/09 10:40:16

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	85090		
学年	2	曜日/時限		単位数	5.0	科目コード	850900
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース クリティカルケア看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

救急患者とその家族に対する高度で専門的な看護実践能力を獲得するとともに、専門看護師の役割である実践、相談、調整、倫理調整、および教育のための基礎的能力を養う

到達目標

1	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。1) 救急患者の緊急度・重症度を判断できる。
2	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。2) 救急患者の身体的問題に対する苦痛緩和を図ることができる。
3	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。3) 救急患者や家族の心理・社会的問題に対し、効果的に看護介入することができる。
4	救急患者や家族の尊厳を守り、倫理的な問題に対応できる
5	看護師の学習上のニーズを分析し、教育計画を立案して指導することができる。
6	看護師からの患者ケアに対する相談に対し、コンサルテーションを実施できる。
7	チーム医療におけるコーディネーターとしての役割を認識し、実践できる。
8	自己の看護を評価し、今後の課題を明らかにできる。

DPとの関連

DP1○
DP4○
DP5○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	救命救急センターに搬送され、呼吸・循環・代謝管理が必要な患者を受け持ち、看護ケアを提供する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター
2	救命救急センターでは、可能な限りポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者への看護実践も経験する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター
3	救急外来での院内トリアージを行う 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター
4	受け持ち患者に対する看護計画をカンファレンスで発表し、指導看護師の助言を受け、より適切な看護ケアを提供する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター
5	到達目標の達成に向け、専門看護師のスーパーバイズを受けながらコンサルテーションや倫理調整を行う 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター

6	自己の実践内容を評価し、文献的知見も含めて考察する 【授業内容】 【授業方法】 実習 【担当】 【実習場所】 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 徳島赤十字病院 高度救命救急センター

学習方法

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目での学びを十分に復習したうえで、実習に臨む必要がある。また実習終了後は、受け持った全ケースの看護展開を再検討し、実習終了後の発表会において成果を報告できるよう準備する。

担当教員によるスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。その他、注意事項などは実習要項を参照すること。

オフィスアワー

テキスト

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で配布された資料

参考文献

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で紹介された資料

評価方法

看護実践内容（25％）、実習記録（25％）、
実習中のカンファレンスや実習後の発表会でのプレゼンテーション内容（50％）

在宅看護学特論Ⅰ

更新日：2021/03/04 09:12:19

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	86010		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860100
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

多職種連携とチームアプローチを基盤としたケアマネジメント能力を修得し、在宅移行可能性を推進するための退院支援・調整を検討し、在宅移行後の支援調整を学ぶ。また、保健医療福祉の諸制度および社会資源について理解し、関係機関・職種とのネットワークの構築と地域包括ケアシステム実現のための戦略を探究する。

到達目標

1	我が国の保健医療福祉制度を理解し、諸外国の制度と比較しながら訪問看護制度の現状と課題を明確にできる。
2	在宅看護の利用者・家族および退院希望者の包括的ケアマネジメントが展開でき、個々のニーズ充足を推進し、これからのケアマネジメントのあり方について議論する。
3	利用者のためのネットワークを構築し、新たなサポートシステムの開発を推進することができる。
4	地域包括ケアシステムを理解し、システム構築に向けた方策について提言ができる。

DPとの関連

DP5 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	我が国における在宅療養者とその家族を取り巻く現状と課題 【授業内容】我が国における在宅療養者とその家族を取り巻く現状と課題について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
2	我が国における社会保障制度の動向 【授業内容】我が国における社会保障制度の動向について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
3	我が国の医療制度の概要と課題 【授業内容】我が国の医療制度の概要と課題について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
4	介護保険制度の概要と変遷 【授業内容】介護保険制度の趣旨と概要、介護保険財政、介護保険制度創設からの推移、介護サービス利用のしくみ、ネットワーク構築、地域包括支援センターと地域包括ケアシステムについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
5	障害者総合支援制度の概要と変遷 【授業内容】障害者総合支援制度の趣旨と概要、障害者自立支援制度からの推移、福祉サービス利用のしくみについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
6	難病者に対する支援制度の概要と変遷 【授業内容】難病対策の推移と難病法の成立、指定難病と医療費助成、児童福祉法改正と小児慢性特定疾病の医療費助成、障害者総合支援制度 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
7	地域におけるネットワーキングとケアマネジメント（１） 【授業内容】在宅療養者と家族の生活を支えるためのネットワーキング、ケアマネジメントの理論について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
8	地域におけるネットワーキングとケアマネジメント（２） 【授業内容】ケアマネジメント事例を分析し、個別事例検討から地域包括ケアシステム構築に視点を広げ、インテグレイトケアを学ぶ。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
9	チームアプローチ理論と多職種連携・協働 【授業内容】チームアプローチ理論、多職種連携・協働を学び、最新の動向や我が国における課題を整理する。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村

10	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
11	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
12	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
13	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
14	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
15	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援制度におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 星旦二，麻原きよみ：これからの保健医療福祉行政論―地域づくりを推進する保健師活動．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・ 棕野美智子，田中耕太郎：はじめての社会保障―福祉を学ぶ人へ 第12版．東京，有斐閣アルマ，2015
- ・ 島崎謙治：日本の医療―制度と政策．東京，東京大学出版会，2011．
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所編：平成27年版 社会保障統計年報．東京，法研，2015．
- ・ 日本看護協会編：平成27年版看護白書．東京，看護協会出版会，2015．
- ・ 能本守康：改訂 初めて学ぶケアマネジメントテキスト，東京，中央法規，2009．
- ・ 増田雅暢：逐条解説 介護保険法．東京，法研，2014．
- ・ 社会福祉士養成講座編集委員会：新・社会福祉士養成講座〈13〉高齢者に対する支援と介護保険制度 第5版，東京，中央法規，2016．
- ・ 障害者福祉研究会編：逐条解説 障害者総合支援法．東京，中央法規，2013
- ・ 社会福祉士養成講座編集委員会：新・社会福祉士養成講座〈14〉障害者に対する支援と障害者自立支援制度 第5版，東京，中央法規，2015．
- ・ 野中猛，野中ケアマネジメント研究会：多職種連携の技術（アート）―地域生活支援のための理論と実践―．東京，中央法規，2014．
- ・ 筒井孝子：地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略―integrated careの理論とその応用―．東京，中央法規出版，2014．
- ・ 二木立：地域包括ケアと地域医療連携．東京，勁草書房，2015．
- ・ 東京大学高齢社会総合研究機構：地域包括ケアのすすめ：在宅医療推進のための多職種連携の試み．東京，東京大学出版会，2014．
- ・ 細田満和子：「チーム医療」とは何か―医療とケアに生かす社会学からのアプローチ．東京，日本看護協会出版会，2012．
- ・ エイミー・C・エドモンドソン：チームが機能するとはどういうことか―「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ―．東京，英治出版，2014．
- ・ 篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011．
- ・ 長江弘子編：生活と医療を統合する継続看護マネジメント．東京，医歯薬出版社，2014．
- ・ 宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整―ジェネラリストナースがつながく外来・病棟・地域―．東京，日本看護協会出版会，2011．
- ・ 宇都宮宏子，山田雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援―病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・ 宇都宮宏子監修：退院支援ガイドブック：「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかわる．東京，学研メディカル秀潤社，2015．

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅱ

更新日：2021/03/04 09:15:16

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	86020		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860200
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

在宅療養者の健康と生活に活用できる理論やモデルを応用して、家族アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメントを行う能力を修得する。

到達目標

1	在宅看護の利用者・家族の安全で安心した療養生活を支援するために、高度で専門的な身体・心理・社会的な診断能力を持つ。
2	在宅看護に関連する専門知識・理論を活用したアセスメントに基づく卓越した看護実践ができる。
3	在宅看護における包括的アセスメントについて検討することができる。

DPとの関連

DP2 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	ICFモデルに基づいた在宅療養生活の支援 【授業内容】ICFの理念とICFモデルについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
2	在宅看護におけるフィジカルアセスメント 【授業内容】在宅療養者のフィジカルアセスメントの知識、技術について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
3	在宅看護における症状・徴候のアセスメント 【授業内容】在宅療養者の異常の早期発見等のためのアセスメント技術の方法を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
4	自立を支援する理論と方法（1） 【授業内容】在宅療養者のセルフケアおよびセルフマネジメント理論を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
5	自立を支援する理論と方法（2） 【授業内容】在宅療養者とその家族のセルフケアアセスメントの知識と技術について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
6	在宅看護における生活環境のアセスメント（1） 【授業内容】在宅療養者の安全で安心な療養生活のための環境アセスメントについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
7	在宅看護における生活環境のアセスメント（2） 【授業内容】ICFモデルに基づき、在宅療養者の生活行動・社会参加にかかわる生活環境のアセスメントについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
8	家族アセスメントと家族支援（1） 【授業内容】家族アセスメントに必要な理論を学ぶ。家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論（ジェットコースターモデル、二重ABC-Xモデル）。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
9	家族アセスメントと家族支援（2） 【授業内容】渡辺式家族アセスメントモデルを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
10	家族アセスメントと家族支援 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、渡辺式家族アセスメントモデルを用いて、家族アセスメントを展開し支援策を検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

11	家族アセスメントと家族支援 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、渡辺式家族アセスメントモデルを用いて、家族アセスメントを展開し支援策を検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
12	在宅看護における包括的アセスメントの特性 【授業内容】在宅看護における包括的アセスメントの特性について学ぶ。 在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
13	在宅看護における包括的アセスメントの特性 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
14	在宅看護における包括的アセスメントの特性 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
15	在宅看護における包括的アセスメントの特性 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

・ 山内豊明：事例から学ぶ訪問看護におけるフィジカルアセスメントーカンファレンス形式で、判断のポイントを徹底解説！（コミュニティケア 8（12））。東京、日本看護協会出版会，2006。

・ 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブックー目と手と耳でここまでわかる。東京、医学書院，2011。

・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版。東京、中央法規出版，2015。

・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応。東京、中央法規出版，2016。

・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメントリスク管理ハンドブック。名古屋，gene，2014。

・ 酒見英太監修：ジェネラリストのための内科診断リファレンス：エビデンスに基づく究極の診断学をめざして。東京、医学書院，2014。

・ 上田剛士：高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス。東京、シーニュ，2014。

・ 障害者福祉研究会編：ICF 国際生活機能分類ー国際障害分類改定版，東京，中央法規出版，2002。

・ 上田敏：リハビリテーション 新しい生き方を創る医学。東京，講談社，1996。

・ 上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用：人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか。東京，きょうされん，2005。

・ 大川弥生：新しいリハビリテーション。東京，講談社，2004。

・ 大川弥生：介護保険サービスとリハビリテーション，東京，中央法規，2004。

・ 並河正晃：老年者ケアを科学する。東京，医学書院，2002。

・ 澤口裕二：アウェアネス介助論：気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解。東京，シーニュ，2011。

・ 澤口裕二：アウェアネス介助論：気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実際。東京，シーニュ，2011。

・ Friedman, M.M.: FAMILY NURSING Theory and Assessment . 1986, 野嶋佐由美訳：家族看護学：理論とアセスメント，東京，へるす出版，1993。

・ 鈴木和子，渡辺裕子：家族看護学 理論と実践 第4版。東京，日本看護協会出版会，2012。

・ 野嶋佐由美，渡辺裕子編：家族看護選書 第1巻 家族看護の基本的な考え方。東京，日本看護協会出版会，2012。

・ 野嶋佐由美，渡辺裕子編：家族看護選書 第4巻 在宅での家族への看護。東京，日本看護協会出版会，2012。

・ 野嶋佐由美，渡辺裕子編：家族看護選書 第6巻 家族に向きあう看護師のジレンマとパートナーシップ形成。東京，日本看護協会出版会，2012。

・ 森山美知子編：ファミリーナーシングプラクティス：家族看護の理論と実践。東京，医学書院，2001

・ L.M. ライト他，小林奈美監訳：病の苦悩を和らげる家族システム看護。東京，日本看護協会出版会，2011。

・ ロザリンダ・アルファロールフィーク著，本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版，東京，医学書院，2012。

・ リンダJ. カルペニート，新道幸恵監訳：看護診断ハンドブック 第10版，東京，医学書院，2014。

・ 宇都宮宏子，山田雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援一病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント。東京，日本看護協会出版会，2014。

・ Christine A Tanner: Clinical Judgment and Evidence-Based Practice: Toward and Pedagogies of Integration. Journal of Nursing Education, 47（8）: 335-336, 2008。

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅲ

更新日：2021/03/04 09:17:56

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	86030		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860300
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

療養上複雑で多様な課題を持つ療養者やケア提供者に対して倫理的判断・臨床的判断を総合して、問題解決方法を提案し、実施できる。

到達目標

1	在宅ケアにおける療養者・家族への倫理的判断・臨床的判断に関する基本的な概念や理論について理解できる。
2	在宅ケアにおける療養者・家族への倫理的判断・臨床的判断に必要な能力や技術を修得することができる。
3	在宅ケアで直面する可能性の高い倫理的課題について具体的な問題解決方法を考えることができる。
4	療養上複雑で多様な課題を持つ療養者・家族およびケア提供者について倫理的判断・臨床的判断を統合して、問題解決方法を提案することができる。

DPとの関連

DP1 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	看護倫理の基礎知識 【授業内容】臨床における倫理的判断を検討するために必要な基本的な概念である倫理原則、徳の倫理、ケアリング、アドボカシーの諸理論と、文化的価値観や専門職としての倫理的責任について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
2	在宅ケアで直面する倫理的問題 【授業内容】在宅ケアで直面するインフォームドコンセントや意思決定、倫理的・臨床的判断が必要な場面での現状、最新の動向や研究について討論する。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
3	在宅ケアにおける意思決定支援 【授業内容】療養者とその家族の意思決定の様相を理解し、意思決定支援に必要なコミュニケーションスキルやツールを学び、具体的な支援について討論する。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
4	在宅ケアにおける看護過程の展開（１） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ認知症の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
5	在宅ケアにおける看護過程の展開（１） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ認知症の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
6	在宅ケアにおける看護過程の展開（２） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ難病の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
7	在宅ケアにおける看護過程の展開（２） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ難病の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
8	在宅ケアにおける看護過程の展開（３） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ小児の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

9	在宅ケアにおける看護過程の展開（３） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ小児の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
10	在宅ケアにおける看護過程の展開（４） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ終末期の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
11	在宅ケアにおける看護過程の展開（４） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ終末期の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
12	在宅ケアにおける看護過程の展開（５） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ虐待事例への倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し具体的な支援を考える。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
13	在宅ケアにおける看護過程の展開（５） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ虐待事例への倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し具体的な支援を考える。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
14	在宅看護過程の展開：事例検討 【授業内容】学生がこれまで経験した療養上複雑で多様な課題を持つ事例への支援をリフレクションする。そして本授業での学びを踏まえ、詳細な分析を行い、問題解決方法を検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
15	在宅看護過程の展開：事例検討 【授業内容】学生がこれまで経験した療養上複雑で多様な課題を持つ事例への支援をリフレクションする。そして本授業での学びを踏まえ、詳細な分析を行い、問題解決方法を検討する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- Sara T. Fry, Megan-Jane Johnstone : Ethics in Nursing Practice Thurd Edition A Guide to Ethical Decision Making. 2009, 片田範子, 山本あい子訳：看護実践の倫理 第3版。東京，日本看護協会出版会，2010.
- 中山和弘，岩本貴編：患者中心の意思決定支援。東京，中央法規，2012.
- 石垣靖子，清水哲郎編：臨床倫理ベーシックレクチャー身近な事例から倫理的問題を学ぶ。東京，日本看護協会出版会，2012.
- 宮脇美保子：身近な事例で学ぶ看護倫理。東京，中央法規，2008.
- シリーズ生命倫理学編集委員会編：シリーズ生命倫理学 14 看護倫理。東京，丸善出版，2012.
- 赤林朗編：入門・医療倫理Ⅰ。東京，勁草書房，2005.
- 赤林朗編：入門・医療倫理Ⅱ。東京，勁草書房，2007.
- INR 日本版編集委員会：臨床で直面する倫理的諸問題—キーワードと事例から学ぶ対処法，東京，日本看護協会出版会，2001.
- 木村利人他著：看護に生かすバイオエシックス—よりよい倫理的判断のために，東京，学研，2004.
- 岡崎寿美子，小島恭子：ケアの質を高める看護倫理—ジレンマを解決するために，東京，医歯薬出版，2002.
- 清水哲郎：医療現場に臨む哲学，東京，勁草書房，1997.
- 清水哲郎：医療現場に臨む哲学Ⅱ，東京，勁草書房，2000.
- 杉谷藤子，川合政恵監修：『看護者の倫理綱領』で読み解く ベッドサイドの看護倫理事例30，東京，日本看護協会出版会，2007.
- Thompson, J. E., Thompson, H. O. : BIOETHICAL DECISION MAKING FOR NURSES. 1992, ケイコ・イマイ・キシ，竹内博明，山本千紗子監訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ。東京，日本看護協会出版会，2004.
- Christine A Tanner: Clinical Judgment and Evidence-Based Practice: Toward and Pedagogies of Integration. Journal of Nursing Education, 47 (8) : 335-336, 2008.
- Patricia Benner 著，井部俊子監訳：ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ。東京，医学書院，2005.
- Patricia Benner ほか，井上智子監訳：ベナー 看護ケアの臨床知 行動しつつ考えること第2版。東京，医学書院，2012.

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅳ

更新日：2021/03/04 09:45:06

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	86040		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860400
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

医療処置の必要な対象に対して医療機関の包括的支援を基盤として、検査、処置、対症療法、薬物調整などについて、アセスメントを実施し、看護を実践できる。

到達目標

1	在宅における主要な疾患の診断と治療を理解できる。
2	医療処置の必要な対象には医療機関の包括的支援を基盤として、検査、処置、対症療法、薬物調整などについて、アセスメントを実施し、看護を実践できる。
3	在宅の主な医療処置について、医療機器や器具の取り扱い方法を学ぶとともに療養者及び家族への指導方法について修得することができる。

DPとの関連

DP2 ○

DP6 (CNS) ◎

DP7 (CNS) ○

授業計画

1	循環器系疾患の診断と治療（１） 本科目は、在宅医療に関してケアとキュアの統合を学ぶ科目であり、１～１２回においては、この視点を踏まえて学習し、１３～１５回は、ケアとキュアの統合の総合的な学びをまとめる。 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における循環器疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。疾病管理および、症状マネジメント 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー、小野、西村
2	循環器系疾患の診断と治療（２） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における循環器疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。疾病管理および、症状マネジメント 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
3	呼吸器系疾患の診断と治療（１） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における呼吸器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）・在宅酸素療法を含む疾病管理と症状マネジメント 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
4	呼吸器系疾患の診断と治療（２） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における呼吸器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）・在宅酸素療法を含む疾病管理と症状マネジメント 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
5	脳血管疾患の診断と治療（１） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における脳血管疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。疾患から生じる機能障害への対応とリハビリテーション 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
6	脳血管疾患の診断と治療（２） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における脳血管疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。疾患から生じる機能障害への対応とリハビリテーション 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー
7	内分泌・代謝系疾患の診断と治療（１） 【授業内容】 在宅医療（外来を含む）における内分泌・代謝系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）・糖尿病、腎疾患を中心とした疾病管理 【授業方法】 講義 【担当】 ゲストスピーカー

8	内分泌・代謝系疾患の診断と治療（２） 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における内分泌・代謝系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）・糖尿病、腎疾患を中心とした疾病管理 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
9	消化器系疾患の診断と治療（１） 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における消化器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。排便コントロール、栄養状態のアセスメントとその対策 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
10	消化器系疾患の診断と治療（２） 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における消化器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）。排便コントロール、栄養状態のアセスメントとその対策 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
11	在宅医療における感染症とその対策について 【授業内容】在宅における発熱時や感染徴候についてのアセスメントを実施し方法および薬物調整を含めた治療法、予防的ケアについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
12	在宅における褥瘡ケア 【授業内容】褥瘡治療における壊死組織の除去、不良肉芽の切除、褥瘡に対する陰圧閉鎖療法等の医療的処置について学び、訪問看護における褥瘡ケアに結びつける。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
13	在宅医療におけるケアとケアの統合 【授業内容】１～１２回までの学修を踏まえ、ケアとケアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施し、実践する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
14	在宅医療におけるケアとケアの統合 【授業内容】１～１２回までの学修を踏まえ、ケアとケアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施し、実践する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
15	在宅医療におけるケアとケアの統合 【授業内容】１～１２回までの学修を踏まえ、ケアとケアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施し、実践する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

担当教員（小野、西村）に連絡をしてください。担当教員からゲストスピーカーに連絡します。

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 川人明：在宅医療の完全解説 2014-15 年版—在宅診療・指導管理・適応疾患・使用材料の全ディテール。東京、医学通信社、2014。
- ・ 日本医療ソーシャルワーク研究会、村上須賀子：医療福祉総合ガイドブック 2015 年度版。東京、医学書院、2015。
- ・ 大谷玲子、笠井秀子、輪湖史子：在宅療養指導とナースングケア 退院から在宅まで〈4〉在宅人工呼吸（気管切開口／鼻マスク）／在宅持続陽圧呼吸療法。東京、医歯薬出版、2004。
- ・ 合田文則：胃ろう PEG 管理のすべて。東京、医歯薬出版、2010。
- ・ 岡田晋吾、三鬼達人：半固形化栄養法ガイドブック PEG から NG チューブまでできる。吹田、メディカ出版、2012。
- ・ 田中マキ子、下元佳子：在宅ケアに活かせる褥瘡予防のためのポジショニング—やさしい動きと姿勢のつくり方。東京、中山書店、2009。
- ・ 社会保険研究所編：訪問看護業務の手引 平成 27 年 4 月版—介護保険・医療保険、東京、社会保険研究所、2015。
- ・ 大浦武彦：新しい体位変換：不適切なケアが褥瘡を悪くする！、東京、中山書店、2013。
- ・ WOC Nursing Vol.2 No.10—WOC（創傷・オストミー・失禁）予防・治療・ケア 特集：在宅で考える褥瘡治療の基本と実際。2014。
- ・ 日本褥瘡学会（編）：在宅褥瘡予防・治療ガイドブック 第3版 褥瘡予防・管理ガイドライン（第4版）準拠。東京、昭林社、2015。
- ・ 美濃良夫：褥瘡の予防と治療・ケア用品ガイド—褥瘡の予防・治療の基礎知識と用具・薬剤の選び方のポイント＆カタログ。東京、医学芸術社、2002。
- ・ 押川眞喜子、坂本史衣：これだけは知っておきたい！在宅での感染対策—訪問看護のための基本と実践。東京、日本看護協会出版会、2008。
- ・ 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014 年版。東京、金原出版、2014。
- ・ 国立がん研究センター中央病院薬剤部：オピオイドによるがん疼痛緩和 改訂版、東京、エルゼビアジャパン、2012。
- ・ 角田直枝、濱本千春：がん疼痛ケアガイド。東京、中山書店、2012。
- ・ 角田直枝（編集）：実践できる在宅看護技術ガイド。東京、学研、2013。
- ・ 日本呼吸器学会（編）：NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）ガイドライン。東京、南江堂、2015。
- ・ 角田直枝：スキルアップのための在宅看護マニュアル。東京、学研、2005。

評価方法

評価方法 授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅴ

更新日：2021/03/04 09:47:16

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	86050		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860500
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

訪問看護事業所等の開設、効率的な管理・運営および経営戦略について探究する。さらに、在宅看護の効果とその根拠、ケアの質評価とケア効果を高める方法について検討する。

到達目標

1	訪問看護ステーションなど在宅ケア事業所の開設方法について理解できる。
2	訪問看護ステーションの効率的な管理・運営および経営戦略を理解できる。
3	在宅看護におけるケアの質評価とケア効果を高める方法について検討できる。

DPとの関連

DP1 ○
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ◎

授業計画

1	訪問看護ステーションの開設と経営戦略（１） 【授業内容】訪問看護に関連する介護報酬と診療報酬および公費負担医療制度の基礎知識について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
2	訪問看護ステーションの開設と経営戦略（２） 【授業内容】経営理念と経営目標について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
3	看護職が地域で事業を立ち上げることは（１） 【授業内容】開業ナースおよびメッセンジャーナースについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
4	看護職が地域で事業を立ち上げることは（２） 【授業内容】開業ナースおよびメッセンジャーナースの活動の実際について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
5	訪問看護ステーションの管理・運営（１） 【授業内容】財務管理と人材育成について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
6	訪問看護ステーションの管理・運営（２） 【授業内容】情報管理と安全管理について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
7	仮想 訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成（１） 【授業内容】地域特性および訪問看護市場の市場分析について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
8	仮想 訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成（２） 【授業内容】訪問看護ステーションの特徴と運営方針、広報活動について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】小野、西村
9	在宅看護におけるケアの質評価について考える（１） 【授業内容】質の良い訪問看護とは何かについて討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村
10	在宅看護におけるケアの質評価について考える（２） 【授業内容】訪問看護の質評価とは何かについて討議する。 【授業方法】講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】小野、西村

11	看護ケアの質評価の方法 【授業内容】 看護ケアの質の評価方法、訪問看護サービス質評価のためのガイドラインについて学ぶ。 【授業方法】 講義 【担当】 小野、西村
12	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（１） 【授業内容】 演習用に作成した事業所の情報を用いて、SWOT 分析演習を行う。 【授業方法】 講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】 小野、西村
13	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（２） 【授業内容】 演習用に作成した事業所の情報を用いて、改善計画立案演習を行う。 【授業方法】 講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】 小野、西村
14	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（３） 【授業内容】 演習用事業所の質評価と改善に向けての提言書作成演習を行う。 【授業方法】 講義、学生によるプレゼンテーション 【担当】 小野、西村
15	在宅看護におけるケアの質評価のまとめ 【授業内容】 在宅看護におけるケアの質評価のまとめを行う。 【授業方法】 講義 【担当】 小野・西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル新版第3版．東京，日本看護協会出版会，2016．
- ・ 角田直枝：訪問看護は“所長”で決まる，東京，日本看護協会出版会，2008．
- ・ 日本訪問看護振興財団：なるほどわかる訪問看護ステーション経営のコツ．東京，日本看護協会出版会，2010．
- ・ 村松 静子（編集）：開業ナースのエッセンス「暮らし」に伴走する看護のすすめ（こころの科学増刊）．東京，日本評論社，2015．
- ・ 村松静子（監修），甲州優，武田美和，川口奏子（編集）：メッセンジャーナース 看護の本質に迫る．東京，看護の科学社，2016．
- ・ 島内節，友安直子，内田陽子：在宅ケアアウトカム評価と質改善の方法．東京，医学書院，2002．
- ・ Wojiner A.W: Outcome Management Application to Clinical Practice. 2001，早野真佐子訳，井部俊子監修：アウトカム・マネジメント．東京，日本看護協会出版会，2003．

評価方法

評価方法 授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学演習Ⅰ

更新日：2021/03/04 09:49:19

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	86060		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860600
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNSコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

運動機能障害、摂食・嚥下障害、呼吸機能障害等のある者へのリハビリテーション、障害への対処・セルフケアの支援について、家族への指導を含めて学ぶ。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な在宅療養者とその家族に対する包括的アセスメントを行い、エビデンスに基づく自立促進ケアを実践することができる。
2	自立促進に関する看護について既存データや研究結果を評価し、エビデンスに基づいた専門性の高い看護ケアの方法を提言することができる。
3	自立促進へのケアのために多職種との連携協働する方策と地域におけるネットワークや新たなサポートシステムの確立について提言することができる。
4	ケアスタッフに対する自立促進ケアの相談、教育方法を考えることができる。

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	自立促進へのケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】自立促進に関連する基本的なヘルスリテラシー、意思決定、ICF、リハビリテーション、セルフマネジメント、パーソンセンタードケア等の各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
2	自立促進へのケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】自立促進に関連する基本的なヘルスリテラシー、意思決定、ICF、リハビリテーション、セルフマネジメント、パーソンセンタードケア等の各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
3	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア 脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
4	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア 脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
5	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア 脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村

6	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
7	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、嚥下・摂食に関するスクリーニングテスト、フィジカルアセスメント、栄養アセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
8	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、嚥下・摂食に関するスクリーニングテスト、フィジカルアセスメント、栄養アセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
9	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、嚥下・摂食に関するスクリーニングテスト、フィジカルアセスメント、栄養アセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
10	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケアCOPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部CT等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
11	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケアCOPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部CT等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
12	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケアCOPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部CT等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
13	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケアCOPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部CT等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村

14	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア認知機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント、HD 認知機能評価、BPSD評価については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の頭部CT・MRI等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
15	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア認知機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント、HD 認知機能評価、BPSD評価については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の頭部CT・MRI等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
16	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア認知機能障害を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント、HD 認知機能評価、BPSD評価については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の頭部CT・MRI等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
17	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
18	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
19	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
20	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の訪問看護に同行し、フィジカルアセスメント等については可能な範囲で参加する。その後、同行事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
21	経口摂取以外の栄養法を行っている療養者と家族への自立促進へのケア 【授業内容】在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養における療養者・家族に対する指導が必要な事例について、訪問看護ステーションにて、訪問看護に同行しその実際について学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
22	カテーテル管理が必要な療養者と家族への自立促進へのケア 【授業内容】間欠的自己導尿、尿道留置カテーテル管理、膀胱瘻・腎瘻カテーテル管理における療養者・家族に対する指導が必要な事例について、訪問看護ステーションにて、訪問看護に同行しその実際について学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村

23	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】 実際の訪問看護事例の中で対応困難な療養者を受け持つケアスタッフにインタビューを行う。その後、対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
24	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】 実際の訪問看護事例の中で対応困難な療養者を受け持つケアスタッフにインタビューを行う。その後、対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
25	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】 実際の訪問看護事例の中で対応困難な療養者を受け持つケアスタッフにインタビューを行う。その後、対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
26	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】 実際の訪問看護事例の中で対応困難な療養者を受け持つケアスタッフにインタビューを行う。その後、対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
27	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】 在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
28	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】 在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
29	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】 在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村
30	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】 在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 小野、西村

学習方法

実践事例の活用、文献による研究事例を用いて演習する。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック―目と手と耳でここまでわかる。東京，医学書院，2011.
- ・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版。東京，中央法規出版，2015.
- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応。東京，中央法規出版，2016.
- ・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメント リスク管理ハンドブック。名古屋，gene，2014.
- ・ 並河正晃：高齢者ケアを科学する。東京，医学書院，2002.
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解。東京，シーニュ，2011.
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実際。東京，シーニュ，2011.
- ・ 藤島一郎：脳卒中の摂食・嚥下障害。東京，医歯薬出版，1998.
- ・ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会：嚥下調整食学会分類2013。東京，医歯薬出版，2015.
- ・ 鎌倉やよい他編集：訪問看護における摂食・嚥下リハビリテーション。東京，医歯薬出版，2007.
- ・ 黒澤一・佐野裕子：呼吸リハビリテーション―基礎概念と呼吸介助手技，東京，学研，2006.
- ・ 大宿 茂：VFなしでできる！摂食・嚥下障害のフィジカルアセスメント―評価から食事介助の進め方。名古屋，日総研出版，2014.
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸リハビリテーション委員会ワーキンググループ他：呼吸リハビリテーションマニュアル―運動療法。東京，照林社，2012.
- ・ 小澤 勲：痴呆を生きるということ。東京，岩波新書，2003.
- ・ 小澤 勲：認知症とは何か。東京，岩波新書，2005.
- ・ トム・キットウッド，高橋誠一翻訳：認知症のパーソンセンタードケア―新しいケアの文化へ。東京，簡井書房，2005.

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習課題への取り組み（50％）

在宅看護学演習Ⅱ

更新日：2021/03/04 10:34:35

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	86070		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860700
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

在宅で終末期を迎える療養者と家族の看護について、実践事例や文献による研究事例を用いて演習し、がん患者・非がん患者に対する在宅緩和ケアの方法、終末期経過別の的確なニーズの把握やケア実践方法を学ぶ。

到達目標

1	がん患者の在宅緩和ケアにおける症状コントロールおよび QOL 向上について、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を実践できる。
2	終末期の療養者と家族への在宅導入期のケアについて、在宅移行支援における意思決定支援、療養環境整備について、チームアプローチを含めた具体的方法を提案できる。
3	非がん患者の在宅でのエンド・オブ・ライフケアについて、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を提案できる。
4	在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケアとして、特に緩和ケアおよびスピリチュアルケアについて、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を提案できる。
5	在宅で終末期を迎える療養者の家族の臨死期および死別後のケアとして、看取り支援とグリーフケアの的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を提案できる。
6	在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケアのために、多職種との連携協働する方策と地域におけるネットワーク構築や新たなサポートシステムの開発について提言できる。

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	在宅終末期ケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】ターミナルケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア等、終末期ケアの各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
2	在宅終末期ケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】ターミナルケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア等、終末期ケアの各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
3	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（1） 【授業内容】WHO 方式がん疼痛治療法をはじめ、疼痛緩和のためのアセスメントとそれに基づく対処方法の基本的知識を学ぶ。ロールプレイ等を用いて痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法を演習する。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
4	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（1） 【授業内容】WHO 方式がん疼痛治療法をはじめ、疼痛緩和のためのアセスメントとそれに基づく対処方法の基本的知識を学ぶ。ロールプレイ等を用いて痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法を演習する。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
5	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（2） 【授業内容】学内での演習後、訪問看護ステーションのがん疼痛のある事例に同行訪問し、痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法など最善の対処方法について事例検討を行いながら学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
6	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（2） 【授業内容】学内での演習後、訪問看護ステーションのがん疼痛のある事例に同行訪問し、痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法など最善の対処方法について事例検討を行いながら学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村

7	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
8	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
9	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
10	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の訪問看護に同行し、在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについては可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
11	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の訪問看護に同行し、在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについては可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
12	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の訪問看護に同行し、在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについては可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
13	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の訪問看護に同行し、在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについては可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
14	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の訪問看護に同行し、症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
15	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の訪問看護に同行し、症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
16	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の訪問看護に同行し、症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
17	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の訪問看護に同行し、症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村

[illegible]

29	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケア 【授業内容】終末期の独居高齢者のためのネットワーク構築とサポートシステムの開発について学ぶ。在宅で終末期を迎える独居高齢者の方の訪問看護に同行し、ネットワーク構築など可能な範囲で参加する。その後、同行事例の看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村
30	本演習のまとめ 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族へのケアについて、終末期経過別の的確なニーズとケアについてまとめる。 【授業方法】演習 【担当】小野、西村

学習方法

実践事例や文献による研究事例を用いて演習する。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 日本在宅ケア学会編：エンドオブライフと在宅ケア 在宅ケア学6．東京，ワールドプランニング，2015．
- ・ 長江弘子：看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア，東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・ 日本訪問看護振興財団（監修），角田 直枝（編集）：訪問看護のための事例と解説から学ぶ在宅終末期ケア．東京，中央法規，2008．
- ・ 角田直枝：癒しのエンゼルケア―家族と創る幸せな看取りと死後のケア．東京，中央法規， 2010．
- ・ 角田直枝：最新訪問看護研修テキスト ステップ2 緩和ケア．東京，日本看護協会出版会，2005．
- ・ 渡辺裕子：看取りにおける家族ケア．東京，医学書院，2005．
- ・ 緩和ケア編集委員会編：，臨床と研究に役立つ緩和ケアのアセスメント・ツール．東京， 青海社，2008．
- ・ Lindemann E：Symptomatology and management of acute grief.American Journal of Psychiatry, 101（2）：141-148, 1944．
- ・ 宮林幸江：日本人の死別悲嘆反応．日本看護科学会誌, 25（3）：83-91, 2005．
- ・ Worden J.W.：Grief Counseling and Grief Therapy.1991，鳴澤實監訳：グリーフカウンセリング（初版）．東京，川島書店， 1993．
- ・ 藤腹明子：看取りの心得と作法 17 カ条（初版）．， 東京，青海社，2004．
- ・ キャサリン・クラッセン デイヴィッド・スピーゲル 田中祥子 朝倉隆司 訳：がん患者と家族のためのサポートグループ，東京，医学書院，2003．
- ・ キャサリン・Mサンダース，白根美保子訳：家族を亡くしたあなたに 死別の悲しみを癒すアドバイスブック．筑摩書房，2000．
- ・ Robert Fulton: Death and Dying.1978, 斎藤武，若林一美訳：デス・エデュケーション．現代出版，1984．
- ・ 坂口幸弘：悲嘆学入門 死別の悲しみを学ぶ．京都，昭和堂，2010．
- ・ 粕田晴之監修：こうすればうまくいく在宅緩和ケアハンドブック 改訂2版，東京，中外医学社，2012．
- ・ Parkes CM: Bereavement Studies of Grief in Adult Life（3th）1992 1992, 桑原治雄，三野善央訳：死別遺された人たちを支えるために．大阪，メディカ出版，2002．
- ・ 窪寺俊之：スピリチュアルケア入門．東京，三輪書店，2000．
- ・ 細田満和子：「チーム医療」とは何か―医療とケアに生かす社会学からのアプローチ．東京，日本看護協会出版会，2012．
- ・ エイミー・C・エドモンドソン，野津智子訳：チームが機能するとはどういうことか―「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ．東京，英治出版，2014．
- ・ 篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院， 2011．

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習課題への取り組み（50％）

在宅看護学実習Ⅰ

更新日：2021/03/04 11:08:19

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	86080		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	860800
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

この実習では医療機関の退院調整部門において、在宅医療チームを基盤とした退院支援・調整とケアマネジメントを学び、専門看護師としての役割を担うための能力を養う。なお、本実習では専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習する。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な患者とその家族に対し包括的アセスメントを行い、それに基づく退院支援計画を立案実践し評価する事ができる。（卓越した実践）
2	対象者の意向とニーズに応じ、その人らしい地域での生活継続実現のために、関係者との連携調整を行い、チームアプローチ、ケアマネジメントが実践できる。（連携調整）
3	療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な個別事例から地域が持つ顕在的・潜在的な課題を分析し、地域における社会資源の現状と課題を明確にし、地域包括ケアシステム実現のための提言ができる。
4	退院時等の療養者の生活の場が変化する際に生じる倫理的問題に対し、倫理的判断・臨床的判断を統合して、問題解決方法について考えることができる。（倫理的問題の調整）

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	実習方法 【授業方法】実習 【方法】 専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習する。 【実習場所】 宗像医師会病院：地域医療連携課 宗像医師会在宅医療連携拠点事業室（むーみんネット） 【実習期間】 1年次後期を予定し、90時間とする。実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【担当】小野、西村
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して包括的アセスメントを行い、看護師をはじめとしたケアスタッフの実践内容・方法を多角的に抽出し、実習指導者等からの助言を受けつつ実践を行う。その実践内容から「卓越した実践」について考察する。そして、実習期間中に地域ケア会議等に同席し、個別ケースの検討から地域が持つ顕在的・潜在的な健康課題を検討し、地域包括ケアシステム実現のための方策と看護職としての役割を考える。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して、自らイニシアチブをとりつつ、多職種チームの一員として「連携調整」を行い、退院支援・調整の実践、モニタリング、評価までを実施する。また、チームアプローチの実践場面を言語化し分析することによって「連携調整」のグッドプラクティスを検討する。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。
4	倫理的問題の調整：退院支援・調整が必要な事例の意思決定支援を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011．
- ・ 長江弘子編：生活と医療を統合する継続看護マネジメント．東京，医歯薬出版社，2014．
- ・ 宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整—ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域．東京，日本看護協会出版会，2011．
- ・ 宇都宮宏子，山田 雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援—病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・ 宇都宮宏子監修：退院支援ガイドブック：「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる．東京，学研メディカル秀潤社，2015．
- ・ 石原ゆきえ，井上健朗：時系列でみる！多職種協働事例で学ぶ退院支援・調整．名古屋，日総研出版，2014．
- ・ 日本医療ソーシャルワーク研究会 編：医療福祉総合ガイドブック 2018 年度版．東京，医学書院，2018．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅱ

更新日：2021/03/04 11:05:56

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	86090		
学年	2	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	860900
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

この実習では在宅看護学演習Ⅰを活かし、自立促進に関する看護を必要とする療養者を受け持ち、高度な看護実践を行う。また、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に、「教育」「相談」「研究」を高め、在宅看護スペシャリストとしての役割を学ぶ実習である。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族に対して、関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、エビデンスに基づく専門性の高い看護を実践することができる。（卓越した実践能力）
2	自立促進への効果的なケアが提供されるために関係職種と連携調整を行い、多職種連携によるチームアプローチが実践できる。（連携調整）
3	療養上複雑で多様な課題を持つ倫理的問題に直面している療養者および家族が、自らの価値観と一致した選択ができるように、意思決定支援が実施できる。（倫理的問題の調整）
4	自立促進ケアに関連した課題や問題について、ケアスタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる。（教育・相談）
5	看護実践の中から在宅看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題について考えることができる。（研究）

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	実習方法 【授業方法】 実習 【方法】 本実習では専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高める。 【実習場所】 なごみ訪問看護サービス（なごみ訪問看護ステーション） 宗像医師会訪問看護ステーション 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【担当】 小野、西村
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族に対して、実際に関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、看護計画を立案、実施、評価を行う。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族の療養生活が継続できるように実施されているケアカンファレンスやその他の活動に参加し、多職種・多機関との連携調整について考察する。また、受け持ち事例に対し「コーディネーション」が必要な場合は実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
4	倫理的問題の調整：実習期間中、療養上複雑で多様な課題を持ち「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実習指導者が行う実際の支援場面に同席し支援方法を学び考察する。また、受け持ち事例に対し「倫理的問題の調整」が必要な場合は実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
5	教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

6	相談：実習指導者が療養上複雑で多様な課題を持つ療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。また、受け持ち事例について「コンサルテーション」が必要な場合は自ら実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
7	研究：看護実践の中から在宅看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。

1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 山内豊明：事例から学ぶ訪問看護におけるフィジカルアセスメントーカンファレンス形式で判断のポイントを徹底解説！コミュニティケア8（12）．東京，日本看護協会出版会，2006．
- ・ 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブックー目と手と耳でここまでわかる．東京，医学書院，2011．
- ・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版．中央法規出版，2015．
- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応．東京，中央法規出版，2016．
- ・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメントリスク管理ハンドブック．名古屋，gene，2014．
- ・ 酒見英太監修：ジェネラリストのための内科診断リファレンス：エビデンスに基づく究極の診断学をめざして．東京，医学書院，2014．
- ・ 上田剛士：高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス．東京，シーニュ，2014
- ・ 並河正晃：老年者ケアを科学する．東京，医学書院，2002．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論ー気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解．東京，シーニュ，2011．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論ー気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実際．東京，シーニュ，2011．
- ・ 藤島一郎：脳卒中の摂食・嚥下障害．東京，医歯薬出版，1998．
- ・ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会：嚥下調整食学会分類2013，
- ・ 鎌倉やよい他編集：訪問看護における摂食・嚥下リハビリテーション，東京，医歯薬出版、2007．
- ・ 黒澤一，佐野裕子：呼吸リハビリテーションー基礎概念と呼吸介助手技，東京，学研，2006．
- ・ 大宿茂：VFなしでできる！摂食・嚥下障害のフィジカルアセスメントー評価から食事介助の進め方．名古屋，日総研出版，2014．
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸リハビリテーション委員会ワーキンググルー プ他：呼吸リハビリテーションマニュアルー運動療法．東京，照林社，2012．
- ・ 小澤勲：痴呆を生きるということ．東京，岩波新書，2003．
- ・ 小澤勲：認知症とは何か．東京，岩波新書，2005．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅲ

更新日：2021/03/04 11:21:28

開講年度	2021	学期	通年	ｼﾝﾊﾞｰｽﾎｰﾄﾞ	86100		
学年	2	曜日/時限		単位数	3.0	科目コード	861000
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 ＣＮＳコース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

この実習では、在宅看護学演習Ⅱで学んだ内容を活かし、終末期ケアに関する看護を必要とする療養者を受け持ち、高度な看護実践を行う。また、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高め、在宅看護スペシャリストとしての役割を学ぶ実習である。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者と家族に対し、専門知識・理論に基づいた包括的なアセスメントを行い、経過時期別に看護問題を抽出し適切なケアが実践できる（卓越した実践）。
2	在宅療養支援診療所からの訪問診療に参加し、加えて、終末期の在宅ケアチームの専門職種間や関係機関との連絡調整を実施し、多職種連携によるチームアプローチが実践できる（連携調整）。
3	療養上複雑で多様な課題を持ち倫理的問題に直面している療養者および家族が、自らの価値観と一致した選択ができるように、意思決定支援が実施できる（倫理的問題の調整）。
4	終末期ケアに関連した課題や問題について、ケアスタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる（教育・相談）。
5	看護実践の中から在宅看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題を考えることができる（研究）。

DPとの関連

DP1 ○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	実習方法 【授業内容】 本実習では、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高める。 【授業方法】実習 【担当】小野、西村 【実習場所】 福岡赤十字訪問看護ステーション、宗像医師会訪問看護ステーション 在宅療養支援診療所（コールメディカルクリニック福岡、むらおかホームクリニック） 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者とその家族に対して、実際に関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、看護計画を立案、実施、評価を行う。 【方法】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者とその家族の療養生活が継続できるように実施されているケアカンファレンスやその他の活動に参加し、多職種・多機関との連携調整について考察する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

4	倫理的問題の調整：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者・家族の倫理的問題に着目して看護実践を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
5	教育：実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、教育方法や技術についてディスカッションする。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
6	相談：実習指導者が訪問看護スタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法についてディスカッションする。さらに、受け持ち事例でのデスカンファレンスを企画し実施する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
7	研究：専門的看護実践のため看護研究の位置づけを考え、在宅看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。

1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・日本在宅ケア学会編：エンドオブライフと在宅ケア 在宅ケア学6．東京，ワールドプランニング，2015．
- ・長江弘子：看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・日本訪問看護振興財団（監修），角田直枝（編集）：訪問看護のための事例と解説から学ぶ在宅終末期ケア．中央法規，2008．
- ・角田直枝：癒しのエンゼルケア―家族と創る幸せな看取りと死後のケア．東京，中央法規，2010．
- ・角田直枝：最新訪問看護研修テキスト ステップ2 緩和ケア．東京，日本看護協会出版会，2005．
- ・藤腹明子：看取りの心得と作法 17 カ条（初版）．，青海社，東京．2004．
- ・粕田晴之監修：こうすればうまくいく在宅緩和ケアハンドブック改訂2版．中外医学社，2012．
- ・日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン2014年版．東京，金原出版，2014．
- ・国立がん研究センター中央病院薬剤部：オピオイドによるがん疼痛緩和 改訂版．東京，エルゼビアジャパン，2012．
- ・角田直枝，濱本千春：がん疼痛ケアガイド．東京，中山書店，2012．
- ・篠田道子：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅳ

更新日：2021/03/04 11:25:57

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	86110		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	861100
担当教員	小野 ミツ, 西村 和美						
学部/学科	大学院 修士課程 CNS コース 在宅看護						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

この実習では、訪問看護ステーションを自ら開設した管理者のもとで実習し、訪問看護ステーションの開設・管理・運営の実際について学ぶ。また、訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、データ分析等を通して、訪問看護の質改善に向けての課題を分析し、職場環境の整備やスタッフ教育などの具体的方策を考える。本実習では専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、「教育」「相談」を中心に学習する。

到達目標

1	地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営方針を考えることができる。
2	訪問看護ステーションの理念を踏まえた経営管理、人材管理の方法を理解できる。
3	訪問看護の質評価と改善にむけて、問題点抽出のため方法を考えることができる。
4	問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、必要なデータの収集により、訪問看護の質改善に向けての課題を分析することができる。
5	抽出した課題に対する職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成することができる。

DPとの関連

DP2 ○
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ◎

授業計画

1	実習方法 【授業方法】 実習 【担当】 小野、西村 【実習場所】 なごみ訪問看護サービス（なごみ訪問看護ステーション、なごみ居宅介護支援サービス、なごみのデイサービス） 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、90時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。
2	実習施設において「地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営、経営管理、人材管理の方法」の実際を知り、その方法を理解する。 【授業内容】 実習施設において「地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営、経営管理、人材管理の方法」の実際を知り、その方法を理解する。
3	実習施設の訪問看護ステーションの管理者業務について、説明を受けた後に役割の参加観察、一部業務の実践を体験し実際の運営方法を学ぶ。 【授業内容】 実習施設の訪問看護ステーションの管理者業務について、説明を受けた後に役割の参加観察、一部業務の実践を体験し実際の運営方法を学ぶ。
4	実習施設の問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、 必要なデータの収集により、訪問看護の質評価と改善に向けての課題を分析する。 【授業内容】 実習施設の問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、 必要なデータの収集により、訪問看護の質評価と改善に向けての課題を分析する。
5	課題分析結果に基づき、職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成する。作成した提言書について、指導者からフィードバックあるいは議論することで、コンサルテーションの手法を学ぶ。 【授業内容】 課題分析結果に基づき、職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成する。作成した提言書について、指導者からフィードバックあるいは議論することで、コンサルテーションの手法を学ぶ。
6	教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。 【授業内容】 教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。
7	相談：実習指導者が療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。 【授業内容】 相談：実習指導者が療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル新版第3版．東京，日本看護協会出版会，2016．
- ・ 角田直枝：訪問看護は“所長”で決まる．東京，日本看護協会出版会，2008．
- ・ 日本訪問看護振興財団：なるほどわかる訪問看護ステーション経営のコツ．東京，日本看護協会出版会，2010．
- ・ 一般社団法人全国訪問看護事業協会（編集）：訪問看護実務相談 Q&A 平成 27 年度改定版．東京，中央法規，2015．
- ・ 島内節, 友安直子, 内田陽子：在宅ケアアウトカム評価と質改善の方法．東京，医学書院，2002．
- ・ Wojiner A.W: Outcome Management Application to Clinical Practice. 2001, 早野真佐子訳, 井部俊子監修：アウトカム・マネジメント．東京，日本看護協会出版会，2003．

評価方法

実習目標の達成度（60％），実習記録およびレポート（40％）

助産学総論

更新日：2021/02/28 14:54:49

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	87010		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	870100
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

日本と世界の助産の歴史と文化、助産師教育の変遷、助産師の機能と役割、助産師の法的責務、リプロダクティブヘルス、性と生殖にかかわる倫理問題について学ぶとともに、自律した専門職としての助産師のあり方について考察する。

到達目標

1	日本及び世界の助産の歴史と助産師の職業の歴史を述べることができる
2	助産や助産師の定義や役割・機能について述べるができる

DPとの関連

DP6（助産）◎

DP7（助産）○

DP8（助産）○

授業計画

1	助産とは 【授業内容】助産の定義、範囲、対象 【授業方法】講義 【担当】永松
2	日本の助産の歴史 【授業内容】古代から江戸時代、明治～昭和時代の助産の変遷 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	日本の母子保健の動向 【授業内容】母子保健の歴史、母子保健の動向と諸制度 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	世界の助産の歴史 【授業内容】諸外国の助産の歴史（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	世界の母子保健の動向 【授業内容】諸外国の母子保健の歴史、母子保健の動向と諸制度（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
6	助産の概念と助産師の定義 【授業内容】助産の概念、助産に関係する概念、助産師の定義 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	助産師の業務 【授業内容】助産師の業務・責務と助産活動の法的根拠、助産師の今後の展望と課題 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
8	日本の助産師職能団体の役割 【授業内容】日本助産師会や日本看護協会などの役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
9	国際的な助産師職能団体の役割 【授業内容】ICM、WHO、FIGO、UNICEF などの役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
10	ICM が示す助産師の能力 【授業内容】ICM が示す助産師の能力 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

11	助産師が行うケアの理念 【授業内容】助産師が行うケアの理念 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
12	助産に関する政策 【授業内容】助産に関する政策 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
13	助産学を支える理論と研究 【授業内容】助産学を支える理論と研究 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
14	助産と育児に関する文化 【授業内容】日本と諸外国における助産と育児に関する文化の比較検討（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
15	助産師教育 【授業内容】日本と諸外国における助産師教育の比較検討（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

学習方法

助産や助産教育の歴史をふまえて、助産師の役割・機能について実践と関連付け、自律した助産師の在り方について考え、助産の展望を検討する。また、専門職業人として安全で満足できる助産ケアの基盤となる考え方を学ぶ。授業は、講義と事前学習した内容の発表・討議で進める。講義資料、発表資料、学習ノートなど学習の成果物を綴じたポートフォリオを授業終了後に提出する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子 武谷雄二編集：助産学概論，第5版．医学書院，2015．
福井トシ子編：助産師業務要覧 基礎編，第3版．日本看護協会出版会，2021

参考文献

青木康子 編：新助産学シリーズ 助産学概論．東京，青海社，2016．
山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論．東京，日本看護協会出版会，2021．
吉沢豊予子 編：助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア．東京，日本看護協会出版会，2020．
成田伸 編：助産師基礎教育テキスト 第3巻 周産期における医療の質と安全．東京，日本看護協会出版会，2016．
永田雅子：妊娠・出産・子育てをめぐるこころのケア：親子の出会いからはじまる周産期精神保健．京都，ミネルヴァ書房，2016．

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（40％）、ポートフォリオファイル（40％）

ウィメンズヘルスⅠ

更新日：2021/02/25 13:36:35

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	87020		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	870200
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

周産期女性の健康に影響を及ぼす思春期や成熟期の健康問題とその支援について学ぶとともに、女性の健康の支援者である助産師のあり方について考察する。

到達目標

1	各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケアの重要性を説明できる
2	思春期女性と成熟期女性の健康課題について説明できる
3	思春期女性と成熟期女性への支援にかかわる助産師の役割について考察できる

DPとの関連

DP6（助産）◎
DP7（助産）○
DP8（助産）○

授業計画

1	各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケア 【授業内容】性差医療の発展と意義、各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケア 【授業方法】講義 【担当】永松
2	思春期女性の成長と発達 【授業内容】身体発達・性機能の成熟、心理・社会的発達、アイデンティティの形成 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	思春期女性を取り巻く社会的問題、思春期女性の健康問題① 【授業内容】月経異常、性感染症 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	思春期女性を取り巻く社会的問題、思春期女性の健康問題② 【授業内容】摂食障害 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	成熟期女性の身体的成長 【授業内容】成熟期前期と成熟期後期の特徴、女性ホルモンと成熟期女性の身体 成熟期女性の健康問題：子宮内膜症 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
6	成熟期女性の心理・社会的発達 【授業内容】成熟期女性のライフコース、取り巻く社会環境（結婚と出産、仕事と育児） 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	成熟期女性と不妊 【授業内容】不妊治療と支援 【授業方法】講義 【担当】おおくま産婦人科不妊クリニック・大隈良譲
8	思春期・成熟期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】思春期・成熟期女性の事例検討 【授業方法】講義 【担当】永松

学習方法

助産ケアの主な対象である周産期女性を理解するための視点を強化する。周産期における助産ケアには、対象者理解において思春期や成熟期女性であるという視点を持つことが重要である。周産期において女性の健康を支援する助産師の役割とは何かについて問いながら学習を進めていく。授業は、講義、発表・討議、事例検討を組み合わせる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集：助産診断・技術学Ⅰ，第6版．東京，医学書院，2021．
吉沢豊予子他：助産師基礎教育テキスト 第2巻．日本看護協会出版会，2020．

参考文献

井上裕美：病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科（第2版）．東京，メディックメディア，2013．
日本女性医学学会 編：女性医学ガイドブック：思春期・性成熟期編：東京，金原出版，2016．
苛原稔編：不妊症・不育症 改訂3版（インフォームドコンセントのための図説シリーズ）．大阪，医薬ジャーナル社，2016．
柴原浩章 森本義晴 京野廣一編著：図説よくわかる臨床不妊症学：一般不妊治療，第3版．東京，中外医学社，2016．

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（30％）、筆記試験（50％）

ウィメンズヘルスII

更新日：2021/02/25 13:41:52

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	87030		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	870300
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

性差医学、婦人科疾患、更年期障害、人工妊娠中絶、不妊症など、今日的な女性の健康課題を取り上げ、生涯を通じた女性の健康支援のあり方について探究する。それらを通し、生涯にわたる女性の健康問題に関わる助産師に求められる基礎的能力を習得する。

到達目標

1	生涯を通じた女性の健康課題について説明できる
2	更年期女性と老年期女性の健康課題に対する支援のあり方について考察できる
3	生涯にわたる女性の健康問題にかかわる助産師に求められる役割について考察できる

DPとの関連

DP6（助産）◎

DP7（助産）○

DP8（助産）○

授業計画

1	更年期女性特有の特徴 【授業内容】更年期女性特有の身体的・心理的・社会的特徴 【授業方法】講義 【担当】永松
2	更年期女性特有の健康課題とそのケア① 【授業内容】更年期障害についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	更年期女性特有の健康課題とそのケア② 【授業内容】排尿障害についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	更年期女性特有の健康課題とそのケア③ 【授業内容】子宮脱についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	更年期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松
6	老年期女性特有の健康問題とそのケア 【授業内容】加齢に伴う全身の変化や喪失体験と不適応についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	老年期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松
8	良性の子宮腫瘍性疾患の診断と治療 【授業内容】子宮筋腫 【授業方法】講義 【担当】山口赤十字病院・高石清美
9	悪性の腫瘍性疾患の診断と治療 【授業内容】子宮がん、卵巣がん 【授業方法】講義 【担当】山口赤十字病院・高石清美
10	子宮・卵巣摘出を受ける女性と家族の支援 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松

11	乳がんの治療を受ける女性と家族の支援 【授業内容】乳がんの治療を受ける女性と家族の支援 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
12	子宮がん健診技術の演習 【授業内容】子宮がん健診技術 【授業方法】演習 【担当】永松
13	乳がん健診技術の演習 【授業内容】乳がん健診技術 【授業方法】演習 【担当】永松
14	世界におけるウィメンズヘルスの支援① 【授業内容】国外におけるウィメンズヘルスの支援 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
15	世界におけるウィメンズヘルスの支援② 【授業内容】国外におけるウィメンズヘルスの支援 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

学習方法

ウィメンズヘルス I およびその他の助産関連科目における既習知識を前提に、助産師として女性の生涯の健康を支援するとは？について探究していく。十分な事前学習は必要であるが、女性の健康を支援する助産師の役割について言語化ができるように学習を積み重ねてほしい。
授業は講義、発表・討議、事例検討、演習を組み合わせで進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松： m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集：助産診断・技術学 I，第 5 版．東京，医学書院，2013．
吉沢豊予子他：助産師基礎教育テキスト 第 2 巻．日本看護協会出版会，2020

参考文献

吉沢豊予子編集：女性生涯看護学 リプロダクティブヘルスとジェンダーの視点から．東京，真興交易医書出版部，2004．
井上裕美：病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科（第 2 版）．東京，メディックメディア，2013．

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（30％）、筆記試験（50％）

リプロダクティブ・ヘルス

更新日：2021/02/25 14:43:50

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	87040		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	870400
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

国の人口政策や経済問題などとも深くかかわるリプロダクティブ・ヘルスの課題について、先進国、途上国の現状を多角的に分析し、その対応について考察する。

到達目標

1	リプロダクティブ・ヘルスの課題をめぐり背景と現状について説明できる
2	リプロダクティブ・ヘルスの課題に対する助産師の支援を考察できる
3	健康教育について学び、リプロダクティブ・ヘルスに関する健康教育の指導および相談等の対応について考察できる
4	受胎調節実施指導の資格取得の申請に向け、必要な知識を身につけることができる

DPとの関連

DP6（助産）◎

DP7（助産）○

DP8（助産）○

授業計画

1	途上国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 途上国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
2	途上国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 途上国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
3	先進国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 先進国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
4	先進国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 先進国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
5	日本のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 日本のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
6	日本のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 日本のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
7	リプロダクティブ・ヘルスの問題事例の対応 【授業内容】 男女間暴力・性暴力 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
8	リプロダクティブ・ヘルスの問題事例の対応 【授業内容】 望まない妊娠・人工妊娠中絶 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
9	健康教育の概念と理論 【授業内容】 リプロダクティブ・ヘルスに関する健康教育の概念と理論 【授業方法】 講義 【担当】 永松
10	相談・教育活動の技術 【授業内容】 リプロダクティブ・ヘルスに関する相談・教育活動の技術 【授業方法】 講義 【担当】 永松

11	家族計画、受胎調節実地指導 【授業内容】家族計画の歴史、母体保護法 【授業方法】講義 【担当】永松
12	家族計画、受胎調節実地指導に関する対応 【授業内容】家族計画、受胎調節実地指導に関する指導および相談 【授業方法】講義 【担当】永松
13	各受胎調節実地指導方法 【授業内容】各受胎調節実地指導のシナリオを用いたロールプレー 【授業方法】演習 【担当】永松
14	家族計画、受胎調節実地指導案とシナリオの作成 【授業内容】事例による家族計画、受胎調節実地指導案とシナリオの作成 【授業方法】演習 【担当】永松
15	家族計画、受胎調節実地指導の実施と評価 【授業内容】家族計画、受胎調節実地指導案とシナリオを用いたロールプレーと評価 【授業方法】演習 【担当】永松

学習方法

助産師にはリプロダクティブ・ヘルスの課題について国内外を問わず多角的に捉え、その対応について考え実践していく能力が求められます。講義は個人発表またはグループディスカッション形式をとります。そのため十分な予習・復習が必須となります。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集：助産診断・技術学Ⅰ，第5版．東京，医学書院，2021．
 福井トシ子 編：助産師業務要覧 基礎編 新版第3版．東京，日本看護協会出版会，2020．

参考文献

我部山キヨ子 武谷雄二編集：母子の基礎科学，第5版．東京，医学書院，2021． 我部山キヨ子 武谷雄二編集：母子の健康科学，第5版．東京，医学書院，2016．
 武谷雄二：エストロゲンと女性のヘルスケア：産婦人科学読本．東京，メジカルビュー社，2015．

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（40％）、受胎調節実地指導案（40％）

女性のフィジカルアセスメント

更新日：2021/03/04 19:14:01

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87050		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	870500
担当教員	永松美雪, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

女性の形態と機能、生殖器の発生から内分泌機能の成熟、さらにライフサイクルにおける女性の身体変化などを基礎として、女性の健康アセスメントに必要な問診の視点を理解するとともに、助産診断・介入に必要なフィジカルアセスメントの手法を習得する。

到達目標

1	助産師が行うフィジカルアセスメントについて説明できる
2	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察技法が説明できる
3	乳房のアセスメントについて説明できる
4	妊婦のフィジカルアセスメントについて説明できる
5	産婦のフィジカルアセスメントについて説明できる
6	褥婦のフィジカルアセスメントについて説明できる

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	フィジカル・イグザミネーションとフィジカルアセスメント 【授業内容】助産師が行うフィジカルアセスメント 【授業方法】講義 【担当】永松 園田
2	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（1） 【授業内容】妊娠初期の診察における基本姿勢および面接（問診）技法 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
3	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（2） 【授業内容】妊娠初期の乳房を含む全身の診察に必要な技法（視診、触診、計測診） 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
4	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（3） 【授業内容】妊娠初期の内診、膣鏡診、細胞診、性感染症検査法 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
5	妊婦のフィジカルアセスメント 【授業内容】妊娠後期のレオポルド胎児触診法、腹囲・子宮底測定法、胎児心音聴取法・胎児モニターリング 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
6	産婦のフィジカルアセスメント（1） 【授業内容】サイツ法、内診、破水の診断、胎児位置・回旋の診断方法 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
7	産婦のフィジカルアセスメント（2） 【授業内容】分娩後2時間に必要なアセスメント技法（問診・視診・触診・計測診）とケア 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田
8	褥婦のフィジカルアセスメント 【授業内容】産褥期に必要なアセスメント技法（問診、視診・触診・計測診）とケア 【授業方法】講義・演習 【担当】永松 園田

学習方法

女性生殖器の解剖・生理、妊娠、分娩、産褥の経過については母性看護学で学んだ知識・技術を踏まえ、講義を進めます。事前学習を行い、各演習の資料やシナリオを作成し臨むこと。内診はシュミレーションモデルを使い、内診所見の口頭試問を行います。胎児モニターリングの装着および所見が読み取れように学習し正常からの逸脱の判断ができるようにトレーニングを行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子：助産師のためのフィジカルイグザミネーション．東京，医学書院，2018．

参考文献

井上真智子 編：もう困らない！プライマリ・ケアでの女性の診かた：女性診療に携わるすべての人に役立つ問診・診察・検査のノウハウ．東京，羊土社，2015．
鈴木俊治、舩森とも子：超早わかり助産ケア技術：決定版！．大阪，メディカ出版，2015．
平澤美恵子，村上睦子監修：写真でわかる助産技術アドバンス：妊産婦の主体性を大切にしたケア，安全で母子に優しい助産のわざ．東京，インターメディカ，2016．
進純郎他：助産外来の健診技術．東京，医学書院，2010．
荒木勤：最新産科学 正常編 第22版．東京，文光堂，2008．
荒木勤：最新産科学 異常編 第22版．東京，文光堂，2012．
日本ラクテーション・コンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード．東京，医学書院，2015．
BFHI2009 翻訳編集委員会訳：UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい 母乳育児支援
増崎英明：動画で学べる産科超音波．大阪，メディカ出版，2014．

評価方法

授業への参加度（10％）、演習の資料・シナリオ（40％）、筆記試験（50％）

妊娠期のアセスメントとケア

更新日：2021/03/02 10:29:48

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87060		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	870600
担当教員	石山 さゆり						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						

授業の目的

妊婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、妊婦・胎児が正常に経過するために必要な能力の習得を目指す。

到達目標

1	正常妊婦の経過と正常からの逸脱を診断できるための基礎知識を習得できる
2	妊娠期のアセスメントに基づいたケア計画が立案できる
3	妊婦・胎児が正常に経過するために必要なケアが説明できる

DPとの関連

DP6○
DP7◎
DP8○

授業計画

1	助産診断、助産過程の概要 【授業内容】オリエンテーション、助産診断、助産過程の展開について説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
2	妊娠に伴う母体の変化と正常からの逸脱の判断とケア 【授業内容】妊娠に伴う母体の変化と正常からの逸脱の判断とケアについて説明する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
3	胎児の発育、器官形成、構造と機能 【授業内容】胎児の発育、器官形成について学習し、人の構造と機能について助産師の視点で考える 【授業方法】講義 【担当】石山
4	妊娠期の助産診断（妊娠中期の事例） 【授業内容】妊娠中期の事例を基に妊娠期の助産診断について説明する 【授業方法】演習 【担当】石山
5	事例の助産診断、計画立案 【授業内容】妊娠中期の事例の助産診断と助産計画を立案し、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション 【担当】石山
6	保健指導と企画書 【授業内容】保健指導企画書の作成方法について説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
7	妊娠期の保健指導（切迫早産） 【授業内容】切迫早産事例の保健指導案を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション 【担当】石山
8	妊娠期の助産診断とケア(妊娠後期事例) 【授業内容】妊娠後期の事例を基に妊娠期の助産診断について説明する 【授業方法】演習 【担当】石山
9	事例の助産診断、計画立案 【授業内容】妊娠後期の事例の助産診断と助産計画を立案し、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション 【担当】石山
10	妊婦の心理・社会的アセスメントとケア 【授業内容】妊婦の心理・社会的アセスメントとケアについて説明する 【授業方法】講義 【担当】石山

11	妊娠後期事例の保健指導 【授業内容】妊娠後期事例の保健指導案を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション 【担当】石山
12	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（胎児モニタリング） 【授業内容】胎児モニタリングの判読方法について説明する 【授業方法】演習 【担当】石山
13	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（糖尿病合併妊娠） 【授業内容】糖尿病合併妊娠事例をもとにハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケアについて説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
14	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（精神疾患等合併妊娠） 【授業内容】周産期の精神疾患の現状とケアの実際について精神科医師が説明する 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー（済生会福岡総合病院 田原孝先生）
15	妊娠期の集団指導の実際（筑紫クリニック見学） 【授業内容】妊娠期の集団指導の実際（ソフロロジー法）を見学する 【授業方法】演習 【担当】石山

学習方法

第1回目の授業時に既習知識の確認のため母性看護学妊娠編の試験を行う（評価に含めない）。
周産期学（正常編、異常編）、女性のフィジカルアセスメントの知識を用い、妊婦・胎児をアセスメントしケアを行うための思考過程を学習する。それらを踏まえ事例を提示し、妊娠各期の母児のアセスメントを行い、ケア計画の立案と保健指導が実施できるように事例の展開を行う。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 第6版.東京, 医学書院, 2021.
医療情報科学研究所編：病気がみえる 産科Vol10 第4版. 東京, MEDIC MEDIA, 2018.
日本産科婦人科学会 日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン産科編2020. 東京, 日本産科婦人科学会事務局, 2020.
北川真理子：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第4版. 東京, 南江堂, 2019. 日本助産診断・実践研究会編：マタニティ診断ガイドブック 第5版. 東京, 医学書院, 2015.

参考文献

平澤美恵子：写真でわかる助産技術. 東京, インターメディカ, 2012.
平澤美恵子：写真でわかる助産技術(アドバンス). 東京, インターメディカ, 2016.
進純郎：助産外来の健診技術. 東京, 医学書院, 2010.
砥石和子：ハイリスク妊娠のマタニティケアプラン. 大阪, メディカ出版, 2014.
永田 雅子：新版 周産期のこころのケア——親と子の出会いとメンタルヘルス.. 東京, 遠見書房, 2017.

評価方法

講義への参加度(20%), 課題 (20%) , 筆記試験 (60%)

分娩期のアセスメントとケア

更新日：2021/03/02 10:26:10

開講年度	2021	学期	通年	シバコード	87070		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	870700
担当教員	石山 さゆり						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						

授業の目的

産婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、産婦とその家族が安全・安楽に出産するために必要な能力の習得を目指す。

到達目標

1	正常な分娩経過と正常からの逸脱を診断できるための基礎知識を習得できる
2	分娩期のアセスメントをもとにケア計画が立案できる
3	分娩助産技術を習得できる
4	出産が正常に経過するために必要なケアを説明できる

DPとの関連

DP6○

DP7◎

DP8○

授業計画

1	分娩期の助産診断とケア（１）分娩期の助産過程の特徴 初期診断に必要な情報 【授業内容】オリエンテーション 分娩期の助産過程の特徴と初期診断に必要な情報について説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
2	分娩期の助産診断とケア（２）母体状態、胎児の状態のアセスメント 初産婦事例 【授業内容】初産婦事例をもとに母体の状態、胎児の状態のアセスメントをする 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
3	分娩期の助産診断とケア（３）分娩期のケア 【授業内容】分娩期のケアの実際について説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
4	分娩期の助産診断とケア（４）産婦の心理・社会的アセスメントとケア 【授業内容】産婦の心理と社会的アセスメントとケアについて説明する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
5	出産の促進のためのケア 【授業内容】出産の促進のためのケアについて説明し、演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
6	産痛の意味と緩和法 【授業内容】産痛の意味について説明し、緩和法の実際について演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
7	分娩助産法（１） 【授業内容】分娩助産について器具を用いて講義、演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
8	分娩助産法（２） 【授業内容】分娩助産について器具を用いて講義、演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
9	分娩助産法（３）デモンストレーション 【授業内容】分娩助産法の実際についてデモンストレーションを行う 【授業方法】演習 【担当】石山
10	分娩助産技術評価（物品の準備 分娩野作成まで） 【授業内容】分娩助産法（物品の準備 分娩野作成まで）を実演し、技術进行评估する 【授業方法】演習 【担当】石山・永松

11	分娩介助技術評価（分娩介助） 【授業内容】分娩介助法を実演し、技術进行评估する 【授業方法】演習 【担当】石山・永松
12	分娩期の助産計画立案 【授業内容】自然分娩、分娩促進、前期破水、GBS、帝王切開、糖尿病合併妊娠、妊娠高血圧症候群などの助産計画を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション 【担当】石山
13	正常な経過からの逸脱またはハイリスク産婦・胎児のアセスメントとケア（2） 【授業内容】分娩誘導、回旋異常、吸引分娩、産科異常出血事例のアセスメントとケアについて説明する 【授業方法】講義 【担当】石山
14	フリースタイル出産（演習） 【授業内容】フリースタイル出産について演習する 【授業方法】演習 【担当】石山
15	正面介助分娩の実際 【授業内容】正面分娩介助法の実際について実技演習を行う 【授業方法】講義・実技演習 【担当】ゲストスピーカー（筑紫クリニック 植木さゆり先生）

学習方法

第1回目の授業の時に既習知識の確認のため母性看護学分娩編の試験を行う（評価に含めない）。周産期学（正常編、異常編）、女性のフィジカルアセスメントの知識を用い、産婦・胎児をアセスメントし、ケアを行うための思考過程を学ぶ。それらを踏まえ、分娩第1期から4期までの母児の事例のアセスメントを行い、ケア計画を立案する。分娩介助法を学習する前の準備として、分娩機転がシュミレーションできるように自己学習しておく。基本的な分娩介助技術を習得するために、練習を重ね技術試験に臨む。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子編：助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 第6版.東京, 医学書院, 2021.

遠藤俊子編：ハイリスク妊産婦・新生児へのケア. 東京, 日本看護協会出版会, 2018.

医療情報科学研究所編：病気がみえる 産科Vol10 第4版. 東京, MEDIC MEDIA, 2018.

参考文献

進純郎：助産師必携 会陰保護技術, 大阪, メディカ出版, 2005.

京都産婦人科救急診療研究会編著：母体急変時の初期対応. 大阪, メディカ出版, 2013.

村上明美：仰臥位分娩介助技術 DVD で学ぶ助産師の「わざ」熟練の技を求めて. 東京, 医歯薬出版, 2015.

村上明美：フリースタイル分娩介助. 東京, 医歯薬出版, 2009.

平澤美恵子：写真でわかる助産技術. 東京, インターメディカ, 2012.

平澤美恵子：写真でわかる助産技術（アドバンス）. 東京, インターメディカ, 2016.

Andrea, R：The Midwife Companion 2004, 大葉ナナコ訳：心により添う助産術実践テキスト. 大阪, メディカ出版, 2007.

藤田八千代：臨床助産師必携. 東京, 医学書院, 2006.

評価方法

講義への参加度（10％）、課題（20％）、技術試験（10％）、筆記試験（60％）

産褥期・新生児のアセスメントとケア

更新日：2021/03/03 16:58:28

開講年度	2021	学期	通年	シバースコード	87070		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	870800
担当教員	園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

産後の母体と新生児の経過が正常（生理的な変化）であるか、また、逸脱・異常およびハイリスク状態の徴候がないかをアセスメントし、褥婦と新生児に対して適切なケアを選択し、親として自立が図れるよう家族を含めた健康教育（個別・集団、訪問による指導を含む）を行うために必要な能力を習得する。

到達目標

1	正常な経過をたどる褥婦と新生児および家族に対するケアの原則について説明できる
2	正常な経過をたどる褥婦と新生児に対する助産過程の展開ができる
3	産褥期に必要な不可欠な授乳指導、沐浴指導、退院指導についての保健指導案を作成できる
4	特別なケアを必要とする褥婦と新生児およびその家族のケアを考察することができる

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	助産師が行う産褥期・新生児期のケア 【授業内容】産褥期のケアの理念、産褥期のケアに求められる実践能力、新生児期のケアの基本について学修する。 【授業方法】講義 【担当】園田
2	産褥期における社会的課題 【授業内容】周産期における社会的問題について、大学院生によるプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
3	褥婦の身体的側面のアセスメントと助産診断・ケア① 【授業内容】経膈分娩後、産褥1日目の初産婦の事例を用いて、褥婦の身体的側面のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
4	褥婦の心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケア① 【授業内容】経膈分娩後、産褥1日目の初産婦の事例を用いて、褥婦の心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
5	子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケア① 【授業内容】経膈分娩にて出生した日齢1日目の新生児の事例を用いて、子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
6	助産ケアの実際 【授業内容】実際に行われている助産ケアを学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 本田しのぶ
7	親役割獲得を促進する支援① 【授業内容】親役割獲得を促進する支援である育児指導や授乳指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
8	褥婦の身体的・心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケア② 【授業内容】経膈分娩後、産褥3日目の褥婦の事例を用いて、褥婦の身体的・心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
9	子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケア② 【授業内容】経膈分娩にて出生した日齢3日目の新生児の事例を用いて、子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田

10	親役割獲得を促進する支援① 【授業内容】親役割獲得を促進する支援の1つである沐浴指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
11	セルフケアを伸ばす支援 【授業内容】セルフケアを伸ばす支援の1つである退院指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
12	正常からの逸脱① 【授業内容】産褥期の疾患について、臨床推論をもとに情報収集から診断までの思考過程を強化する。大学院生による討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
13	正常からの逸脱② 【授業内容】産褥期の疾患について、臨床推論をもとに情報収集から診断までの思考過程を強化する。大学院生による討議を行う。 【授業方法】演習 【担当】園田
14	帝王切開のケア 【授業内容】産褥期における帝王切開のケアについて学修する。 【授業方法】講義 【担当】園田
15	ペリネイタルロスとグリーフケア、医療者のレジリエンス 【授業内容】ペリネイタルロスを経験した女性へのケア、ケアを行う医療者のレジリエンスについて学修する。 【授業方法】講義 【担当】園田

学習方法

第1回授業で既習知識（産褥期、新生児期）の試験を行う（評価に含めない）。
 褥婦、新生児の事例を用いた産後1日目から退院までの助産過程の展開を行う。その中で、対象の個性を生かした助産計画及び保健指導案を作成し、討議を行う。また、特別なケアを必要とする褥婦と新生児およびその家族について講義・演習を通して学修する。以上を通して、褥婦・新生児に対する助産ケアにアセスメント力および実践力の強化を図る。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

特に指定しない

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編（改定第22版）. 東京, 文光堂, 2008.
 荒木勤：最新産科学 異常編（改定第22版）. 東京, 文光堂, 2012.
 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア. 東京, 日本看護協会出版会, 2021.
 我部山キヨ子他：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第6版. 東京, 医学書院, 2021.
 石井邦子他：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[2] 新生児期・乳幼児期 第6版. 東京, 医学書院, 2021.
 北川真理子, 内山和美：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程（改定第4版）. 東京, 南江堂, 2019.
 進純郎：分娩介助学 第2版. 東京, 医学書院, 2014.
 仁志田博司：新生児学入門 第5版. 東京, 医学書院, 2018.
 日本ラクテーションコンサルタント協会編：母乳育児支援スタンダード第2版. 東京, 医学書院, 2015.

評価方法

筆記試験（50％）、事例展開の資料および指導案（40％）、講義への貢献度（10％）

周産期学（正常編）

更新日：2021/03/03 16:56:19

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87090		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	870900
担当教員	西田 眞, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

正常な妊娠・分娩・産褥のアセスメントに必要な周産期学の知識として、妊娠の成立過程さらに妊娠分娩産褥に伴う生理的变化について考察する。

到達目標

1	妊娠の成立と維持に必要な内容が説明できる
2	胎児の発育、胎児・胎盤系について説明できる
3	妊娠・分娩・産褥に伴う母体の生理的变化を説明できる
4	産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転について説明できる
5	母子の栄養、母子感染について説明できる

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠の成立と維持 【授業内容】妊娠の成立と維持について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞、濱崎洋一郎
2	胎児胎盤系の生理 【授業内容】胎児・胎盤ユニット、胎盤の剥離機転と止血機構について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞、濱崎洋一郎
3	妊娠による母体の生理学的変化 【授業内容】妊娠による性器および全身(循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系)の生理的变化について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞、貴島雅子
4	出産による母体の生理学的変化 【授業内容】出産による、性器および全身(循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系)の生理的变化について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞、貴島雅子
5	ME 機器を用いた検査方法 【授業内容】超音波検査法、胎児心拍モニタリング、X線検査について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞
6	産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転、胎位・胎勢 【授業内容】産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転、胎位・胎勢について学修をする。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 西田眞、松本恵
7	母の栄養 【授業内容】妊娠期～産褥期の母体の栄養について、DOHad学説を中心に学修する。 【授業方法】講義 【担当】永松美雪
8	母乳育児 【授業内容】母子の栄養、母子感染について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 岩隈真由美

学習方法

本科目は助産師が責任を持って行う正常な妊娠の診断、分娩経過の診断、分娩介助、褥婦の診断を行うための基礎となる科目です。周産期学（異常編）と連動し、正常と正常からの逸脱の判断ができるよう知識の習得を目指します。

オフィスアワー

担当教員 西田とメール（mnishida@fukuoka-med.jrc.or.jp）等で連絡を取り、日時を調整する。

テキスト

特に指定しない

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編 第22版. 東京, 文光堂, 2008.
進純郎：分娩介助学 第2版. 東京, 医学書院, 2014.
日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産婦人科学会, 2020.
池ノ上克：NEW エッセンシャル 産科学・婦人科学. 東京, 医歯薬出版, 2004.
丸尾猛他編：標準産科婦人科学 第4版. 東京, 医学書院, 2011.
武谷雄二総編集：新女性医学大系 II 生殖・内分泌部門. 東京, 中山書店, 1998-2002.

評価方法

筆記試験（100％）

周産期学（異常編）

更新日：2021/03/03 16:57:25

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87100		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871000
担当教員	西田 眞, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

妊娠・分娩・産褥期における異常と合併症妊娠の病態、治療についての知識を習得する。また、緊急時の処置とその技術を習得する。

到達目標

1	妊娠・分娩・産褥期におこりやすい異常について説明できる
2	合併症妊娠の病態、治療について説明できる
3	異常が発生した場合の初期対応と医師との連携について説明できる
4	緊急時の初期対応について説明できる
5	会陰裂傷の縫合ができる（演習）

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠継続が困難な疾患の病態と治療 【授業内容】 不妊、出生前診断（羊水検査）、流産、子宮内胎児死亡、絨毛性疾患について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 遠城幸子
2	受精卵の着床異常と胎児の発育異常の病態、治療 【授業内容】 子宮外妊娠、多胎、胎児発育不全、血液型不適合妊娠、薬物・放射線の影響について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 松本恵
3	異常妊娠と合併症妊娠の病態と管理 【授業内容】 妊娠高血圧症候群、前置胎盤（自己血貯血）、常位胎盤早期剥離、癒着胎盤、前期破水、切迫早産、合併症妊娠（心疾患、糖尿病、甲状腺疾患、婦人科疾患、感染症など）について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 遠城幸子
4	分娩の3要素の異常と対応 【授業内容】 分娩促進・誘発、進入異常・回旋異常、C P D、胎位の異常・臍帯の異常について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 松本恵
5	産科救急 【授業内容】 一次救急、異常出血 双手圧迫法などの止血方法について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 遠城幸子
6	産科手術 【授業内容】 吸引分娩術、帝王切開術、骨盤位娩出術、人工妊娠中絶、肩甲難産について学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 遠城幸子
7	骨盤底、会陰の解剖、会陰切開方法、縫合デモンストレーション 【授業内容】 骨盤底、会陰の解剖、会陰切開方法について学修する。縫合デモンストレーションにより会陰縫合術の方法を学修する。 【授業方法】 講義 【担当】 福岡赤十字病院 西田眞
8	会陰縫合術 【授業内容】 会陰裂傷の縫合を学内演習にて行う。 【授業方法】 演習 【担当】 園田

学習方法

周産期学（正常編）と連動し、正常からの逸脱の判断ができるための知識習得と周産期におこりやすい異常と緊急時の初期対応について学びます。会陰裂傷縫合は臨地でのデモンストレーションの見学を行った後、学内で各自縫合の演習を行います。

オフィスアワー

担当教員 西田とメール（mnishida@fukuoka-med.jrc.or.jp）等で連絡を取り、日時を調整する。

テキスト

特に指定しない

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編 第22版. 東京, 文光堂, 2008.

荒木勤：最新産科学 異常編 第22版. 東京, 文光堂, 2012.

日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産婦人科学会, 2020.

進純郎：正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合. 東京, 医学書院, 2010.

大石時子：裂傷縫合トレーニングモデル with DVD. 基礎編 DVD, 東京, 高研, 2010.

評価方法

筆記試験(90%), 演習への貢献度(10%)

新生児学

更新日：2021/02/28 10:55:40

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87110		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	871100
担当教員	松本 直子, 永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						

授業の目的

新生児の分類とその評価を行う知識を深めるとともに、子宮内環境から子宮外環境への臓器別の生理的適応変化とそれをもとにしたフィジカルアセスメントを習得する。また、出生時の適応障害、在胎週数別に見た合併症とその症状を理解し、新生児の治療方法として、基本的治療（ケアや栄養管理）、薬物治療（薬剤投与の実際など）、特殊な治療（人工換気、交換輸血、脳低温療法など）について最近の知見も含めて学び、ケアの提供ができるようになる。

到達目標

1	新生児の病態生理と疾病の特徴について理解できる。
2	新生児に特有なケアが提供できる態度を身につけることができる。
3	新生児蘇生の基本的手技を習得する。

DPとの関連

DP1 ○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	新生児学総論 【授業内容】 発育と発達とその評価 新生児診断学 新生児医療における生命倫理 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：松本直子
2	新生児の養護と管理 【授業内容】 母子関係と家族の支援 医療事故と医原性疾患 災害と新生児医療 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：吉岡和代
3	呼吸器系と循環器系の基礎と臨床 【授業内容】 呼吸器系の基礎と臨床 循環器系の基礎と臨床 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：松本直子
4	新生児医療と看護 【授業内容】 新生児医療とあたたかい心 体温調整と保温 栄養・消化器系の基礎と臨床 低出生体重児の看護 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：木村洋子
5	内分泌・代謝系と栄養・消化器系の基礎と臨床 【授業内容】 水・電解質バランスの基礎と臨床 内分泌・代謝系の基礎と臨床 栄養・消化器系の基礎と臨床 黄疸の病態と臨床 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：松本直子
6	主要疾患の看護 【授業内容】 RDS、TTN、PDA、VSD、IDM、高ビリルビン血症、多血、NEC、初期嘔吐、感染 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：青戸直子
7	血液系、免疫系と感染 【授業内容】 血液系の基礎と臨床 免疫系と感染の基礎と臨床 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：松本直子

8	中枢神経系の基礎と臨床 【授業内容】 中枢神経系の基礎と臨床 先天異常と遺伝 主要疾患の病態と遺伝 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：松本直子
9	新生児発達促進ケア（ディベロプメンタルケア） 【授業内容】 痛みのケア、ポジショニング 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：竹中陽子
10	低出生体重児のケア 【授業内容】 カロリー計算、水分出納の考え方、退院支援、ファミリーケア 【授業方法】 講義 【担当】 山口赤十字病院：竹中陽子
11	正常な新生児のアセスメントとケア 【授業内容】 事例による新生児の生理的变化についてのアセスメントとケア 【授業方法】 講義・演習 【担当】 園田
12	正常から逸脱した新生児のアセスメントとケア 【授業内容】 低出生体重児・新生児黄疸の事例によるアセスメントとケア 【授業方法】 講義・演習 【担当】 園田
13	新生児蘇生法 【授業内容】 新生児蘇生の手技を習熟する（学内での周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 蘇生のアルゴリズムの理解、蘇生バック使用の習熟が目標 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松
14	新生児蘇生法 【授業内容】 新生児蘇生の手技を習熟する（学内での周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 蘇生のアルゴリズムの理解、蘇生バック使用の習熟が目標 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松
15	新生児蘇生法 【授業内容】 新生児蘇生の手技を習熟する（学内での周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 蘇生のアルゴリズムの理解、蘇生バック使用の習熟が目標 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松

学習方法

講義と演習

オフィスアワー

1～10回はNICUの小児科医師または看護師・助産師による講義のため施設を訪問する。

テキスト

仁志田博司：新生児学入門（第5版）．東京，医学書院，2018．

細野茂春：新生児蘇生法テキスト（改訂第3版）．東京，メジカルビュー，2016．

参考文献

授業中に紹介

評価方法

授業参加度（20％）、筆記試験（80％）

助産と薬理

更新日：2021/03/08 19:53:41

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	87120		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871200
担当教員	柳原 延章						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

女性のライフステージ、妊娠時における薬物動態の基礎、正常周産期の妊産婦および授乳婦のケア、そして産科救急に必要な薬品の薬理作用の知識を習得する。
さらに、受胎調節実地指導に必要なピルを含めた避妊薬の知識を習得する。

到達目標

1	妊娠期の薬物の催奇形性や胎児毒性及び妊婦にかかわる薬物療法の概要を説明することができる。
2	経口避妊薬やホルモン補充療法の概要を説明することができる。
3	授乳婦や新生児に対する薬物療法の概要を説明することができる。

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠期の薬物の催奇形性や胎児毒性について学習する。 【授業内容】薬物の催奇形性と胎児毒性 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
2	妊娠期の各種疾患に用いる薬剤について学習する。 【授業内容】妊娠糖尿病や妊娠高血圧症等の妊娠時の各種疾患に対する治療薬について学習する。 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
3	産科救急に必要な薬品について学習する。 【授業内容】産科救急に用いる薬剤の実例 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
4	続発性無月経及びそのホルモン治療薬について学習する。 【授業内容】続発性無月経及びそのホルモン治療等。 【授業方法】講義 【担当】柳原
5	経口避妊薬や受胎調節治療薬について学習する。 【授業内容】経口避妊薬などの受胎調節治療薬等 【授業方法】講義 【担当】柳原
6	新生児に用いる薬剤や授乳に影響を与える薬剤について学習する。 【授業内容】新生児に用いる薬剤や授乳に影響を及ぼす薬剤等 【授業方法】講義 【担当】柳原
7	妊婦や胎児に影響を及ぼした過去の事例（薬害）について自主学習し、発表する。 【授業内容】妊娠にまつわる薬害問題 【授業方法】自主学習とプレゼンテーション 【担当】柳原
8	国家試験問題を学習する。 【授業内容】過去の国家試験問題の解説及び解答 【授業方法】講義 【担当】柳原

学習方法

授業内容について、講義および自主学習によるプレゼンテーションさらにディスカッションを通じて理解する。
いくつかのテーマに関して、事前課題を提示する。その課題レポートおよび、講義を合わせて理解し、考察を行う。
最新の医薬品情報を適宜収集・確認する習慣を身につける。

オフィスアワー

yanagin@med.uoeh-u.ac.jp、t-kojiro@kitakyu-hp.or.jpまでアポイントをとってください。

テキスト

指定しない、適宜、資料を配布する。

参考文献

松田 静治：妊婦と薬物治療の考え方ー投与時の注意と禁忌全面改訂第2版．東京，ヴァンメディカル，2004．

Gerald, G.Briggs,et al.: Drugs in Pregnancy and Lactation: A Reference Guide to Fetal and Neonatal Risk 8thEd.. Lippincott Williams & Wilkins, 8.

日本産科婦人科学会・日本女性医学学会：ホルモン補充療法ガイドライン．東京，日本産科婦人科学会，2012．

日本産科婦人科学会編：低用量経口避妊薬の使用に関するガイドライン改訂版．日本産科婦人科学会雑誌．58（3）：894-962, 2006．

評価方法

筆記試験（80％）、授業参加度及び課題レポート（20％）

地域母子保健

更新日：2021/02/25 19:39:18

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	87130		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871300
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

国際化を視野に入れ、地域における母子保健、女性保健を推進するために助産師に必要な基礎的能力を習得する。

到達目標

1	地域における母子保健のしくみや制度を説明できる。
2	地域で生活する母子や家族、女性の健康支援を効果的に展開するための知識を身につけることができる。

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）○
DP8（助産）◎

授業計画

1	地域母子保健活動の意義と母子保健の現状と動向 【授業内容】 ・地域の概念・地域の特性と地域母子保健・地域母子保健活動の意義 ・人口動態統計・母体保護統計・子ども虐待死亡事例分析統計・母子保健をめぐる諸問題 【授業方法】講義 【担当】永松
2	わが国の母子保健行政 【授業内容】母子保健行政の進展・母子保健関係法規・国都道府県や市町村の役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	わが国のおもな母子保健制度 【授業内容】健康診査・保健指導・療養援護・医療対策・予防接種・ひとり親家庭の支援・女性保護 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	わが国の母子保健施策 【授業内容】健康日本21・健やか親子21・少子化社会対策大綱と次世代育成支援対策推進法 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	病院・診療所による地域母子保健活動の実践 【授業内容】妊婦健診・産後健診・産後育児相談・産後ケア事業など 【授業方法】講義 【担当】あさの葉レディースクリニック・鳥本直子
6	市町村による地域母子保健活動の実践 【授業内容】妊娠期から育児期までの地域母子保健活動 【授業方法】講義 【担当】宗像市子ども家庭課
7	災害時の地域母子保健活動と国際母子保健 【授業内容】災害時の地域母子保健活動・諸外国の母子保健活動・海外在住日本人の母子保健・在日外国人の母子保健 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
8	事例検討 【授業内容】産後1か月の母子のアセスメントと支援 【授業方法】演習 【担当】永松

学習方法

講義のほかに課題として事前学習の発表をもとに討議形式にて進める

オフィスアワー

m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

我部山キヨ子他：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健．東京，医学書院，2016．

参考文献

授業の中で適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20％）、発表・資料（20％）、産後健診記録（20％）、筆記試験（40％）

助産経営管理学

更新日：2021/02/28 15:49:01

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	87140		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	871400
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

授業の目的

妊産婦や新生児により安全で満足できるケアを提供するための業務を遂行するための管理（関連法律を含む）と助産機能評価について探究する。また、経営、医療事故、災害などのリスクマネジメントについて、現在の周産期医療現場が抱える課題と対応について考察する。

到達目標

1	助産管理に関する法規と助産師の義務・責任を説明できる
2	周産期管理システムとリスクマネジメントについて説明ができる
3	助産業務が行われる場による助産管理の特徴と他職種、他機関、他部門との連携と調整について説明できる
4	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携について説明できる
5	開業助産院の計画（案）を作成し、助産と経営について考察し発表することができる

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）○

DP8（助産）◎

授業計画

1	助産管理の基本 【授業内容】管理の基本概念とプロセス、助産管理の概念 【授業方法】講義 【担当】永松
2	助産と医療経済 【授業内容】助産に関する医療経済 【授業方法】講義 【担当】永松
3	関係法規 【授業内容】助産管理に関する関係法規 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	助産師の法的責任と義務 【授業内容】助産師の法的責任と義務 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	周産期管理システム 【授業内容】周産期管理システム、周産期搬送システム、オープンシステムなど 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
6	周産期のリスクマネジメント 【授業内容】周産期の医療事故、感染対策、災害対策など 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	病院における助産業務管理 【授業内容】病院、医院における助産業務管理 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
8	産科棟の管理 【授業内容】産科病棟の管理 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
9	院内助産・院内助産院の管理 【授業内容】院内助産・院内助産院の管理 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
10	外来の助産管理 【授業内容】外来の助産管理 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

11	助産所の助産管理と助産所開設 【授業内容】助産所の管理に関する法規、助産所開設に必要な事項 【授業方法】講義 【担当】永松
12	無床助産所における助産管理 【授業内容】無床助産所における助産管理と地域連携 【授業方法】講義 【担当】にじいる助産院 益永孝子
13	有床助産所における助産管理 【授業内容】有床助産所における助産管理と地域連携 【授業方法】講義 【担当】笑望助産院 高崎望
14	有床助産所における運営と経営 【授業内容】有床助産所における運営と経営 【授業方法】講義 【担当】笑望助産院 高崎望
15	作成した開業助産計画（案）の発表 【授業内容】各自で作成した開業助産計画（案）の発表 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

学習方法

助産管理は個々の助産師にも求められることから、助産業務に必要な法的根拠については、予習・復習をしておくこと。授業は講義と発表・討議の組み合わせで進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松： m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子、毛利多恵子：助産管理（第5版）．東京，医学書院，2016．
福井トシ子編：助産師業務要覧 基礎編（第3版）．東京，日本看護協会出版会，2021．
日本助産師会：助産所開業マニュアル 2013 年度改訂版．東京，日本助産師会出版，2013．

参考文献

日本助産師会助産録改訂特別委員会 編：助産録 記録と助産師の責務. 東京，日本助産師会出版,2016.
日本助産師会助産業務ガイドライン改訂特別委員会 編：助産業務ガイドライン 2014 年改訂版（PDF）．東京，日本助産師会，2014． <http://www.midwife.or.jp/pdf/guideline/guideline.pdf> 成田伸編：周産期における医療の質と安全．東京，日本看護協会出版会，2013．
日本産婦人科学会：産婦人科診療ガイドラインー産科編．東京，日本産科婦人科学会事務局，2014．
日本助産師会災害対策委員会 編：助産師が行う災害時支援マニュアル（PDF）．東京，日本助産師会出版，2012． http://www.midwife.or.jp/pdf/disaster_manual_all.pdf

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（20％）、開業助産計画書（20％）、筆記試験（40％）

フィールドワーク演習

更新日：2021/01/09 18:47:04

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	87150		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	871500
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、フィールドワークのテーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。

到達目標

1	これまでの経験や文献等をもとに、各自の専門領域で、探究すべきテーマを明確にできる
2	1に基づき本演習を、自立して計画・実施・評価できる
3	文献や理論を活用して、演習成果をレポートとして記述できる

DPとの関連

DP2 ◎
DP6（助産）○
DP7（助産）○

授業計画

1	フィールドワーク演習のスケジュールとテーマの討議 【授業内容】フィールドワーク演習のスケジュールおよび進め方とテーマの討議 【授業方法】演習 【担当】永松、石山、園田
2	フィールドワークのテーマと目的 【授業内容】フィールドワークのテーマと目的 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田 【方法】各自のテーマと目的にあった専門領域あるいは関心領域の地域・集団・個人を対象としたフィールドを開拓する。
3	フィールドワークの演習計画 【授業内容】フィールドワークの演習計画書作成 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田 【方法】各自のテーマと目的に沿った演習計画書を作成する。 ※演習期間は学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。
4	フィールドワーク演習の準備 【授業内容】演習計画の事前交渉と必要な手続き 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田 【方法】演習計画の事前交渉と必要な手続きのための書類を作成する ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要である。
5	フィールドワーク演習の実施 【授業内容】実際にフィールドワーク演習の実施 【授業方法】演習 【担当】フィールドでの担当者 【方法】事前交渉に従い実施する。
6	フィールドワーク演習の評価 【授業内容】フィールドワーク演習の評価と報告書作成 【授業方法】発表 【担当】永松、石山、園田 【方法】演習で探究したテーマと目的について、理論や文献を活用してレポートにまとめ、フィールドへの報告書として作成する。

学習方法

各自の専門領域あるいは関心領域での演習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して演習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは各指導教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください。
永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp 園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

実習計画書（40%） 「実習と文献検討をもとに、探究すべき課題」についてのレポート（60%）

助産基礎実習

更新日：2021/02/25 19:50:22

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	87160		
学年	1	曜日/時限		単位数	8.0	科目コード	871600
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

周産期の母子とその家族が安全・安楽に、主体的に出産に臨めるために必要な基本的助産診断・技術能力、態度を習得することを目指す。

到達目標

1	妊娠期の母子の健康状態を診断し、必要な保健指導が説明できる
2	分娩期の母子の健康状態を診断し、分娩介助が実施できる（10 例程度）
3	産婦の健康状態を診断し、必要な援助が実施できる
4	新生児の健康状態を診断し、必要な援助が実施できる

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）◎

DP8（助産）○

授業計画

1	I．目標 【授業内容】 （妊娠期） 1）妊娠期に必要な診察技術を用い、母子の健康状態を診断できる。 2）妊婦の生活行動、心理社会的な側面、出産育児行動を診断できる。 3）妊婦とその家族が出産・育児に向けて準備ができるような援助ができる。 4）妊婦に必要な保健指導の内容が説明できる。 （分娩期） 1）分娩期に必要な診察技術を用い、母子の健康状態を診断できる。 2）1）の診断に基づき、母子が安全・安楽に分娩が経過できるような援助が実施できる。 3）母子ともに安全な分娩介助が実施できる。 4）出産直後の産婦、新生児のケアが実施できる。 5）正常分娩からの逸脱を予測し、必要な援助が考えられる。 （産褥・新生児期） 1）産褥期に必要な診察技術を用い、産婦の健康状態を診断できる。 2）新生児の発育・発達、胎外生活への適応（健康状態）の診断ができる。 3）産婦のセルフケア能力を高めるための援助ができる。 4）母乳哺育確立のための援助が実施できる。 5）産婦をサポートする家族への援助ができる。 6）退院から1か月健診までの母子及び家族の健康状態、家族環境の診断ができる。 7）産後1か月の母子、家族の健康診断ができ、適切な援助について説明できる。 8）親子・家族関係や心理状態を診断し、母子及び家族へ支援について考察できる。
2	II．方法 【授業方法】実習 1）実習場所：総合病院、産科クリニックで実習を行う。 （福岡赤十字病院、山口赤十字病院、熊本赤十字病院、筑紫クリニック、宗像セントラルクリニックなど） 2）実習日程：2022 年 1 月 4 日～3 月 1 日（8 週間）

学習方法

周産期学、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児のアセスメントとケアの科目を学習し、分娩介助技術を習得したのち臨地実習に臨む。実習前に助産計画案、保健指導案の作成を行い、受け持ち事例の援助に役立てる。分娩経過をアセスメントし、分娩介助を実施する。分娩介助技術は分娩期評価表に基づき臨地実習指導者から評価を受ける。夜間・休日実習になる場合もある。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは必要時メール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）（園田：no-sonoda@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。
実習期間中は実習担当教員が巡回指導を行います。

テキスト

助産学およびすべての関連科目の図書、文献

参考文献

助産学およびすべての関連科目の図書、文献

評価方法

実習評価表（100％）

助産所実習

更新日：2021/01/11 19:48:29

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	87170		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871700
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

助産所の管理システムを理解し、妊産婦ケアの実際、出産における安全性の確保と医療連携のあり方について研究し、自律した助産師として、助産ケアを評価・分析するための基礎を養う。

到達目標

1	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を説明できる
2	助産所における妊産婦・新生児のケアの実際を説明できる
3	出産における安全性の確保と緊急時における医療連携のあり方について考察できる

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）◎

DP8（助産）○

授業計画

1	企画型実習（2年前期：4日間、7月第2・3週を予定）※2名で実習する。 【授業内容】 1. 助産院町のさんばさんで4日間、実習を行う。 2. 実習目標および参加型実習での経験を踏まえ、実習を企画し、実習計画書、実習記録用紙、実習評価表を作成する。 3. 企画した実習について、実習前に助産所の助産師の助言を得て、実行可能な実習計画を立てる。 4. 文献などを活用して、実施したことをレポートにまとめる。 5. 実施したことを実習目標に沿って適切に評価する。 【授業方法】実習

学習方法

本実習においては、経営、管理、ケア、安全、連携、質評価などのキーワードを押さえておくことが不可欠である。また、本実習は、実習生の主体性が尊重され、学ぶ意識と十分な事前準備が求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産経営管理学および助産関連科目全ての図書、文献

評価方法

参加型（40％）：〈内訳〉実習目標の達成度 80％、課題レポート 20％

企画型（60％）：〈内訳〉実習目標の達成度（実習計画含む）80％、課題レポート 20％

助産所実習

更新日：2021/01/11 18:52:17

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	87170		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871700
担当教員	永松美雪						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

助産所の管理システムを理解し、妊産婦ケアの実際、出産における安全性の確保と医療連携のあり方について研究し、自律した助産師として、助産ケアを評価・分析するための基礎を養う。

到達目標

1	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を説明できる
2	助産所における妊産婦・新生児のケアの実際を説明できる
3	出産における安全性の確保と緊急時における医療連携のあり方について考察できる

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）◎

DP8（助産）○

授業計画

1	実習方法 【授業内容】 1. 実習期間 2 週間（参加型実習／企画型実習） 2. 実習場所 笑望助産院（有床助産所：福岡県田川市）：参加型 にじいろ助産院（無床助産所：福岡県福津市）：参加型 助産院町のさんばさん（有床助産所：北九州市八幡区）：企画型
2	参加型実習（1年後期：4日間、12月第2～3週を予定）※1～3名で実習する。 【授業方法】実習 1. 笑望助産院にて2日間、にじいろ助産院にて2日間の計4日間の実習を行う。 2. 無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を把握する。 3. 助産師とともに行動し、助産所や地域で展開される助産ケアの実際に参加する。 4. 状況によっては助産師とともに対象者に対する援助に参加する。 5. 助産師と医師や他職種との連絡・連携について学ぶ。 6. 事後カンファレンスにて、疑問や学習上の問題点を整理する。 7. 毎日、その日の参加を通じた学びについて整理する。 8. 以上の内容について、レポートにまとめ後日提出する。

学習方法

本実習においては、経営、管理、ケア、安全、連携、質評価などのキーワードを押さえておくことが不可欠である。また、本実習は、実習生の主体性が尊重され、学ぶ意識と十分な事前準備が求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産経営管理学および助産関連科目全ての図書、文献

評価方法

参加型（40％）：〈内訳〉実習目標の達成度 80％、課題レポート 20％

企画型（60％）：〈内訳〉実習目標の達成度（実習計画含む）80％、課題レポート 20％

新生児集中ケア基礎実習

更新日：2021/01/11 18:37:14

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	87180		
学年	2	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	871800
担当教員	永松美雪, 園田 希						
学部/学科	大学院 修士課程 助産教育コース 助産教育						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

授業の目的

急性期にある新生児のケア（身体的ケア、発達支援、親子関係の促進、授乳支援など）に必要な基礎的能力を養う。新生児集中治療室における、新生児とその家族に必要なケアと周産期医療体制（病院内での他職種との協働や地域関係機関との連携のあり方など）について考察する。

到達目標

1	NICU 看護の原則に基づき、受け持ち新生児とその家族に対する看護過程を展開できる
2	NICU の役割・機能を理解し、ハイリスク新生児および母親・家族に対する看護者の役割について考察できる
3	周産期医療体制（他職種との連携、地域の関係機関との連携など）について理解できる

DPとの関連

DP1 ○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	I．実習目標 【授業内容】 1．軽症の保育器収容児とその家族を受け持ち、看護計画を立案し実施する。 2．受け持ち事例への面談やコンサルテーションなどに参加し、ケアを多角的に学ぶ。 3．NICU の役割・機能を理解し、ハイリスク新生児および母親・家族に対するケアの特徴や看護者の役割について考察する。
2	II．実習方法 【授業方法】実習 1．実習期間 1 週間（5 日間） 8 月 16 日～20 日（2 名）、8 月 23 日～27 日（2 名） 2．実習場所 総合病院山口赤十字病院 3．実習の進め方 ① NICU 看護に関する事前学習を行う。 ② 実習施設の概要について調べる。 ③ 実習目標に従い、担当教員の助言を得ながら実習計画を立てる。 ④ 実習で使用する記録用紙や評価表の作成をする。 ⑤ 受け持ち対象児に対する看護過程を展開する。 ⑥ 受け持ち事例の看護を振り返り、文献を活用しながらレポートにまとめる。 ⑦ 実施したことを実習目標に沿って適切に評価する。

学習方法

本科目では、関連科目（新生児学や周産期学、産褥期・新生児のアセスメントとケアなど）での既習知識を押さえておくことが不可欠である。また本実習は、実習生の主体性を尊重する企画型実習であり、学ぶ意識と十分な事前準備が必要である。実習記録は一部を除いて各自で作成するが、実習内容が明確にできる記録の工夫を行うこと。本実習で新生児の健康状態を中心に据えた看護を学ぶことを通して、改めて自らの助産観を深める機会となることを期待する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメールにて（m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp；永松）アポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

新生児学関連科目の図書、文献

評価方法

事前学習・実習計画（20％）、実習目標の達成度（60％）、レポート（20％）

保健・看護総合特論

更新日：2021/02/08 16:20:55

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88010		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880100
担当教員	小松 浩子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

科学とは何かを考察し、看護学・保健学が目指す科学の在り方を探究したうえで、臨床における看護実践および看護研究の意義について検討し、自身の学問探究の方向性への手がかりを得る。

到達目標

1	自身の体験に基づき、看護実践や臨床における現象から得た知について考察できる。
2	科学とは何かについて考察し、議論することができる。
3	科学における看護学・保健学の意義や、看護学・保健学が学問として目指す方向性について考え、議論することができる。
4	看護現象をどのように探究していくのか考え、議論することができる。
5	自身の学問探究の方向性を考え、手がかりを得ることができる。

DPとの関連

DP2 ○

授業計画

1	様々な看護実践や臨床で経験した現象を想起し、看護実践とは何かについて議論する。 【授業内容】 知とは何か 【授業方法】 講義
2	臨床から発見される知とは何か、自身の体験や文献を基に議論する。 【授業内容】 看護実践における知：自身の考えや経験をもとに考える 【授業方法】 プレゼンテーション
3	科学とは何か（１） 【授業内容】 科学とは何か 【授業方法】 講義
4	科学とは何か（２） 【授業内容】 看護学における科学の特徴 【授業方法】 講義
5	科学とは何か（３） 【授業内容】 看護学における科学の特徴：自身の考えや経験をもとに考える 【授業方法】 プレゼンテーション
6	科学とは何か（４） 【授業内容】 看護学における科学の特徴：自身の考えや経験をもとに考える 【授業方法】 プレゼンテーション
7	科学における看護学・保健学の位置づけや、看護学・保健学が学問として目指す方向性について議論する。 【授業内容】 ケアサイエンス 【授業方法】 講義
8	看護学・保健学の専門性探究の意義について考察し、自身の学問探究への手がかりを得る。 【授業内容】 ケアサイエンス 【授業方法】 グループディスカッション

学習方法

本科目は本学研究科における導入科目と位置付けられる。
まず、自身の看護実践の想起や臨床で経験した現象から、看護実践について考察する。次に、文献から得た知識をもとに「科学とは何か」を考察し、議論を通して考えを深め、看護学・保健学が目指す科学について探索する。それらを踏まえ、看護学・保健学における実践と研究、理論の関係を探索し、自身の学問探究の方向性について考察する。

オフィスアワー

火曜日の昼休み
メール (h-komatsu@jrckicn.ac.jp) にてアポイントをとってください。

テキスト

村上陽一郎：新しい科学論－「事実」は理論をたおせるか。東京，講談社，1979。
野嶋佐由美：看護の知の構築に向けての方略,日本看護科学会誌 32 巻2 号（2012）
Carper BA: Fundamental patterns of knowing in nursing, Adv. Nurs. Sci., 1（1）, 13-23. 1978.

参考文献

中村雄二郎：臨床の知とは何か．東京，岩波新書，1992．佐々木力：科学論入門．東京，岩波新書，1996．
Chinn,P. L., Kramer, M. K.: Integrated Knowledge Development in Nursing 2004, 川原由香里監訳：看護学の総合的な知の構築に向けて．東京，エルゼビア・ジャパン，2007．
Kuhn, T. S.: The Structure of Scientific Revolution.1970, 中山茂訳：科学革命の構造．東京，みすず書房，1971．
西村ユミ・太田喜久子・数間恵子・川口孝泰・古在豊樹・小松浩子・正木治恵. これからの社会におけるケアサイエンスの構築をめざして—看護学からの提案. 学術の動向 2017.5 2-15.

評価方法

授業への参画 30%（ディスカッション・プレゼンテーション・グループワーク）レポート 70%

看護理論

更新日：2021/03/02 12:48:38

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	88020		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	880200
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

卓越した看護実践の基盤となる諸理論について理解を深めるために、理論開発進展の経緯、看護理論の定義や意義、看護理論を評価する視点を学ぶ。また、高度な看護実践を先導していくために有用となる看護理論について理解し、実践事例への理論適用と検討を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する。

到達目標

1	看護理論とは何か、看護理論を評価する視点を説明できる
2	看護理論開発の進展経緯を社会背景との関連において理解し、高度な看護実践を先導していく看護職者として、看護理論を学ぶ意義を説明できる
3	各専門分野の看護実践を行っていくうえで有用となる看護理論を理解し、実践事例への理論適用と討論を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP5 ○

授業計画

1	看護理論の定義・構成要素・意義、理論の分類と実践への活用、看護領域における理論開発進展の経緯 【授業内容】看護理論の定義・構成要素・意義、理論の分類（大理論・中範囲理論・小理論）と実践への活用、看護領域における理論開発進展の経緯 【授業方法】講義および討議
2	理論の評価モデル 【授業内容】理論の評価モデル、理論の分析およびクリティークの視点 【授業方法】講義および討議
3	理論の理解① 【授業内容】セルフケア理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
4	理論の理解② 【授業内容】Interaction model 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
5	理論の理解③ 【授業内容】適応モデル 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
6	理論の理解④ 【授業内容】障害受容、悲嘆の理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
7	理論の理解⑤ 【授業内容】ケアリング 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
8	理論の理解⑥ 【授業内容】拡張する意識としての健康 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
9	理論の理解⑦ 【授業内容】不確実性の理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
10	実践事例への理論適用①：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
11	実践事例への理論適用②：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
12	実践事例への理論適用③：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議

13	実践事例への理論適用④：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】 各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討議
14	実践事例への理論適用⑤：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】 各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討議
15	看護科学の発展・看護実践の質向上と看護理論、まとめ 【授業内容】 看護科学の発展・看護実践の質向上と看護理論、まとめ 【授業方法】 講義および討議

学習方法

授業は教員による講義および大学院生によるプレゼンテーション（3回～14回）と討論にて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示する。各大学院生は事前学習を行い、授業に参加する。10-14回では、各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）

テキスト

筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価 第2版．東京，医学書院，2020．

参考文献

Smith, M. J., & Liehr, P. R. : Middle Range Theory for Nursing (3rdEd.) . New York, Springer Publishing Co, 2013.
 Meleis, A. I. : Theoretical Nursing (6thEd.) . Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins, 2018.
 Walker, L. O., & Avant, K. C. : Strategies for Theory Construction in Nursing (4thEd.) . New Jersey, Pearson/ Prentice Hall, 2005, 中木高夫・川崎修一訳：
 看護における理論構築の方法．東京，医学書院，2008．
 その他、適宜紹介します

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） レポート（50％）

看護倫理

更新日：2021/02/26 12:29:21

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88030		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880300
担当教員	柳井 圭子, 中村 光江						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修）（助産教育コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

看護倫理の基本的考え方や諸概念について学び、看護実践における倫理とは何かを探究するとともに、臨床における倫理的問題や葛藤についての分析およびそれらに対する解決策の検討を通して、高度な看護実践に求められる倫理的思考や関係者間における倫理的調整能力を養う。

到達目標

1	看護倫理の基本となる考え方、倫理原則、モデル、諸概念を理解する。
2	看護実践において生じる倫理的問題・葛藤について、多角的な視点から分析し、討議することができる。
3	看護実践の場で遭遇する倫理的課題について、解決への具体的方法を見出し、必要な調整を遂行できる能力を養う。

DPとの関連

DP1 ◎
DP5 ○

授業計画

1	看護倫理の基本と特徴 【授業内容】看護倫理の基盤となる考え方とその発展過程を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
2	臨床における意思決定支援 【授業内容】臨床における意思決定支援の特徴および課題について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】中村
3	看護職者の倫理規範 【授業内容】看護職者の倫理綱領（日本看護協会）の条文を検討する。 【授業方法】講義 【担当】柳井
4	看護職者の法的責任 【授業内容】民事・刑事・行政・労働の視点で法的責任について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】柳井
5	事例検討（1）：看護実践における意思決定支援 【授業内容】意思決定支援を要する臨床事例を基に、看護者の役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】中村 柳井
6	事例検討（2）：臨床における倫理調整・コンサルテーションの基本 【授業内容】倫理調整・コンサルテーションにおける看護職者の基本的役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】中村 柳井
7	事例検討（3）：看護専門職としての倫理コンサルテーション 【授業内容】看護スタッフが抱える倫理的課題の事例を基に倫理コンサルテーションの役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】柳井 中村
8	まとめー倫理的課題と対応について 【授業内容】自身の経験から関心のある倫理的課題を取り上げ、その対応策を検討する。 【授業方法】プレゼンテーションと討議 【担当】柳井 中村

学習方法

臨床で話題となっている看護に関する倫理問題を把握しましょう。授業は、講義および事例検討、院生のプレゼンテーション、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んでください。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください。
柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp（木曜日の昼休み）
中村：m-nakamura@jrckicn.ac.jp（火曜日の昼休み）

テキスト

特に指定しない。

参考文献

下記以外は、授業内で紹介します。

小西恵美子：看護倫理を考える言葉.東京,日本看護協会出版会,2018.

Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice THIRD EDITION - A Guide to Ethical Decision Making, 2008. 片田範子，山本あい子訳：看護実践の倫理【第3版】倫理的意思決定のためのガイド．東京，日本看護協会出版会，2010．

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学【第5版】.東京,ミネルヴァ書房,2020．

宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任．東京，中央法規，2014．

Chambliss, D. F. : Beyond Caring : Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics, 1996．浅野祐子訳：ケアの向こう側 看護職が直面する道德的・倫理的矛盾．東京，日本看護協会出版会，2002．

Thompson, J. E., Thompson, H. O. Bioethical Decision making for nurses, 1985. ケイコ・イマイ・キン，竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定10のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004．

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50％，課題レポート：50％、総合的に評価する。

グローバルヘルス

更新日：2021/02/25 17:25:28

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88040		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880400
担当教員	小川 里美						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

グローバル化に伴い多様化・複雑化する健康課題について学際的な視点で分析し、看護の役割について考察する。

到達目標

1	健康にかかわる要因について説明することができる
2	開発と健康課題における赤十字の活動について理解することができる
3	国内外の健康課題と看護介入について考察することができる

DPとの関連

DP1 ○
DP2 ◎
DP5 ○

授業計画

1	グローバリゼーションと健康・赤十字 健康に関与する要因を概観し、健康との関連をディスカッションする 【授業内容】グローバリゼーションに伴う健康課題と赤十字の活動を概観する 【授業方法】講義
2	健康と開発 【授業内容】MDG から SDG へ - 開発概念と健康の関係を概観する 【授業方法】講義
3	健康課題と看護（１） 【授業内容】第３～７回：国内外の健康問題で関心のあるものを取り上げ、大学院生各自が調べ発表し、全体で討議する 【授業方法】講義
4	健康課題と看護（２） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（１） 【授業方法】講義
5	健康課題と看護（３） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（２） 【授業方法】講義
6	健康課題と看護（４） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（３） 【授業方法】講義
7	健康課題と看護（５） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（４） 【授業方法】講義
8	グローバルヘルスとわが国の国際保健医療協力の現状（赤十字を含む）と今後の展望 【授業内容】国内外の健康課題と国際協力の現状と課題、展望について 【授業方法】講義

学習方法

毎回のテーマについて、文献を活用し事前学習をして講義に臨んでください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川）

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・ Basch, P.: Textbook of International Health（2nd Ed）. New York, Oxford University Press, 1999.
- ・ McCracken, K., Phillips, D.: Global Health: An Introduction to Current and Future Trends, New York, Routledge, 2012.
- ・ Purnell, L.: Transcultural Health Care: A Culturally Competent Approach. Philadelphia, F.A. Davis Company, 2012.
- ・ アマルティア・セン：不平等の再検討．東京，岩波書店，1999．

- ・稲賀繁美編：異文化理解の倫理にむけて．名古屋，名古屋大学出版会，2000．
- ・久間圭子：医療の比較文化論．京都，世界思想社，2003．

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（50％） レポート（40％）

専門外国語講読Ⅰ

更新日：2021/02/25 11:21:59

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88050		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880500
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（保健・看護コース必修） 授業形態：講義、演習						

授業の目的

保健・看護領域および関連領域の外国語で書かれた論文の講読を行う。

到達目標

1	専門分野の英語論文を読むことができる。
2	個々の文、段落、文章を支える構造的原理についての知識を獲得し、予測しつつ読むことができる。
3	母語も併用して概念を整理し、英語の構造に合わせて、一段落程度の文章を作成することができる。
4	既得の知識・技術と目標とする知識・技術を認識して、後者を獲得するための行程と方法を立案できる。

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

授業計画

1	英語論文講読への導入、学習方略内省、学習計画立案 受講生が提示した論文について、特に Abstract の構造分析について 【授業内容】 配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
2	英語論文とabstractとの関りについてを中心に講義・演習① 【授業内容】 配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
3	英語論文とabstractとの関りについてを中心に講義・演習② 【授業内容】 配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
4	英語論文とabstractとの関りについてを中心に講義・演習③ 【授業内容】 配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて、プレゼンテーション内容の確認と担当割の作成 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
5	担当学生が用意した英語の論文とabstractを中心にプレゼンテーション① 【授業内容】 各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
6	担当学生が用意した英語の論文とabstractを中心にプレゼンテーション② 【授業内容】 各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
7	担当学生が用意した英語の論文とabstractを中心にプレゼンテーション③ 【授業内容】 各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬
8	担当学生が用意した英語の論文とabstractを中心にプレゼンテーション④とフィードバック（学習方略再点検） 【授業内容】 各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】 講義・ディスカッション 【担当】 高瀬

学習方法

【予習】 授業計画に沿って、事前に配布したハンドアウトによる授業内容の確認。担当の学生がプレゼンテーションするための英語論文を事前に提出し、プレゼンテーションの準備を行い授業に臨む。担当者は、論文の内容・構成・abstractとの関連が説明できるよう熟読をし、さらにレジュメを予定日の1週間前までに担当教員に電子提出をしておくこと。

【復習】 Abstract および論文の構造と各項目の要件の確認をする。また、論文特有の英語表現を確認する。

オフィスアワー

火曜日～金曜日昼休み・木曜日午後。事前にアポイントメントを取ることが望ましい。

Eメールアドレス： ftakase@jrckicn.ac.jp

テキスト

英語論文とabstractに関するハンドアウト、受講生が準備する英語論文

参考文献

- ① 安原和也：英語論文表現入門—中高基本 150 語から学ぶ英語学術表現の世界．岡山，大学教育出版，2011．
- ② 安原和也：英語論文重要語彙 717．東京，三修社，2012．
- ③ Murray, Rowena：How to Write a Thesis. Philadelphia, Open University Press, 2002.

評価方法

プレゼンテーション資料作成（40％）、授業中のプレゼンテーション（30％）、議論の展開への貢献（30％）

研究方法（研究方法総論）

更新日：2021/02/25 10:30:16

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	88060		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	880600
担当教員	中村 光江, 姫野 稔子, 倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：必修 授業形態：講義						

授業の目的

看護・保健領域における研究方法の基本概念および考え方を修得する。実践における研究活動に必要な基礎的能力を修得することができる。

到達目標

1	量的研究法と質的研究法の基盤となる考え方及び研究方法の基本を理解できる
2	Research Question と研究目的に応じて最適の研究デザインを選択できる
3	研究計画書作成のステップを理解することができる
4	臨床での事象を研究活動に結び付けることができる

DPとの関連

- DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	研究の概要と研究過程 【授業内容】看護における研究の意義と役割、看護研究の発展の経緯を学び、研究過程を概観する。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第1章（A, B, C）及び第2章を熟読し、疑問点を整理しておく 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
2	Research Question と研究目的に応じた研究デザインの選択 【授業内容】基本的な研究デザインを概観し、Research Question と研究目的に応じた研究方法選択の基準を学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】60分：テキスト第2章（A, B）、第4章、第5章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
3	文献レビューと文献クリティーク 【授業内容】研究における文献レビューやクリティークの意義を理解し、基本的な文献レビューやクリティークの方法を学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第3章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
4	研究における研究倫理の確保、研究の限界 【授業内容】研究倫理の基本と研究倫理を確保する具体的方法について学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第1章（D, E）を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
5	研究計画書作成のステップ 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第6章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
6	量的研究の主な研究デザイン① 【授業内容】量的研究とは？量的記述的研究デザインおよび研究の枠組みについて学ぶ 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分 第2回講義の関連箇所について復習する。 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野
7	量的研究デザイン② 【授業内容】仮説検証型デザイン、因果関係の検証デザインについて学ぶ。測定用具の信頼性と妥当性について学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野

8	量的研究の具体的な進め方① 【授業内容】 量的研究における仮説、標本抽出の種類、データ収集方法を学ぶ。 【授業方法】 講義・小テスト 【予習】 30分 テキスト第7章を熟読しておく。 【復習】 30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】 姫野
9	量的研究の進め方②データの分析方法 【授業内容】 記述統計・推測統計について学ぶ 【授業方法】 講義・小テスト 【予習】 30分 テキスト第8章を熟読しておく。 【復習】 30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】 姫野
10	質的研究の特質と目的 【授業内容】 質的研究方法の特質、基盤となる考え方、目的、質的研究の種類について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 配布する論文を一読する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
11	質的研究におけるデータ、データ収集 【授業内容】 質的研究における研究の場と時間枠、サンプリング、サンプルサイズ、データの集め方について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
12	質的研究におけるデータ分析 【授業内容】 質的研究方法のデータ分析方法について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
13	質的研究のまとめ方、質的研究における真実性と質の確保 【授業内容】 質的データを用いた論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方、質的研究における真実性と質の確保について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
14	ディスカッション1 質的研究クリティーク 【授業内容】 事前に選択した質的研究のクリティークに関するディスカッションを通して、質的研究方法への理解を深める。 【授業方法】 ディスカッション 【予習】 90分：指定された質的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】 30分：ディスカッションを参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】 中村・姫野・倉岡
15	ディスカッション2 量的研究クリティーク 【授業内容】 事前に選択した量的研究のクリティークに関するディスカッションを通して、量的研究方法への理解を深める。 【授業方法】 ディスカッション 【予習】 90分：指定された量的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】 30分：ディスカッションを参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】 中村・姫野・倉岡

学習方法

- ・ 学士課程において修得しておくべき知識については、各自学習してから参加してください。
- ・ 授業は、教員による講義および教員・院生間による討論にて進めます。
- ・ 自分の修士論文のテーマを意識して事後学習をしてください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します

中村：火曜日の昼休み、m-nakamura@jrckicn.ac.jp

姫野：火曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

倉岡：月曜日の昼休み、y-kuraoka@jrckicn.ac.jp

テキスト

南裕子、野嶋佐由美編：看護における研究 第2版．東京，日本看護協会出版会，2017

萱間真美：質的研究実践ノート．東京，医学書院，2007

参考文献

- ・ Grove, S. K., Burns, N., Gray, J. R.:The Practice of Nursing Research [7th edition] Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence. 2013, 黒田裕子，中木高夫，逸見功監訳：バーズ&グローブ [原著第7版] 看護研究入門ー評価・統合・エビデンスの生成ー．東京，エルゼビア・ジャパン，2015．
- ・ Polit, D. F., Beck, C. T.:Nursing Research 2th Edition Principles and Methods. 2004, 近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法（第2版）．東京，医学書院，2010．

評価方法

授業参加度（20％）、試験（80％）

研究方法 A-Ⅰ（量的研究方法の基礎）

更新日：2021/01/25 09:28:16

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88070		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880700
担当教員	中山 晃志						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

看護・保健領域での研究において使用されている量的研究方法に特化して、統計分析の基礎を習得する。

到達目標

1	データの種類や基本統計量について把握し、記述することができる。
2	統計検定の流れを把握し、正しく検定結果の解釈ができる。
3	目的に沿った検定手法を用いることができる。

DPとの関連

DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	母集団と標本 【授業内容】母集団と標本（記述統計と推測統計）の概念，データの種類 【授業方法】講義
2	記述統計（1） 【授業内容】1 変量データの記述（度数分布とグラフ，代表値，散布度） 【授業方法】講義
3	記述統計（2） 【授業内容】2 変量データの記述（量×量，相関，回帰） 【授業方法】講義
4	記述統計（3） 【授業内容】2 変量データの記述（質×質，クロス表／量×質） 【授業方法】講義
5	推測統計への準備，推測統計（1） 【授業内容】確率・確率分布，推定論（点推定・区間推定） 【授業方法】講義
6	推測統計（2） 【授業内容】検定の流れ 【授業方法】講義
7	推測統計（3） 【授業内容】検定手法各論(1)（平均および分散に関する検定） 【授業方法】講義
8	推測統計（4） 【授業内容】検定手法各論(2)（比率，クロス表および相関に関する検定，ノンパラメトリック検定） 【授業方法】講義

学習方法

・統計学は，基礎となる「データの種類」や「記述統計」が分かっていないと，そこから先の統計学の理解が難しくなります。1つ1つの基礎を積み上げながら自分の中でイメージを描き，理解をしていくことが大事です。
・講義では，普段聞きなれないような言葉や似たような用語がたくさん出てきます。その1つ1つの言葉や用語をチェックし，しっかりと覚えていって下さい。そうすると，「この用語とこの用語にはこんな関係があるんだ!」とか，「この言葉が出てくるってことは検定をしてるんだな!」といったことに気づき，イメージも広がり，理解がしやすくなると思います。

オフィスアワー

メールアドレスを明記し，事前にアポイントメントを取ってください。
中山：〇〇〇@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。毎回，資料を配布する。

参考文献

稲葉由之：プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学．東京，弘文堂，2012．
縣俊彦：やさしい保健統計学（改訂第5版）．東京，南江堂，2019．

評価方法

課題レポート評価（100%）

研究方法B-Ⅰ（質的研究方法の基礎）

更新日：2021/03/03 15:34:30

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88080		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880800
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。

到達目標

1	データ収集方法について、演習によりデータ収集を体験し、質的データの意味について理解することができる。
2	データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。
3	質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。

DPとの関連

DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	質的研究の特徴 【授業内容】研究方法（研究方法総論）で学習した質的研究の特徴について復習、模擬データ収集のためのリサーチエクステション検討、インタビューガイドの作成 【授業方法】講義、演習 【担当】倉岡
2	質的データとは（1） 【授業内容】質的データ収集演習（1）インタビュー演習 【授業方法】演習 【担当】倉岡
3	質的データとは（2） 【授業内容】質的データ収集演習（2）逐語録の作成 【授業方法】演習 【担当】倉岡
4	データの分析方法（1） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
5	データの分析方法（2） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
6	データの分析方法（3） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
7	質的研究におけるデータ分析後の解釈（1） 【授業内容】分析結果の全体発表① 【授業方法】発表と討議 【担当】倉岡
8	質的研究におけるデータ分析後の解釈（2） 【授業内容】分析結果の全体発表② 【授業方法】発表と討議 【担当】倉岡

学習方法

研究方法（研究方法総論）で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的記述的研究でのデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。

オフィスアワー

月曜日の昼休み、もしくはメール（y-kuraoka@jrckicn.ac.jp）にてアポイントをとってください。

テキスト

萱間真美：質的研究実践ノート．東京，医学書院，2007．

参考文献

- ・グレッジ美鈴，麻原きよみ，横山美江：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版．医歯薬出版，2016．
- ・Immy Holloway, Stephanie Wheeler：Qualitative Research in Nursing（2nd）．2002, 野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門．東京，医学書院，2006．
- ・Margarete Sandelowski:10 Key Questions Over Qualitative Research．2013，谷津裕子・江藤裕之訳：質的研究をめぐる10のキークエスション．東京，医学書院，2013．
- ・佐藤郁哉：質的データ分析法 原理・方法・実践．東京，新曜社，2008．
- ・松葉祥一・西村ユミ編集：現象学的看護研究－理論と分析の実際．東京，医学書院，2014．
- ・川喜田二郎：発想法．東京，中公新書，1967．
- ・山浦晴男：質的統合法入門 考え方と手順．東京，医学書院，2012．

評価方法

演習課題（50％）レポート（50％）

研究方法 A-II（量的研究方法）

更新日：2021/02/25 10:17:00

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88090		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880900
担当教員	姫野 稔子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

調査研究における質問票の作成、調査の実施、回収した質問票の扱い方、分析の手法を実践を通して習得する。

到達目標

1	研究の枠組みの作成方法を理解することができる。
2	研究の枠組みと質問票の関係を理解することができる。
3	測定用具の開発方法を理解することができる。
4	データ収集・データクリーニング・データコーディングの方法を理解することができる。
5	SPSSを用いた分析方法を理解し、実施することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	調査研究の進め方 【授業内容】 【授業方法】 講義
2	質問紙の作成方法・データ収集方法 【授業内容】 【授業方法】 講義
3	研究の枠組みの作成方法（1） 【授業内容】 理論的枠組みの作成方法を理解する 【授業方法】 講義
4	研究枠組みの作成方法（2） 【授業内容】 概念枠組みの作成方法および測定用具の開発・使用のルールについて理解する 【授業方法】 講義
5	データ入力とデータクリーニングの方法 【授業内容】 回収した調査票のデータクリーニングの方法を理解する。 【授業方法】 講義
6	コーディング表の作成とデータコーディング 【授業内容】 回収した調査票の結果をコーディングする方法を理解する 【授業方法】 演習
7	Excell への入力、ダブルエントリー、データクリーニング 【授業内容】 調査結果を入力し、ダブルエントリーおよびデータクリーニングする方法を理解する。 【授業方法】 演習
8	Excell データを SPSS に読み込む。データの加工と分析方法 【授業内容】 SPSSの構成を理解し、データの加工の方法および分析方法を理解する。 【授業方法】 演習

学習方法

事前学修としては、研究方法の量的研究の内容及び研究方法 A- I の内容の既習箇所を復習しておくこと。提示した資料及び理解を促進するための文献を熟読しておく。事後学修としては、毎回の資料を復習し、理解が十分でない箇所を次回に質問する。単元の後半は、配布されたフォーマットに架空の調査データを入力して授業資料とし、それをもとに演習を展開する。その際はSPSSを搭載したPCを使用する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。授業内にて適宜指示する。

参考文献

- ・古谷野亘・長田久雄：実証研究の手引きー調査と実験の進め方・まとめ方ー。東京，ワールド プランニング，1992。
- ・竹原健二・渡辺多恵子：看護・医療系の調査研究エッセンス。東京，医学書院，2010。

評価方法

レポート及び課題（60％），授業参加度（40％）

研究方法B-II（質的研究方法）

更新日：2021/02/25 10:33:54

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	88100		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	881000
担当教員	中村 光江						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

質的研究手法に基づく多様な事例の研究を通して、その応用性と汎用性を理解することで質的研究法を習得する。

到達目標

1	様々な質的研究の手法の特徴とそれらが開発された背景を述べることができる。
2	質的研究の事例から、研究手法を選択する際の留意点について説明することができる。
3	研究課題に適した質的研究手法を選択できる。

DPとの関連

- DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	質的研究手法の概要 【授業内容】 質的研究の特徴と目的および発展の歴史を学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 30分：「研究方法（研究方法総論）」の「質的研究」に関する授業の復習 テキスト第1章を熟読する 【復習】 30分：授業のまとめ 【担当】 中村
2	研究対象とデータ収集方法および質的研究方法の課題 【授業内容】 多様な質的研究の対象とデータ収集方法を学び、研究に伴う課題について検討する。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 60分：テキスト第3章、第5章、第6章、第7章、第8章を熟読 【復習】 30分：授業のまとめ 【担当】 中村
3	質的研究へのアプローチ①：記述民俗学（エスノグラフィー） 【授業内容】 記述民俗学的（エスノグラフィー）に基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：テキスト第9章を熟読 【復習】 30分：授業内容をまとめ第4回に提出(小レポート) 【担当】 中村
4	質的研究へのアプローチ②：グラウンディッド・セオリー 【授業内容】 グラウンディッド・セオリーに基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：テキスト第10章を熟読 【復習】 30分：授業内容をまとめ第5回に提出(小レポート) 【担当】 中村
5	質的研究へのアプローチ③：現象学 【授業内容】 現象学に基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：テキスト第11章を熟読 【復習】 30分：授業内容をまとめ第6回の授業時に提出(小レポート) 【担当】 中村
6	質的研究へのアプローチ④：アクションリサーチ 【授業内容】 アクション・リサーチの研究手法としての特徴を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：テキスト第12章を熟読 【復習】 30分：授業内容をまとめ第7回の授業時に提出(小レポート) 【担当】 中村
7	質的研究へのアプローチ⑤：ナラティブリサーチ・その他の研究方法 【授業内容】 ナラティブリサーチおよびその他の代表的な質的研究方法（ケーススタディ、会話分析、クリティカル・インシデント・テクニック他）の特徴を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：テキスト第13章、14章を熟読 【復習】 授業内容をまとめ第8回の授業時に提出(小レポート) 【担当】 中村

8	質的研究手法のまとめ 【授業内容】 本科目で学んだ質的研究方法を復習し、研究課題や研究の目的に適した手法を選択するための基準を学ぶ。 【授業方法】 講義・ディスカッション 【予習】 30分：1～7回の復習 【復習】 120分：レポート作成 【担当】 中村

学習方法

「研究方法（研究方法総論）」を復習して参加してください。
 授業は、教員による講義および教員-院生間によるディスカッションにて進めます。
 ※ 多様な質的研究方法の中から興味あるものを選択し、自身でその詳細を学ぶことを推奨します。

オフィスアワー

金曜日の12:20~12:50あるいはメールでのアポイントメントにて設定します。
 中村： m-nakamura@jrckicn.ac.jp

テキスト

Holloway, I. & Wheeler, S. : Qualitative Research in Nursing (2002). 野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで 第2版．東京，医学書院，2006．

参考文献

Flick, U. : Qualitative Sozialforschung (2007). 小田博志監訳：新版質的研究入門—<人間の科学>のための方法論．東京，春秋社，2011．

評価方法

授業中の議論等への参加（30％）、レポート（40％）、小レポート（30％）を総合的に判断する。

看護教育論

更新日：2021/03/02 12:49:11

開講年度	2021	学期	後期	シバコード	88110		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881100
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

看護ケアの質を高めるために必要な看護職者への教育的働きかけ、教育環境づくりを行っていくための能力を獲得するために、看護継続教育の展開に必要なとなる学習・教育の理論や方法論や技術について学ぶ。さらに、現任教育の実践事例の多角的検討を行って、現任教育の現状と課題とを分析し、高度な看護実践を可能にする教育方法を探究する。

到達目標

1	看護学教育における継続教育の現状と課題を説明できる
2	高度実践看護師として、看護職者に対して教育的機能を発揮していくために必要となる学習・教育に関する理論や方法論や技術について説明できる
3	現任教育の実践事例の多角的検討を行い、高度看護実践を可能にする現場の条件に応じた教育方法を提案できる

DPとの関連

DP1 ○

DP5 ◎

授業計画

1	看護学教育における継続教育の位置づけと目的、継続教育の基準 【授業内容】看護学教育における継続教育の位置づけと目的、継続教育の基準 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
2	看護職者の学習形態の特徴とその支援① 【授業内容】自らの意志で学ぶこととその教育・支援（成人学習理論、動機づけ等） 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
3	看護職者の学習形態の特徴とその支援② 【授業内容】仕事を通して学ぶこととその教育・支援（OJT、経験学習モデル、リフレクション等） 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
4	看護職者の学習形態の特徴とその支援③ 【授業内容】研修を通して学ぶこととその教育・支援（off-JT、シミュレーション等多様な教育方法） 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田
5	対象別に見た看護継続教育の現状と課題① 【授業内容】新人看護職員 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討論 【担当】本田
6	対象別に見た看護継続教育の現状と課題② 【授業内容】中堅看護師 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討論 【担当】本田
7	対象別に見た看護継続教育の現状と課題③ 【授業内容】スペシャリスト 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討論 【担当】本田
8	対象別に見た看護継続教育の現状と課題④ 【授業内容】臨床での教育者 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討論 【担当】本田
9	現任教育プログラムの展開① 【授業内容】教育のプロセスと教育者の役割 【授業方法】講義および討論 【担当】本田
10	現任教育プログラムの展開② 【授業内容】計画の立案・実施 【授業方法】講義および討論 【担当】本田

11	現任教育プログラムの展開③ 【授業内容】 評価 【授業方法】 講義および討論 【担当】 本田
12	現任教育の実践事例の検討① 【授業内容】 各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】 本田
13	現任教育の実践事例の検討② 【授業内容】 各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】 本田
14	現任教育の実践事例の検討③ 【授業内容】 各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】 本田
15	看護ケアの質向上を牽引する人材として、高度実践看護師に求められている教育的機能について議論する 【授業内容】 看護ケアの質向上を牽引する人材として、高度実践看護師に求められている教育的機能について議論する 【授業方法】 講義および討論 【担当】 本田

学習方法

授業は、教員による講義および大学院生によるプレゼンテーション（第4～8、10～14回）と討論にて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示する。各大学院生は事前学習を行い、授業に参加する。12-14回では、各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・舟島なをみ：院内教育プログラムの立案・実施・評価（第2版）．東京，医学書院，2015．
- ・杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学（第6版）．東京，医学書院，2016．
- ・福澤英弘：人材開発マネジメントブッカー学習が企業を強くする．東京，日本経済新聞出版社，2009．
- ・Benner, P., et al.: Educating Nurses. 2010, 早野 ZITO 真佐子訳：ベナー ナースを育てる．東京，医学書院，2011．
- ・Merriam, S.B., & Caffarella, R.S.: Learning in Adulthood: A Comprehensive Guide. 1999, 立田慶裕・三輪建二監訳：成人期の学習—理論と実践．東京，鳳書房，2005．
- ・三輪建二：おとなの学びを育む—生涯学習と学びあうコミュニティの創造．東京，鳳書房，2009．

その他、適宜紹介します

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） レポート（50％）

看護管理論

更新日：2021/03/03 15:32:09

開講年度	2021	学期	前期	シバースコード	88120		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881200
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

変化し続ける社会の中で高度実践看護師として個人および組織を適切に機能させる管理能力を獲得するために、看護管理の基礎概念と主要な理論、管理プロセスに関する知識を得るとともに、現場における責務と役割についての認識を深め、実践場における看護管理の方法と活動を探究する。

到達目標

1	組織運営に関する諸理論、看護マネジメントの諸理論、方法論について理解できる
2	多職種との協働・連携に関する理論とその応用について理解できる
3	医療安全、資源管理、看護の質保証の概念を理解し、看護の質向上の取り組みについて考察できる
4	看護活動を取り巻く法律と制度について理解できる
5	メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法について理解し、応用できる
6	高度実践看護師として管理者との連携・調整、組織における位置づけと役割、社会への貢献について考察できる

DPとの関連

DP1 ○

DP5 ◎

授業計画

1	看護管理概論 【授業内容】 看護管理とは、看護管理の基礎となる知識 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡
2	組織論① 【授業内容】 科学的管理論、人間関係論、リーダーシップ論 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡
3	組織論② 【授業内容】 変革理論 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡
4	組織論③ 【授業内容】 「もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」 【授業方法】 学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】 倉岡
5	組織論④ 【授業内容】 組織論①②の実践への応用 【授業方法】 学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】 倉岡
6	多職種との協働・連携 【授業内容】 チーム医療における志向性、チーム医療の条件 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡
7	医療安全① 【授業内容】 医療事故と安全対策の経緯、コンフリクト・マネジメント 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡
8	医療安全② 【授業内容】 医療安全①の実践への応用 【授業方法】 学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】 倉岡
9	看護活動を取り巻く法律と制度① 【授業内容】 社会保障制度、医療法、保健師助産師看護師法、診療報酬・介護報酬 【授業方法】 講義 【担当】 倉岡

10	看護活動を取り巻く法律と制度② 【授業内容】看護活動を取り巻く法律と制度①の実践への応用 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】倉岡
11	資源管理と看護の質保証① 【授業内容】ヒト・モノ・コスト・情報の管理、経営管理、医療・看護の質と評価 【授業方法】講義 【担当】倉岡
12	資源管理と看護の質保証② 【授業内容】資源管理と看護の質保証①の実践への応用 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】倉岡
13	メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法① 【授業内容】メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法 【授業方法】講義 【担当】倉岡
14	メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法② 【授業内容】メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法①の実践への応用 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】倉岡
15	まとめー日本の医療における看護管理の課題 【授業内容】日本の医療における看護管理の課題の検討 【授業方法】講義 【担当】倉岡

学習方法

学生主体の参加型授業を行う。教員による講義と学生によるプレゼンテーションを交互に行う。
学生は分担して各回の理論や概説を自分の経験に引き寄せたプレゼンテーションをする。

オフィスアワー

月曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントに応じます。
y-kuraoka@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・ Stephen P. Robbins.: Essentials of Organizational Behavior 8th ed. 2005, 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント。東京、ダイヤモンド社、2009.
- ・ John P. Kotter.: On What Leaders Really Do. 1999, 黒田由貴子訳：リーダーシップ論。東京、ダイヤモンド社、1999.
- ・ Hersey P.B. Blanchard H.K. and Johnson D.E. Management of Organizational Behavior Utilizing Human Resources (7th). 1996, 山本成二, 山本あづさ訳：入門から応用へ行動科学の展開（新版）人的資源の活用。東京、生産性出版、2000.
- ・ 岩崎夏海：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら。東京、ダイヤモンド社、2009.
- ・ 倉岡有美子：看護現場を変える0～8段階のプロセス。東京、医学書院、2018.
- ・ 細田満和子：「チーム医療」とはなにか。東京、日本看護協会出版会、2012.
- ・ WHO：WHO Patient Curriculum Guide: Multi-professional Edition. 2011, 東京医科大学 医学教育学・医療安全管理学監訳：WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版。東京、東京医科大学、2011.
- ・ 相馬孝博：ねころんで読めるWHO患者安全カリキュラムガイド、大阪、メディカ出版、2013.
- ・ 井部俊子，中西睦子監修：看護管理学習テキスト第3版 2020年度刷①～⑤巻。東京、日本看護協会出版会、2020.

評価方法

授業への参加度（10%） プレゼンテーション（40%） レポート（50%）

看護政策論

更新日：2021/01/15 16:11:49

開講年度	2021	学期	後期	シバースコード	88130		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	881300
担当教員	倉岡 有美子, 柳井 圭子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

看護職者として保健医療福祉制度の在り方、改革の方向等を見据えて、身近な看護政策とその決定プロセスについて理解を深め、看護政策の変遷・現状と課題を考察するとともに、政策に関与し提言していく基本的な能力を育成する。

到達目標

1	看護職者として政策決定過程を理解し、政策的課題を把握できる。
2	看護政策の変遷を理解し、現代および将来に向けた課題を見いだすことができる。
3	看護職者として政策過程に参画するための基礎的能力を養う。

DPとの関連

DP1 ○
DP2 ○
DP5 ◎

授業計画

1	政策決定過程と看護職者の関与 【授業内容】政策と看護の関係および政策決定過程、看護職者の政策への参画 【授業方法】講義 【担当】倉岡 柳井
2	診療報酬制度と看護職者の関与 【授業内容】診療報酬制度と看護職者の関与 【授業方法】講義 【担当】倉岡 柳井
3	保健師助産師看護師法 【授業内容】保健師助産師看護師法の構造と重要条文、課題 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー（田村やよひ）、倉岡、柳井
4	准看護師制度 【授業内容】准看護師制度の制度創設時の状況、医療・看護の発展過程での役割、当事者や雇用者の立場からの制度への見解、将来展望 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】ゲストスピーカー（田村やよひ）、倉岡、柳井
5	事故調査制度における看護者の役割 【授業内容】事故調査制度における看護者の役割 【授業方法】講義 【担当】柳井
6	遠隔診療と看護師による死亡確認 【授業内容】遠隔診療と看護師による死亡確認 【授業方法】講義 【担当】柳井
7	看護師の特定行為研修制度 【授業内容】看護師の特定行為研修制度 【授業方法】講義 【担当】倉岡 柳井
8	まとめー私の看護政策の提案 【授業内容】看護の質の向上に向けて、関心のある政策課題を取り上げ、新たな提案を行い、その実現方略を検討する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議 【担当】倉岡 柳井

学習方法

授業は、講義および学生のプレゼンテーション、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んでください。最近の保健・医療・福祉政策の動向を把握しましょう。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください。
倉岡：y-kuraoka@jrckicn.ac.jp
柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しません。

参考文献

- ・井部俊子監修：看護管理学習テキスト第3版第1巻ヘルスケアシステム論2019年版．東京，日本看護協会出版会，2019．
- ・田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版．東京，日本看護協会出版会，2018．
- ・野村陽子：看護制度と政策．東京，法政大学出版局，2015．
- ・見藤隆子、石田昌宏他：看護職者のための政策過程入門 第2版．東京，日本看護協会出版会，2017．
- ・看護行政研究会編：看護六法2020年度版．東京，新日本法規，2020．

その他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50％，課題レポート：50％

専門外国語講読Ⅱ

更新日：2021/02/25 11:26:07

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88140		
学年	2	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881400
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

保健・看護の理論、実践、研究等に関する英語文献を講読する。

到達目標

1	Abstractの役割と必須要素を理解できる。
2	英語論文の構造を理解できる。
3	英語論文が正確に、速く、読めるようになる
4	良い英語論文とそうではない英語論文を見分けることができるようになる

DPとの関連

- DP1 ○
DP2 ○
DP3 ◎

授業計画

1	授業オリエンテーション、Abstractの役割ならびにAbstractの必須要素および構造を理解する① 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】高瀬
2	複数のAbstractを比較・分析し、Abstractの構造を理解する② 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】高瀬
3	Abstractを複数読み、良いAbstractとそうではないAbstractとを読み分ける授業③ 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】高瀬
4	英語論文の役割ならびに英語論文の必須要素および構造を理解する④ 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】高瀬
5	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）①、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
6	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）②、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
7	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）③、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
8	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）④、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
9	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑤、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
10	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑥、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬

11	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑦、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
12	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑧、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
13	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑨、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
14	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション⑩、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬
15	英語論文の読解方法および速読のポイントのまとめ、フィードバック（学習方略再点検） 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション⑪、フィードバック（学習方略再点検） 【授業方法】講義・プレゼンテーション 【担当】高瀬

学習方法

- ・授業の各回で行うプレゼンテーションのスケジュールを立て、担当日を定める
- ・毎回の授業に予定されている英語論文を事前に読んで、疑問点などをリストアップし、授業に出席する
- ・研究方法については、日本語で書かれた文献も併せて読み、授業中に説明ができるようにしておく
- ・英語論文の構造を念頭に、内容を予測しながら、速く読めるようにする

オフィスアワー

火曜日～金曜日昼休み・木曜日午後。事前にアポイントメントを取ることが望ましい。

Eメールアドレス： f-takase@jrckicn.ac.jp

テキスト

英文の論文とAbstract

受講生が各自の修士論文を作成するうえで必読の英語論文（1人につき5本選定の予定）

参考文献

- ・ Burns, T., Sinfield, S.: Essential Study Skills. London, SAGE Publications, 2006.
- ・ Cottrell, S.: The Study Skills Handbook（2nd ed.）. Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2003. Cottrell, S.: Critical Thinking Skills. Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2005.
- ・ Greetham, B.: How to Write Better Essays. Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2001. Levin, P.: Write Great Essays!. Maidenhead, Open University Press, 2004.
- ・ Race, P.: How to Study. Oxford, Blackwell, 2003.

評価方法

プレゼンテーション資料作成（40％）、授業中のプレゼンテーション（30％）、議論の展開への貢献（30％）

フィジカルアセスメント特論

更新日：2021/03/24 16:22:14

開講年度	2021	学期	前期	シバコード	88150		
学年	1	曜日/時限		単位数	2.0	科目コード	881500
担当教員							
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

授業の目的

多様な健康問題を持つ対象の身体状況の診査や診査に基づく臨床判断をするための知識及び技術を修得する。

到達目標

1	フィジカルアセスメントの目的・意義・構成要素を理解できる。
2	フィジカルイグザミネーションの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）が実践できる。
3	全身のスクリーニングが実践できる。
4	システムレビューが実践できる。
5	高度実践看護師として、より高度なフィジカルアセスメントが実践できる。

DPとの関連

DP6（CNS）○

授業計画

1	イントロダクション 【授業内容】 ・フィジカルアセスメントの目的・意義 ・フィジカルアセスメントの構成要素 【授業方法】 講義 【担当】
2	フィジカルイグザミネーションの基本技術と全身のスクリーニング 【授業内容】 ・問診・視診・触診・打診・聴診、全身の概観 【授業方法】 講義 【担当】
3	システムレビュー（呼吸機能） 【授業内容】 ・呼吸機能の概観 ・問診・視診・触診・打診・聴診 ・血液ガス分析・呼吸機能検査結果の読解 ・呼吸機能検査のデータの読解 【授業方法】 講義 【担当】
4	システムレビュー（循環機能） 【授業内容】 ・循環機能の概観 ・問診・視診・触診・打診・聴診 ・スクラッチテスト ・中心静脈圧の推定 ・末梢循環の確認 ・心電図の読解 【授業方法】 講義 【担当】
5	システムレビュー（脳・運動機能①） 【授業内容】 【授業方法】 講義 【担当】
6	システムレビュー（脳・運動機能②） 【授業内容】 ・意識レベル ・感覚機能（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・痛覚・温度覚・触覚・振動覚・関節運動覚・関節位置覚、二点識別覚・立体覚・書字感覚・温度覚） ・脳神経（第Ⅰ～第Ⅻ脳神経） ・高次脳機能 ・小脳機能 ・運動調節機能（含：麻痺、筋トーンス） ・反射（生理的反射と病的反射） 【授業方法】 講義 【担当】

7	システムレビュー（摂食・嚥下機能） 【授業内容】 ・摂食・嚥下機能の概観 ・嚥下スクリーニング検査 【授業方法】講義 【担当】
8	システムレビュー（栄養吸収・代謝調節機能） 【授業内容】 ・栄養吸収・代謝機能の概観 ・消化管・肝臓疾患に関する問診 ・腹部の視診・触診・打診・聴診 ・栄養評価 【授業方法】講義 【担当】
9	システムレビュー（排泄機能） 【授業内容】 ・問診・視診・触診・聴診 ・排尿・排便機能とその異常 【授業方法】講義 【担当】
10	システムレビュー（内分泌・内部環境調節機能） 【授業内容】 ・問診・視診・触診・聴診 ・体液バランス、電解質バランス ・腎機能・内分泌機能検査の読み方・負荷試験 【授業方法】講義 【担当】
11	システムレビュー（生体防御機能） 【授業内容】 ・皮膚、免疫・リンパ系に関する問診・視診・触診 ・免疫・アレルギー・膠原病のアセスメント 【授業方法】講義 【担当】
12	システムレビュー（生殖機能） 【授業内容】 ・乳房・生殖器に関する問診・視診・触診 ・生殖機能障害のアセスメント 【授業方法】講義 【担当】
13	シナリオ演習（１） 【授業内容】 ・入院 【授業方法】講義 【担当】
14	シナリオ演習（２） 【授業内容】 ・外来 【授業方法】講義 【担当】
15	シナリオ演習（３） 【授業内容】 ・在宅 【授業方法】講義 【担当】

学習方法

講義を通して患者の身体を機能別にシステムレビューする意味と方法を理解する。シナリオ演習では、各システムを複合的にアセスメントできるように学習する。

オフィスアワー

テキスト

- ・清村紀子他編：根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント．東京，医学書院，2014．
- ・清村紀子他編：機能障害からみたからだのメカニズム．東京，医学書院，2014．

参考文献

- ・福井次矢他監修：ベイツ診察法 第2版．東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015．
- ・Jill, Fuller, et al. : Health Assessment a nursing approach 3rd edition. Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins, 2000.
- ・日野原重明他：フィジカルアセスメントナーースに必要な診断の知識と技術．東京，医学書院，2006．

評価方法

授業参加度（30％）、レポート（70％）